

平成21年度

学生による授業評価実施報告書

平成22年11月

鳴門教育大学 学校教育学部

はしがき

現在、中央教育審議会の教員の資質能力向上特別部会では、教員の実践的指導力を保証するための養成・採用・研修の在り方が議論されている。教員の実践的指導力保証においては、学部段階での教員養成が基本であり、ここでどのようなカリキュラムと授業内容によって養成するかに懸かっている。

本学は、平成 17 年度から学部の教育課程として「教育実践学を中核とする教員養成コア・カリキュラム—鳴門プラン—」を導入した。そのねらいは、複雑化・多様化する教育現場の今日的課題に対応できる実践的指導力を育成することにある。この新しい教育課程は、教育実践コア科目を中核に据え、他の教養基礎科目、教職共通科目、専修専門科目との構造化を図り、有機的に関連づけ編成されている。教育実践コア科目は、次の 2 つの科目群によって構成されている。ひとつは、教科の成立と人間理解を通して、教職という職業（キャリア）について様々な側面から理解し、あるべき教師像を考える「教育実践基礎演習」であり、今ひとつは、「教育実習」と関連を図りながら展開する「初等中等教科教育実践（ⅠⅡⅢ）」である。これは、教科内容・授業構成・指導方法を学び、それを模擬授業で実践することによって実践的指導力を育成するものである。

平成 21 年度には、このような教員養成コア・カリキュラムで学んだ学生が卒業となり教育現場に送り出した。平成 22 年度からは、このカリキュラムに新しい授業科目「教職実践演習」が加わり、第 2 期目となる。本学の教員養成コア・カリキュラムが実践的指導力の育成に寄与するものになっているかについては、これで学んだ卒業生への調査等によって評価するなど、多面的に検証していかねばならないが、学生の授業評価も検証のひとつになる。

そこで、まず平成 21 年度の教育実践コア科目学生授業評価について取り上げてみる。また、これまでと比較するために括弧内に平成 20 年度の授業評価を示している。授業評価は 5 段階である。「教育実践基礎演習」（13 科目）の評価は、平均 4.1 点(4.1)、「初等中等教科教育実践Ⅰ」（10 科目）の評価は、平均 4.4 点(4.4)、「初等中等教科教育実践Ⅱ」（8 科目）の評価は、平均 4.7 点(4.4)、「初等中等教科教育実践Ⅲ」（10 科目）の評価は、平均 4.5 点(4.3)であり、いずれも昨年と同じか、それを上回っている。授業担当教員のご努力の賜と言えよう。

次に、他の分野の授業評価について、同様に取り上げてみる。教養基礎科目（計 15 科目）の平均は、4.2 点(4.2)であり、教職共通科目（計 60 科目）の平均は、4.1 点(4.1)であり、専修専門科目（計 189 科目）の平均は、4.3 点(4.3)である。いずれも、4 点以上であり、授業評価としては、高い評価であり合格点といえよう。

以上によると、本学の教育課程の全分野の授業(卒業研究と自由選択科目を除く)、すなわち、教育実践コア科目、教養基礎科目、教職共通科目、専修専門科目の授業評価が 5 段

階評価の4点以上である。これは授業担当教員の授業改善の結果の表れであり、また、FD推進事業の効果とも言え、誠に喜ばしい限りである。

教員養成で求められる資質能力としての実践的指導力は、教育の実践を展開できる能力である。従って、そのためには、教育の理論も教育の実践に生きる形で修得されなければならない。本学は、このことをカリキュラムにコア科目を設定し、ここで教育の理論知と教育実践の実践知との統合を目論み、達成しようとしている。コア・カリキュラムを導入して以来、コア科目の学生による授業評価は大変高いが、教育の理論知と実践知の統合の観点から今一度このコア科目のシラバスを見直していただければ幸いである。

最後に、本報告書の作成にあたって、学部教務委員会ならびに学生による授業評価専門部会、FD推進事業専門部会各位、学部授業担当教員および学生諸君、関係の事務職員にご尽力・ご協力いただいたことを記し、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

平成22年9月 学校教育学部教務委員会 委員長 西園芳信

目 次

はしがき

I 学生による授業評価の意義	1
II 学生による授業評価の結果と考察	3
1. 調査の方法と種類・形態別回答数	3
2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴	5
3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴	6
4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴	7
5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴	9
6. アンケート様式	15
III 学部授業評価の結果報告書	19

あとがき

— I —
学 生 に よ る
授 業 評 価 の 意 義

I 学生による授業評価の意義

本学で、第一回の「学生による授業評価」が実施されたのは、平成 12 年度であった。初回ということもあって、1 学期、2・3 学期の講義のみを評価対象とするという、限定的なものであった。平成 12 年度の「学生による授業評価実施報告書」の「実施の趣旨・目的」で、学部教育を充実させるためには、「旺盛な知的好奇心をもって主体的に学ぼうとする学生の姿勢」、「学生・教員相互の信頼関係に基づく豊かなコミュニケーション」、「教育・研究のための施設・設備充実と適切な運用」ということが前提となると述べられている。これは、その後の「学生による授業評価」においても調査の目的に関する基本的な考え方として継承されている。平成 13 年度の「学生による授業評価」では、一人の教員が行っている授業の中から任意に選択して実施することになり、量的な拡大をみた。平成 16 年度では、これまで、授業評価の対象を「講義」のみとしていたものを、「演習、実験等」にも広げ、質問項目も授業形態ごとの 3 種類の様式とした。さらに、平成 17 年度では、新たに開設された教育実践コア科目への対応を試験的に行い、平成 18 年度の正式実施の際に、授業形態ごとの合計 8 種類の様式とした。そして、この形は、平成 20 年度まで受け継がれた。こうした改善しながらの継続的な努力により、本学における学部授業改善に一定の役割を果たし、「学生自身の授業への取り組みに対する自省、かつ評価を受ける教員の授業内容・方法に対する自省」を深めてきたといえよう。

しかしながら、授業評価の対象は、依然として、一人の教員が行っている授業の中から任意に選択したものであった。これまで対象となっていなかった授業でも授業評価を行うことによって、これまで明らかとなっていなかったものが見えてくることになるのではないだろうか。

学部授業の改善を旨とした取り組みとしての「学生による授業評価」の新たな段階として、平成 21 年度より、本学の全科目を対象として行うこととなった。しかし、全科目を対象とすることによって新たな課題の発見が期待されるとしても、平成 20 年度までの実施方法のままでは、学生への過重な負担がかかる、結果集計・公表に問題が生ずる、等の指摘がなされた。学部教務委員会で再検討した結果、平成 20 年度の実施方法の一部を変更して実施することとなった。その主な変更点は、次の 4 つである。

①様式の統一

平成 20 年度までの、授業形態ごとに質問項目が異なる 8 種類の様式を、質問項目を精選し、一つの様式に統一した。ただし、教育実践コア科目については、専用の質問項目を設け、関連する授業でのみ回答を求める形とした。なお、平成 21 年度より、実地教育科目のアンケートを別に定め、実地教育委員会主体で行われることになったため、これまで行われていた「ふれあい実習」は、本授業評価の対象としないこととなった。

②教員のコメントの廃止

平成 20 年度まで、各授業の調査結果に対してそれぞれ、教員によるコメントを掲載していた。全科目実施することにより増大する事務処理量と報告書のページ数をできるだけおさえるため、教員のコメントは廃止することとなった。

③ホームページでの公表

平成 20 年度までは、一貫して、冊子体の印刷物により公表してきた。しかし、全科目を対象とすることにより、報告書のページ数がこれまでの約 1.6 倍となり、一つの印刷物とするのは無理がある。代わって、本学ホームページにおいて、PDF 形式で公表する。

④総合評価の表示

平成 20 年度報告書では、各質問項目のポイントが示され、レーダーグラフを用いて、教員の授業の進め方等と学生の授業への取り組みが区別できるようになっていた。平成 21

年度報告書でも、同様に、レーダーグラフを用いたが、新たに、個々の授業の評価を代表するものとしての値を「総合評価」として表示することにした。これは、「学生の授業への取り組み」についての質問項目以外の数値の平均値である。これにより、教員の授業の進め方等についての値が、学生の自主性・主体性を示す値とは明確に区別して示される。教員は、学生からの評価が低いとされた授業の進め方等の問題を把握し、改善を進めるさらなるきっかけとすることができるであろう。

平成 21 年度の授業評価実施要項が全学的に合意をみたのが 6 月であったため、嘱託講師が担当する授業は、契約等の事情から、今回の調査の対象外となった。来年度は、嘱託講師の方々の了解を得て、実施して頂く予定である。

全科目で実施するという、これまでにない規模で行うことになった「学生による授業評価」が、本学が 10 年に渡って続けてきた、学部教育を充実させるため取り組みをいっそう前進させることを願う。

II

学生による授業評価の 結果と考察

Ⅱ 学生による授業評価の結果と考察

1. 調査の方法と種類別回答数

平成 21 年度の授業評価は、学生によるアンケート調査の結果を、本学ホームページにおいて、PDF 形式で公表するという形態を採った。

調査は、教養基礎科目・教育実践コア科目・教職共通科目・専修専門科目の授業科目について、各教員が原則として前期、後期の全てで実施することとした。アンケート用紙は、平成 20 年度では、各授業科目の授業形態や授業内容に応じて、「主として講義用」、「主として演習用」、「主として実験・実習・実技用」、「教育実践コア科目用」等の合計 8 種類の様式の中から選択し用いたのに対して、平成 21 年度は、全科目で実施するという、量的拡大に備えて、一つの様式に統一した。質問項目は、全ての授業科目に共通する 20 項目と、教育実践コア科目のみに関連する 6 項目を用意した。従来通り、教員が授業科目の内容や性質に合わせて、質問項目を削除したり、教員が自由に設定できる。実地教育関連科目（「ふれあい実習」を含む）は、実地教育専門部会で別途にアンケート調査を行うこととなったため、本授業評価の対象外とした。

質問紙の大枠は次の通りである。以下の大項目の下に質問項目が設けられた。

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 授業概要について | (質問項目：2) |
| 2. 授業の内容等について | (質問項目：4) |
| 3. あなたの授業への取り組みについて | (質問項目：6) |
| 4. 教員の授業の進め方について | (質問項目：7) |
| 5. 教育実践コア科目について（コア科目のみ回答） | (質問項目：6) |
| 6. 授業に対する満足度 | (質問項目：1) |
| 7. あなたからの提言 | (自由記述項目：2) |
| 8. 先の 1 から 6 までの項目以外で設定する項目 | (教員が自由に追加できる) |

質問紙は、自由記述項目以外は各質問項目に「5. そう思う」「4. ややそう思う」「3. どちらとも言えない」「2. あまりそう思わない」「1. そう思わない」の 5 件法で答える形式になっている。有効回答数は次の通りである。平成 20 年度まで行っていた、講義、演習、実験・実習・実技という授業形態による分類は行わない。

平成 20 年度報告書では、有効回答数及び実施授業科目数を示す表に、集計結果に含まれない数が、内数として示されている。その理由は、様式の違うアンケート用紙を使ったため、ということが殆どであった。このような間違いが起こる要因を減らす、ということも、様式を統一することの目的の一つでもあった。平成 21 年度は、集計できなかった例（理由：平成 20 年度の様式をそのまま使ってしまった）を 4 件（授業数）のみにおさえることができた。従って、下の表では、図 1, 2, 3, 4 の集計結果に含まれるデータ数のみを示した。

学生による授業評価の種類別有効回答数

	合 計
教 養 基 礎 科 目	626
教 育 実 践 コ ア 科 目	416
教 職 共 通 科 目	2,874
専 修 専 門 科 目	2,979
合 計	6,895

学生による授業評価の種類別実施授業科目数

	合 計
教 養 基 礎 科 目	15
教 育 実 践 コ ア 科 目	41
教 職 共 通 科 目	60
専 修 専 門 科 目	189
合 計	305

2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴

平成 21 年度に実施された教養基礎科目に対する授業評価は、昨年度より 5 科目多い 15 科目である。また、今年度から質問項目の「3 あなたの授業への取り組みについて」は、受講者の取り組みに対する評価であるため授業評価の総合評価から外して集計することになった。

授業評価の結果については、図 1 に示している。この図では、全 20 の質問項目を「1 授業概要について」、「2 授業の内容等について」、「3 あなたの授業への取り組みについて」、「4 教員の授業の進め方について」、「5 授業に対する学生の満足度」の 5 つの大項目に区分した。各質問は 1～5 の 5 段階評価に分類して回答を求め、その実数と帯グラフで表示している。これらの図と大項目ごとの平均値や質問項目ごとの平均値をもとに以下に調査結果の概要を述べる。

教養基礎科目の授業に対する評価の総合平均値は 4.2 であった。「1 授業概要について」の 2 つの質問項目の平均値は 4.2、「2 授業の内容等について」の 4 つの質問項目の平均値は 4.2 であった。一方、「3 あなたの授業への取り組み」についての 6 つの質問項目の平均値は 3.9 であり、前項目の質問項目と比較すると低かった。中でも「授業内容をよく理解するために予習や復習をした」、「分からないことや疑問に思ったことは調べた」、「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った」の 3 項目については、それぞれ 3.6、3.6、3.7 と評価が低かった。「4 教員の授業の進め方について」の 7 つの質問項目の平均値は 4.2、「5 授業に対する満足度」は 4.2 であった。

2) 評価結果の特徴

教養基礎科目の受講者数は一授業科目につき平均 42 人であり、教職共通科目の受講者数では平均 48 人であった。一方、教育実践コア科目は 10 人、専修専門科目は 16 人であり、教養基礎科目や教職共通科目と比較して受講者数が少なかった。授業科目別による総合評価を比較すると教養基礎科目と教職共通科目は 4.2、4.1 であったが、教育実践コア科目と専修専門科目ではそれぞれ 4.4 と 4.3 であり、受講者数が多い科目では総合評価が低下する傾向にあった。質問項目についてみると、「3 あなたの授業への取り組み」についての評価が最も低く、これは教養基礎科目に限ったことではなく他の授業科目でも同様の傾向が見られた。このような結果は平成 21 年度に限らず前年度も同様であり、受講者が授業を受動的に受けており、自主的、積極的な態度が少ないように思われる。これを改善するためには教養基礎科目の授業において、教授側が次回の講義までに課題を出したり、各自にその課題を発表させるなどの工夫が必要であるように思われた。

3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴

1) 評価結果の概要

総合評価は 4.4 であり、全 26 項目中 2 項目を除いて、平均値が 4 ポイント以上の高い評価を得た。平均値が 4 ポイントを下回った項目は 2 項目で、「授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした」平均値 3.8 と「わからないことや疑問に思ったことは調べた」平均値 3.7 であった。全 26 項目中、平均値が最も高いのは平均値 4.6 で、「授業内容は、教養や専門性を高めるものだった」と「授業によく出席した」であった。次いで高い平均値は、4.5 で、「授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものであった」「教員の声は、聞き取りやすかった」「教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった」「この授業は、自分自身にとって満足できるものであった」であった。

質問項目第 5 の「教育実践コア科目について」の結果においても、6 つの小項目すべてが 4 ポイント以上であった。平均値は高いものの、質問項目の第 1 から第 6 までの結果のうち第 5 「教育実践コア科目について」に無回答 (N.A.) の数がどの小項目も高く、第 5 の項目を除く他の項目中、無回答数が他の小項目とかけ離れて多いのは、第 4 の項目の中の「教育用機器や設備などの教具の利用は、適切だった」であった。

2) 評価結果の特徴

総合評価は 4.4 であり、「授業に対する満足度」の高さに示されるように、教員の授業への取り組みに関する態度も含め、内容や進め方等、授業全般において高い評価を得ている。反面、昨年に比べてポイント数は上がっているものの、他の小項目に比して、授業に対する準備や復習、授業内容についての話し合いなどの学習に対する態度・心構えに関する小項目の平均値は低い。これらの項目は、質問項目第 3 「あなたの授業への取り組みについて」に属している小項目であり、学生が、自らの授業への取り組みにやや不十分さを感じているところが見られる。この傾向は他の授業にもみられるものである。「授業によく出席した」は高く、根本的な改善策として、予習や復習が必要な授業内容の検討、予習復習の仕方の指導や課題の明確化、課題の与え方などを探っていく必要がある。

教育実践コア科目独自の 6 つの小項目全てにおいて、評価点が 4 未満の項目は無かった。学部カリキュラムの根幹をなすコア科目であり、授業評価において高い評点を得ていることは、昨年同様にこの科目に課された大きな役割を果たしていると言えよう。ただし、無回答がコア科目独自の結果に多いことから、今後、十分こたえられるように授業内容と質問内容の関連性等における質問内容の吟味の必要性があると思われる。

4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴

1) 評価結果の概要

教職共通科目の評価結果については、図3に示してある。

学生の評点の高い項目（4ポイント以上）は、「目標・授業計画・内容は、明確に示されていた」（4.2）、「成績評価の方法は、明確に示されていた」（4.2）、「授業内容は、授業概要に沿っていた」（4.2）、「授業内容は、教養や専門性を高めるものだった」（4.2）、「授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった」（4.2）、「授業内容は、興味・関心を引くものだった」（4.0）、「授業によく出席した」（4.5）、「教員の説明をよく聞いた」（4.0）、「熱心に指導した」（4.2）、「授業の内容を分かりやすく説明した」（4.0）、「教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった」（4.1）、「教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった」（4.1）、「教員の声は、聞き取りやすかった」（4.1）、「授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった」（4.1）、「この授業は、自分自身にとって満足できるものであった」（4.0）の15項目であり、全20項目の75%であった。一方、評点の低い項目（3ポイント以下）は、「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした」（3.5）、「授業中に積極的に取り組んだ」（3.9）、「分からないことや疑問に思ったことは調べた」（3.4）、「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った」（3.6）の5項目であった。

2) 評価結果の特徴

授業概要についての項目（4.2）と授業の内容等の項目（4.0～4.2）では概して評価が高く、「授業によく出席した」（4.5）、「教員の説明をよく聞いた」（4.0）と答えている。一方、学生の授業への取り組みについての項目のうち、「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした」（3.5）、「授業中に積極的に取り組んだ」（3.9）、「分からないことや疑問に思ったことは調べた」（3.4）、「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った」（3.6）の4項目に対する評点が低い。

これらの結果から、授業概要や授業内容等については適切だとし、授業にはよく出席し、教員の説明をよく聞けるが、学習への積極的な取り組みや努力には欠けるといって、平成20年度と同様の学生像がうかがえる。

平成20年度、教職共通科目について調査を行った科目数は45で、平成21年度は60であり、有効回答数は、平成20年度は2,342、平成21年度は2,874であった。平成20年度に比べて、科目数は1.5倍、有効回答数は、1.2倍に増加した。調査対象の授業数、有効回答数の増加と、講義形式と演習形式の授業の評点を別けて示すことができないため、平成21年度との単純な比較はできないが、平成20年度の調査報告書で、講義形式と演習形式の授業で評点の開きが大きかったとされている次の項目についてみる。「授業内容は、興味・関心を引くものだった」は、平成20年度は、講義3.9、演習4.4であったが、平成21年度の授業形式による分類をしないデータでは、4.0となった。「学生の理解状況を確認しながら授業を行った」は、平成20年度は、講義3.6、演習4.1であったが、3.8となった。「授業内容を分かりやすく説明した」は、平成20年度は、講義3.9、演習4.3であったが、平成21年度は、4.0となった。「教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった」は、平成20年度は、講義3.9、演習4.3であったが、平成21年度は、4.1となった。これらは、いずれも平成20年度のほぼ中間的な値である。このように平成21年度の結果は、全体的に、講義形式と演習形式の授業の評点が平均化された値となって表れているといえよう。従って、これらの項目に関する状況は、平成20年

度にみられたような、講義形式と演習形式の授業で評点の開きをもったままであるとも推察される。個々の授業のデータのページを参照のうえ、授業形式・内容に応じた改善の方策を見いだす必要があるだろう。

学生の授業への取り組みについての項目のいくつかは、改善されたとみることができる。そのうち、「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした」は、平成20年度の講義形式や演習形式の授業の評点よりも、平成21年度の方が少し高くなっている。平成20年度「授業中に積極的に発言や質問をした」(2.8)から質問を変更した「授業中に積極的に取り組んだ」(3.9)は、大きく改善されている。平成20年度の講義形式の授業に対する「授業中に積極的に発言や質問をした」という質問よりも、学生の授業における活動をより幅広く尋ねた「授業中に積極的に取り組んだ」という、比較的回答しやすい質問に変更したことと関係があるのではないだろうか。このように、質問を変更したものについては、今後の調査の動向を見つめる必要があると思われる。

5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴

1) 評価結果の概要

専修専門科目の総合評価の平均は4.3で、さらに「授業に対する満足度」の評価の平均も4.3で、概して良好な評価を受けているといっても良いと思われる。個別の評価項目で4.5以上の高評価を得ている項目は、「授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。」(4.5)「授業によく出席した。」(4.6)であった。一方、3点台と比較的評価の低い項目は、「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした。」(3.8)「分からないことや、疑問に思ったことは調べた。」(3.7)「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。」(3.9)であった。

2) 評価結果の特徴

教員の授業への取り組みに関わる「授業概要について」、「授業の内容等について」、「教員の授業の進め方について」のすべての下位評価項目の評価は4点以上であったのに対し、「あなたの授業への取り組みについて」の学生の授業への取り組みに関する項目に上記の評価の低い項目が集まっている。このことをどう分析すれば良いのであろうか。単純に、教員は、概ね好評価を得ているので特段の改善の必要はないが、学生は、授業への取り組みに対する更なる努力を要するという分析で終えることもできると思われるが、更なる分析を試みる。

「あなたの授業への取り組みについて」の学生の授業への取り組みに関する項目に評価の低い下位項目が集中していると述べたが、すべての下位項目の評価が低い訳ではない。「授業によく出席した。」は4.6、「授業中に積極的に取り組んだ。」は4.2、「教員の説明を良く聞いた。」は4.3と評価の比較的高い項目もある。ここで、「あなたの授業への取り組みについて」の学生の授業への取り組みに関する項目で評価の高い下位項目と低い下位項目の種類の違いに注目する。評価の高い項目は、「授業によく出席した。」、「授業中に積極的に取り組んだ。」、「教員の説明を良く聞いた。」で、すべて授業に参加し授業内でできる事柄であるのに対し、評価の低い項目、つまり「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした。」(3.8)「分からないことや、疑問に思ったことは調べた。」(3.7)「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。」(3.9)は、すべて授業外で行う活動・事柄である。

このことから、(少し前の大学生と違って)授業によく出席し、教員の説明を良く聞き、授業に積極的に取り組むが、授業外での予習や復習などの授業に関する自主的勉強はあまり行わないという学生像が浮かび上がってくる。学生の授業外での学習活動の少なさの状況は、授業評価のたびごとに指摘されているが改善していない問題である。様々な原因が考えられると思う。例えば、本学の特徴として、多種類の教員免許取得のため受講科目数が多いこと、教育実習の時間数が多いことに加え、クラブ活動・アルバイトで忙しいなどが考えられる。ここで、これらの要因のほかに、これまであまり指摘されてこなかった要因の可能性を提案する。それは、授業外での学習の少なさは、教員にも責任があるのではないかということである。授業外での学習を促すためには、教員が適切な内容と量の宿題を定期的に学生に課し、提出された宿題の解答に対し採点、添削、コメントなどの適切なフィードバックを行うことが現実的には必要である。しかし、定期的に学生に宿題を課し、しっかりしたフィードバックを行うことは、特に受講生が多い場合は、教員にとってかなりの負担になりうる。従って、教育的に価値があることは十分に承知しているが、負担を考えると二の足を踏んでしまうということがあるのではないかと考えられる。そこで、TAに関して提案をしたいと思う。現在、本学では、TAの採用は演習科目だけに認められ、しかも、授業時間内だけの授業補助に活動が制限されているが、ア

アメリカの大学の場合のように、どのような形態の授業にも TA を当てがい、授業外での宿題の採点などにも従事できるようにするというのはどうであろうか。そうすれば、教員も宿題を出し易くなり、学生の授業外での学習の促進につながると思われるが、いかがであろうか。

そう思う
 ややそう思う
 どちらとも言えない
 あまりそう思わない
 そう思わない

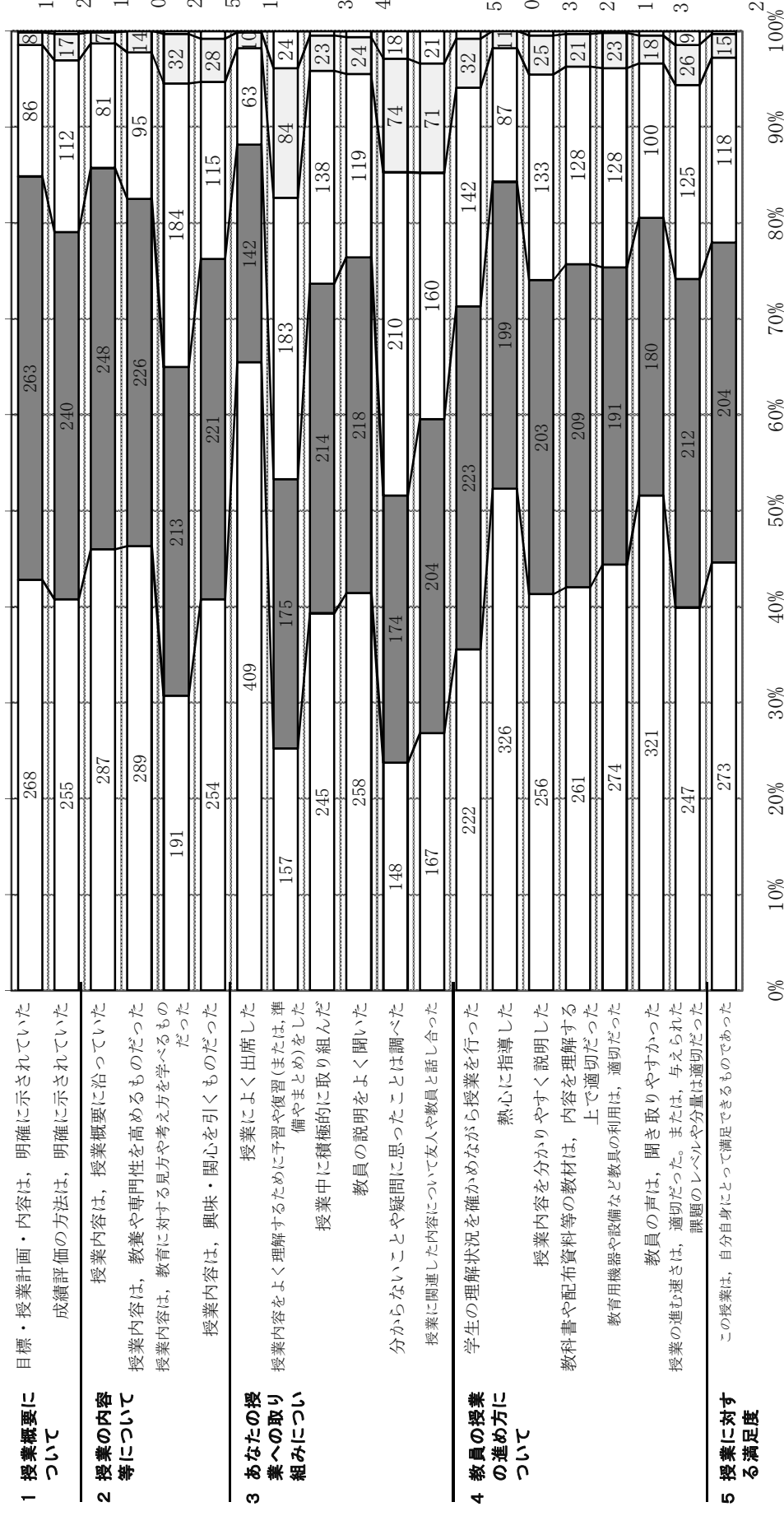


図1 教養基礎科目に対する評価結果

そう思う
 ややそう思う
 どちらとも言えない
 あまりそう思わない
 そう思わない

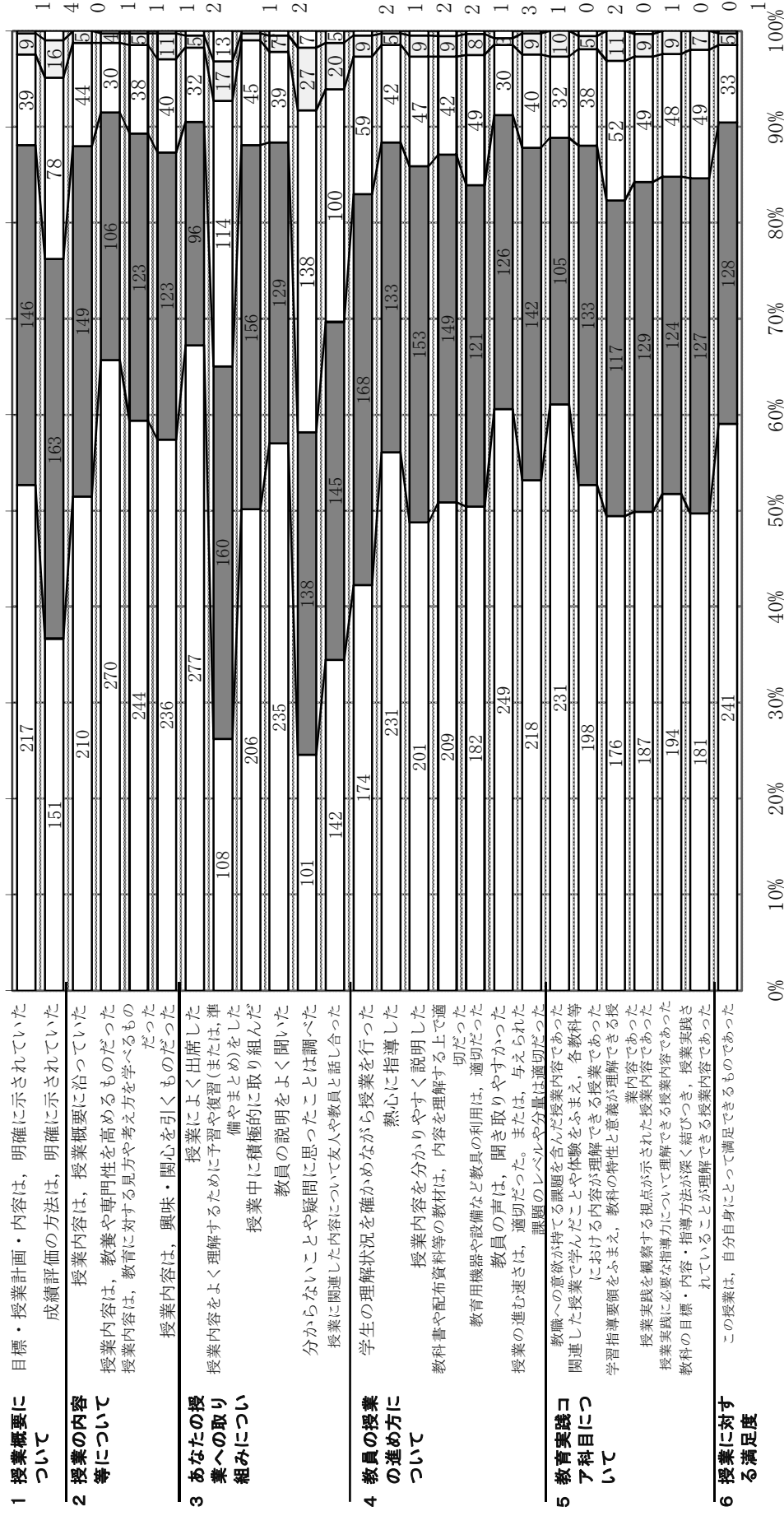


図2 教育実践コア科目に対する評価結果

そう思う
 ややそう思う
 どちらとも言えない
 あまりそう思わない
 そう思わない

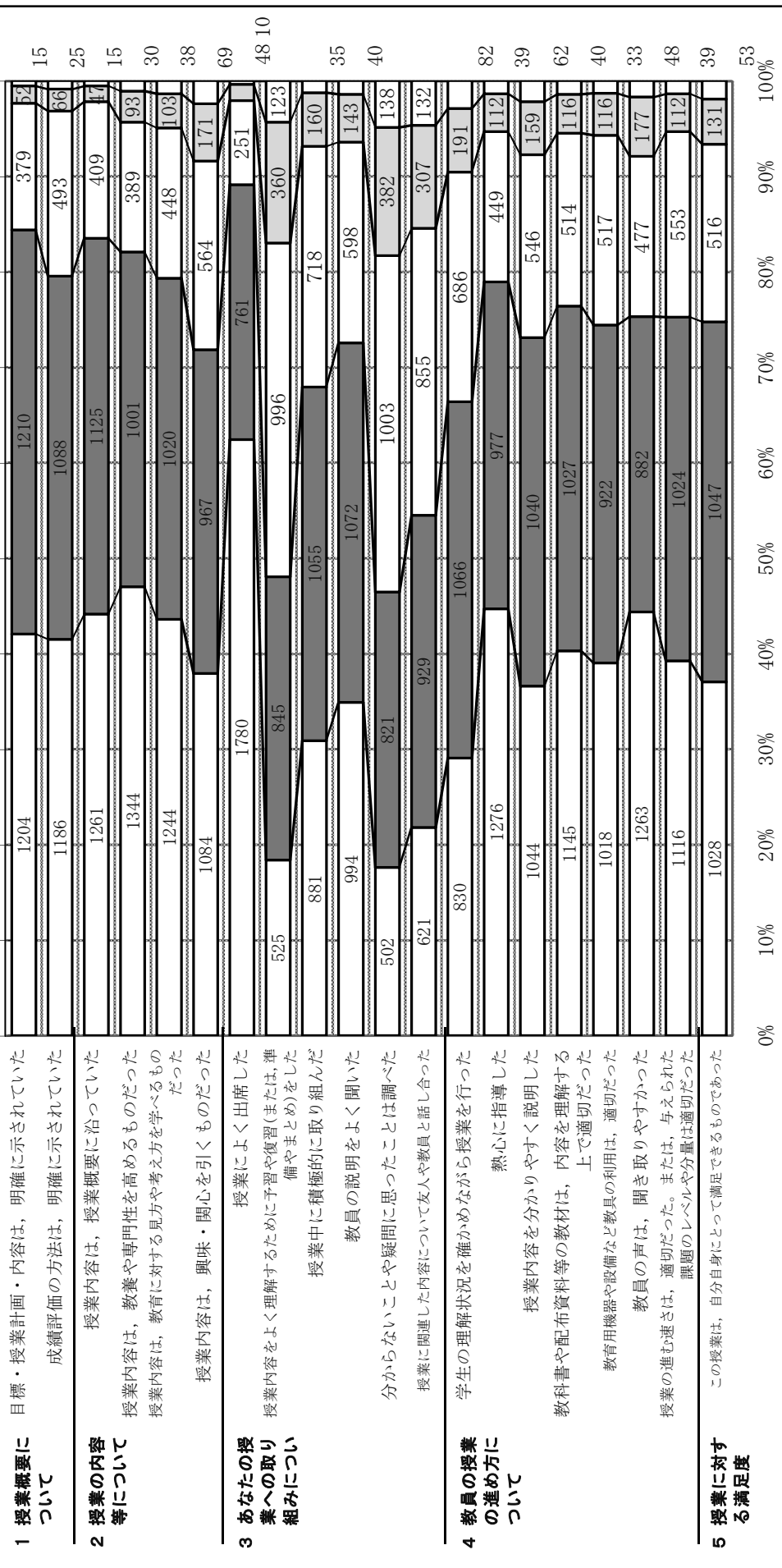


図3 教職共通科目に対する評価結果

そう思う
 ややそう思う
 どちらとも言えない
 あまりそう思わない
 そう思わない

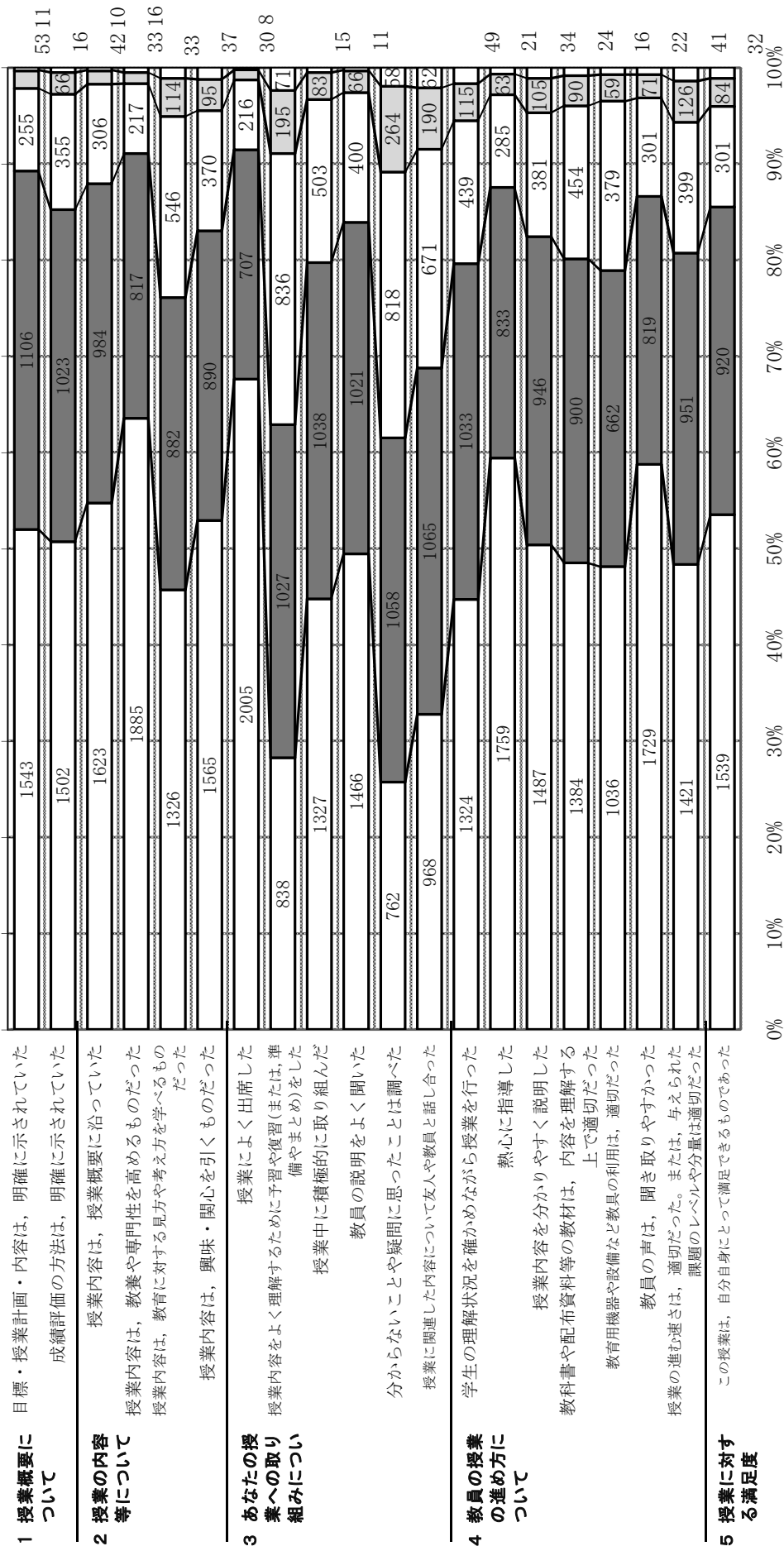


図4 専修専門科目に対する評価結果

様式（共通）

平成21年度授業評価アンケート

評価実施日 年 月 日

前期・後期 曜日 時限

授業科目名 情報科教育論Ⅱ

授業区分 1. 教養基礎科目 2. 教育実践コア科目 3. 教職共通科目 4. 専修専門科目

担当教員名 受講者数 名

このアンケート調査は、今後の授業の改善に役立てることを目的として行うものです。
 以下の各項目について、次の5段階で回答し、その該当する番号をマークしてください。
 アンケート回収後にコンピュータ処理を行いますので、下記の「マークのしかた（良い例）」のとおりマーク
 してください。なお、このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回
 答してください。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない



1 授業概要について

- (1) 目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (2) 成績評価の方法は、明確に示されていた。 ⑤ ④ ③ ② ①

2 授業の内容等について

- (3) 授業内容は、授業概要に沿っていた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (4) 授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (5) 授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (6) 授業内容は、興味・関心を引くものだった。 ⑤ ④ ③ ② ①

3 あなたの授業への取り組みについて

- (7) 授業によく出席した。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (8) 授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (9) 授業中に積極的に取り組んだ。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (10) 教員の説明をよく聞いた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (11) 分からないことや疑問に思ったことは調べた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (12) 授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。 ⑤ ④ ③ ② ①

4 教員の授業の進め方について

- (13) 学生の理解状況を確認しながら授業を行った。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (14) 熱心に指導した。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (15) 授業内容を分かりやすく説明した。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (16) 教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (17) 教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (18) 教員の声は、聞き取りやすかった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (19) 授業の進む速さは、適切だった。 ⑤ ④ ③ ② ①

または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。

5 教育実践コア科目について（コア科目以外の場合は(26)へ）

- (20) 教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (21) 関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における
内容が理解できる授業であった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (22) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (23) 授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (24) 授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (25) 教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが
理解できる授業内容であった。 ⑤ ④ ③ ② ①

6 授業に対する満足度

- (26) この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。 ⑤ ④ ③ ② ①

7 あなたからの提言

(27) この授業でよかったことを書いてください。

(28) この授業で改善したほうがよいと思うことを書いてください。

8 先の(1)から(28)の項目以外で、本授業で設定する項目

- | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| (1) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (2) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

【ご協力ありがとうございました。】

注

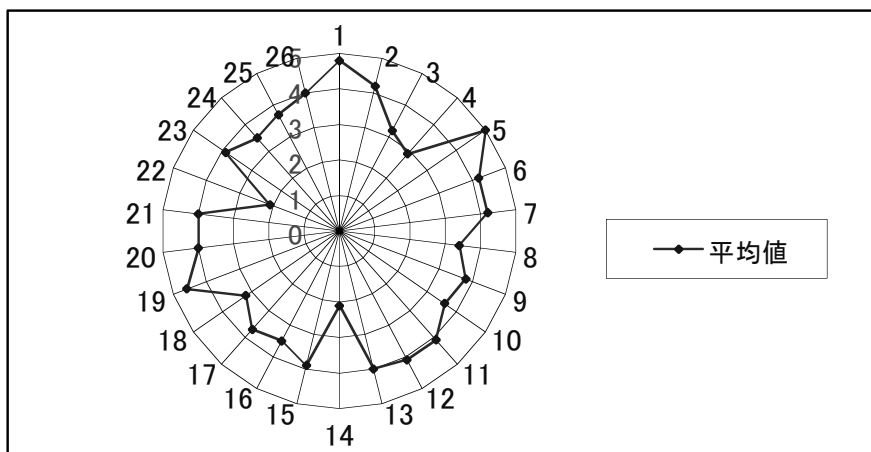
この頁は、8の項目を増減しても結構です。先生方の独自の授業評価アンケートに加工することが可能な頁です。ただし、7の(27) (28)の項目に相当する提言は必ず学生に書かせてください。

授業科目名
評価実施日
担当教員名

〇〇〇〇教育論
平成 年 月 日
〇〇 〇〇

回答者数 〇〇名

質問項目		評価選択人数						平均値 (科目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。							4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。							4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。							3.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。							2.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。							5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。							4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。							4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。							3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。							3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。							3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。							4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。							4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。							4.0
	(14)熱心に指導した。							2.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。							3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。							3.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。							3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。							3.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。							4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							4.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							4.0
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							2.1
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							3.9
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							3.5
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							3.7
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。							4.0



総合評価 3.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

III

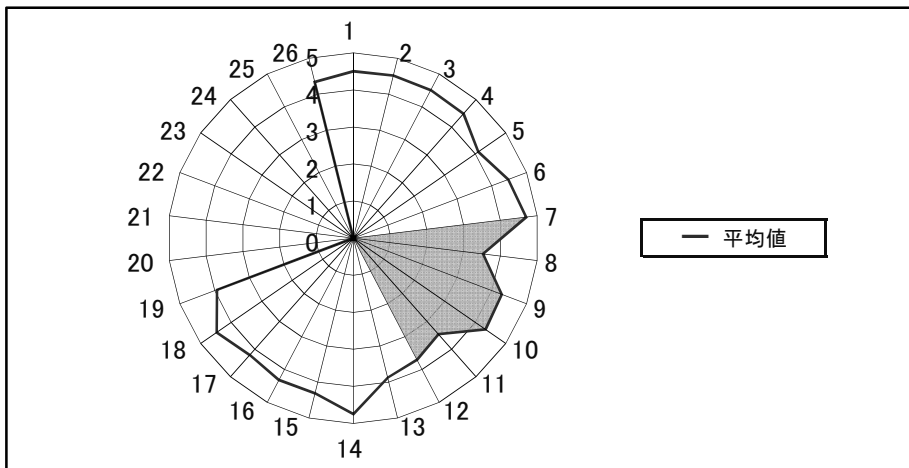
学部授業評価の 結果報告書

教 養 基 礎 科 目

授業科目名 日本国憲法
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 123 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

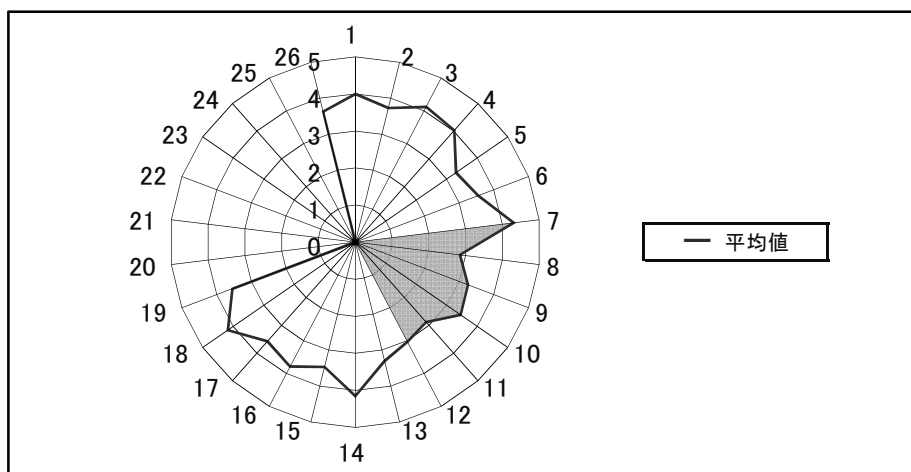


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 科学と環境
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 武田 清, 工藤 慎一, 近森 憲助

回答者数 33 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						2.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						2.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.3
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.5
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.6

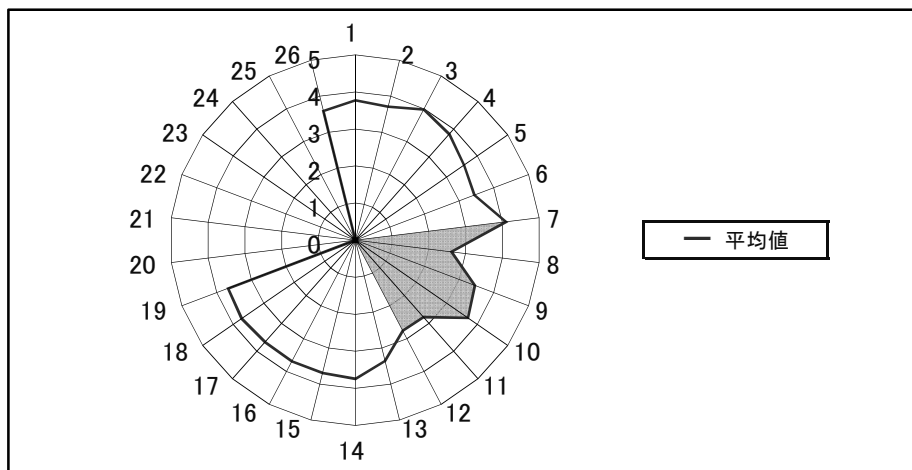


総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 市民社会と公共性
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 青葉 暢子, 高原, 浜崎, 山本, 小西 (正)

回答者数 62 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	14	24	20	4	0	0	3.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	13	24	20	4	1	0	3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	18	26	17	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	14	27	17	4	0	0	3.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	23	21	8	0	0	3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	31	19	8	1	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	24	22	14	2	0	0	4.1
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	7	23	25	5	0	2.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	23	29	5	0	0	3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	13	21	24	4	0	0	3.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	8	28	18	5	0	2.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	8	23	23	4	0	2.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	20	27	8	1	0	3.4
	(14)熱心に指導した。	13	24	21	4	0	0	3.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	29	20	4	0	0	3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	12	23	23	4	0	0	3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	11	23	23	4	0	1	3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	14	22	21	5	0	0	3.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	10	23	26	2	0	1	3.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	9	19	32	1	0	1	3.6



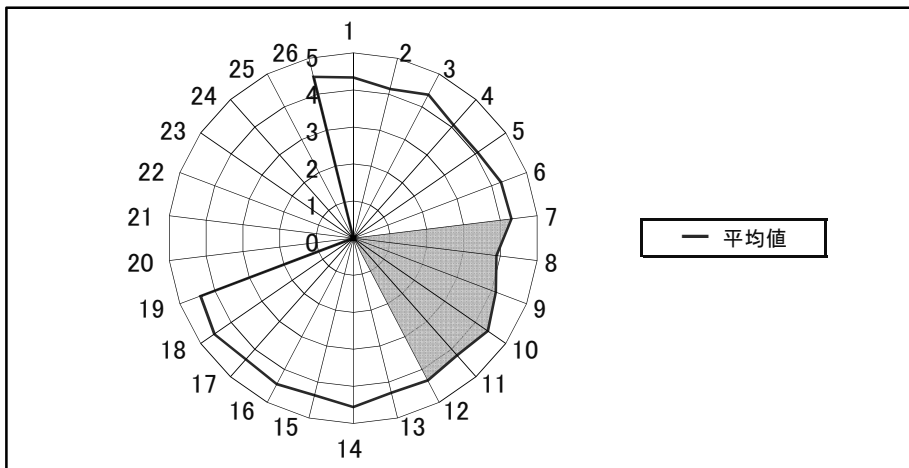
総合評価	3.7
------	-----

授業科目名
評価実施日
担当教員名

地域社会研究
平成 22 年 02 月 15 日
梶井 一暁, 伴, 皆川, 大石, 山本, 立岡, 町田, 山森, 草下, 松岡(貴), 内藤

回答者数 27 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

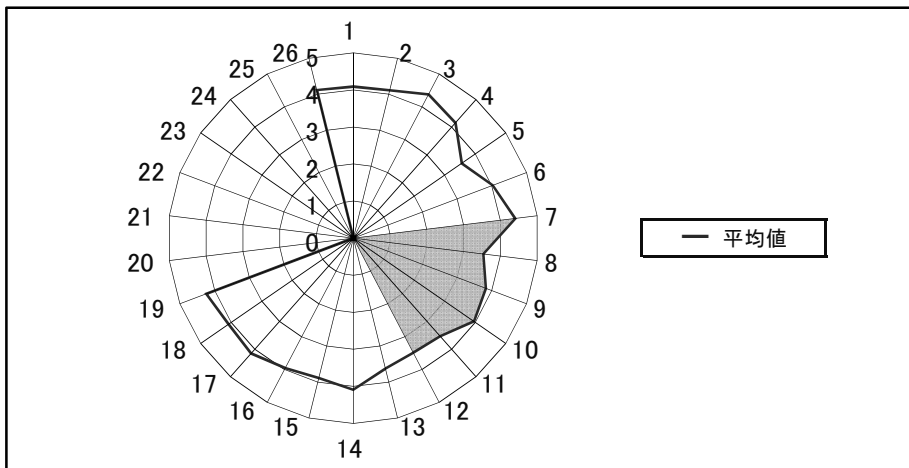


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 西洋の文化研究
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 小川 勝, ブラッドリーバーマン, 木村 正邦

回答者数 45 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.6
	(14)熱心に指導した。						4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

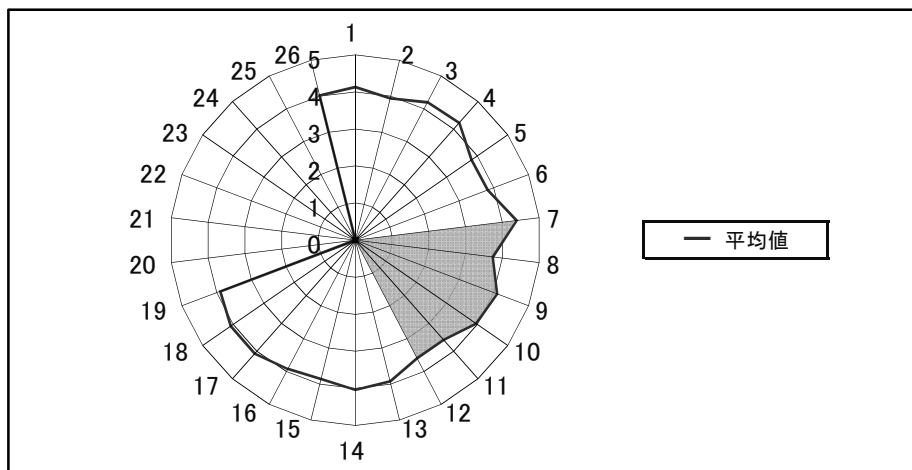


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 基礎情報教育C
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 林 秀彦, 藤村 裕一, 曾根 直人

回答者数 106 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	38	48	17	2	1	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	31	43	27	5	0	0	3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	42	45	15	3	0	1	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	42	45	18	0	0	1	4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	20	46	38	1	0	1	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	23	48	27	6	1	1	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	64	24	13	5	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	28	34	33	10	1	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	42	36	24	4	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	31	45	25	5	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	23	32	38	11	2	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	20	43	26	14	3	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	32	41	27	5	1	0	3.9
	(14)熱心に指導した。	38	38	26	4	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	32	36	30	7	1	0	3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	37	34	26	8	1	0	3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	45	33	21	7	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	47	30	21	7	1	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	34	37	24	9	1	1	3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	34	40	28	2	0	2	4.0

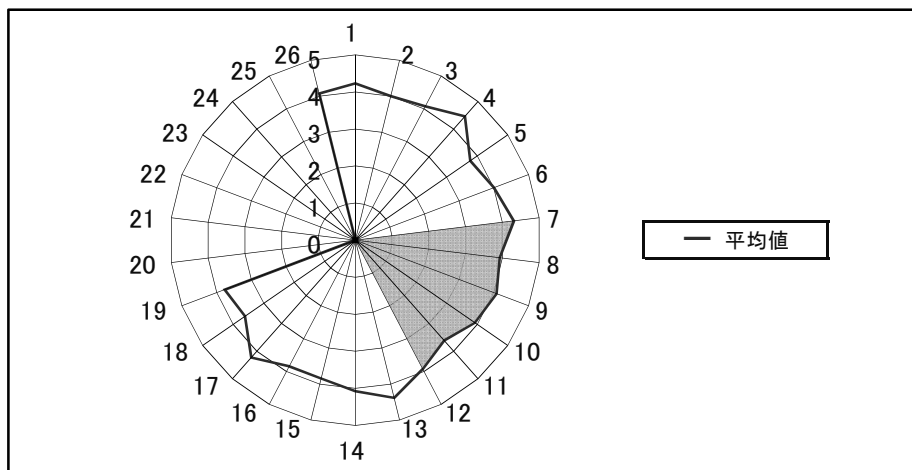


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 実践情報教育 I A
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 林 秀彦

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

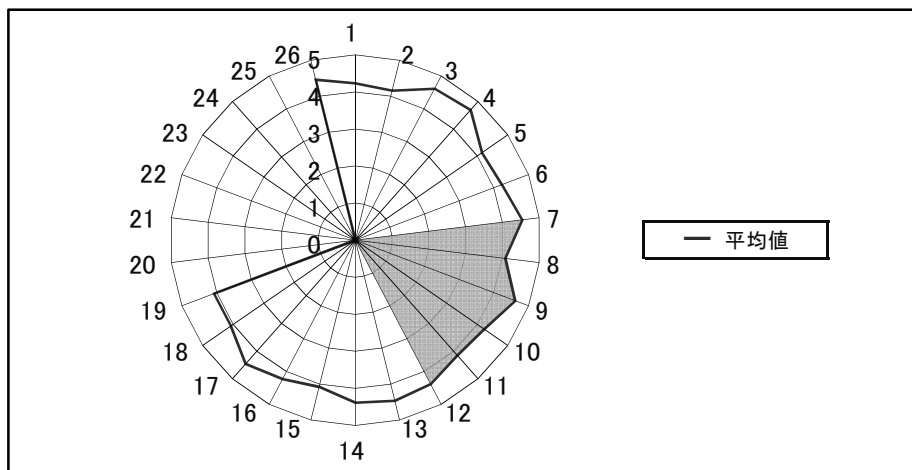


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 実践情報教育 I B
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 林 秀彦

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	8	1	0	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	5	3	0	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	5	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	7	2	0	0	0	4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	6	2	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	2	2	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	5	5	2	1	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	8	5	0	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	5	1	1	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	6	3	4	0	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	7	4	2	0	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	4	4	0	0	0	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	6	2	0	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	4	1	2	0	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	5	2	1	0	0	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	4	0	1	0	0	4.5

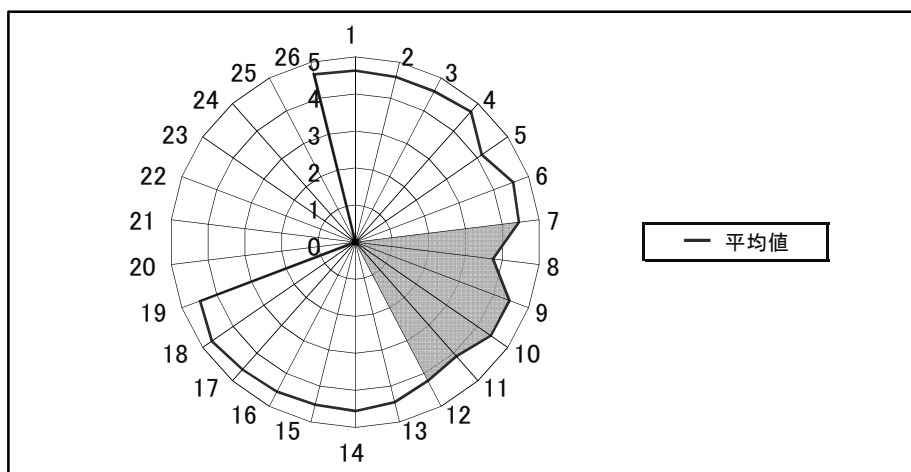


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 実践情報教育ⅡA
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 27 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	18	8	1	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	17	9	1	0	0	0	4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	18	7	2	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	20	6	1	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	12	7	8	0	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	17	8	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	16	7	4	0	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	11	4	8	2	2	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	15	9	3	0	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	18	5	3	0	1	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	12	8	5	2	0	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	12	10	4	1	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	13	13	1	0	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	16	10	1	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	18	6	2	1	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	17	8	2	0	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	19	5	3	0	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	19	8	0	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	16	8	3	0	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	18	9	0	0	0	0	4.7

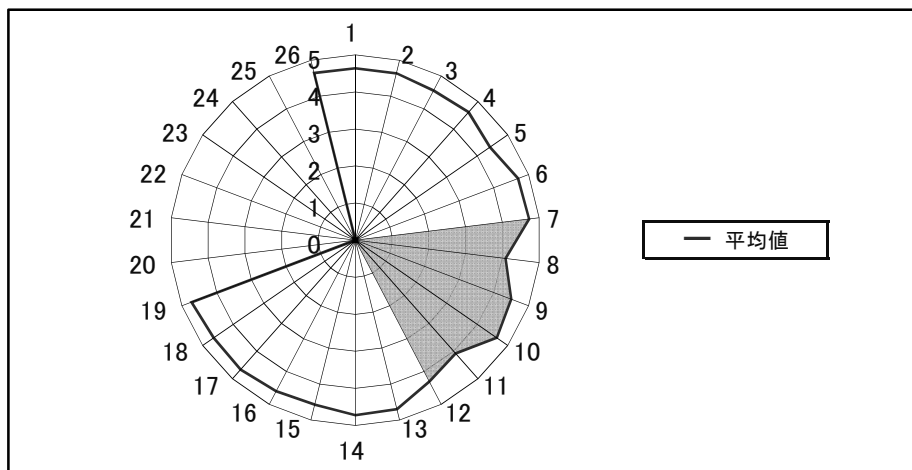


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 実践情報教育ⅡB
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 36 名

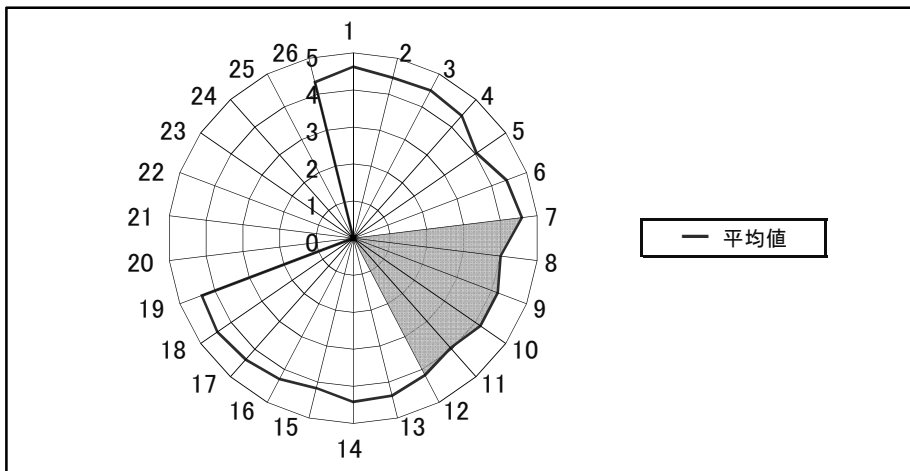
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	23	13	0	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	24	11	1	0	0	0	4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	22	12	2	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	24	10	2	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	19	13	4	0	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	25	11	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	27	8	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	17	8	8	3	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	21	12	3	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	25	9	2	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	13	14	8	1	0	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	16	15	5	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	25	11	0	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	26	10	0	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	21	13	1	0	0	1	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	22	12	1	0	0	1	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	26	8	2	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	24	11	1	0	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	26	10	0	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	25	6	3	0	0	2	4.6



総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 実践情報教育Ⅲ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 松島 正矩, 内藤 隆, 山田 芳明, 山根 秀憲
 回答者数 24 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

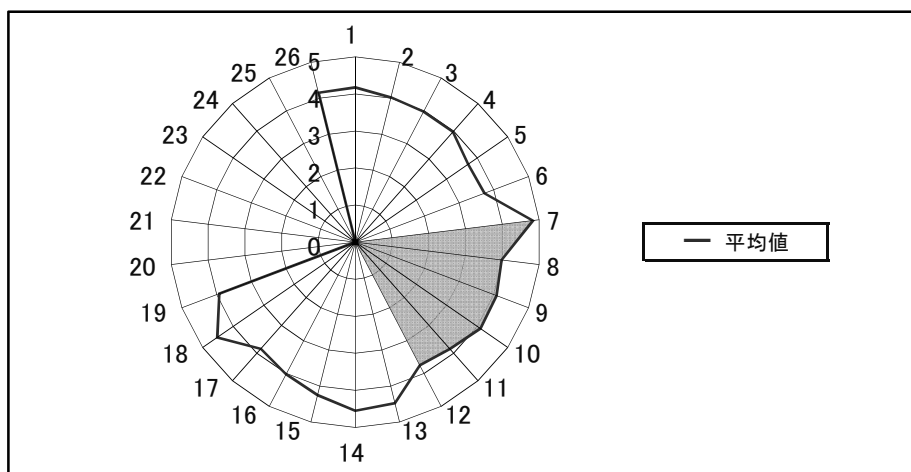


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 英語リーディングⅠB
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 40 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	14	19	7	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	12	18	9	1	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	12	18	8	1	1	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	13	15	10	2	0	4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	12	14	4	0	3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	11	13	11	4	1	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	33	7	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	16	13	6	4	1	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	16	14	8	1	1	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	20	10	5	4	1	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	12	14	10	4	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	11	12	14	2	1	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	21	17	2	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	23	16	1	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	21	9	9	1	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	13	15	12	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	11	13	13	2	0	3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	27	7	6	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	12	17	9	0	2	3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	17	12	9	1	0	4.2

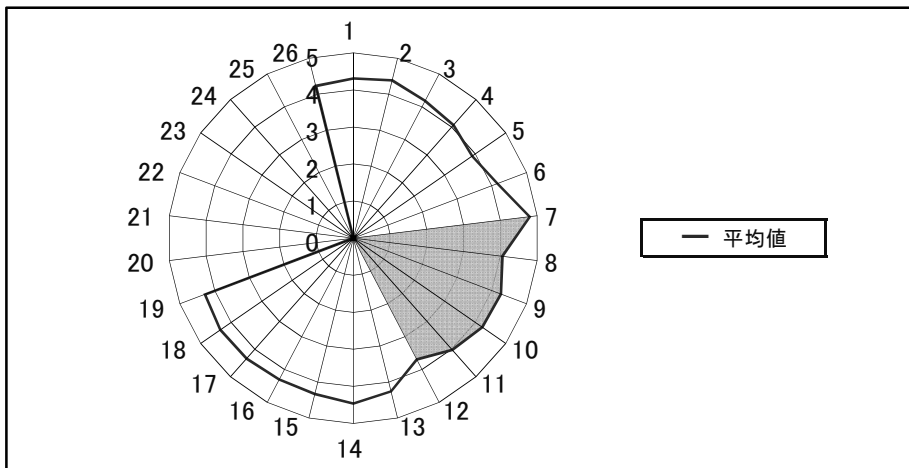


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 英語リーディングⅡ
 評価実施日 平成 22 年 03 月 05 日
 担当教員名 伊東 治己

回答者数 39 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	16	19	4	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	18	18	3	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	12	22	5	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	12	19	7	1	0	0	4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	9	18	11	1	0	0	3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	13	20	5	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	31	8	0	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	17	13	5	2	2	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	16	18	4	1	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	18	13	7	1	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	15	13	8	3	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	9	16	9	3	2	0	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	15	19	5	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	22	13	4	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	20	13	5	1	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	18	15	6	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	18	16	3	1	0	1	4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	19	15	5	0	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	17	17	4	1	0	0	4.3
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	12	24	3	0	0	0	4.2

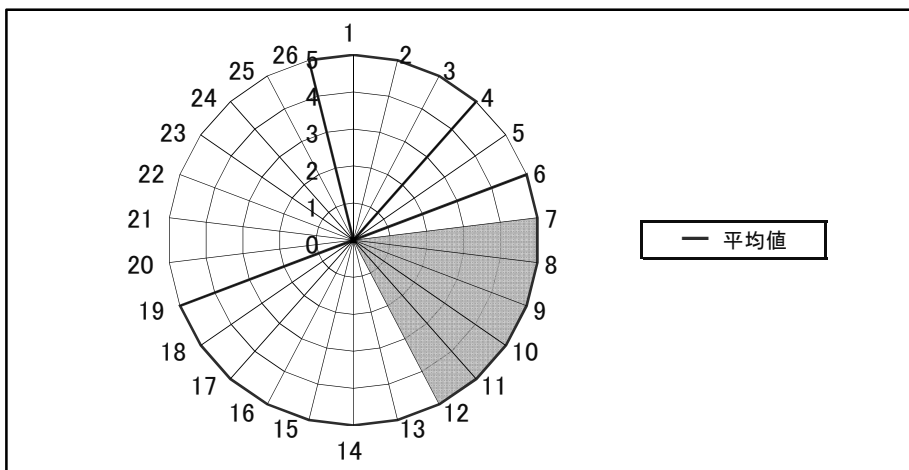


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 英語リーディングⅢ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 2 名

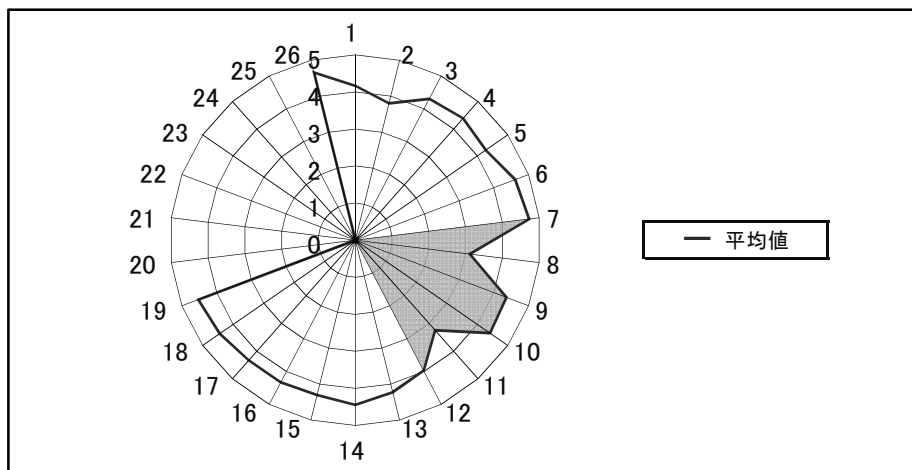
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	0	0	0	0	2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	0	0	0	0	5.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	2	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0



総合評価	5.0
------	-----

授業科目名 表現コミュニケーション基礎演習
 評価実施日 平成 22 年 02 月 12 日
 担当教員名 吉井 健治, 今田 雄三, 葛西 真記子, 栗飯原 良造, 中津 郁子 回答者数 36 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

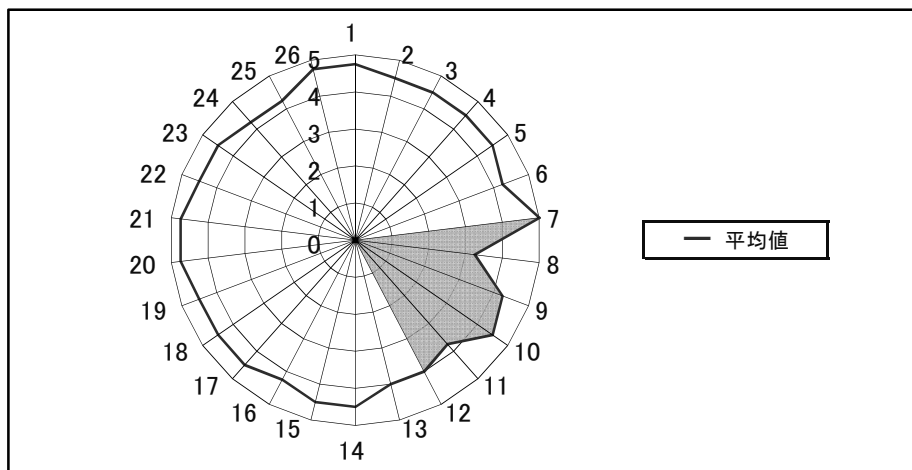


総合評価	4.3
------	-----

教育実践コア科目

授業科目名 幼児教育実践基礎演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 田村 隆宏, 橋川 喜美代, 浜崎 隆司, 塩路 晶子, 木村 直子, 阪根 健二 回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	2	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	2	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	2	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	2	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	3	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	1	3	0	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	1	1	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	2	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	3	1	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	2	1	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	2	1	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	2	2	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	2	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	3	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	2	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	2	0	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	3	1	0	0	0	4.8
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	2	2	0	0	0	4.5
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	2	2	0	0	0	4.5
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	2	1	1	0	0	4.3
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	2	1	1	0	0	4.3
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	1	0	0	0	4.8

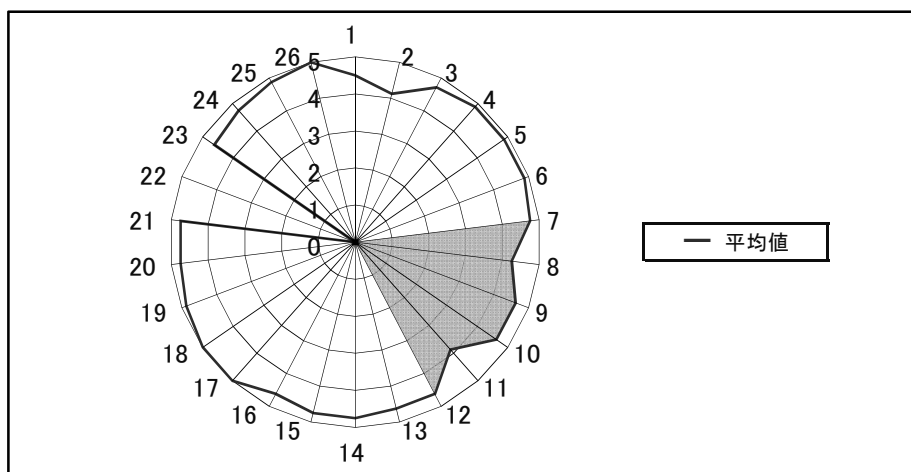


総合評価 4.5

授業科目名 学校教育実践Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 24 日
 担当教員名 川上 綾子, 佐古 秀一

回答者数 8 名

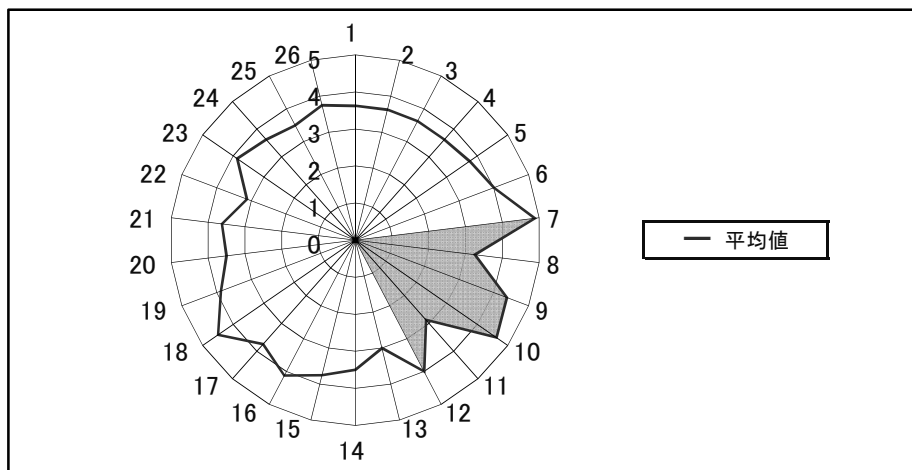
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.8
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.8
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						8
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.6
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.8
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.9
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						5.0



総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (学校教育)
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 井上 和臣, 今田, 栗飯原, 梶井, 伴, 山崎(勝), 阪根 回答者数 8名

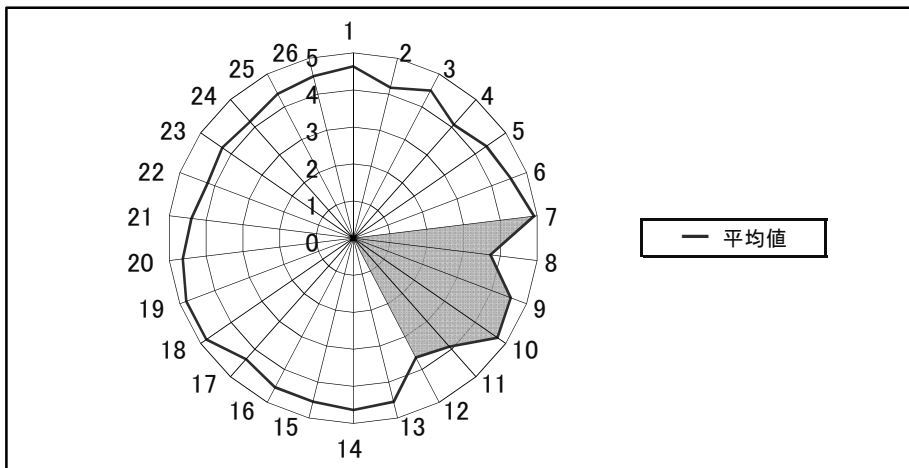
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						2.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.0
	(14)熱心に指導した。						3.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						3.5
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						3.6
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						3.1
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						3.9
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						3.6
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						3.5
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.8



総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (国語)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 原 卓志, 赤松, 小野, 永田, 茂木, 村井, 野口, 阪根 回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	2	1	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	2	2	1	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	3	1	0	0	1	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	8	1	0	0	0	4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	5	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	10	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	4	3	0	1	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	5	0	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	3	0	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	4	2	0	1	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	5	3	0	1	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	5	0	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	5	0	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	9	2	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	9	2	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	7	4	0	0	0	0	4.6
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	4	6	0	0	0	1	4.4
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	3	6	1	0	0	1	4.2
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	5	3	2	0	0	1	4.3
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	4	4	2	0	0	1	4.2
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	4	6	0	0	0	1	4.4
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	5	0	0	0	1	4.5

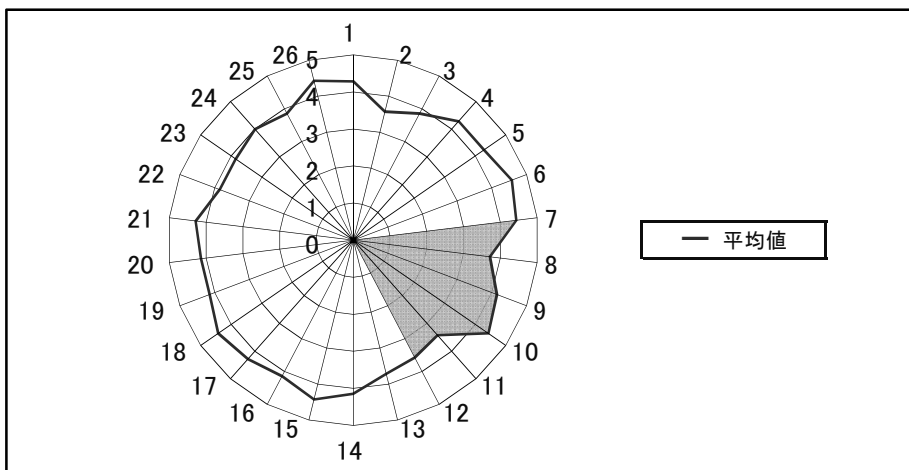


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (英語)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 前田 一平, 夫 明美, 山森 直人, 阪根 健二

回答者数 7 名

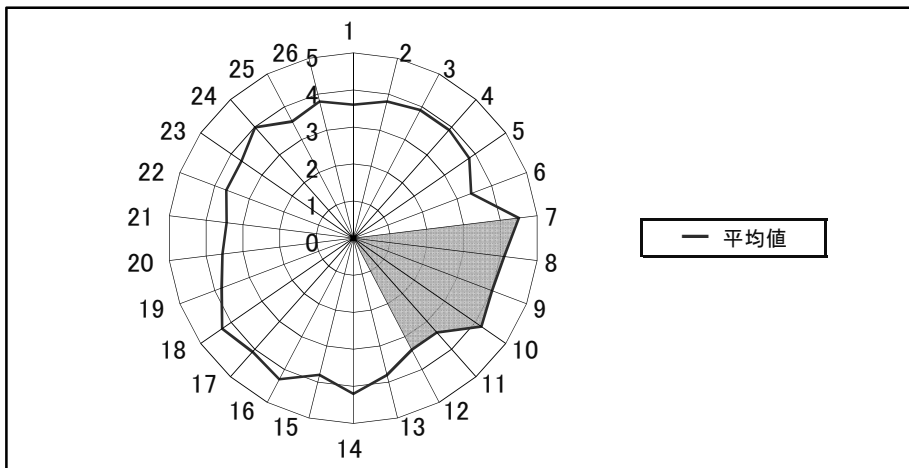
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	5	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	0	5	0	0	3.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	4	2	0	0	3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	3	1	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	3	1	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	3	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	2	1	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	4	1	1	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	4	1	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	2	1	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	4	2	1	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	4	3	0	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	3	3	0	0	3.7
	(14)熱心に指導した。	2	4	1	0	0	4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	4	0	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	4	1	0	0	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	5	0	0	0	4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	4	0	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	4	1	0	0	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	2	4	1	0	0	4.1
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	2	5	0	0	0	4.3
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	0	6	1	0	0	3.9
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	1	4	2	0	0	3.9
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	3	2	1	1	0	4.0
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	1	4	2	0	0	3.9
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	4	0	0	0	4.4



総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (社会)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 麻生 多聞, 伊藤 直之, 原田 昌博, 阪根 健二, 萬玉 吉博 回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	2	3	2	0	0	3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	4	4	0	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	3	4	0	0	0	3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	3	4	0	0	0	3.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	4	4	0	0	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	4	2	0	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	1	2	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	5	1	4	0	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	4	3	0	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	2	3	0	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	7	0	0	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	4	6	0	0	0	3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	3	3	1	0	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	3	6	1	0	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	2	2	2	0	0	3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	1	3	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	1	4	0	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	2	5	0	0	0	3.8
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	1	5	1	2	0	1	3.6
	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	2	2	3	2	0	1	3.4
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	2	3	3	1	0	1	3.7
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	2	2	5	0	0	1	3.7
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	2	5	2	0	0	1	4.0
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	2	2	4	1	0	1	3.6
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	3	3	1	0	0	3.8

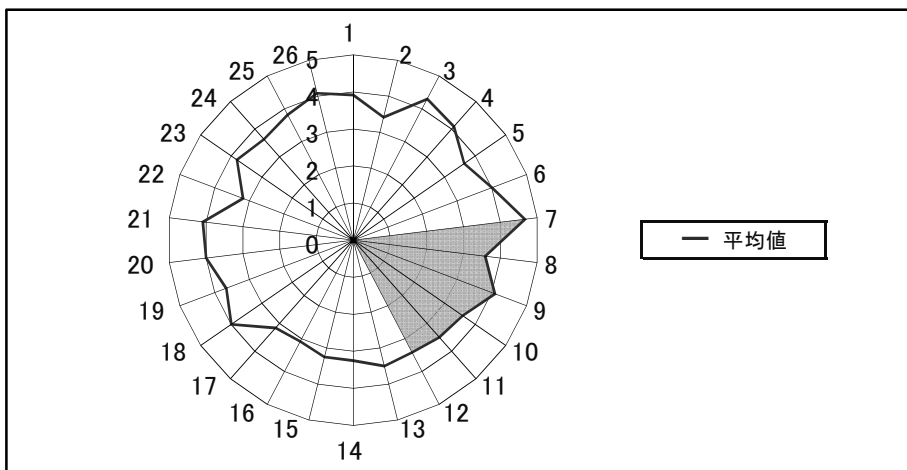


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (算数・数学)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 樋上 和弘, 阪根 健二

回答者数 12 名

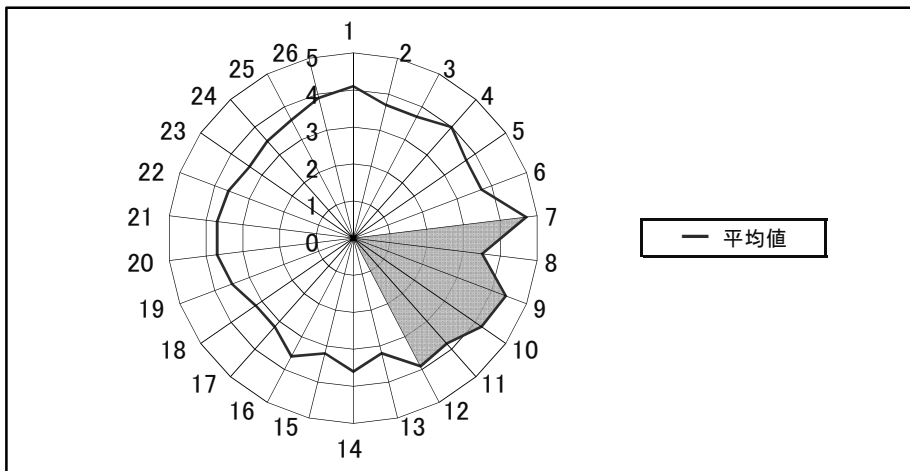
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						3.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.1
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						3.2
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						3.8
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						3.6
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						3.8
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1



総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (理科)
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 今倉 康宏, 米澤 義彦, 村田 守, 松川 徳雄, 阪根 健二 回答者数 10 名

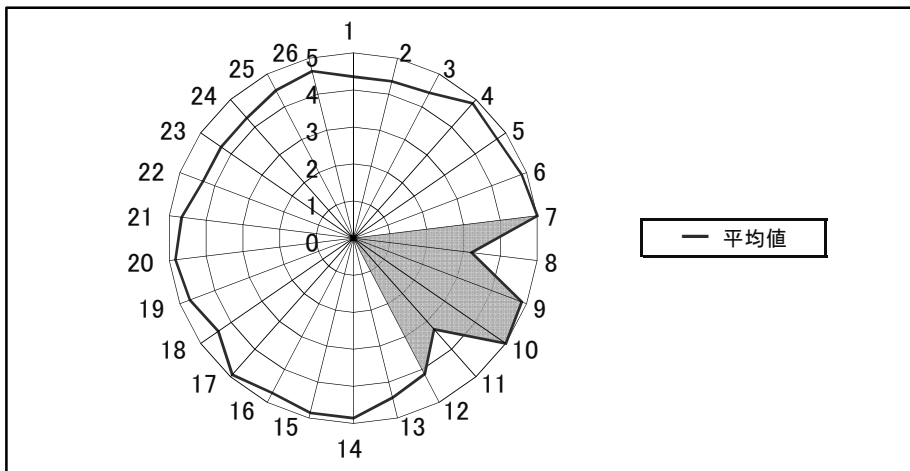
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.2
	(14)熱心に指導した。						3.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						3.7
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						3.7
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						3.6
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						3.4
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						3.5
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						3.6
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.9



総合評価	3.6
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (音楽)
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 西園 芳信, 山田 啓明, 阪根 健二, 富士 都美, 米田 幸子 回答者数 14 名

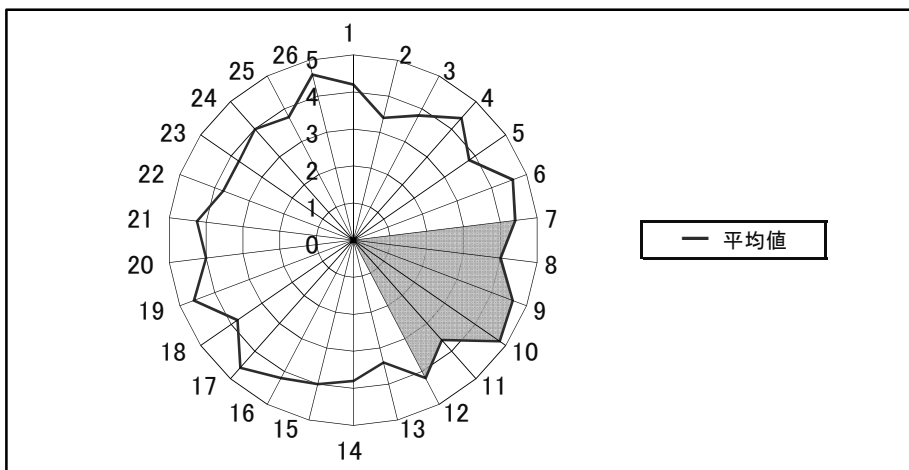
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.8
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.7
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.3
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.3
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.3
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.5
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6



総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (図画工作・美術)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 長岡 強, 武市 勝, 松島 正矩, 西田 威汎, 小川 勝, 阪根 健二 回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	4	0	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	0	4	0	0	3.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	0	3	0	0	3.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	3	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	2	2	0	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	1	1	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	1	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	1	3	0	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	2	1	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	0	3	1	1	0	3.4
	(14)熱心に指導した。	1	2	2	0	0	3.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	5	0	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	2	1	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	2	0	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	2	2	0	0	3.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	2	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	1	2	1	0	0	4.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	1	3	0	0	0	4.3
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	1	1	2	0	0	3.8
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	0	3	1	0	0	3.8
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	0	4	0	0	0	4.0
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	1	1	2	0	0	3.8
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	2	0	0	0	4.6

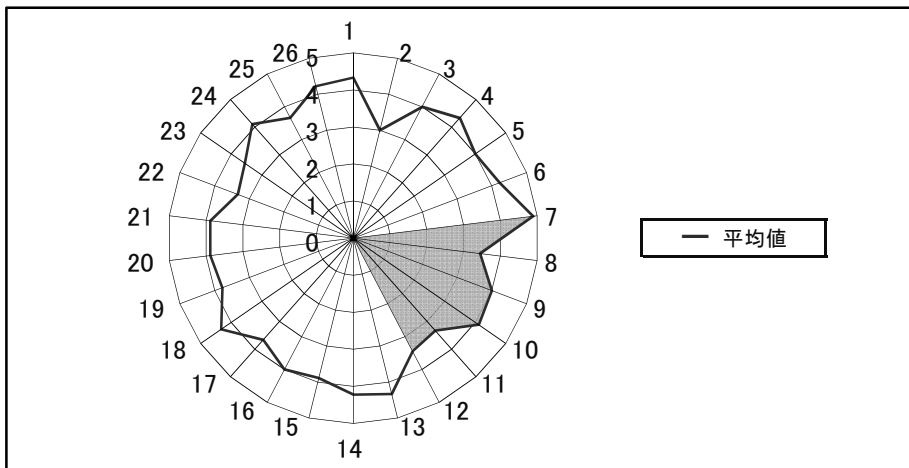


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (体育・保健体育)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 乾 信之, 阪根 健二

回答者数 9 名

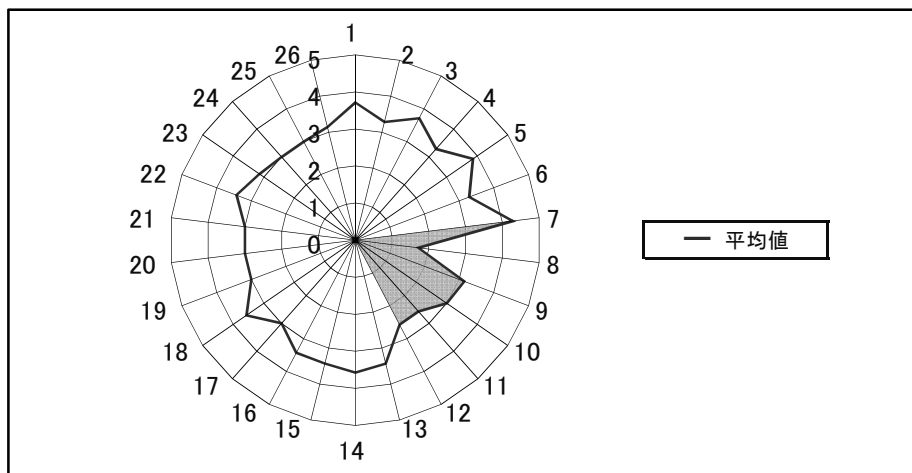
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	6	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	4	0	2	3.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	7	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	6	0	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	3	3	0	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	4	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	8	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	4	2	2	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	7	1	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	5	0	1	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	4	4	1	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	4	2	2	0	3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	6	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	4	3	2	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	5	1	1	0	3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	5	2	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	4	4	0	0	3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	2	0	0	1	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	4	2	1	0	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	2	4	3	0	0	3.9
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	1	6	2	0	0	3.9
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	0	4	4	1	0	3.3
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	0	6	2	1	0	3.6
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	3	4	2	0	0	4.1
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	0	6	3	0	0	3.7
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	7	0	0	0	4.2



総合評価	3.9
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (技術)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 尾崎 士郎, 伊藤 (陽), 菊地, 木下, 宮下, 宮本, 米延, 阪根, 安田, 大泉 回答者数 7 名

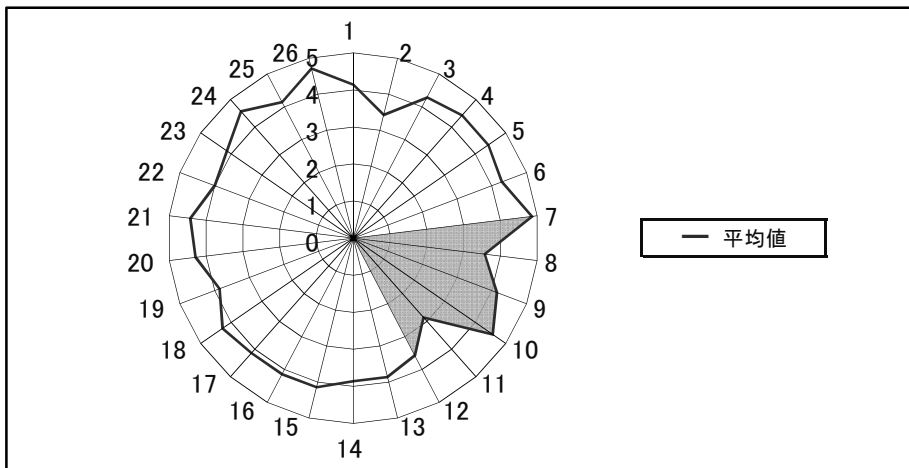
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	5	0	0	1	0	3.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	3	1	1	1	0	3.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	3	3	0	0	0	3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	3	1	1	1	0	3.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	0	2	1	0	3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	0	2	1	4	0	1.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	2	4	1	0	0	3.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	2	4	0	1	0	3.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	2	1	2	0	2.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	1	4	0	2	0	2.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	0	3	4	0	0	0	3.4
	(14)熱心に指導した。	1	2	4	0	0	0	3.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	3	4	0	0	0	3.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	3	4	0	0	0	3.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	7	0	0	0	3.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	0	5	1	1	0	0	3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	2	3	2	0	0	3.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	1	1	2	3	0	0	3.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	0	2	3	2	0	0	3.0
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	1	2	3	1	0	0	3.4
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	0	2	4	1	0	0	3.1
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	0	1	5	1	0	0	3.0
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	0	2	3	2	0	0	3.0
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	0	4	1	1	1	0	3.1



総合評価	3.3
------	-----

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 (家庭)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 西川 和孝, 黒川 衣代, 金 貞均, 阪根 健二, 阿望 聡子, 高田 修作 回答者数 7 名

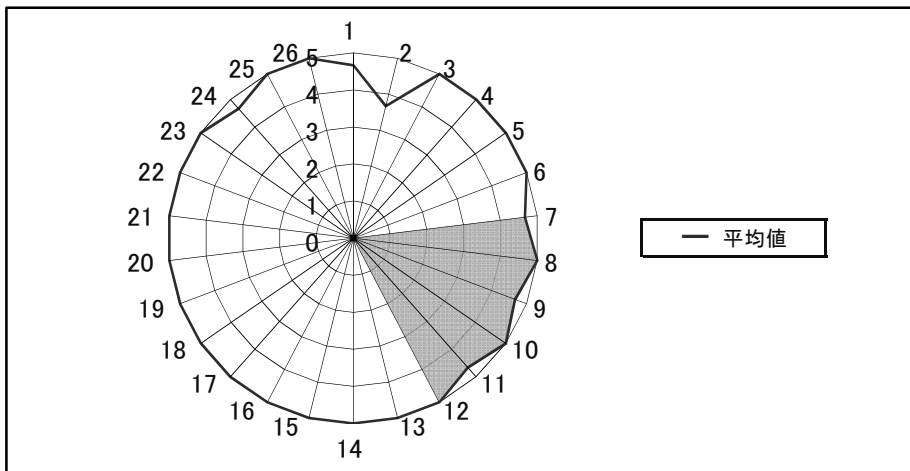
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	3	0	1	0	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	0	5	0	2	0	0	3.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	3	1	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	2	1	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	0	3	0	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	4	2	0	0	2.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	2	1	2	0	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	2	3	0	0	0	3.9
	(14)熱心に指導した。	2	2	3	0	0	0	3.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	4	1	0	0	0	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	3	0	1	0	0	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	4	1	0	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	3	3	1	0	0	0	4.3
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	3	4	0	0	0	0	4.4
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	3	2	1	1	0	0	4.0
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	3	2	2	0	0	0	4.1
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	3	2	2	0	0	0	4.1
	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.7



総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 特別支援教育実践基礎演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 21 日
 担当教員名 大谷 博俊, 八幡, 井上 (と), 島田, 津田, 高原, 田中 (淳), 阪根 回答者数 3 名

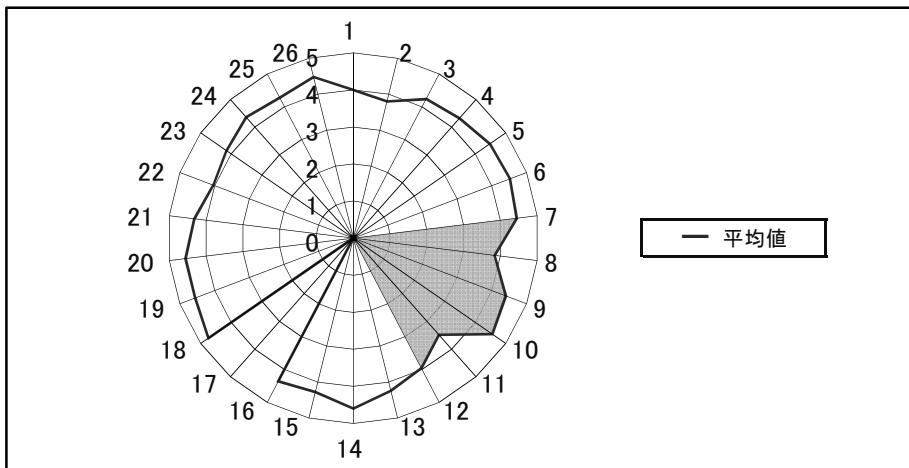
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	0	2	0	0	3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	0	0	0	0	5.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	1	0	0	0	4.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	3	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	3	0	0	0	0	5.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	3	0	0	0	0	5.0
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	3	0	0	0	0	5.0
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	3	0	0	0	0	5.0
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (国語)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 24 日
 担当教員名 余郷 裕次, 原 卓志, 塩路 晶子, 藤島 小百合, 住友 章芳 回答者数 25 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						25
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.6
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.3
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.0
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.2
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.4
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.3
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5



総合評価	4.3
------	-----

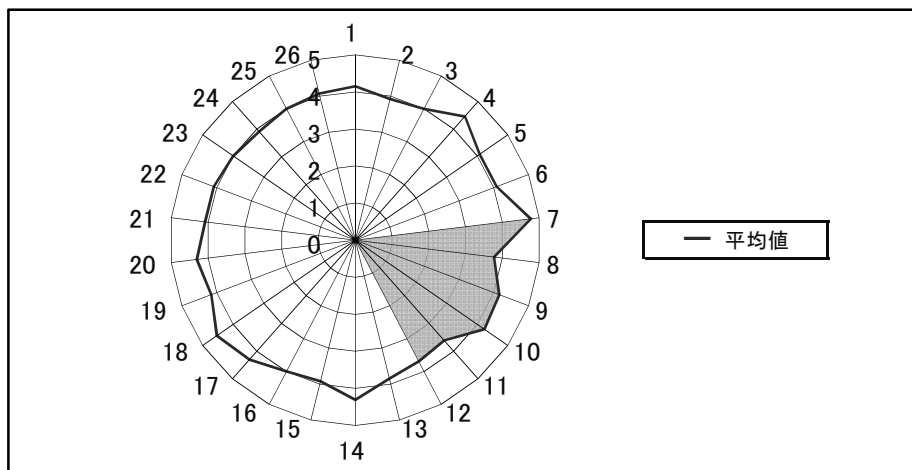
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (英語)

評価実施日 平成 22 年 02 月 17 日

担当教員名 伊東 治己, 藪下 克彦, 塩路 晶子, 小川 雅功

回答者数 15 名

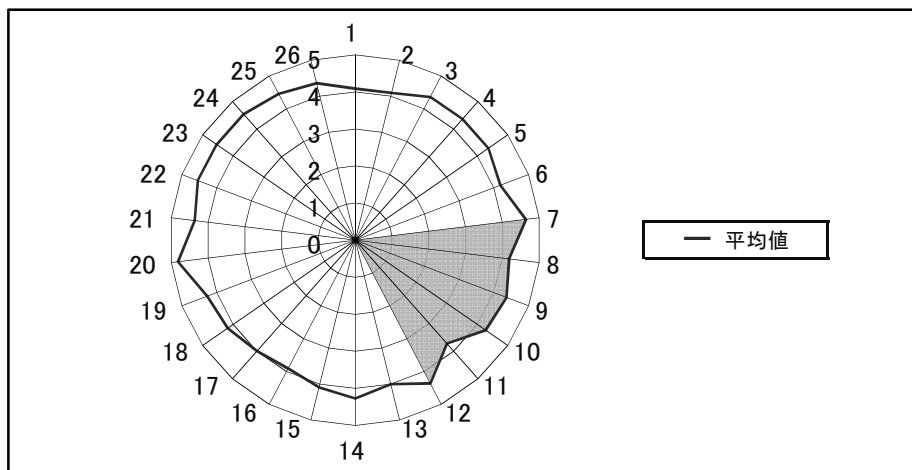
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.8
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.3
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.1
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.1
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.0
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						3.9
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.0
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1



総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (社会)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 17 日
 担当教員名 青葉 暢子, 伊藤 直之, 立岡 裕士, 塩路 晶子, 坂田 大輔, 吉岡 荘吉 回答者数 11 名

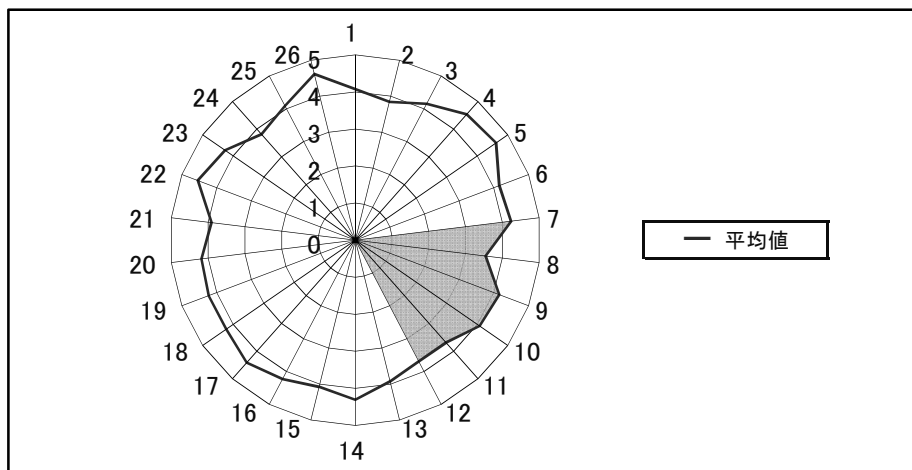
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.4	
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.5	
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.5	
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.5	
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.5	
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4



総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅰ (算数・数学)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 24 日
 担当教員名 齋藤 昇, 秋田 美代, 樋上 和弘, 塩路 晶子, 石川 和幸 回答者数 13 名

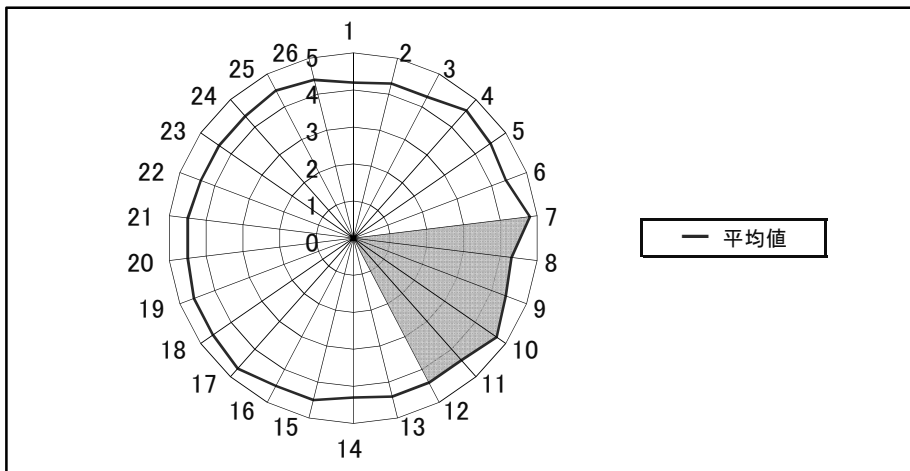
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	8	2	0	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	6	3	1	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	11	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	4	1	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	9	3	1	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	4	2	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	8	2	2	0	1	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	6	5	1	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	7	2	0	0	4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	8	2	0	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	5	6	0	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	7	5	0	0	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	6	4	0	0	3.9
	(14)熱心に指導した。	5	7	1	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	8	2	0	0	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	8	1	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	5	1	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	6	2	0	0	4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	6	2	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	4	5	2	0	0	4.2
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	3	6	1	0	1	3.9
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	6	5	0	0	0	4.5
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	5	4	2	0	0	4.3
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	1	7	3	0	0	3.8
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	3	6	2	0	0	4.1
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	5	0	0	0	4.6



総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅰ (理科)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 24 日
 担当教員名 香西 武, 工藤, 武田, 村田 (守), 本田, 塩路, 上原 回答者数 12 名

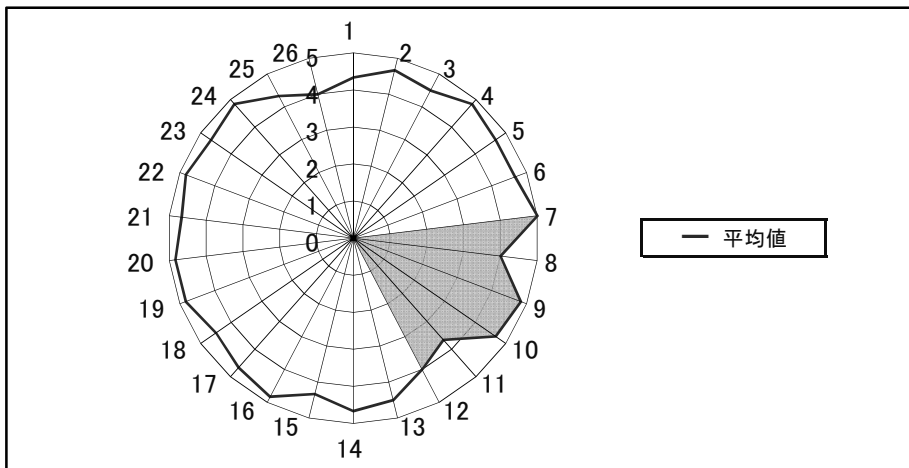
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.5
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.5
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.4
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.4
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.4
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.5
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4



総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (音楽)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 17 日
 担当教員名 西園 芳信, 頃安 利秀, 塩路 晶子, 佐伯 順一, 清水 美穂 回答者数 6 名

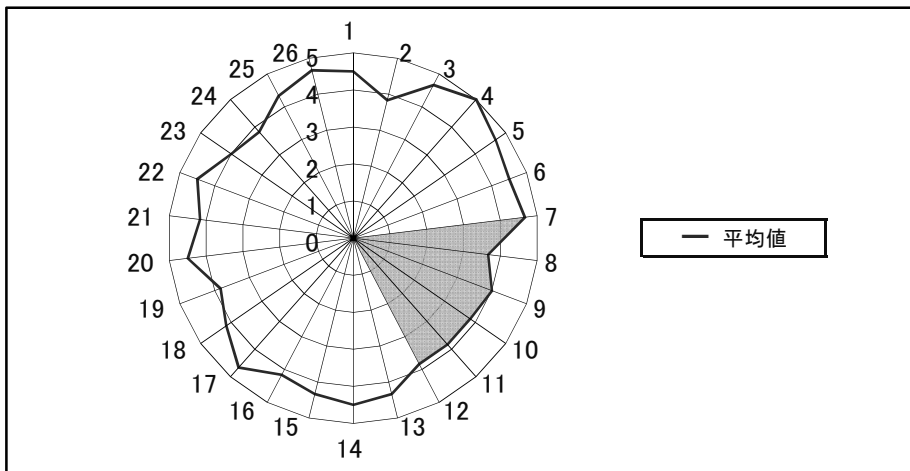
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	4	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	2	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	1	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	0	1	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	0	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	4	1	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	2	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	1	1	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	2	2	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	3	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	5	0	1	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	1	0	1	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	0	1	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	1	1	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	1	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	5	1	0	0	0	4.8
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	4	2	0	0	0	4.7
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	5	1	0	0	0	4.8
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	5	0	1	0	0	4.7
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	5	1	0	0	0	4.8
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	3	2	1	0	0	4.3
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	4	1	0	0	4.0



総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅰ（図画工作・美術）
 評価実施日 平成 22 年 02 月 10 日
 担当教員名 山木 朝彦, 武市 勝, 野崎 窮, 塩路 晶子, 加藤 由恵 回答者数 6 名

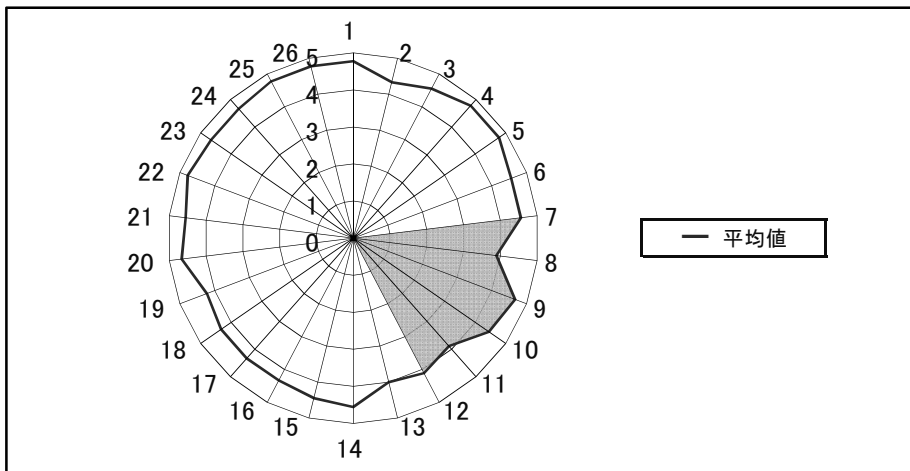
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	3	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	3	2	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	1	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	5	0	1	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	1	1	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	2	2	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	2	1	1	0	3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	5	1	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	2	1	1	0	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	4	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	3	3	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	4	0	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	3	1	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	2	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	5	0	0	0	4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	3	2	0	0	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	3	3	0	0	0	4.5
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	2	3	1	0	0	4.2
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	3	3	0	0	0	4.5
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	1	4	1	0	0	4.0
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	1	3	2	0	0	3.8
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	3	2	1	0	0	4.3
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	2	0	0	0	4.7



総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅰ (家庭)
 評価実施日 平成 22 年 01 月 27 日
 担当教員名 渡邊 廣二, 前田 (英), 黒川, 金 (貞), 塩路, 町口, 江西, 香川 回答者数 9 名

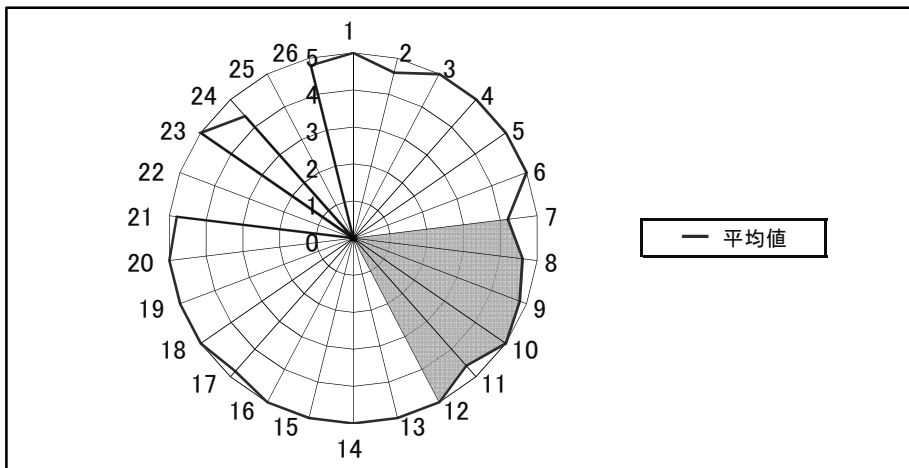
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.7
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.6
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.8
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.7
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.7
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.8
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8



総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 特別支援教育実践 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 22 日
 担当教員名 大谷 博俊, 八幡, 井上 (と), 島田, 津田, 高原, 田中 (淳), 加藤 (賢) 回答者数 5 名

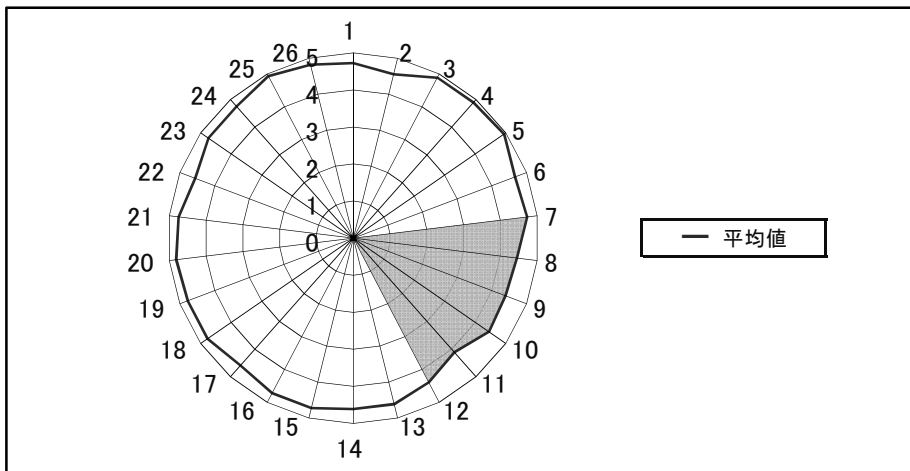
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	2	0	0	0	4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	2	1	0	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	2	0	0	0	4.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	2	0	0	0	4.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	5	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	5	0	0	0	0	5.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	4	1	0	0	0	4.8
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	0	0	0	0	5	
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	5	0	0	0	0	5.0
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	2	3	0	0	0	4.4
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	0	0	0	0	5	
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	1	0	0	0	4.8



総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ (国語)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 村井 万里子, 赤松 万里, 立石 由起, 豊田 昌子 回答者数 18 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	13	5	0	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	10	8	0	0	0	0	4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	17	1	0	0	0	0	4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	14	2	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	14	3	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	12	4	1	0	1	0	4.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	10	7	0	0	1	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	11	6	0	0	1	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	10	3	3	1	1	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	11	5	1	0	1	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	12	5	1	0	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	13	3	2	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	13	5	0	0	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	13	5	0	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	11	5	1	0	0	1	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	14	1	1	0	0	2	4.8
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	12	4	0	0	0	2	4.8
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	12	1	3	0	0	2	4.6
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	13	2	1	0	0	2	4.8
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	13	2	1	0	0	2	4.8
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	15	1	0	0	0	2	4.9
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	14	3	0	0	0	1	4.8

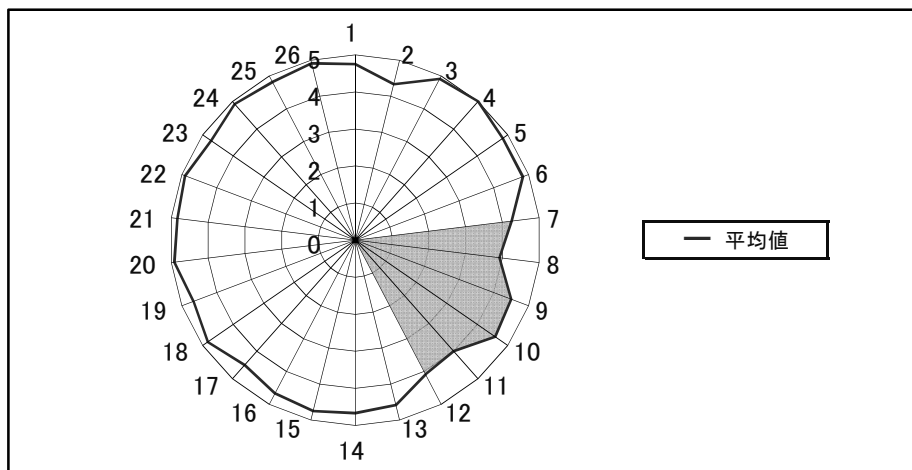


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ (社会)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 梅津 正美, 町田 哲, 井上 隆, 濱口 恒一郎

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	3	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	6	1	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	11	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	12	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	2	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	10	2	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	4	1	1	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	5	4	0	0	3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	4	1	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	9	1	2	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	6	3	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	5	3	0	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	5	0	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	9	2	1	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	3	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	8	4	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	6	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	2	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	4	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	11	1	0	0	0	4.9
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	10	2	0	0	0	4.8
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	10	1	0	0	1	4.9
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	8	3	0	0	1	4.7
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	10	1	0	0	1	4.9
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	9	2	0	0	1	4.8
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	11	1	0	0	0	4.9

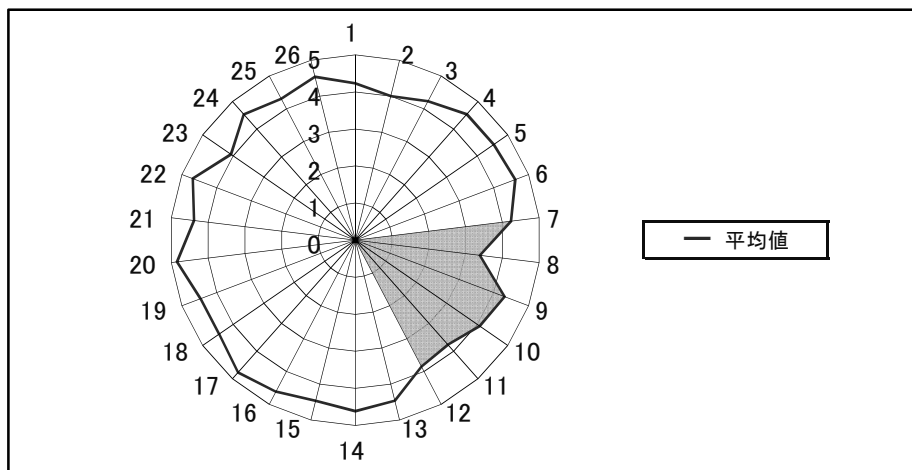


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ (算数・数学)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 松岡 隆, 佐伯 昭彦, 石川 和幸

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.5
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.8
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.4
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.7
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.1
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.5
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.3
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

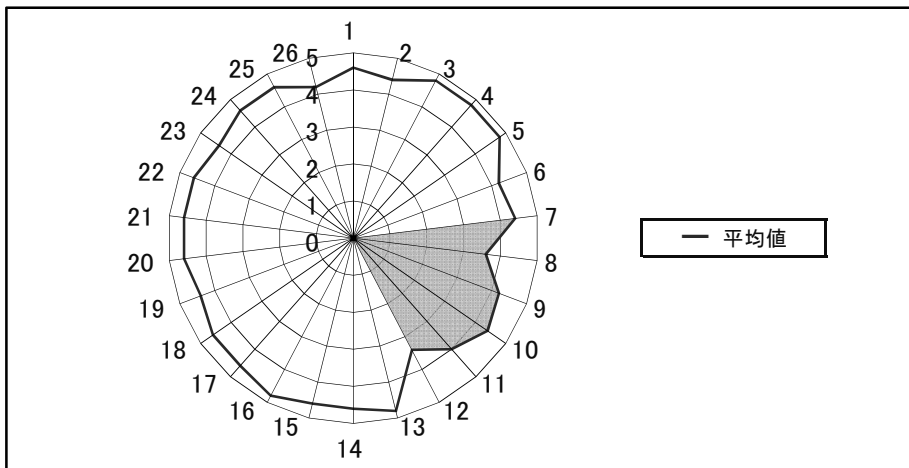


総合評価 4.5

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ (音楽)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 長島 真人, 森 正, 佐伯 順一, 上田 光江

回答者数 5 名

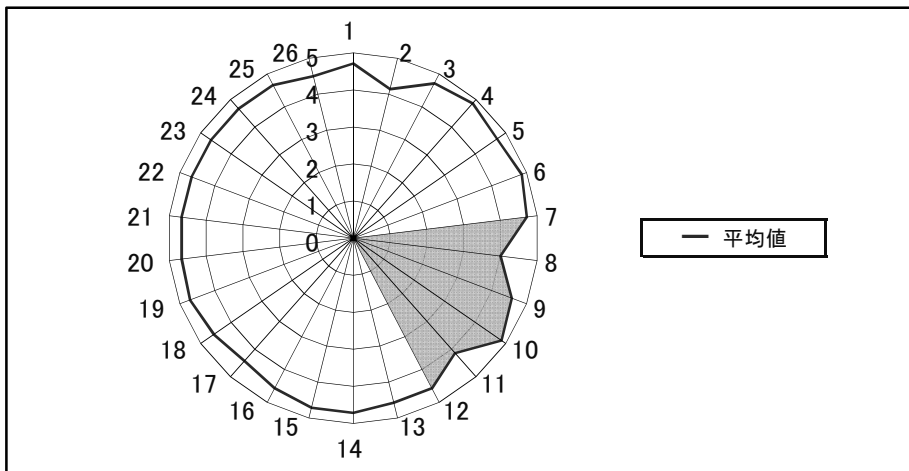
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	3	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	3	0	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	1	3	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	2	1	0	0	4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	1	1	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	2	3	0	0	3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	3	2	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	0	1	0	0	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	2	0	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	0	1	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	1	1	0	0	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	4	0	1	0	0	4.6
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	4	0	1	0	0	4.6
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	4	0	1	0	0	4.6
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	3	1	1	0	0	4.4
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	4	0	1	0	0	4.6
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	4	0	1	0	0	4.6
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	0	2	0	0	4.2



総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ (図画工作・美術)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 16 日
 担当教員名 山田 芳明, 松島 正矩, 長岡 強, 鈴木 久人, 森 裕二郎 回答者数 7 名

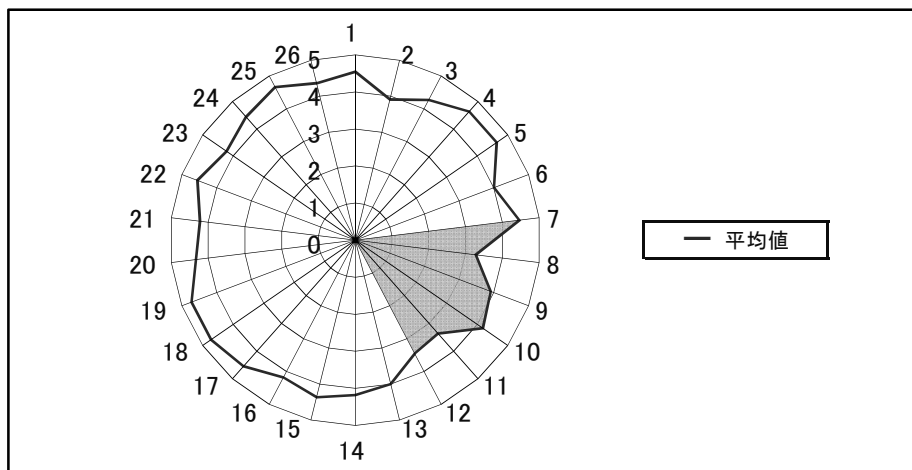
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.7
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.7
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.7
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.7
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.7
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.7
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5



総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ (体育・保健体育)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 09 日
 担当教員名 松井 敦典, 坂本 和丈, 田中 弘之, 月本 直樹, 福田 一敏 回答者数 11 名

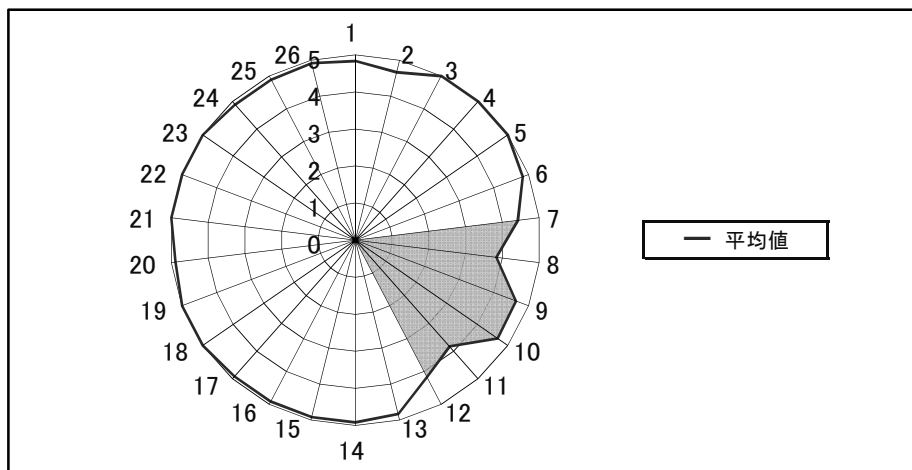
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	3	1	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	5	2	1	0	3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	5	0	1	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	4	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	8	2	1	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	4	2	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	4	1	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	7	1	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	5	2	1	0	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	5	2	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	4	4	2	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	4	5	1	0	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	4	2	1	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	6	2	2	1	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	3	2	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	5	2	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	3	1	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	9	1	1	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	3	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	5	2	2	0	0	4.3
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	4	3	2	0	0	4.2
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	6	2	1	0	0	4.6
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	4	4	0	1	0	4.2
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	5	3	1	0	0	4.4
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	6	3	0	0	0	4.7
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	1	3	0	0	4.4



総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ (家庭)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 16 日
 担当教員名 福井 典代, 黒川 衣代, 西川 和孝, 元木 康代, 井原 和美 回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.8
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						5.0
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						5.0	
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						5.0	
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						5.0	
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.9	
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.9	
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.9



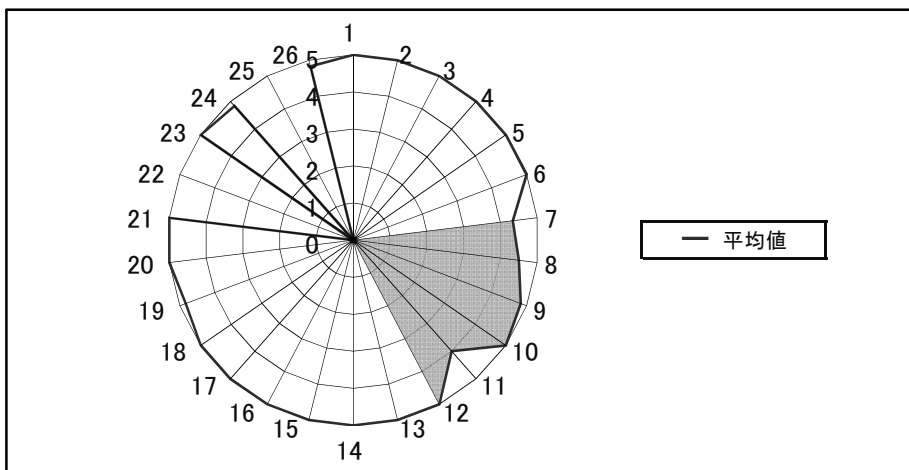
総合評価	4.9
------	-----

授業科目名
評価実施日
担当教員名

特別支援教育実践Ⅱ
平成 21 年 07 月 23 日
大谷 博俊, 八幡, 井上 (と), 島田 (恭), 津田, 高原, 田中 (淳)

回答者数 6 名

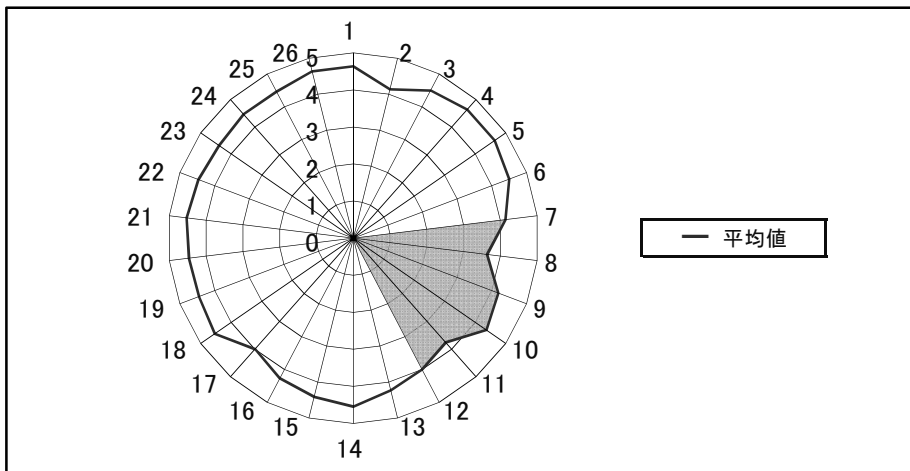
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	4	0	0	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	3	0	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	4	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	6	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	1	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	6	0	0	0	0	5.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	6	0	0	0	0	5.0
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	0	0	0	0	6	
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	6	0	0	0	0	5.0
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	5	1	0	0	0	4.8
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	0	0	0	0	6	
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8



総合評価	5.0
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (国語)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 幾田 伸司, 野口 哲也, 横山 武文, 大井 育代 回答者数 22 名

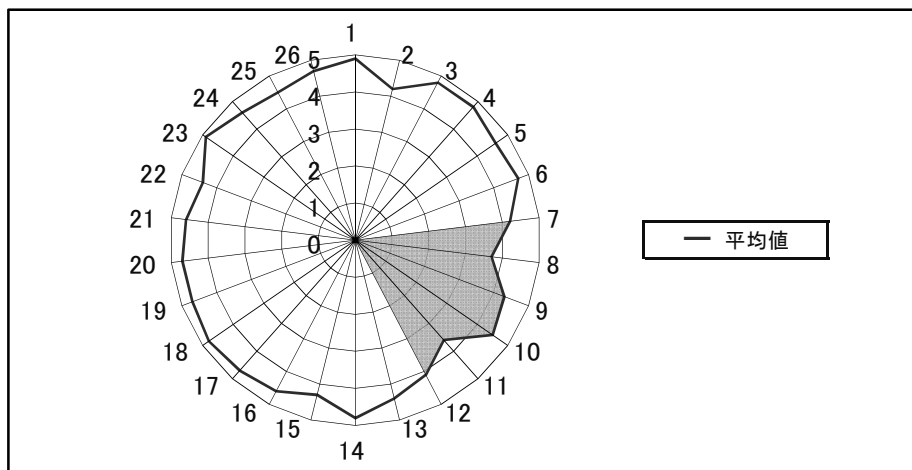
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.1
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.5	
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.5	
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.4	
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.5	
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.5	
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6



総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (英語)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 山森 直人, 杉浦 裕子, 小川 雅功, 鈴江 涼子 回答者数 10 名

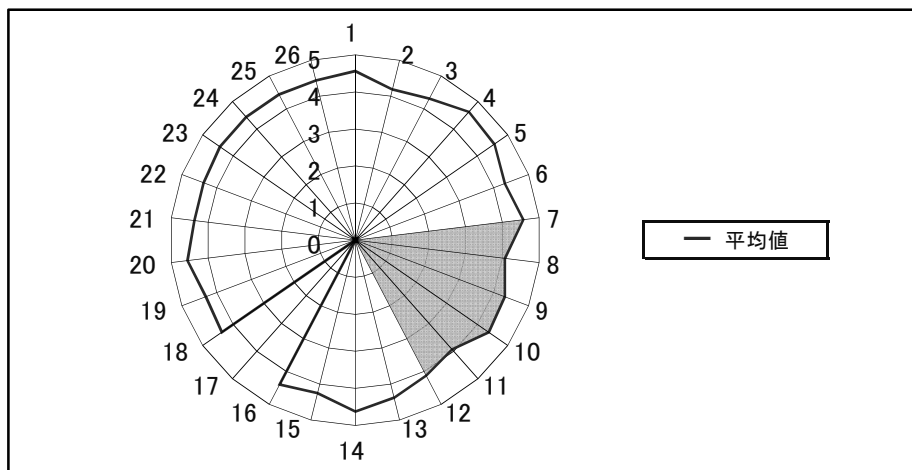
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	4	2	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	4	0	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	3	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	6	1	0	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	7	3	0	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	3	2	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	5	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	2	6	0	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	9	0	0	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	6	0	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	8	2	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	7	0	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	4	0	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	3	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	2	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	3	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	7	3	0	0	0	4.7
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	6	4	0	0	0	4.6
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	6	2	2	0	0	4.4
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	6	4	0	0	0	4.6
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	5	5	0	0	0	4.5
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	3	0	0	0	4.7



総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (社会)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 西村 公孝, 麻生 多聞, 仁木 博史, 立岩 一彰, 高倍 昭治 回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	7	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	9	2	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	7	2	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	4	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	9	7	0	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	7	2	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	10	5	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	9	3	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	9	1	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	10	0	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	7	5	0	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	6	4	0	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	10	0	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	10	6	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	8	2	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	7	1	0	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	16
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	10	0	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	9	1	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	9	7	0	0	0	4.6
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	7	8	1	0	0	4.4
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	8	6	2	0	0	4.4
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	7	9	0	0	0	4.4
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	8	7	1	0	0	4.4
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	7	9	0	0	0	4.4
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	7	1	0	0	4.4

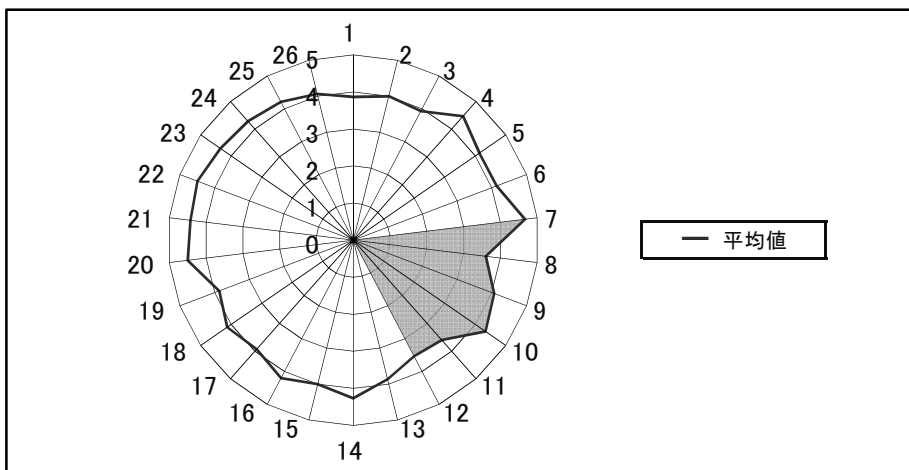


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (算数・数学)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 松岡 隆, 齋藤 昇, 秋田 美代, 石川 和幸

回答者数 15 名

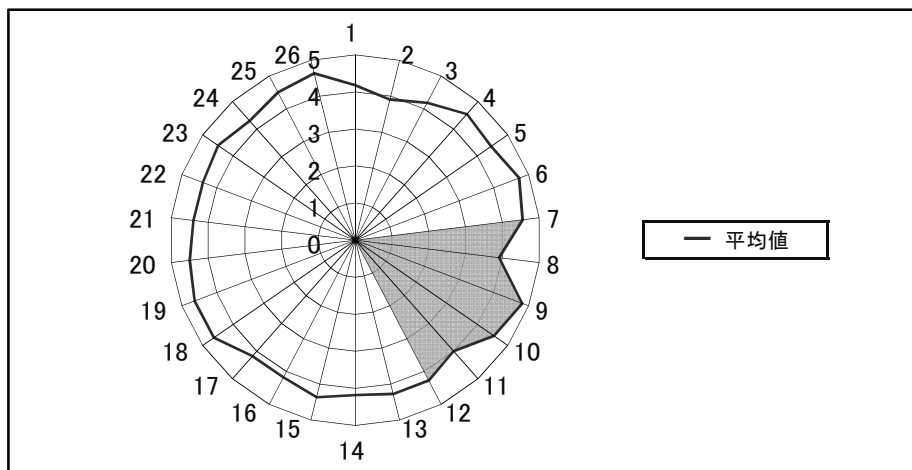
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						4.5
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						4.4
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.5
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.4
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.3
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.2
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1



総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (理科)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 本田 亮, 香西, 佐藤(勝), 工藤, 今倉, 村田(守), 武田, 米澤, 日下 回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	5	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	6	3	0	0	3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	7	1	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	5	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	6	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	3	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	3	1	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	2	5	0	0	3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	5	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	4	2	1	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	6	1	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	6	1	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	4	5	2	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	5	1	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	5	2	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	5	2	0	0	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	7	4	0	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	4	0	0	0	4.6
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	5	5	0	0	1
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。		5	4	1	0	1	4.4
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。		4	6	0	0	1	4.4
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。		5	5	0	0	1	4.5
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。		4	5	1	0	1	4.3
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。		5	5	0	0	1	4.5
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	4	0	0	0	4.6

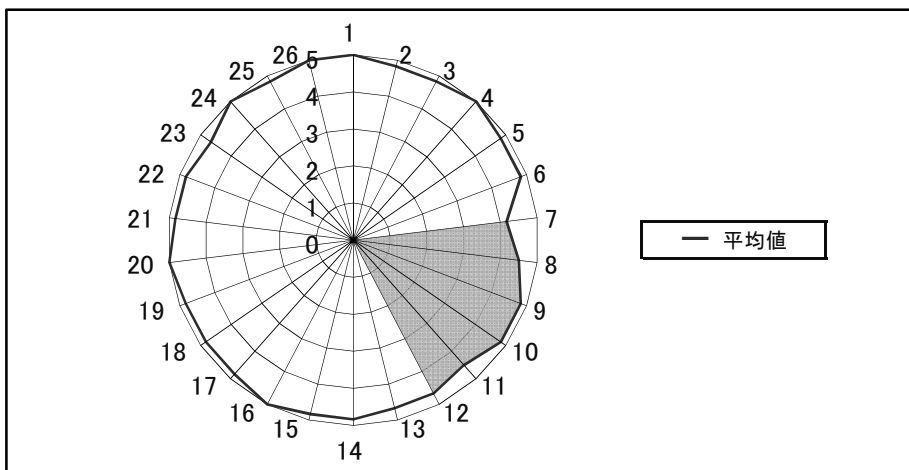


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (音楽)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 16 日
 担当教員名 長島 真人, 松岡 貴史, 森本 祥子, 堀川 昌宏

回答者数 6 名

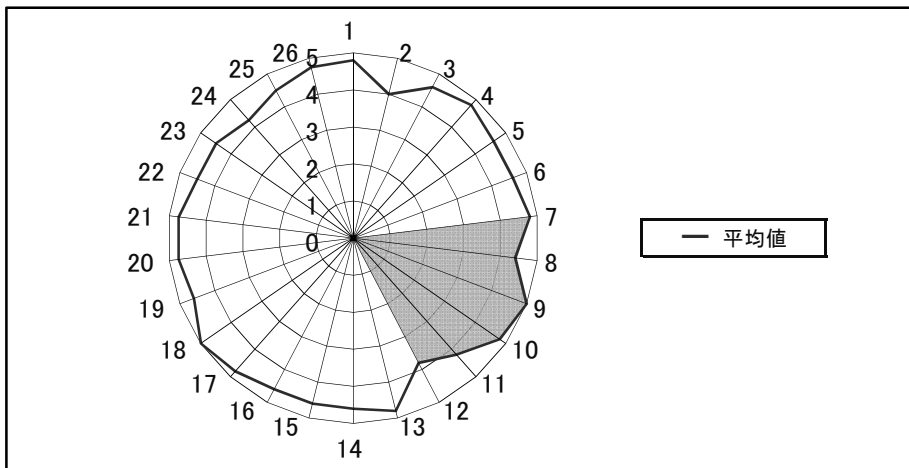
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	1	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	1	2	0	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	3	0	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	3	0	0	0	4.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	2	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	2	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	5	1	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	1	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	6	0	0	0	0	5.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	5	1	0	0	0	4.8
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	5	1	0	0	0	4.8
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	4	2	0	0	0	4.7
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	6	0	0	0	0	5.0
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	5	1	0	0	0	4.8
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (図画工作・美術)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 小川 勝, 山木 朝彦, 西田 威汎, 内藤 隆, 宮越 千佳 回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	1	2	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	2	0	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	1	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	3	0	0	0	4.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	4	0	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	2	2	0	0	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	3	2	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	2	0	0	0	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	2	0	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	2	0	0	0	4.6
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	3	1	0	0	1
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。		3	1	0	0	1	4.8
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。		2	2	0	0	1	4.5
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。		2	2	0	0	1	4.5
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。		1	3	0	0	1	4.3
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。		2	2	0	0	1	4.5
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	1	0	0	1	4.8

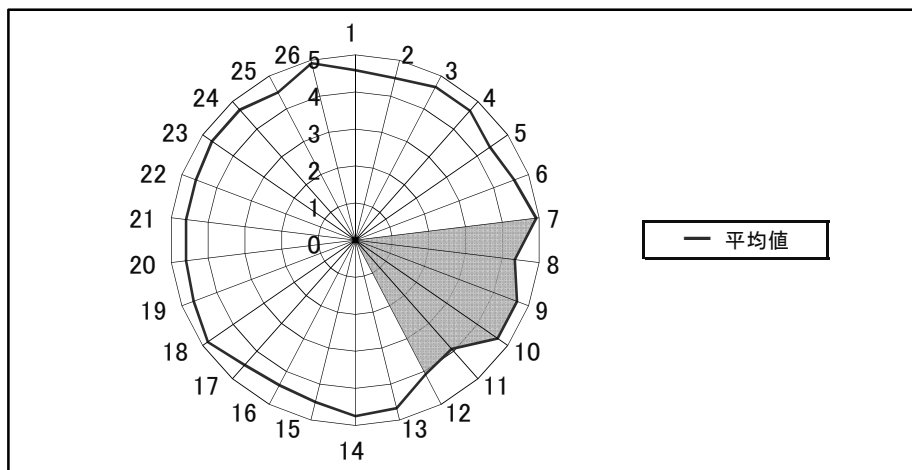


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (体育・保健体育)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 藤田 雅文, 梅野 圭史, 南 隆尚, 福田 一敏

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	2	2	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	3	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	7	2	3	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	6	1	3	2	0	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	2	3	1	0	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	2	2	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	5	1	0	0	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	6	0	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	6	4	0	0	0	2	4.6
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	7	2	1	0	0	2	4.6
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	6	4	0	0	0	2	4.6
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	7	3	0	0	0	2	4.7
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	7	3	0	0	0	2	4.7
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	5	5	0	0	0	2	4.5
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	11	1	0	0	0	0	4.9

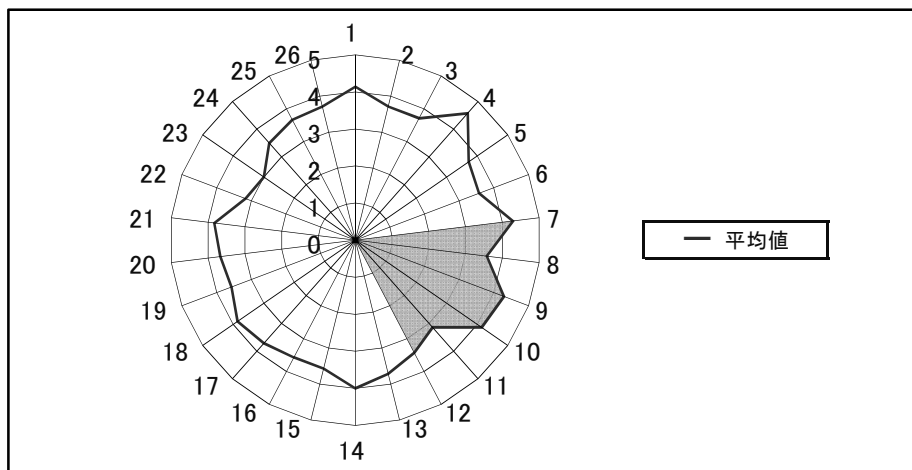


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (技術)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 菊地 章, 尾崎 士郎, 伊藤 陽介, 大泉 計

回答者数 7 名

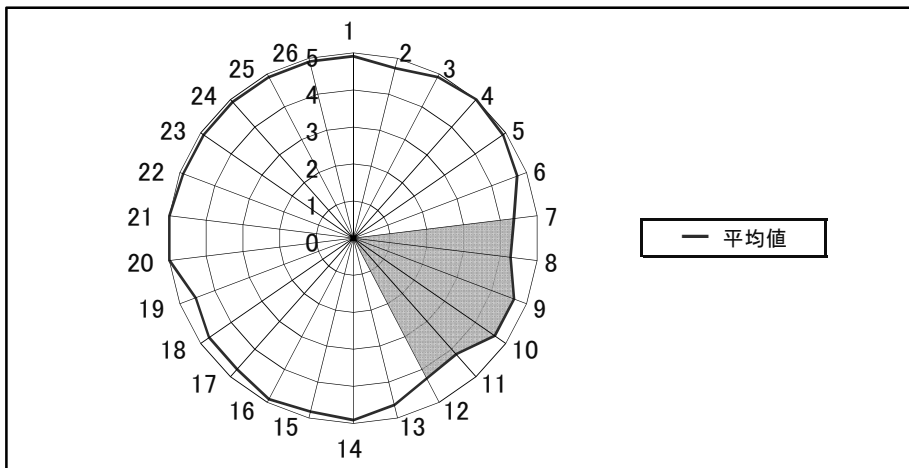
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	2	2	0	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	3	0	2	0	3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	3	0	2	0	3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	3	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	3	1	0	1	3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	1	2	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	2	0	1	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	4	3	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	3	1	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	3	0	1	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	6	0	0	3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	1	5	0	0	3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	4	1	1	0	3.7
	(14)熱心に指導した。	2	4	0	1	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	2	2	0	1	3.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	2	1	2	0	3.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	4	1	1	0	3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	2	3	0	0	3.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	3	2	1	0	3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。	2	2	0	2	0	3.7
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。	3	1	1	0	1	3.8
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。	1	1	2	2	0	3.2
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。	0	3	1	1	1	3.0
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。	1	2	2	1	0	3.5
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。	1	3	1	1	0	3.7
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	4	1	1	0	3.7



総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ (家庭)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 鳥井 葉子, 西川 和孝, 金 貞均, 元木 康代, 島田 郁子 回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						5.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						5.0
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						4.9
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						4.9
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						4.9
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						4.9
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.9



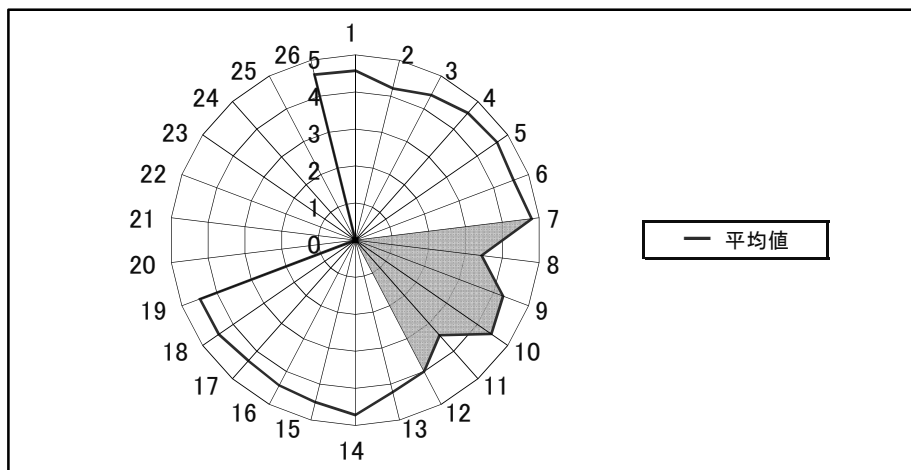
総合評価	4.9
------	-----

教 職 共 通 科 目

授業科目名 教職論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 阪根 健二, 佐竹 勝利

回答者数 127 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	80	41	5	1	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	54	48	24	1	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	62	57	7	1	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	84	35	6	2	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	88	31	5	1	0	2	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	83	34	9	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	107	15	4	1	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	15	44	54	9	5	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	52	55	19	0	0	1	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	69	48	9	1	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	18	38	55	12	4	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	48	45	24	6	4	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	49	61	13	4	0	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	99	21	6	1	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	76	42	7	1	1	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	70	42	14	1	0	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	60	50	16	0	0	1	4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	80	32	10	5	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	75	40	10	2	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	87	27	10	1	0	2	4.6

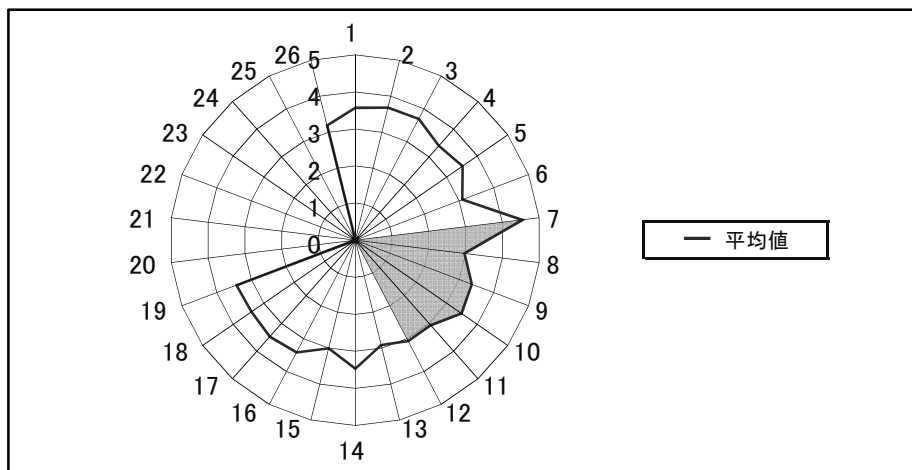


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 人間形成原論
 評価実施日 平成 21 年 08 月 03 日
 担当教員名 木内 陽一, 梶井 一暁

回答者数 161 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						2.9
	(14)熱心に指導した。						3.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.2

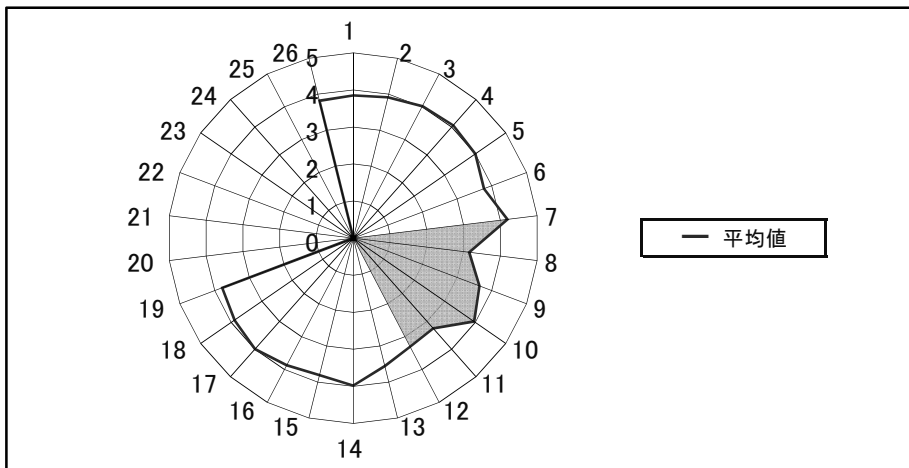


総合評価	3.4
------	-----

授業科目名 発達心理学
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 浜崎 隆司, 皆川, 山崎, 田村, 久米, 島田

回答者数 47 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.6
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.8

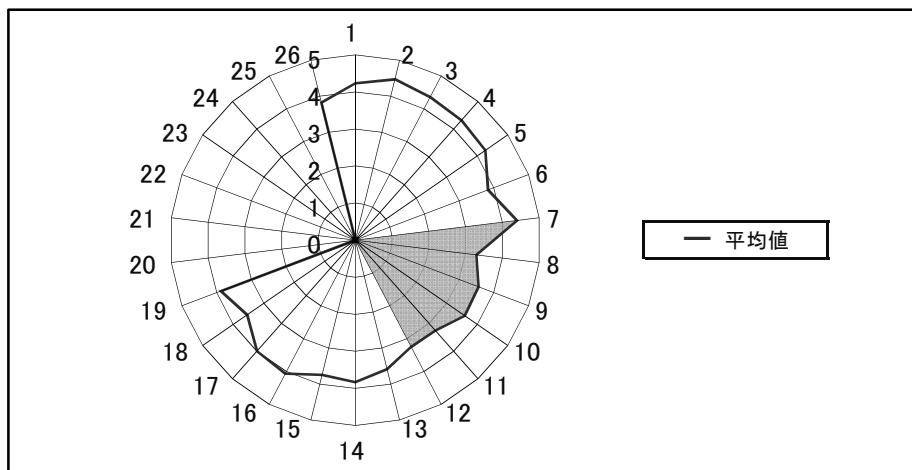


総合評価	3.9
------	-----

授業科目名 教育心理学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 皆川 直凡

回答者数 106 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	41	51	12	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	59	39	7	1	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	50	44	12	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	56	31	16	3	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	54	31	17	3	1	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	32	37	27	7	3	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	58	35	10	3	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	12	32	44	11	7	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	19	36	38	11	2	0	3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	24	32	33	14	2	1	3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	11	27	49	14	4	1	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	9	32	44	16	4	1	3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	19	40	37	4	6	0	3.6
	(14)熱心に指導した。	29	40	30	4	3	0	3.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	27	38	30	9	2	0	3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	40	38	21	3	2	2	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	38	40	20	6	2	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	22	35	30	17	2	0	3.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	32	39	27	6	2	0	3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	26	46	26	5	3	0	3.8

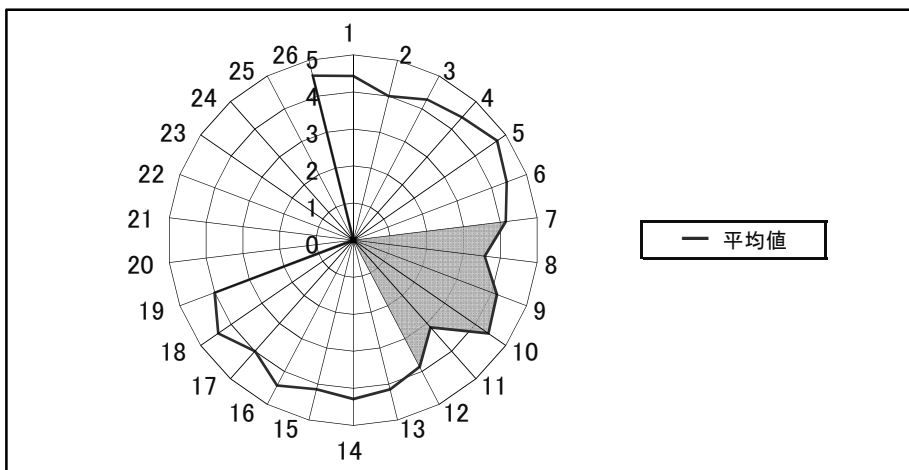


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 教育制度・経営論
 評価実施日 平成 21 年 08 月 03 日
 担当教員名 石村 雅雄

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	4	0	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	3	2	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	3	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	4	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	2	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	2	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	2	2	0	0	4.1
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	4	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	2	2	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	4	0	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	0	5	1	0	3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	1	2	1	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	4	1	0	0	4.1
	(14)熱心に指導した。	4	1	2	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	4	1	0	0	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	4	0	0	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	3	2	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	2	1	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	5	1	0	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	3	0	0	0	4.6

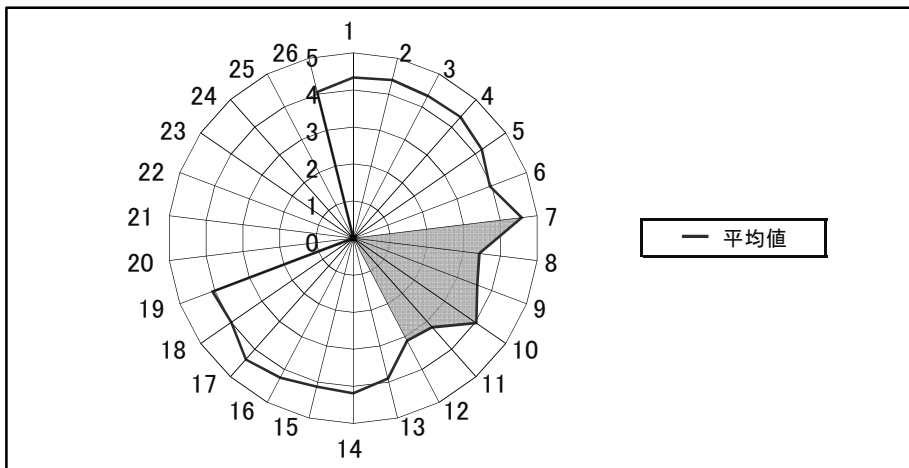


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 教育社会学
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 伴 恒信

回答者数 33 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

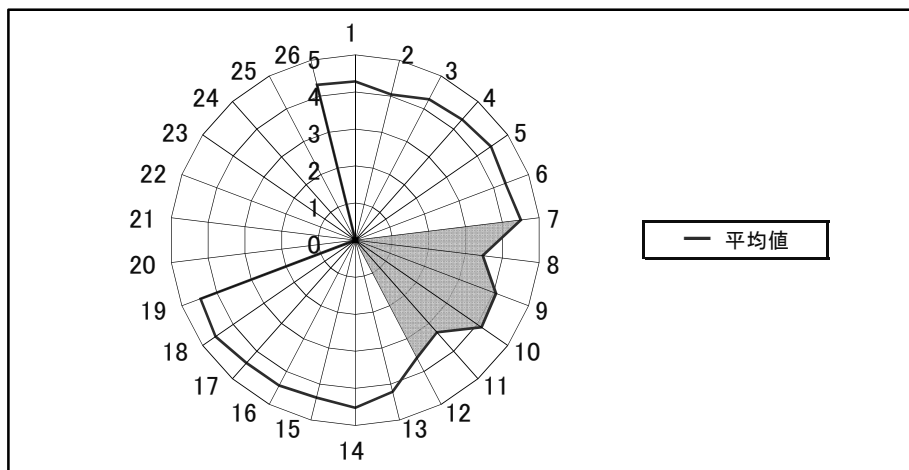


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 教育課程論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 村川 雅弘

回答者数 103 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	44	44	15	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	36	39	26	1	1	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	46	41	16	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	49	42	11	1	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	61	29	11	2	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	49	40	13	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	63	28	12	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	18	29	42	11	3	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	35	42	23	3	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	40	38	24	1	0	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	16	25	44	12	6	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	21	37	30	11	4	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	43	40	19	1	0	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	65	29	7	2	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	52	39	11	1	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	55	37	11	0	0	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	57	36	8	1	1	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	68	28	6	1	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	62	29	10	2	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	46	37	13	1	0	6	4.3

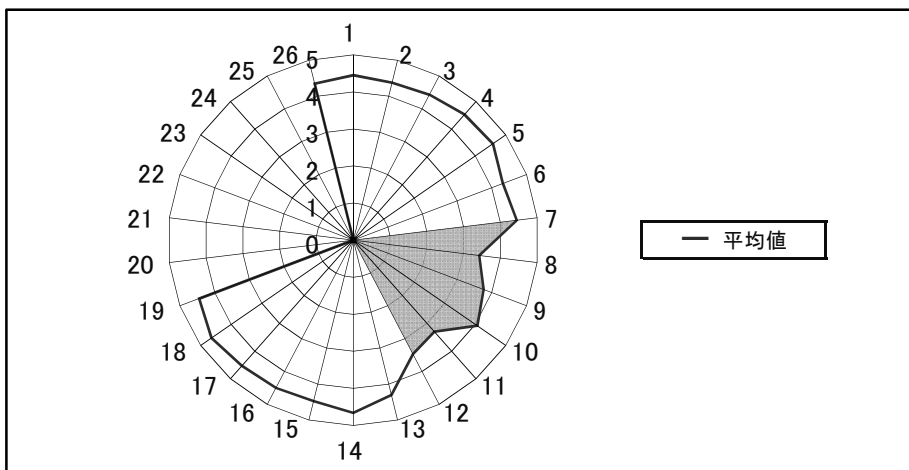


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 初等国語科教育論A
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 95 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	45	48	2	0	0	4.5	
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	48	36	10	1	0	4.4	
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	51	34	10	0	0	4.4	
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	59	28	7	1	0	4.5	
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	60	28	6	0	0	4.6	
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	49	28	17	1	0	4.3	
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	54	31	8	2	0	4.4	
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	17	23	40	13	2	3.4	
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	26	28	33	8	0	3.8	
	(10)教員の説明をよく聞いた。	35	36	19	5	0	4.1	
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	15	23	35	17	4	3.3	
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	21	23	31	17	2	3.5	
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	45	36	12	2	0	4.3	
	(14)熱心に指導した。	69	20	6	0	0	4.7	
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	53	34	8	0	0	4.5	
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	50	38	4	0	0	4.5	
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	12	3	1	1	0	78	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	67	21	6	0	0	1	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	50	36	8	0	0	1	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	44	41	8	0	1	1	4.4

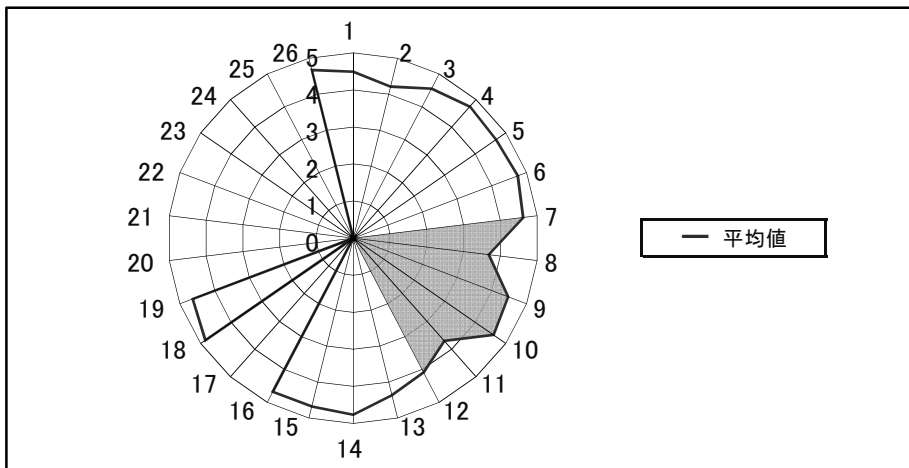


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 初等国語科教育論B
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 47 名

質問項目		評価選択人数					N.A	平均値 (科目別)
		5	4	3	2	1		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	24	22	1	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	19	21	5	2	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	26	21	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	37	8	2	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	34	11	2	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	37	9	0	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	32	12	3	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	13	13	16	3	2	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	28	13	6	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	31	14	1	1	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	14	13	16	0	4	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	19	18	7	1	2	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	23	18	6	0	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	37	9	1	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	34	12	0	1	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	34	11	2	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	47	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	41	5	1	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	32	13	2	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	34	11	0	0	1	1	4.7

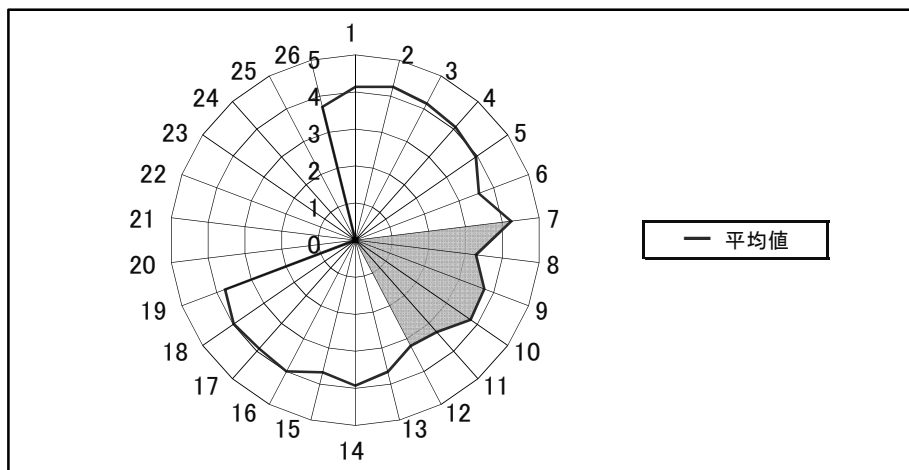


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等社会科教育論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 伊藤 直之

回答者数 148 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.7
	(14)熱心に指導した。						3.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.7

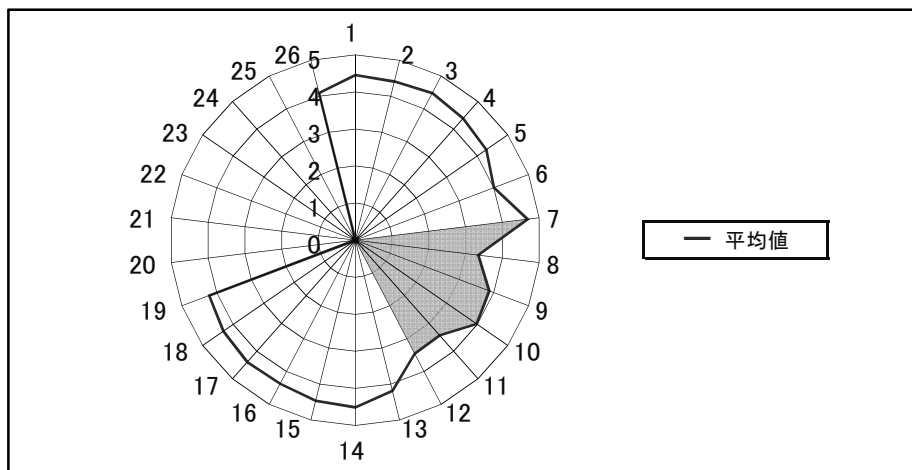


総合評価	3.9
------	-----

授業科目名 算数科教育論A
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 44 名

質 問 項 目		評価選択人数					N.A	平均値 (科目別)
		5	4	3	2	1		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	21	22	1	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	22	18	4	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	22	21	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	19	23	2	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	19	19	6	0	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	14	19	8	3	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	31	12	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	16	17	5	2	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	11	20	9	4	0	0	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	10	23	11	0	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	10	9	16	8	1	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	12	23	2	1	0	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	15	21	7	0	0	1	4.2
	(14)熱心に指導した。	25	15	3	0	0	1	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	24	15	4	0	0	1	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	20	19	4	0	0	1	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	21	18	4	0	0	1	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	20	18	4	1	0	1	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	18	16	7	1	0	2	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	13	22	7	1	0	1	4.1

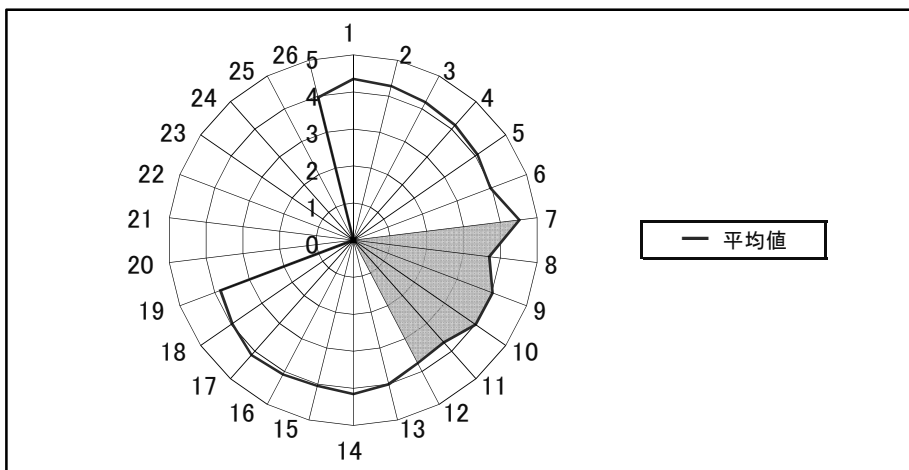


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 算数科教育論B
 評価実施日 平成 22 年 03 月 05 日
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 111 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	42	50	7	0	0	12	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	45	40	12	1	1	12	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	42	37	18	2	0	12	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	44	29	22	4	0	12	4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	39	33	23	3	1	12	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	38	28	26	5	2	12	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	58	34	7	0	0	12	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	27	30	29	11	2	12	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	36	32	28	3	0	12	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	38	29	28	3	1	12	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	29	26	29	11	3	13	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	32	23	31	10	2	13	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	40	29	21	8	1	12	4.0
	(14)熱心に指導した。	44	33	17	3	2	12	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	43	29	18	7	2	12	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	46	25	18	8	1	13	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	45	29	18	5	1	13	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	40	30	16	9	3	13	4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	32	32	20	11	2	14	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	36	30	24	6	1	14	4.0

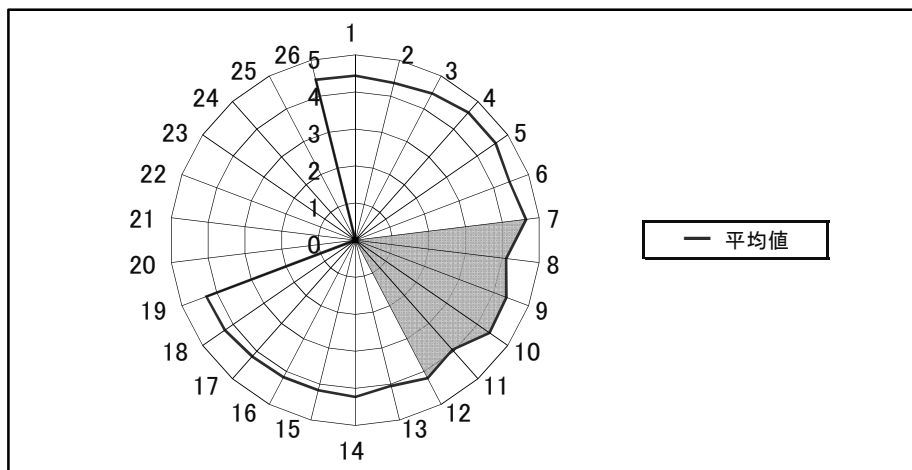


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 初等理科教育論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 本田 亮, 香西 武, 佐藤 勝幸, 武田 清

回答者数 138 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	71	57	10	0	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	69	51	18	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	76	51	11	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	96	30	11	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	87	47	4	0	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	79	43	15	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	99	29	9	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	52	55	25	5	1	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	66	56	15	1	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	75	48	11	3	1	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	39	61	31	6	1	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	53	63	19	3	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	42	64	29	3	0	0	4.1
	(14)熱心に指導した。	58	57	20	3	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	54	55	25	3	0	1	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	57	49	29	2	0	1	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	58	48	28	2	0	2	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	65	50	19	4	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	64	52	21	1	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	73	50	7	1	1	6	4.5

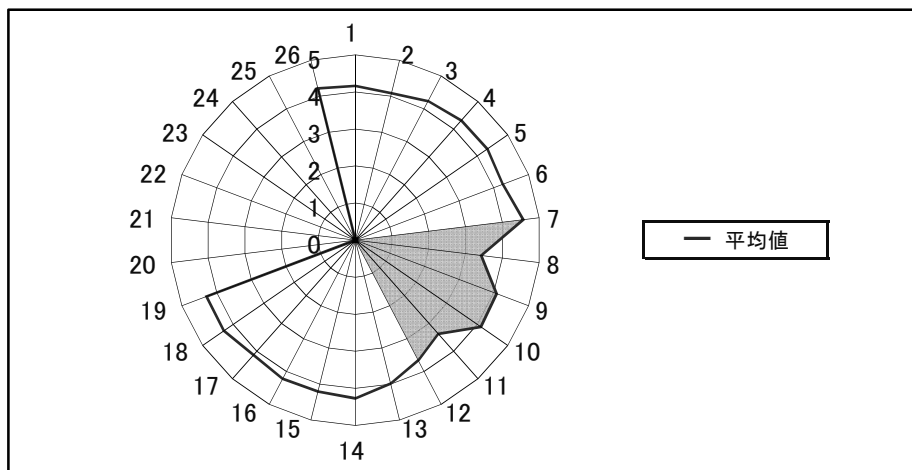


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 生活科教育論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 17 日
 担当教員名 村川 雅弘, 西村 公孝, 木下 (光)

回答者数 130 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	37	77	16	0	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	31	80	18	1	0	0	4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	48	65	17	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	60	52	17	1	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	63	48	18	1	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	54	56	18	0	1	1	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	86	31	13	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	26	33	46	20	5	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	45	51	33	1	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	46	58	21	5	0	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	23	35	44	24	4	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	31	45	36	15	3	0	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	34	63	30	3	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	60	46	23	1	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	52	55	21	2	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	55	51	22	2	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	48	55	25	1	1	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	62	48	18	2	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	55	58	15	1	0	1	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	49	60	17	2	0	2	4.2

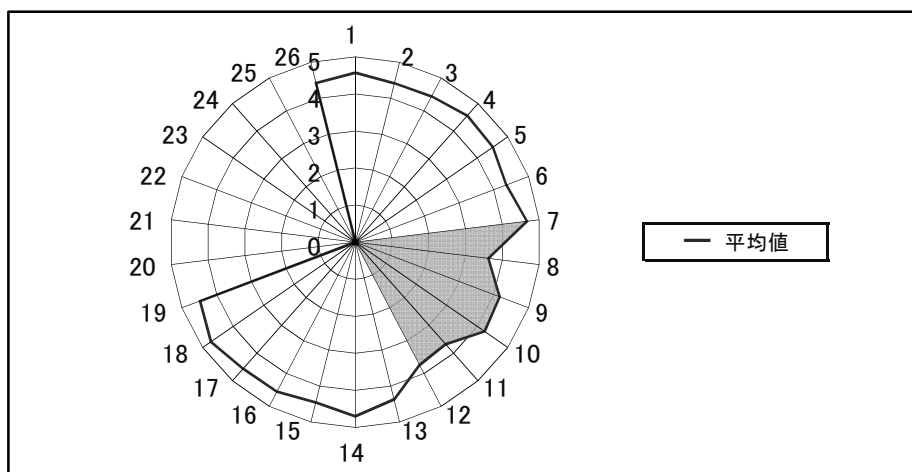


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 図画工作科教育論A
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 84 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	51	30	3	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	47	26	10	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	45	32	6	1	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	56	20	7	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	49	29	6	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	43	28	13	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	62	18	2	2	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	20	26	26	7	4	1	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	32	36	14	2	0	0	4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。	39	30	11	1	2	1	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	23	25	26	6	4	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	23	28	24	6	3	0	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	40	36	7	1	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	63	16	3	1	0	1	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	46	32	4	2	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	51	28	3	1	0	1	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	53	25	4	1	0	1	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	65	15	2	1	0	1	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	51	22	9	1	0	1	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	41	34	5	1	0	3	4.4

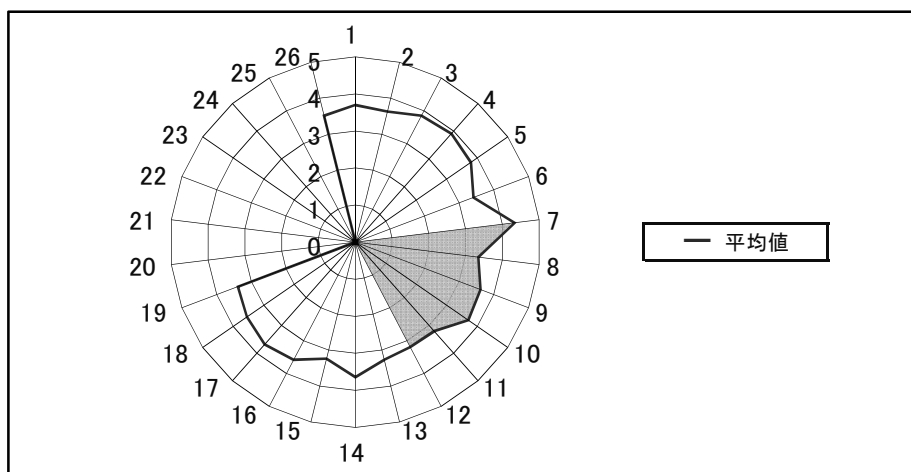


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 図画工作科教育論B
 評価実施日 平成 22 年 03 月 02 日
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 67 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.3
	(14)熱心に指導した。						3.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.5

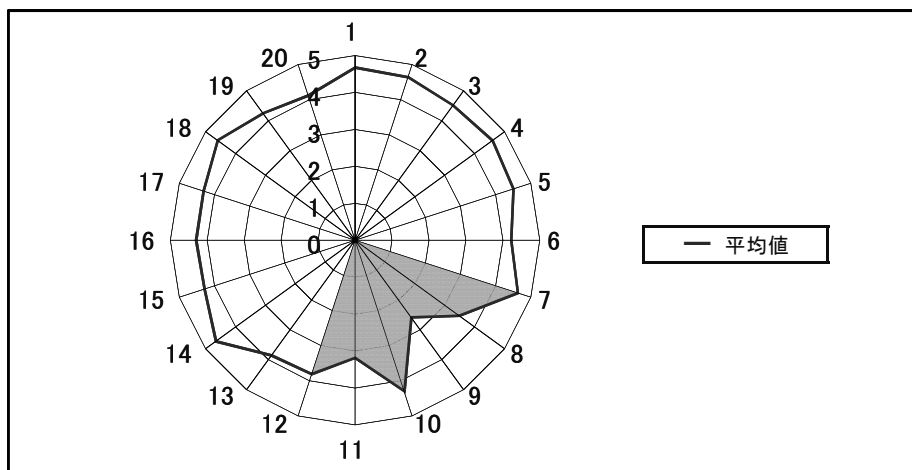


総合評価	3.6
------	-----

授業科目名 体育科教育論
 評価実施日 平成 21 年 06 月 11 日
 担当教員名 吉本 佐雅子, 梅野 圭史

回答者数 128 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に発言や質問をした。						2.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.2
4 教員の授業の進め方について	(12)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.8
	(13)学生が参加しやすい授業だった。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)視聴覚機器及び教育用機器の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。						4.3
	(20)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1
5 授業に対する満足度							

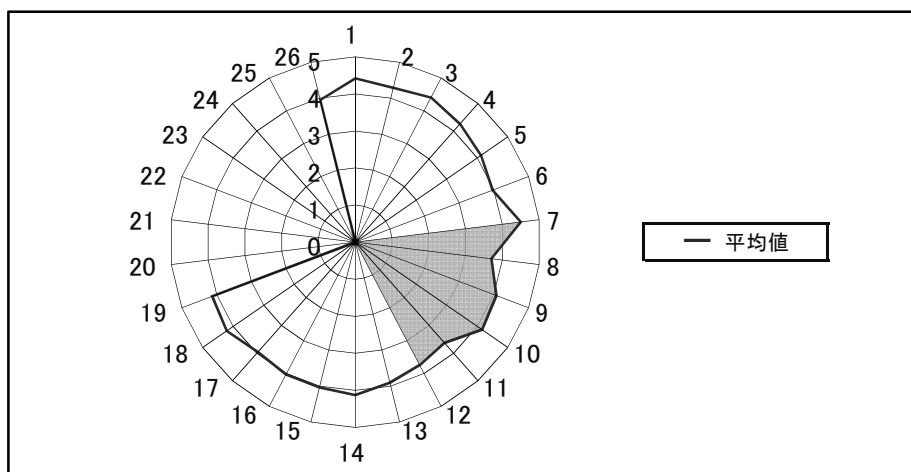


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 初等家庭科教育論
 評価実施日 平成 22 年 03 月 04 日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 134 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.0

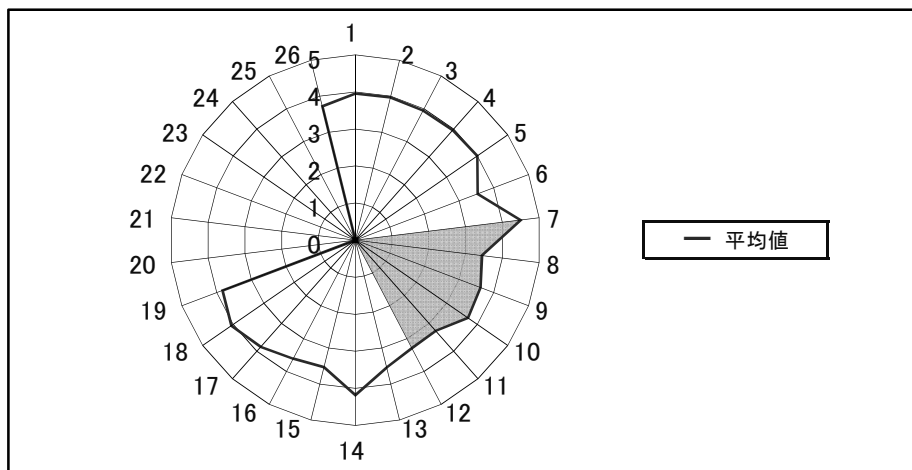


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 道徳教育指導論A
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 兼松 儀郎

回答者数 93 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.7

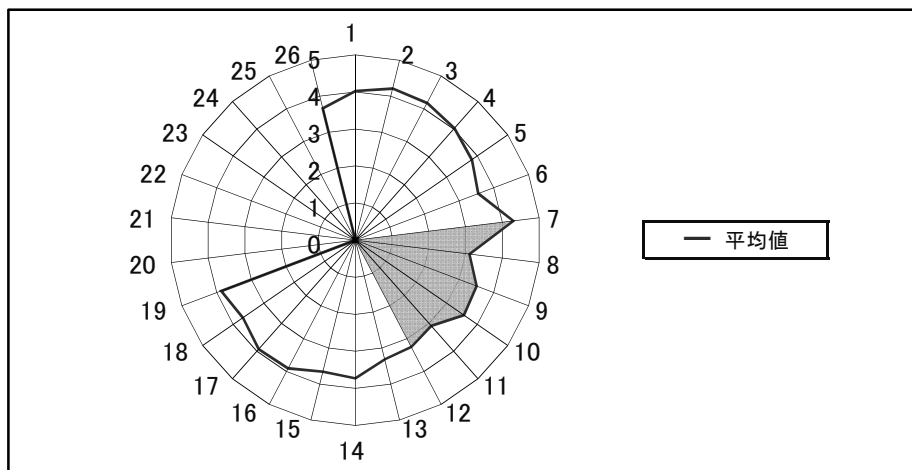


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 特別活動指導論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 葛上 秀文

回答者数 159 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.3
	(14)熱心に指導した。						3.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.7

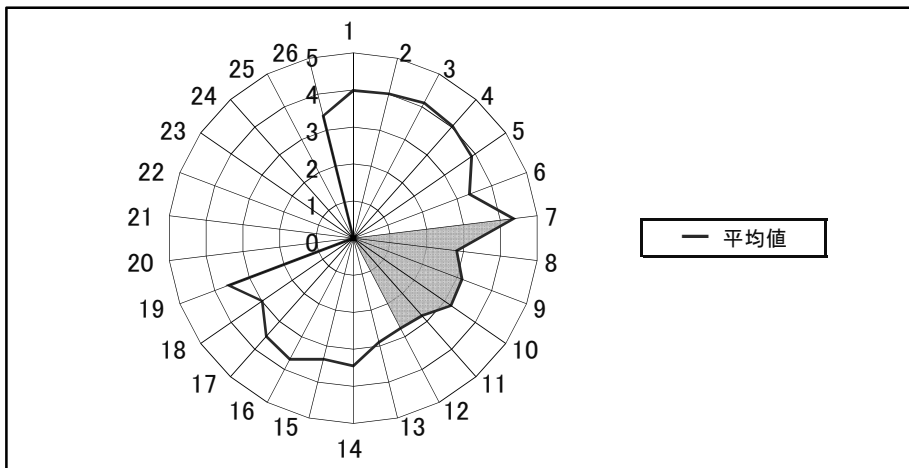


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 授業研究論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 19 日
 担当教員名 小野瀬 雅人

回答者数 74 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						2.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						2.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						2.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						2.9
	(14)熱心に指導した。						3.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.4

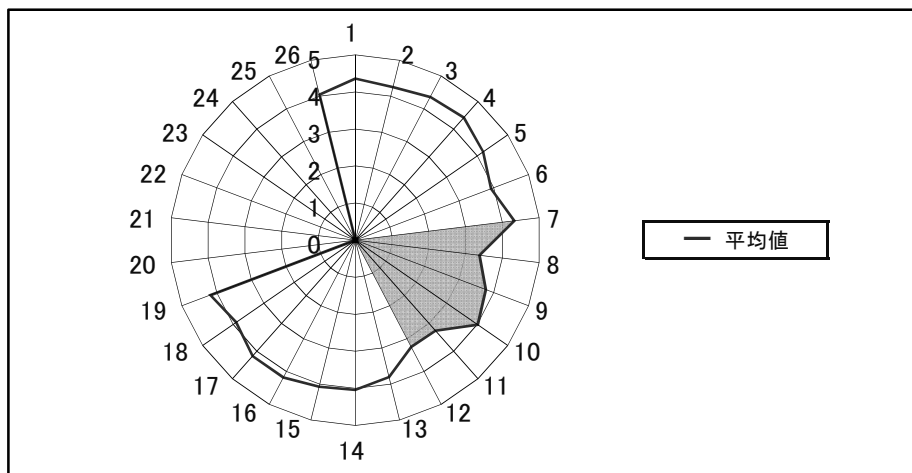


総合評価	3.6
------	-----

授業科目名 教育評価論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 小野瀬 雅人, 川上 綾子, 村川 雅弘

回答者数 72 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	37	25	9	1	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	34	25	11	1	1	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	37	24	11	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	40	24	6	2	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	28	32	10	2	0	0	4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	18	32	20	2	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	38	20	13	1	0	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	12	17	30	12	1	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	16	28	23	5	0	0	3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	20	34	17	1	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	10	19	28	10	5	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	11	18	27	10	6	0	3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	18	27	23	3	1	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	24	29	17	2	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	21	34	16	0	0	1	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	28	29	15	0	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	31	26	12	3	0	0	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	26	25	13	4	4	0	3.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	30	26	15	1	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	20	36	13	2	0	1	4.0

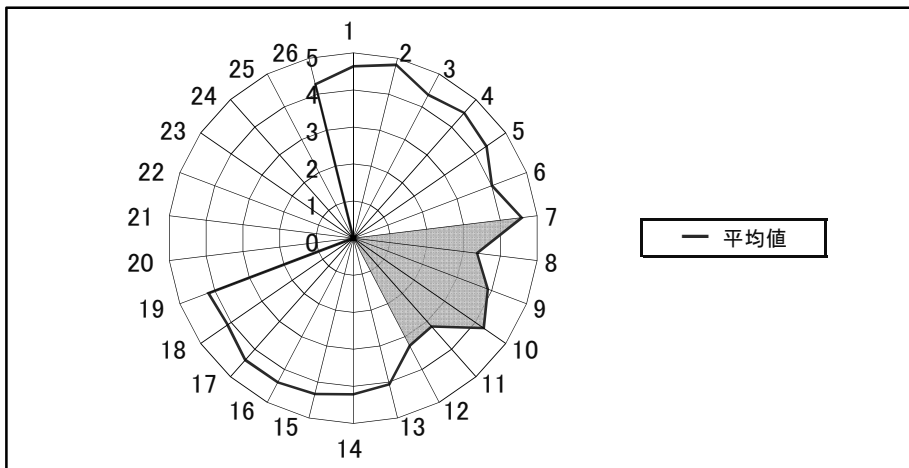


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 教育工学
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 川上 綾子

回答者数 33 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

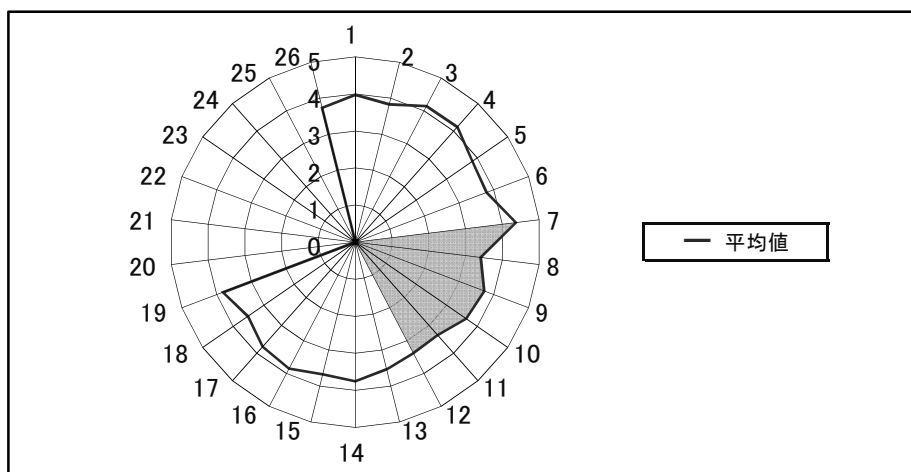


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 カウンセリング論A
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 吉井 健治, 久米 禎子

回答者数 118 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	30	60	24	3	1	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	28	51	31	7	1	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	45	48	23	1	1	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	42	56	17	2	1	0	4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	26	56	29	5	2	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	25	52	34	5	2	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	64	38	13	1	2	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	16	42	43	8	9	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	25	45	40	6	2	0	3.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	19	49	40	8	2	0	3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	16	39	41	14	8	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	18	38	43	9	10	0	3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	15	48	41	13	1	0	3.5
	(14)熱心に指導した。	23	56	27	11	1	0	3.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	18	49	45	4	1	1	3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	26	55	32	4	1	0	3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	26	47	36	7	1	1	3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	20	36	49	9	3	1	3.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	22	54	40	0	1	1	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	19	55	37	5	1	1	3.7

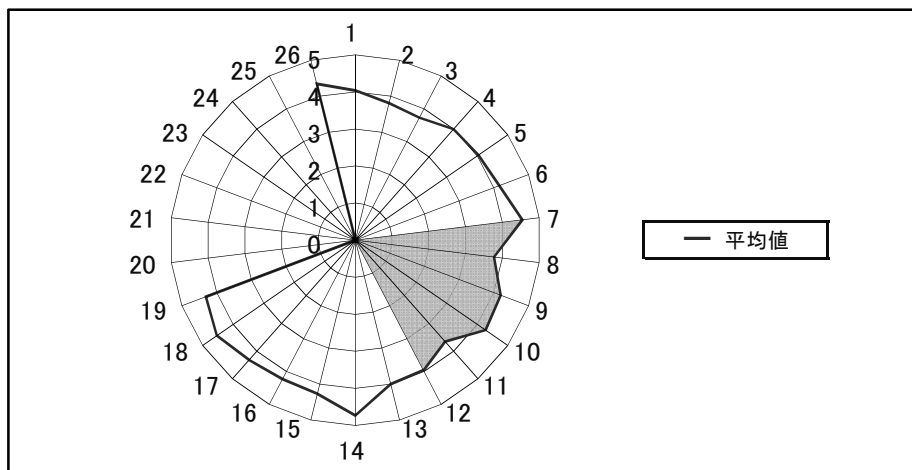


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 中等国語科教材論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 24 日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 26 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

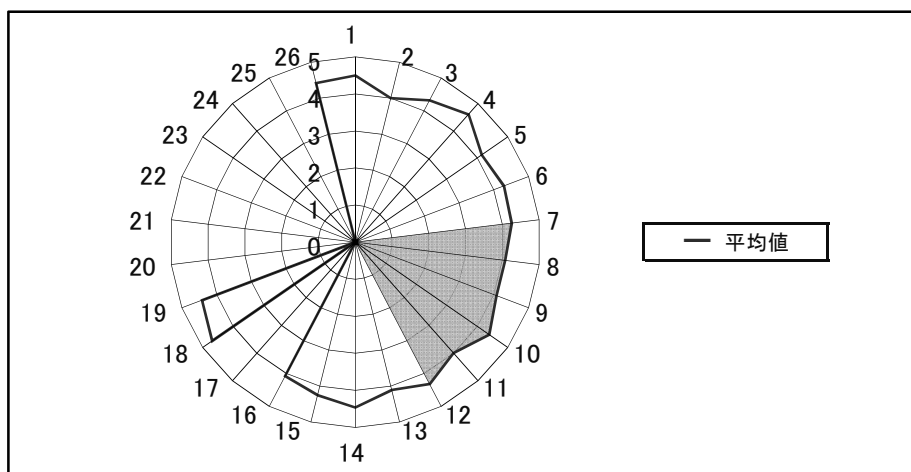


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 中等国語科教育論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 村井 万里子, 原 卓志

回答者数 28 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	16	10	2	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	11	9	6	1	1	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	14	9	5	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	17	11	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	12	10	4	2	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	10	16	2	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	14	8	5	1	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	9	12	7	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	8	14	6	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	13	13	2	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	9	11	7	1	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	10	17	1	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	11	7	0	0	4.1
	(14)熱心に指導した。	16	9	3	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	14	7	7	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	10	9	6	1	0	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	28
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	19	6	1	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	15	7	4	0	0	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	13	11	2	0	0	4.4

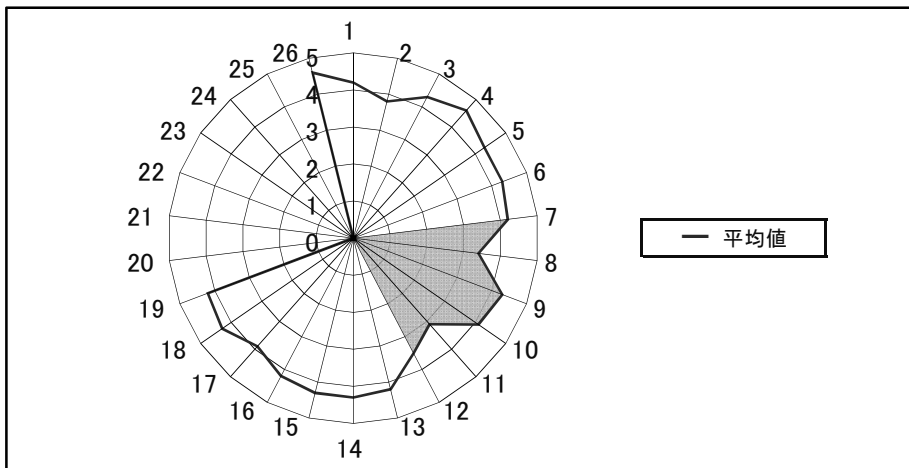


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 中等国語科授業論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	4	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	4	4	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	5	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	2	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	3	2	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	3	2	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	5	3	1	1	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	1	3	3	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	1	3	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	2	2	1	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	3	2	1	3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	3	4	0	1	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	4	2	0	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	5	3	2	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	5	1	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	4	2	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	3	4	0	0	3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	5	1	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	4	2	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	4	0	0	0	4.6

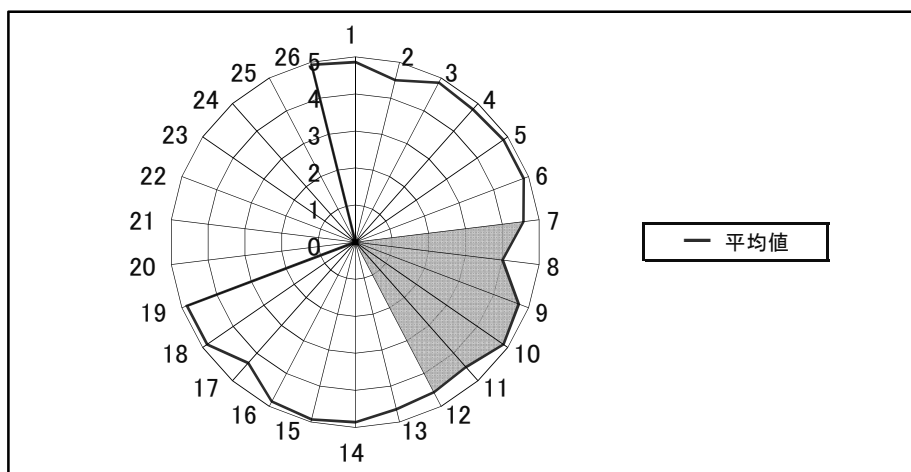


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 国語科教育特論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 14 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	12	2	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	9	3	2	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	12	2	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	3	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	12	2	0	0	0	4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	12	2	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	4	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	7	2	1	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	10	4	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	12	2	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	9	3	2	0	0	4.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	10	2	2	0	0	4.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	3	1	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	12	2	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	13	1	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	12	2	0	0	0	4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	3	3	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	12	2	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	12	2	0	0	0	4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	13	1	0	0	0	4.9

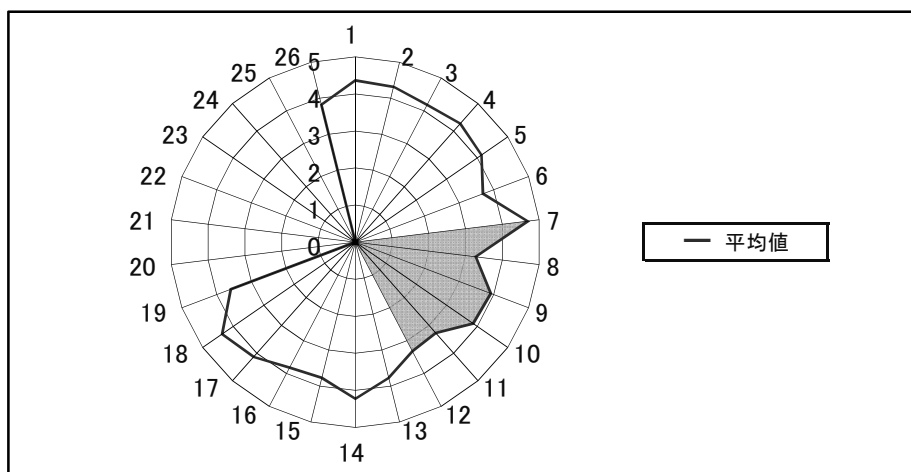


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 英語科教育論 I
 評価実施日 平成 21 年 08 月 05 日
 担当教員名 山森 直人

回答者数 22 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	11	9	1	1	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	14	3	3	2	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	9	10	2	0	1	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	8	1	2	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	11	5	4	2	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	6	3	3	2	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	16	5	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	7	11	3	0	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	12	3	2	0	0	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	9	3	2	1	0	3.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	8	10	2	1	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	7	5	4	2	0	3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	8	8	1	3	2	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	11	7	3	0	1	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	8	0	5	1	0	3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	9	4	6	2	1	0	3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	11	6	2	3	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	14	3	4	1	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	9	4	2	2	0	3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	9	6	3	2	2	0	3.8

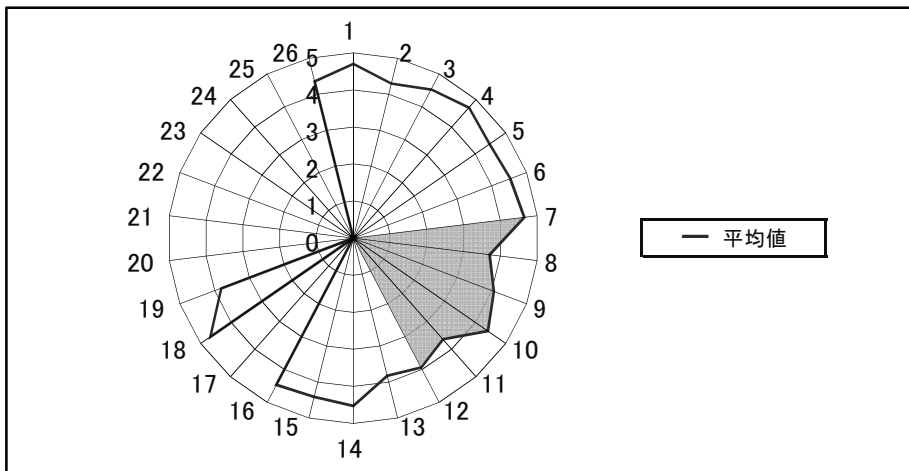


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 英語科教育論Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 03 月 05 日
 担当教員名 伊東 治己

回答者数 17 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	12	5	0	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	8	0	0	1	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	11	4	2	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	12	5	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	8	9	0	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	9	8	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	12	4	1	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	9	5	1	0	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	10	3	0	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	10	0	0	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	8	6	1	0	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	6	3	2	0	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	5	4	1	1	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	9	8	0	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	7	0	1	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	8	9	0	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	17	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	11	5	0	0	0	1	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	8	2	1	1	1	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	8	0	1	0	0	4.4

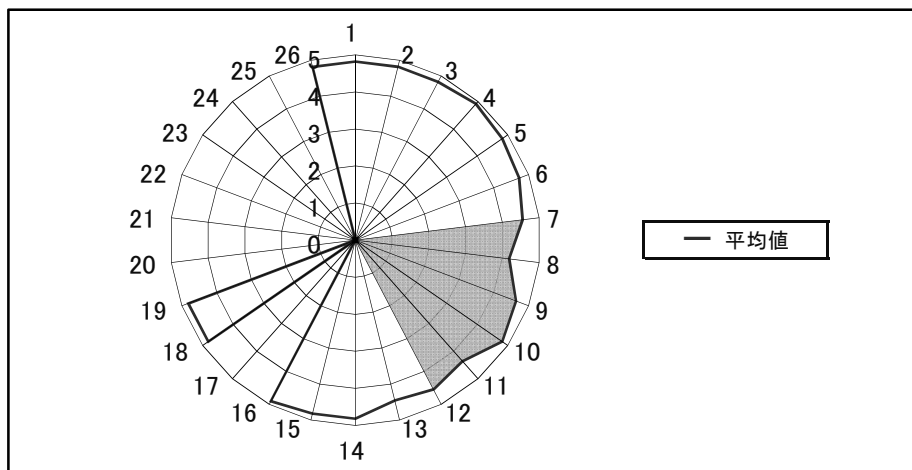


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 英語科教育論Ⅲ
 評価実施日 平成 21 年 08 月 04 日
 担当教員名 伊東 治己

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.5
	(14)熱心に指導した。						4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						11
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8

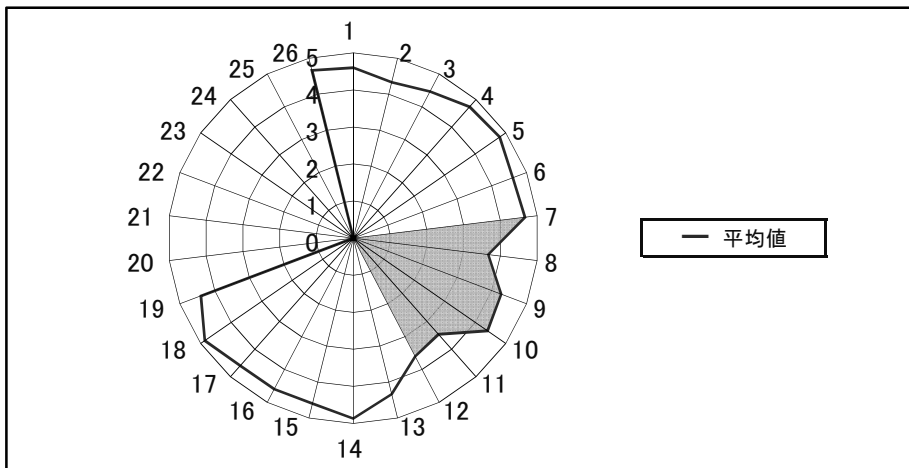


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 中等社会科教育論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 梅津 正美

回答者数 15 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

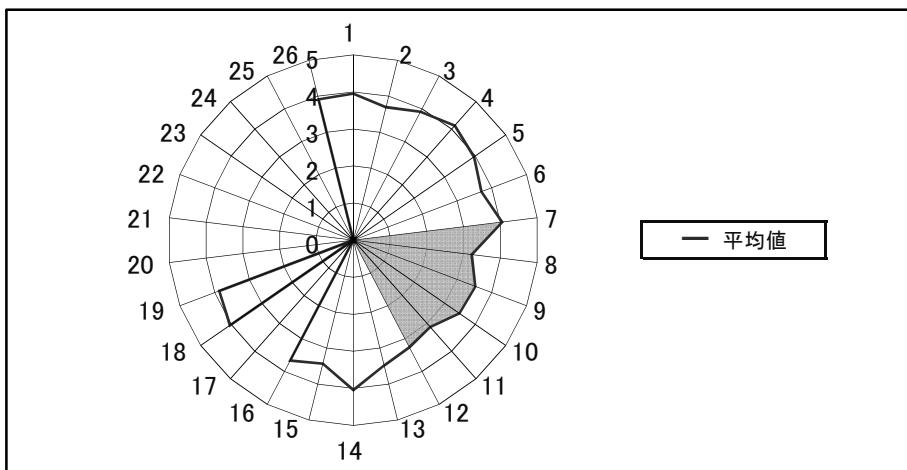


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 中等社会科授業論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 西村 公孝

回答者数 23 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						23
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.9

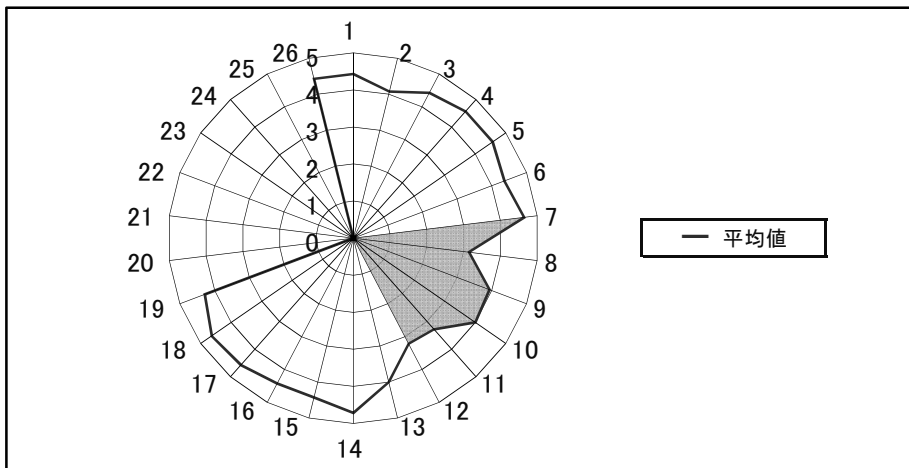


総合評価 3.8

授業科目名 地理歴史科教育論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 14 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4	

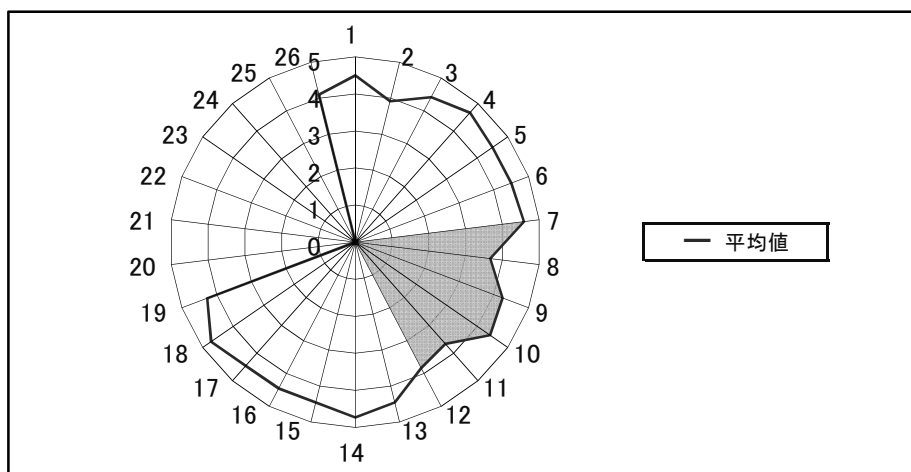


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 社会科・地理歴史科教材論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	6	6	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	4	3	1	0	3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	5	1	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	4	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	4	1	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	4	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	8	3	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	4	2	0	2	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	3	3	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	3	2	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	2	2	2	1	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	2	2	0	2	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	4	1	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	8	3	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	4	1	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	4	1	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	4	1	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	3	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	5	0	1	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	2	2	1	0	4.1

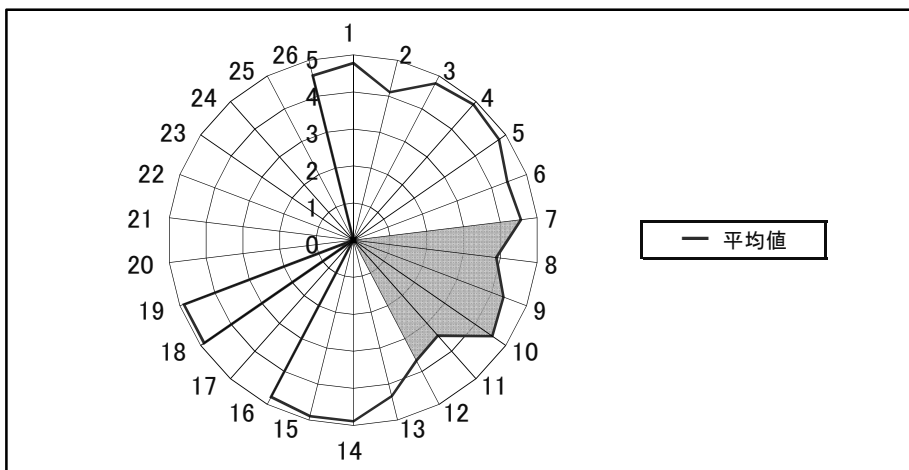


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 公民科教育論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 西村 公孝

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	2	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	2	1	0	1	4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	2	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	5	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	2	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	5	1	1	0	3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	4	1	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	4	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	5	0	3	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	5	2	1	0	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	6	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	8	1	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	1	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	2	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	1	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	1	0	0	0	4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	1	1	0	0	4.6

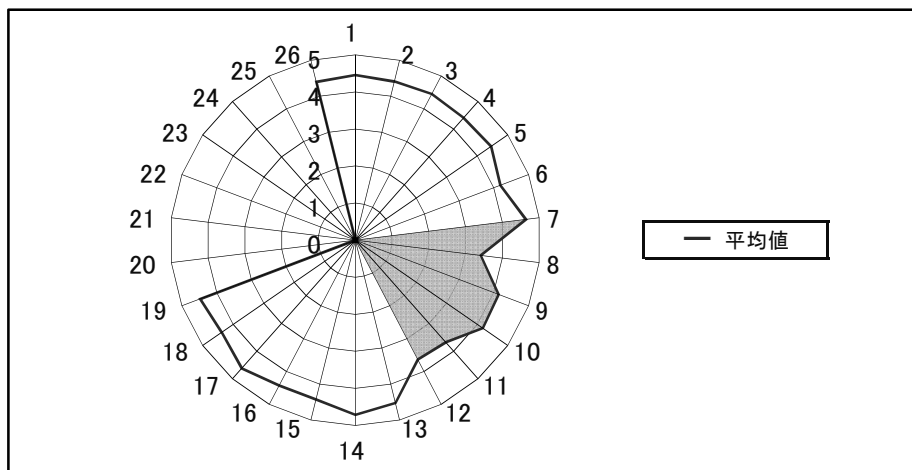


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 数学科教育論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 22 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	11	10	1	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	12	8	1	1	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	12	9	0	1	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	13	6	2	1	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	13	7	1	1	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	13	1	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	14	8	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	10	6	3	1	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	8	10	3	1	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	11	2	1	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	11	3	4	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	9	7	1	1	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	11	10	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	15	6	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	12	0	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	12	7	1	1	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	14	6	1	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	9	2	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	11	9	1	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	10	9	0	1	0	4.4

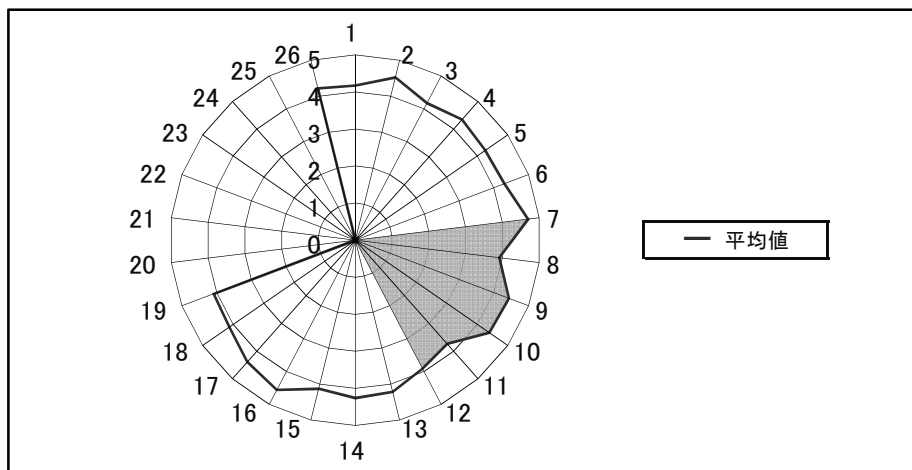


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 数学科教材論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 齋藤 昇, 秋田 美代

回答者数 23 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.2	

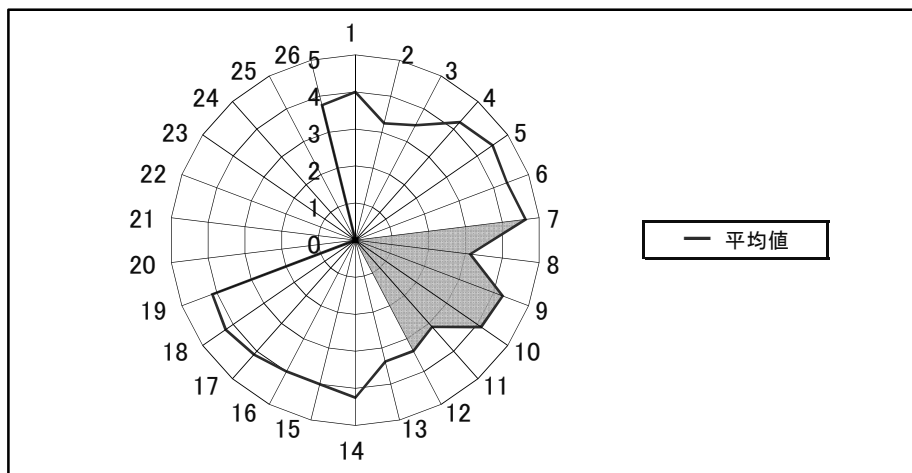


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 数学科授業論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 齋藤 昇, 秋田 美代

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	4	2	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	3	2	0	3.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	3	3	1	0	3.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	4	1	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	2	1	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	2	0	1	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	0	0	1	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	1	2	1	3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	2	2	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	1	1	0	1	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	0	4	1	1	3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	0	5	1	0	3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	2	4	1	0	3.4
	(14)熱心に指導した。	3	4	1	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	2	3	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	4	2	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	5	1	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	4	1	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	5	1	0	0	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	2	4	0	0	3.8

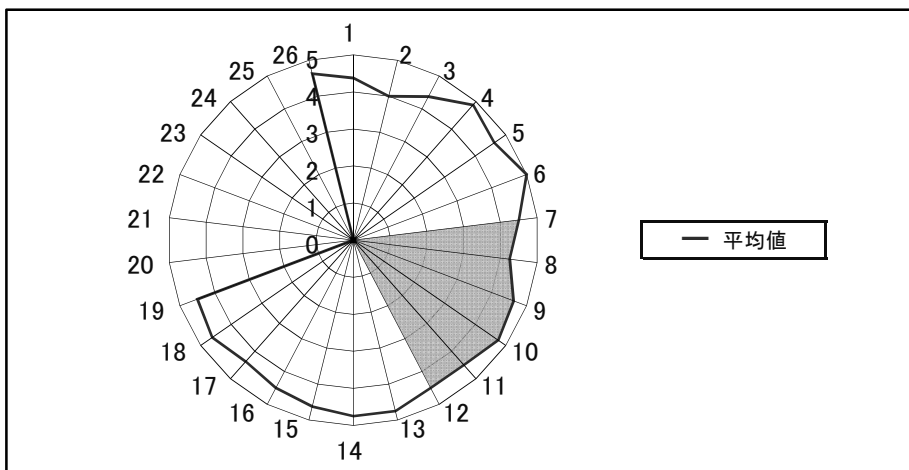


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 数学科教育学特論
 評価実施日 平成 19 年 07 月 31 日
 担当教員名 齋藤 昇, 秋田 美代

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	4	2	0	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	4	0	0	0	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	3	0	0	0	0	4.6

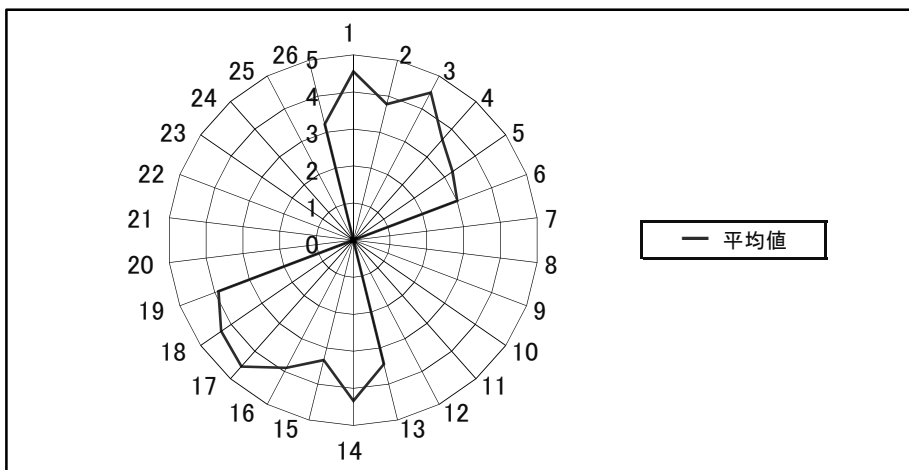


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 中等音楽科授業論
 評価実施日 平成 21 年 08 月 04 日
 担当教員名 西園 芳信

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	5	4	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	3	2	0	1	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	4	0	0	1	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	5	1	0	1	3.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	1	3	1	1	3.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	0	2	2	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	0	0	0	0	9	
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	0	0	0	9	
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	9	
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	0	0	0	9	
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	0	0	0	9	
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	0	0	0	9	
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	3	2	1	1	3.4
	(14)熱心に指導した。	4	4	1	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	5	1	0	2	3.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	2	2	0	1	3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	2	1	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	4	1	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	4	1	0	1	3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	5	0	1	2	3.2

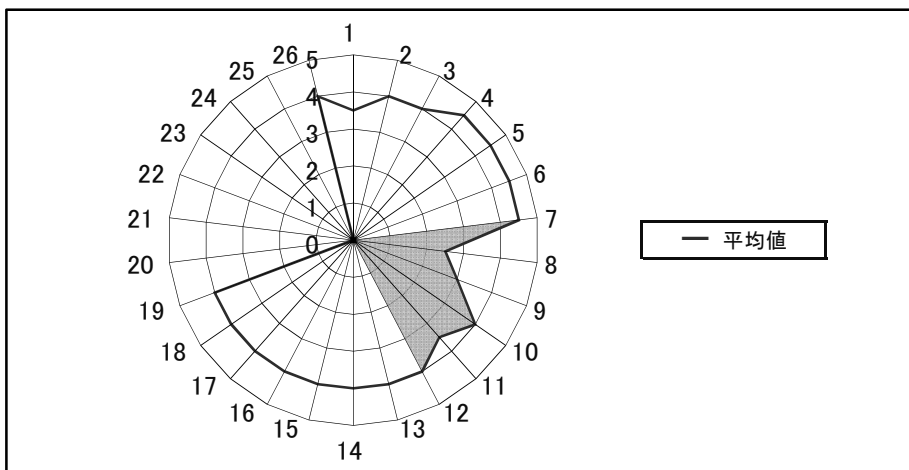


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 中等音楽科教育特論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 西園 芳信

回答者数 2 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	1	0	0	1	0	2.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	1	0	3.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	0	2	0	0	0	0	4.0

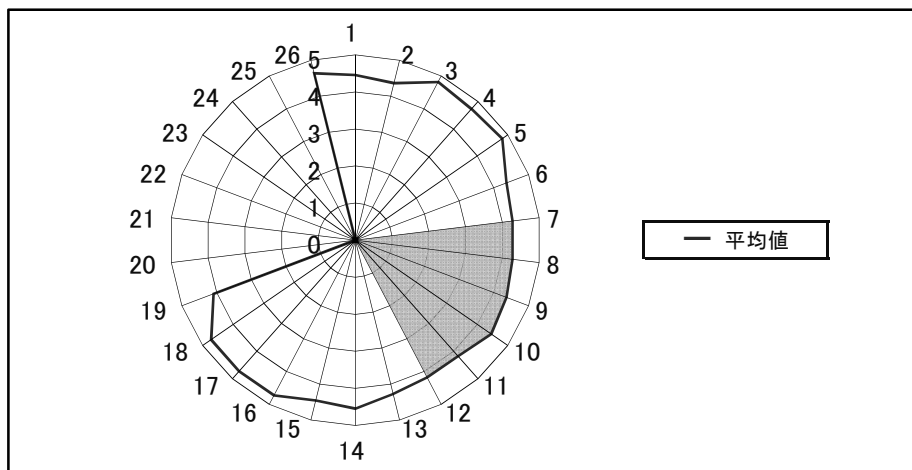


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 美術科授業論
 評価実施日 平成 22 年 03 月 04 日
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	2	0	0	1	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	4	0	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	10	0	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	9	1	1	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	0	1	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	1	1	0	1	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	3	1	1	0	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	3	1	1	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	1	1	1	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	6	1	4	0	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	4	1	1	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	4	0	0	1	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	8	2	0	1	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	3	0	1	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	10	0	0	1	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	10	0	0	1	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	0	0	1	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	4	1	0	1	0	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	2	1	0	0	0	4.6

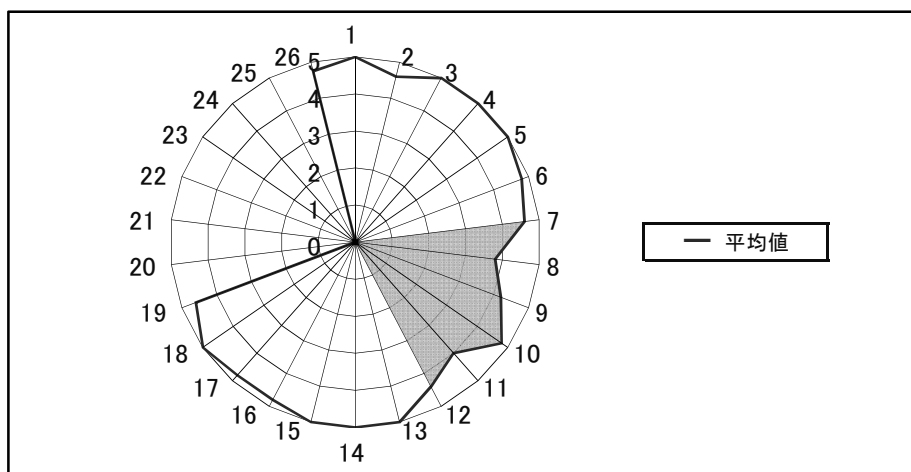


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 美術科教材論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 12 日
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						5.0
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8

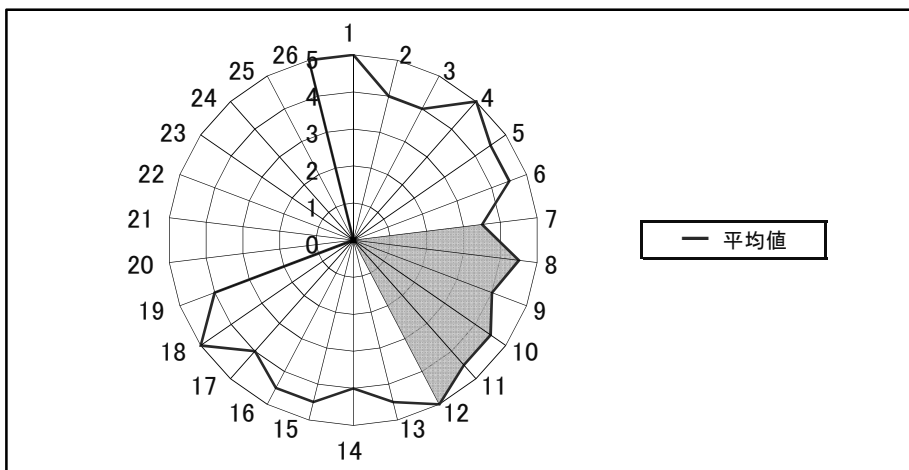


総合評価 4.9

授業科目名 美術科教育特論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 山木 朝彦, 山田芳明

回答者数 2 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	0	2	0	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	0	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	0	0	1	0	3.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	1	0	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	0	1	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	1	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	1	0	0	0	4.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	1	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	1	0	1	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	1	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	0	1	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	2	0	0	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

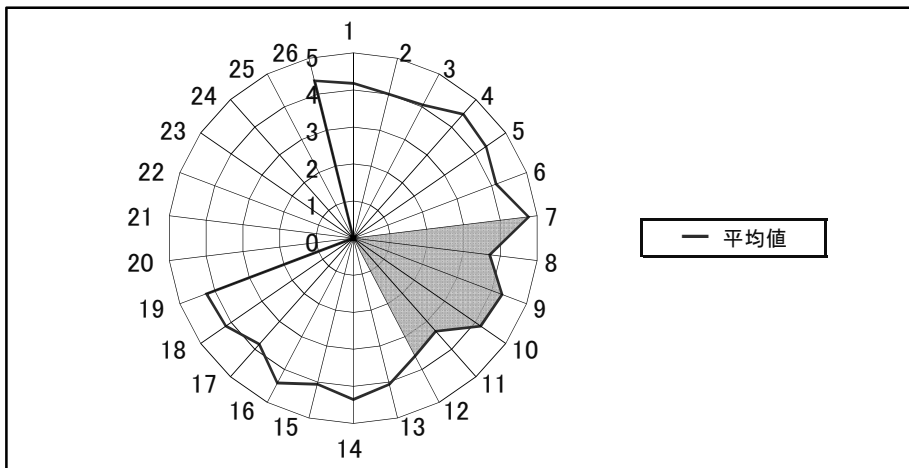


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 保健体育科教育論 I
 評価実施日 平成 21 年 08 月 04 日
 担当教員名 綿引 勝美

回答者数 17 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4

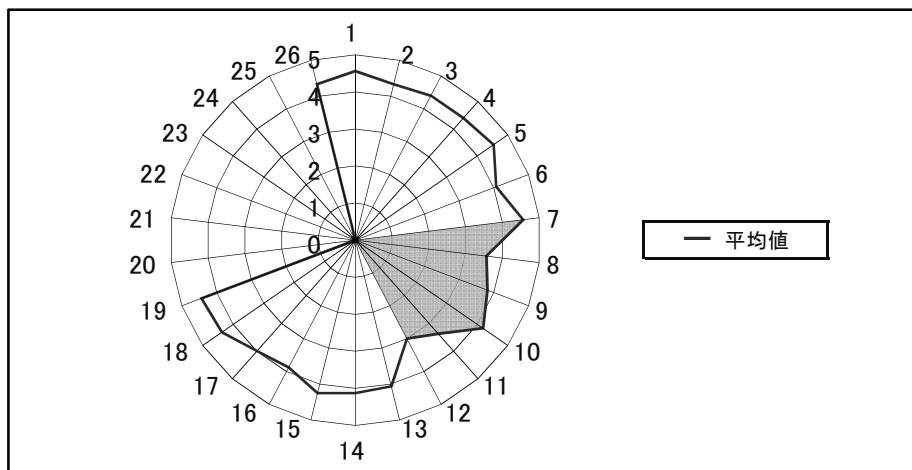


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 保健体育科教育論Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 坂本 和丈

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

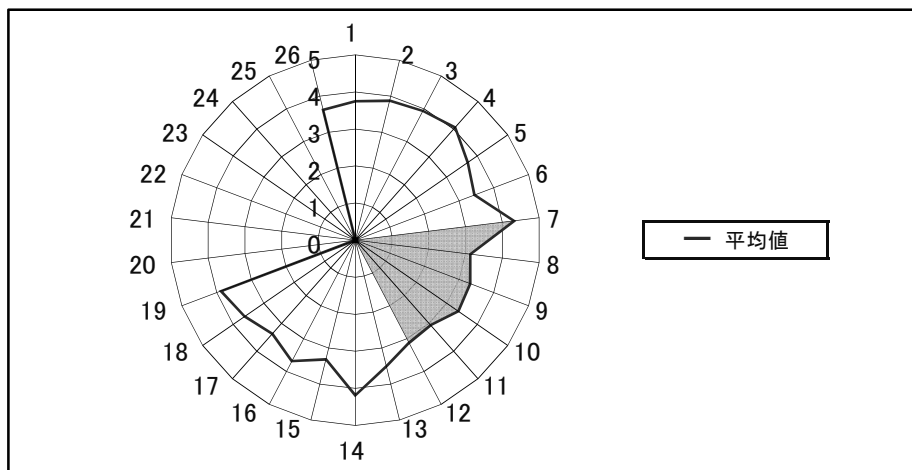


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 保健体育科教育論Ⅲ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 吉本 佐雅子

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.6

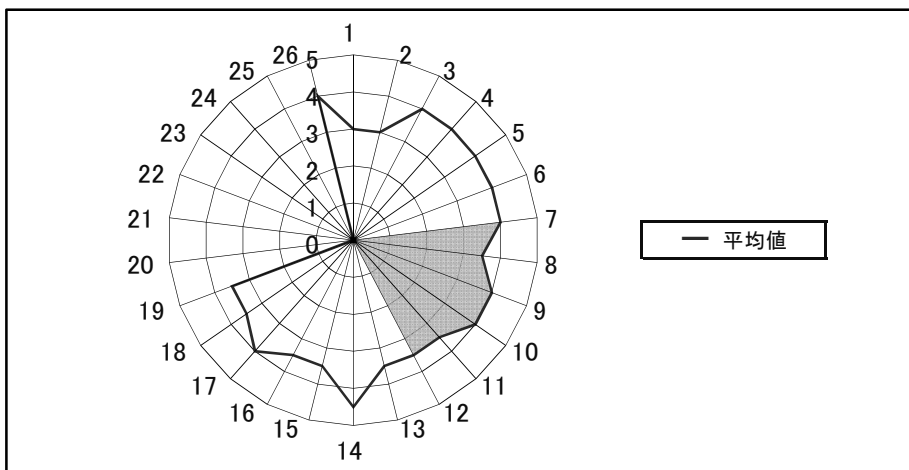


総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 技術科教育論Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 尾崎 士郎, 宮下 晃一

回答者数 2 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	0	0	2	0	0	0	3.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	0	0	2	0	0	0	3.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	1	1	0	0	0	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(14)熱心に指導した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	0	2	0	0	0	0	4.0

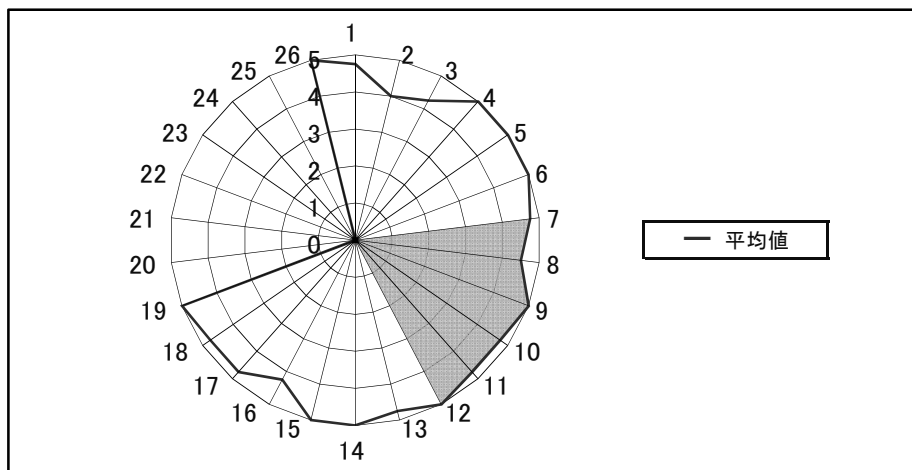


総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 技術科教育論演習Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 尾崎 士郎

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	1	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	1	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	2	0	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	1	0	0	0	4.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	3	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	1	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

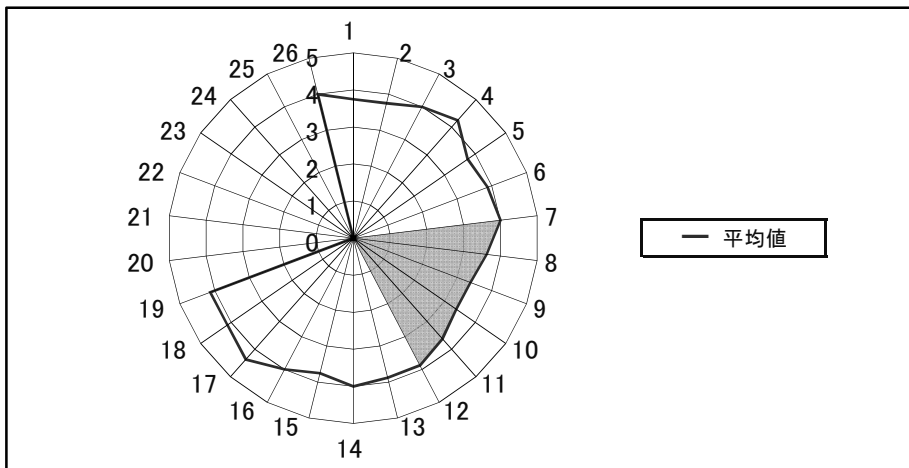


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 工業科教育論 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	3	2	1	0	0	3.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	2	4	0	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	0	4	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	1	3	1	0	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	1	4	0	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	0	4	1	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	2	4	1	0	0	3.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	2	4	1	0	0	3.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	2	3	1	0	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	3	3	0	0	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	1	4	0	0	0	3.9
	(14)熱心に指導した。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	1	3	1	0	0	3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	1	2	0	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	3	2	0	0	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	3	2	0	0	0	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	2	3	0	0	0	4.0

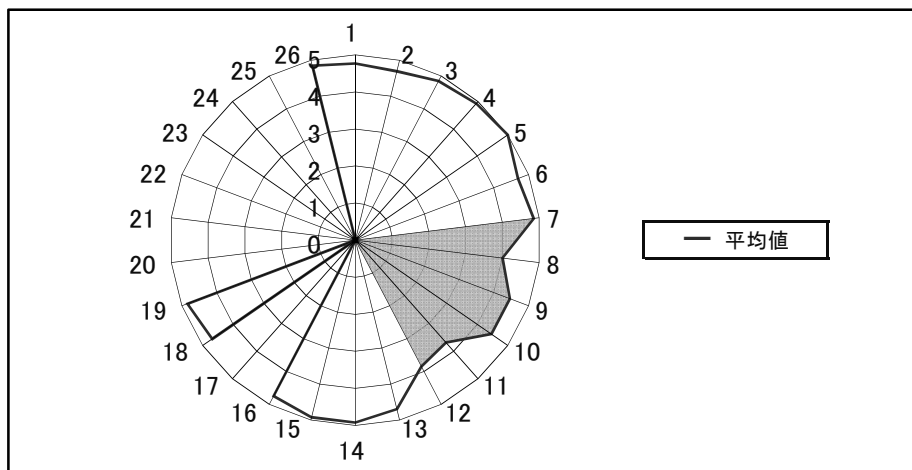


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 中等家庭科教育論
 評価実施日 平成 21 年 08 月 06 日
 担当教員名 鳥井 葉子

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.7
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						13
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8

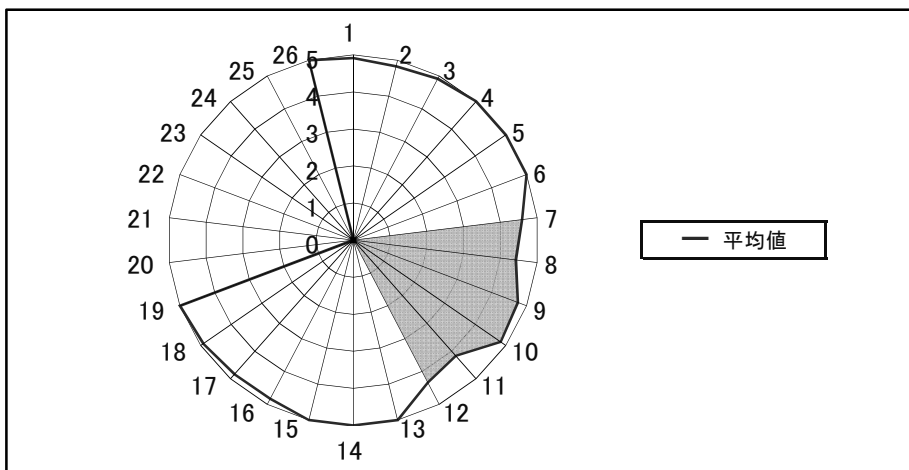


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 中等家庭科授業論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 19 日
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	11	0	1	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	12	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	5	1	0	0	0	4.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	10	1	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	4	3	0	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	4	2	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	12	0	0	0	0	0	5.0

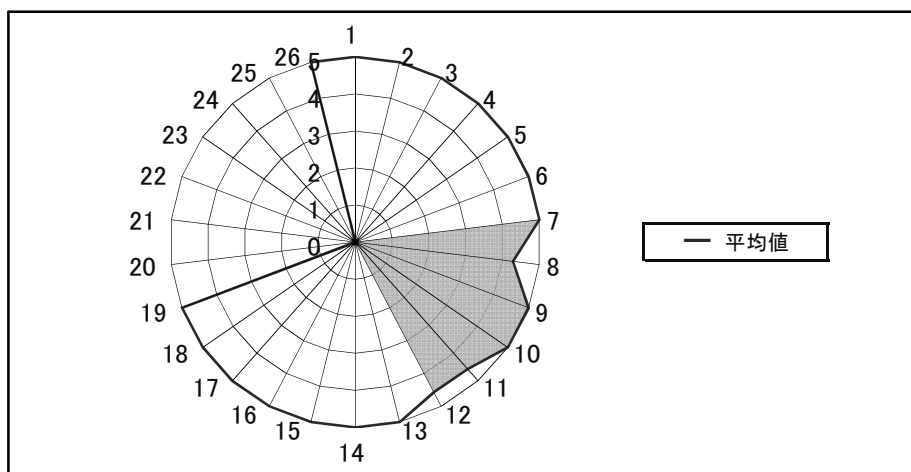


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 中等家庭科教材論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 金 貞均, 西川 和孝, 福井 典代

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	7	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	1	2	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	3	0	0	0	4.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	3	0	0	0	4.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	7	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	7	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

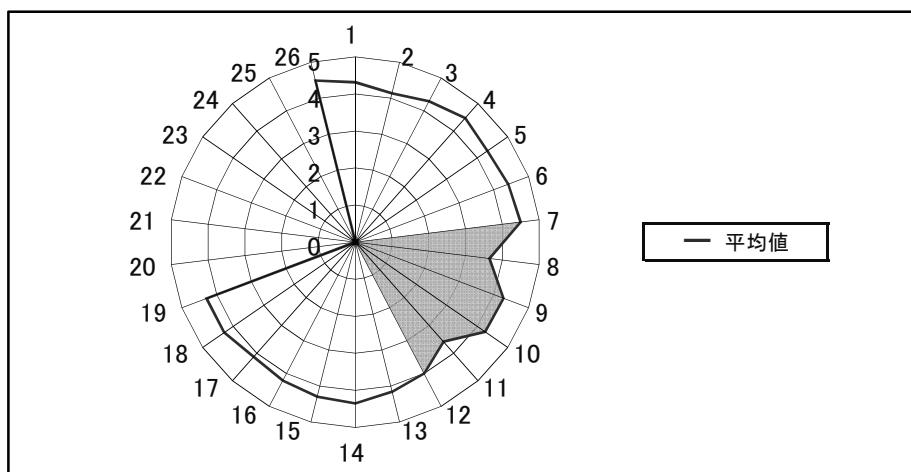


総合評価	5.0
------	-----

授業科目名 幼児教育課程論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 橋川 喜美代

回答者数 51 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	23	21	7	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	19	21	10	1	0	4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	24	19	7	1	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	28	20	2	1	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	25	19	6	1	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	27	18	6	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	29	19	2	1	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	11	16	19	5	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	21	24	5	1	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	22	20	9	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	11	16	17	6	1	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	14	26	8	3	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	18	24	8	1	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	23	23	5	0	0	4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	23	20	8	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	21	20	10	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	20	18	13	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	23	20	8	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	22	22	7	0	0	4.3
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	30	17	3	1	0	4.5



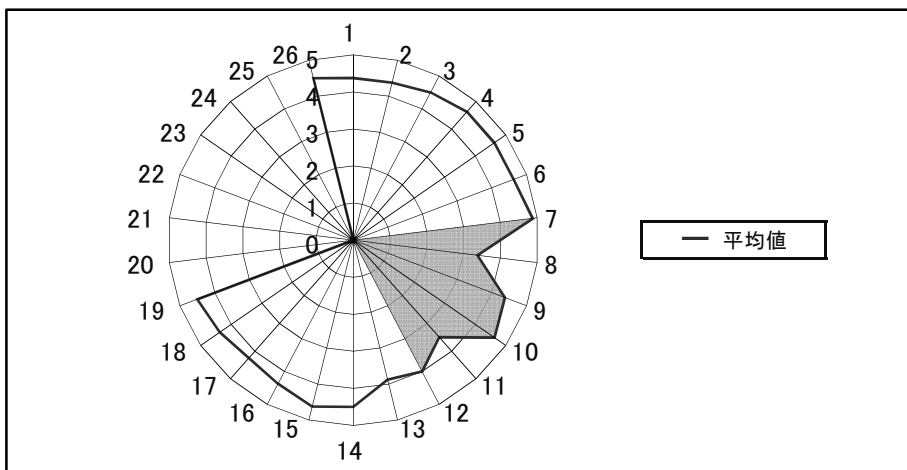
総合評価	4.3
------	-----

授業科目名
 評価実施日
 担当教員名

保育内容総論
 平成 21 年 07 月 30 日
 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 橋川 喜美代, 塩路 晶子

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

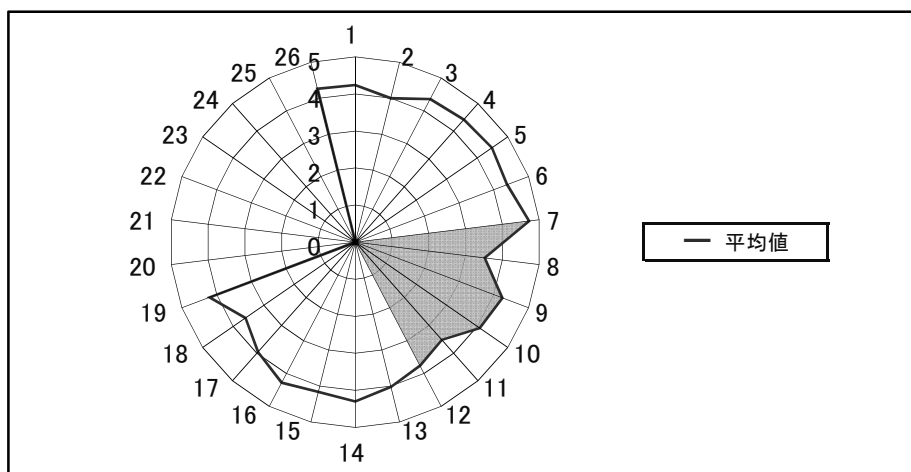


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 保育内容（環境）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 50 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3	

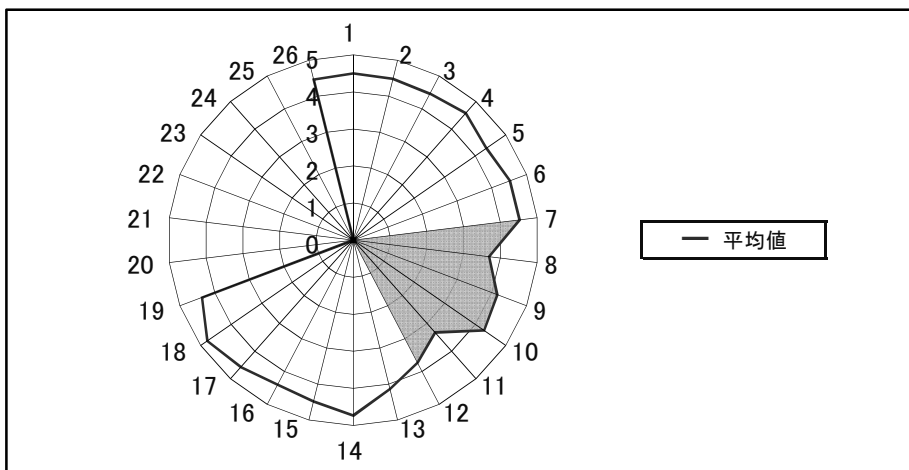


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 保育内容（表現Ⅰ）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 24 日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 52 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

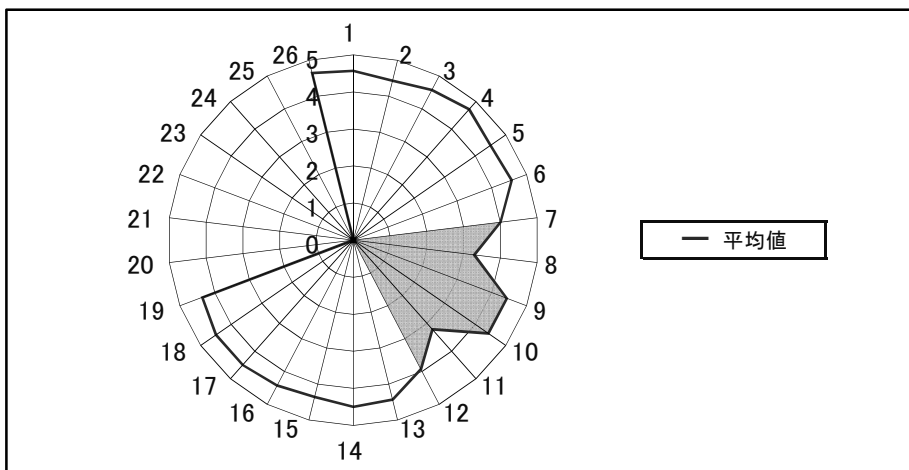


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 保育内容（表現Ⅱ）
 評価実施日 平成 22 年 02 月 19 日
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 14 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6

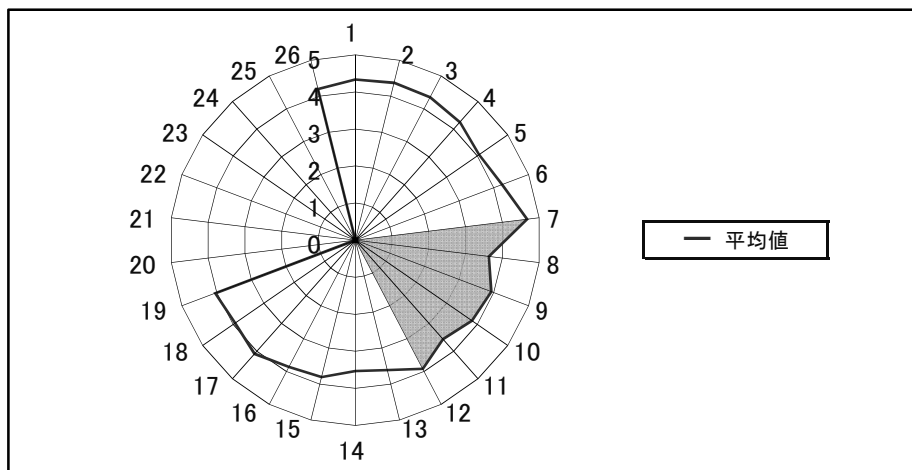


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 乳幼児心理学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 田村 隆宏

回答者数 51 名

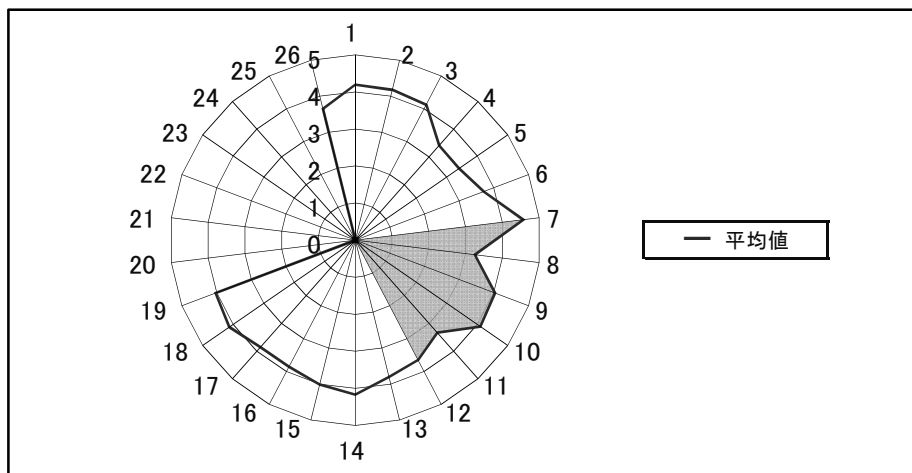
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	26	16	9	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	29	12	10	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	27	15	9	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	19	26	6	0	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	17	22	10	2	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	22	20	8	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	38	10	2	1	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	11	16	18	6	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	12	24	14	1	0	0	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	15	17	14	5	0	0	3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	9	17	19	6	0	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	15	19	15	2	0	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	12	13	21	4	1	0	3.6
	(14)熱心に指導した。	10	15	18	8	0	0	3.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	14	17	16	4	0	0	3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	11	23	16	1	0	0	3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	18	21	11	1	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	13	23	14	1	0	0	3.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	18	17	16	0	0	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	20	22	6	2	0	1	4.2



総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 総合演習
 評価実施日 平成 22 年 02 月 19 日
 担当教員名 西村 宏, 太田 直也, 小西 正雄, 近森 憲助, 回答者数 131 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.8
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.6



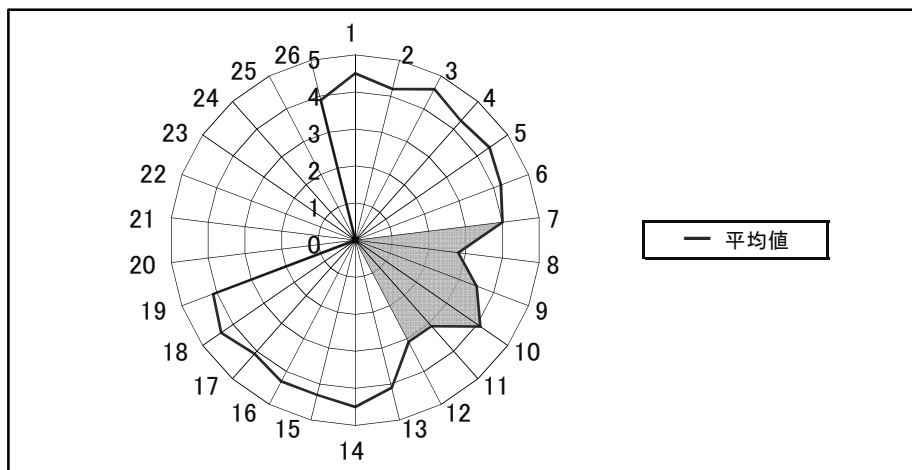
総合評価	3.9
------	-----

專修專門科目

授業科目名 学校と人間形成
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 梶井 一暁, 木内 陽一

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						2.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.9

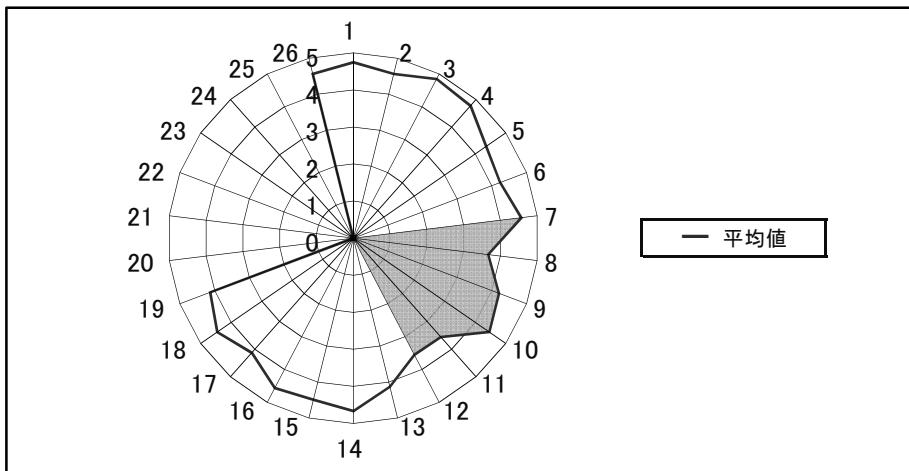


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 学校制度と教育法規
 評価実施日 平成 21 年 08 月 03 日
 担当教員名 石村 雅雄, 岩永 定

回答者数 39 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6

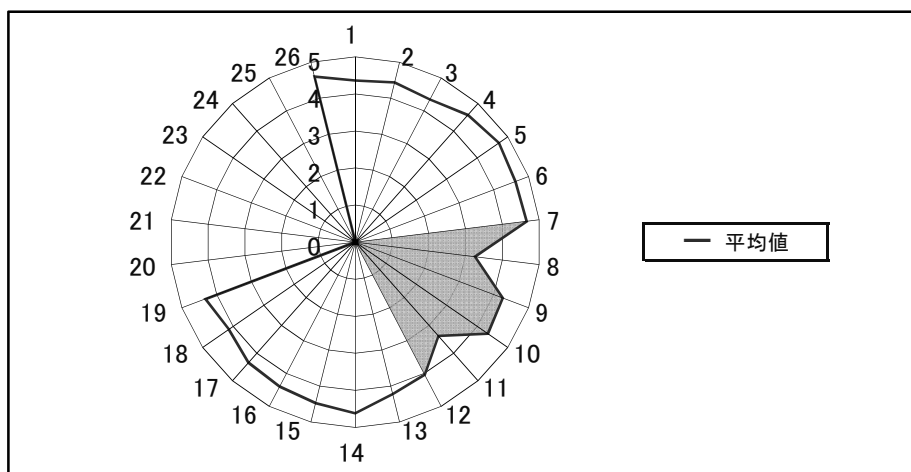


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 学校の組織と集団
 評価実施日 平成 21 年 07 月 24 日
 担当教員名 久我 直人, 佐古 秀一, 芝山 明義

回答者数 56 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6

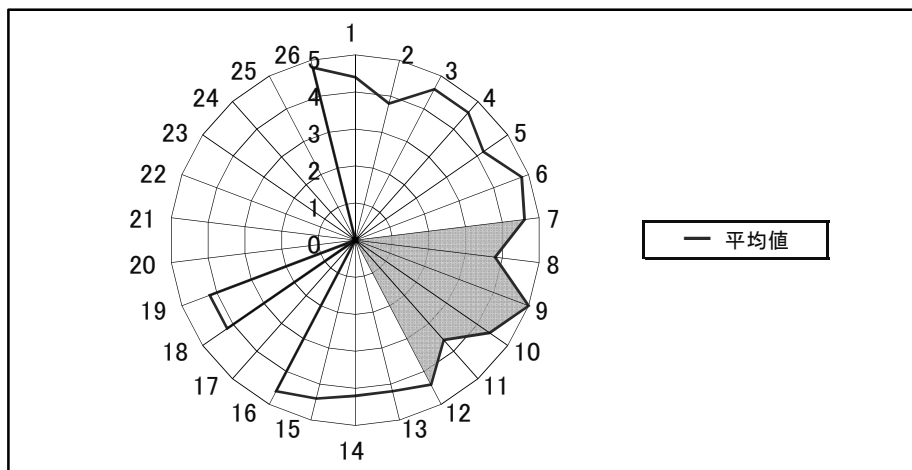


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 学校教育心理学演習
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 皆川 直凡

回答者数 5 名

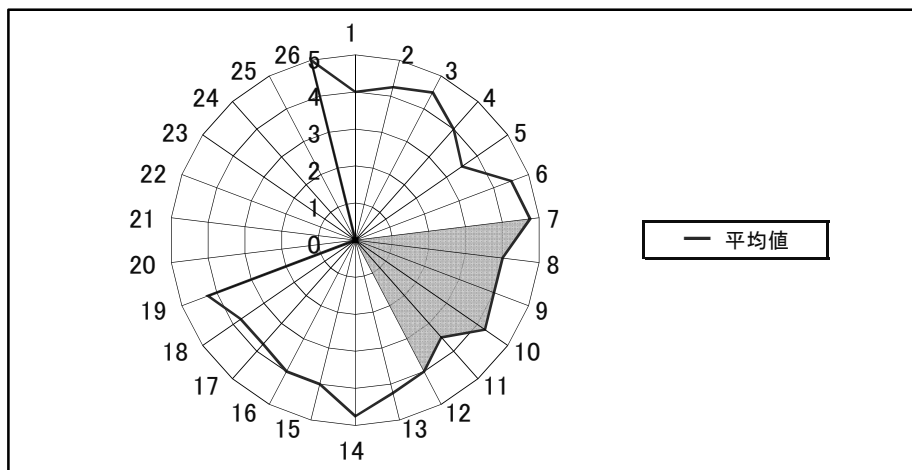
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	2	0	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	3	2	0	0	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	3	0	0	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	5	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 発達臨床心理アセスメント
 評価実施日 平成 22 年 02 月 12 日
 担当教員名 久米 禎子, 今田 雄三, 粟飯原 良造, 吉井 健治, 中津 郁子, 曾川 京子 回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	3	0	0	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	2	2	0	0	0	3.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	2	0	0	0	3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	4	0	0	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0

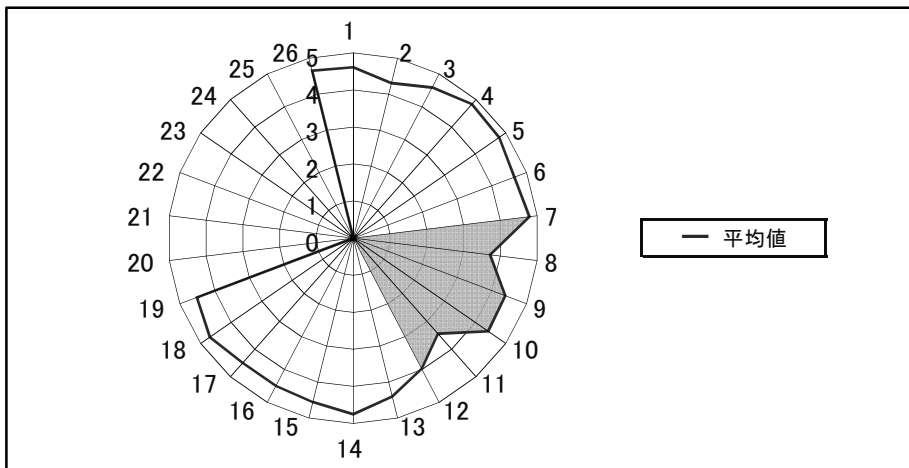


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 総合学習論
 評価実施日 平成 21 年 12 月 21 日
 担当教員名 村川 雅弘

回答者数 90 名

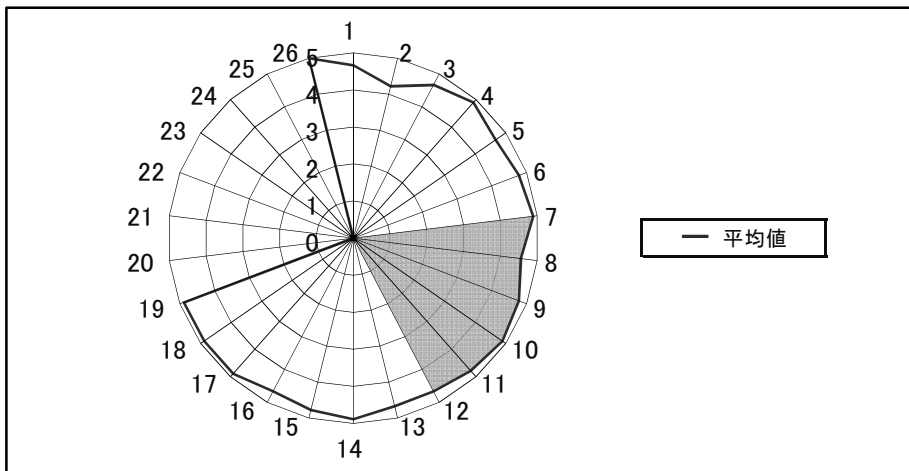
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7	



総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 実技指導能力育成論演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 梅野 圭史, 坂本 和丈, 木村 正邦, 武市 勝, 山田 芳明, 蓑毛 政雄 回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	3	2	0	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	7	1	1	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	9	0	0	0	0	0	5.0

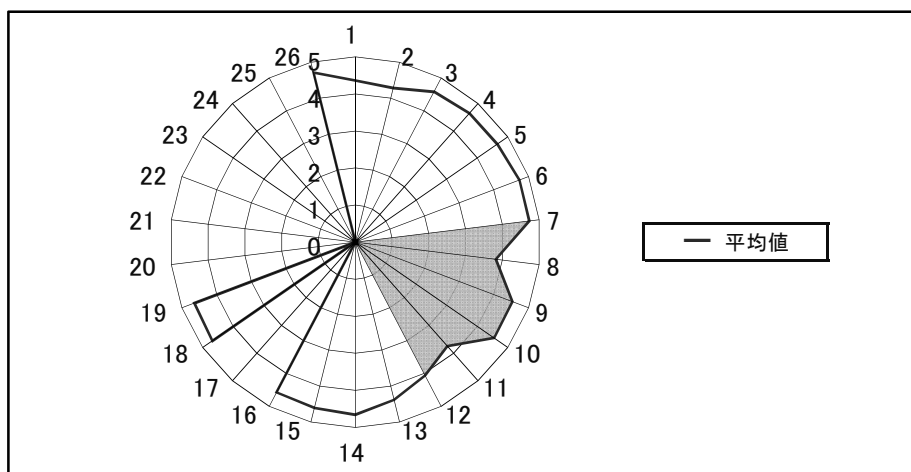


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 初等国語A
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 107 名

質問項目		評価選択人数						平均値 (科目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	48	51	7	1	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	44	48	14	0	0	1	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	67	36	3	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	73	30	4	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	78	21	8	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	81	22	3	0	0	1	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	79	27	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	27	46	26	4	4	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	66	33	7	1	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	68	31	7	1	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	25	46	23	10	3	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	35	47	21	4	0	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	48	49	8	0	0	2	4.4
	(14)熱心に指導した。	74	26	5	0	0	2	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	70	32	0	3	0	2	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	69	28	5	2	0	3	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	107	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	72	23	4	0	0	8	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	71	24	6	0	0	6	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	78	22	4	0	0	3	4.7

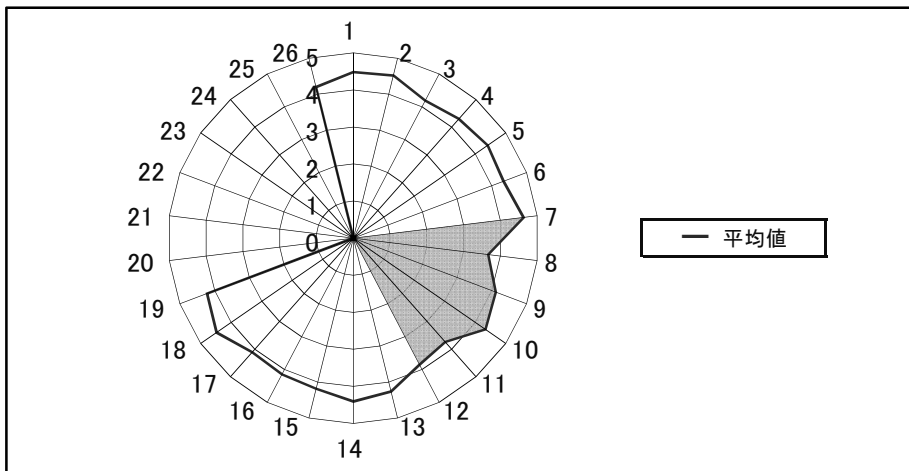


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 初等国語B
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 27 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.2

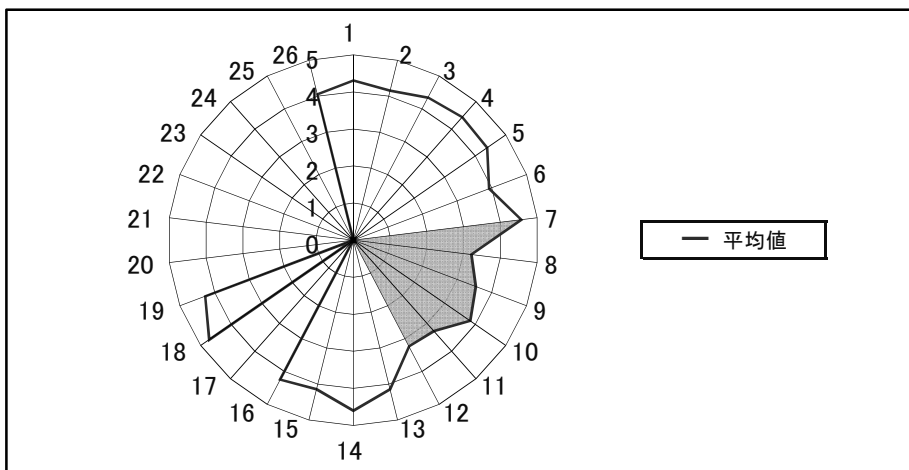


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 初等社会
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 梅津 正美

回答者数 90 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						90
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

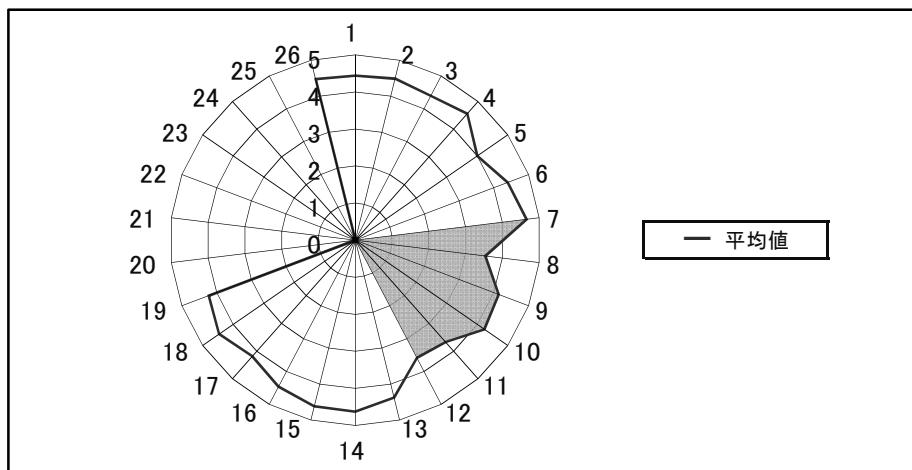


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 算数A
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 43 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5	

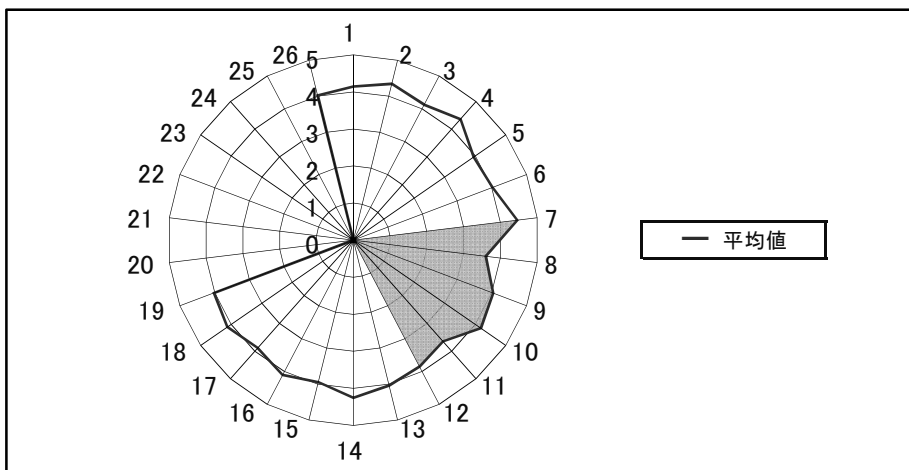


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 算数B
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 55 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	22	22	8	3	0	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	28	19	7	1	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	23	17	14	1	0	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	28	19	8	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	19	18	15	2	1	0	3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	22	17	13	1	2	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	32	16	7	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	12	16	23	1	3	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	22	15	16	2	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	23	21	9	2	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	10	21	18	4	1	1	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	17	19	12	5	1	1	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	19	24	9	1	2	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	27	18	8	1	1	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	16	25	10	3	1	0	3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	18	26	10	1	0	0	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	13	22	17	1	0	2	3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	24	18	9	4	0	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	20	21	10	3	1	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	21	19	10	2	2	1	4.0

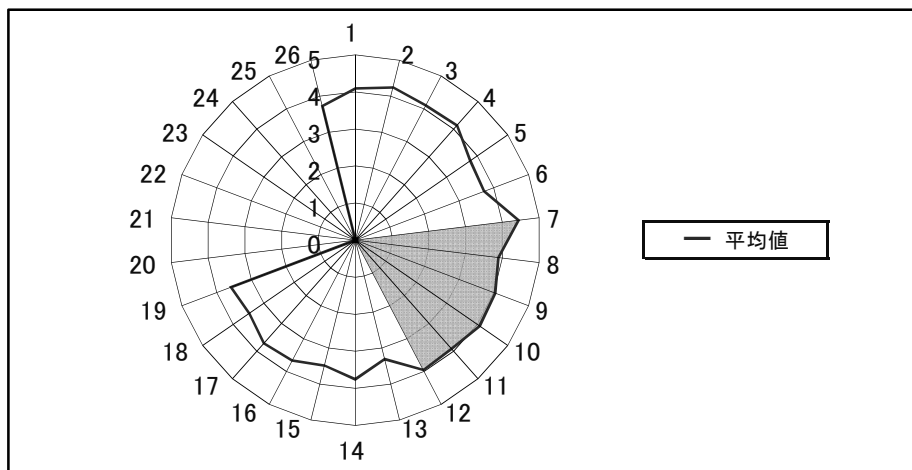


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 初等理科
 評価実施日 平成 22 年 02 月 15 日
 担当教員名 本田 亮, 今倉 康宏, 村田 守, 米澤 義彦

回答者数 118 名

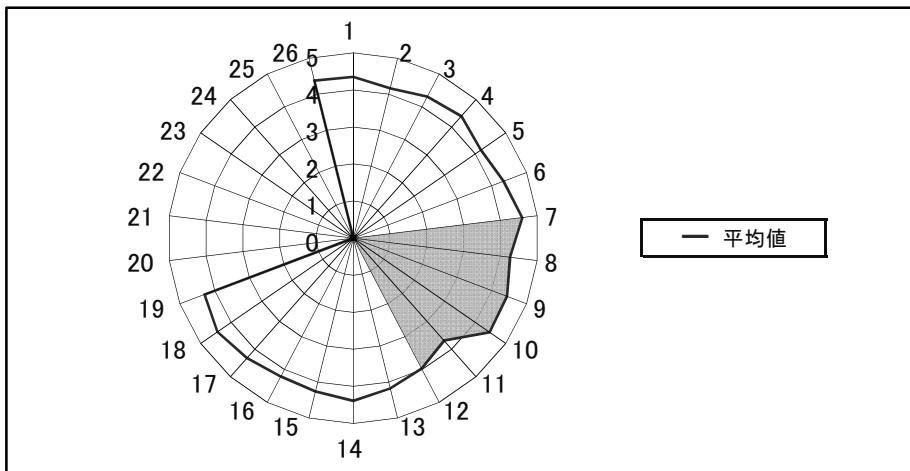
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	45	50	16	3	4	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	61	35	15	4	3	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	46	48	17	4	3	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	54	38	16	5	4	1	4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	36	35	36	6	5	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	33	41	27	9	7	1	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	73	26	17	1	1	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	39	39	29	10	1	0	3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	40	45	30	3	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	42	46	28	1	1	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	38	44	26	8	2	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	39	45	26	6	2	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	24	27	37	21	9	0	3.3
	(14)熱心に指導した。	33	40	32	9	4	0	3.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	28	33	35	12	10	0	3.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	30	36	38	11	3	0	3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	33	38	30	15	2	0	3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	28	32	36	12	10	0	3.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	28	37	34	14	5	0	3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	30	44	26	7	7	4	3.7



総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 初等音楽 I
 評価実施日 平成 22 年 01 月 29 日
 担当教員名 木村 正邦, 草下, 村澤 , 松岡 (貴) , 頃安 , 森 , 山田 (啓) , 山根 回答者数 108 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4

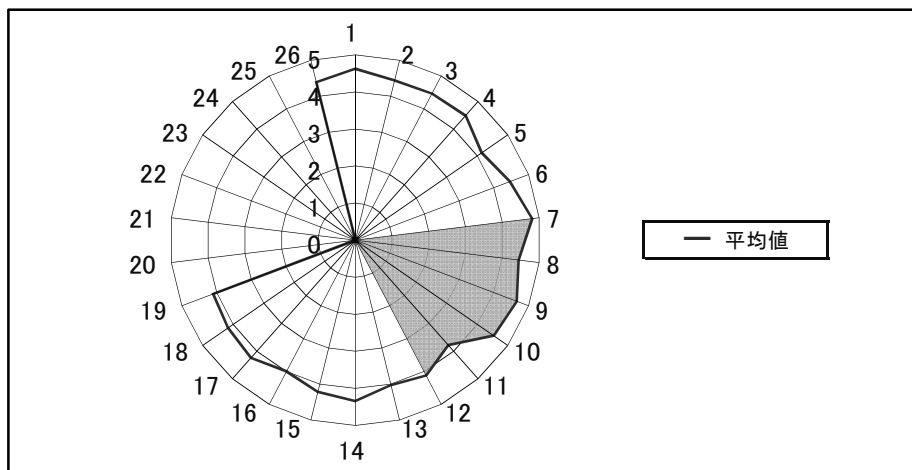


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 図画工作 I A
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 武市 勝

回答者数 41 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	26	13	1	0	0	1	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	23	14	3	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	20	20	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	23	15	3	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	13	21	7	0	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	22	16	3	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	33	8	0	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	22	15	4	0	0	0	4.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	28	12	1	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	25	13	3	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	9	19	8	5	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	19	11	8	3	0	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	14	16	9	2	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	19	20	0	1	1	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	16	19	5	1	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	13	18	7	3	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	17	17	7	0	0	0	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	16	17	7	1	0	0	4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	14	19	5	1	1	1	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	19	20	1	1	0	0	4.4

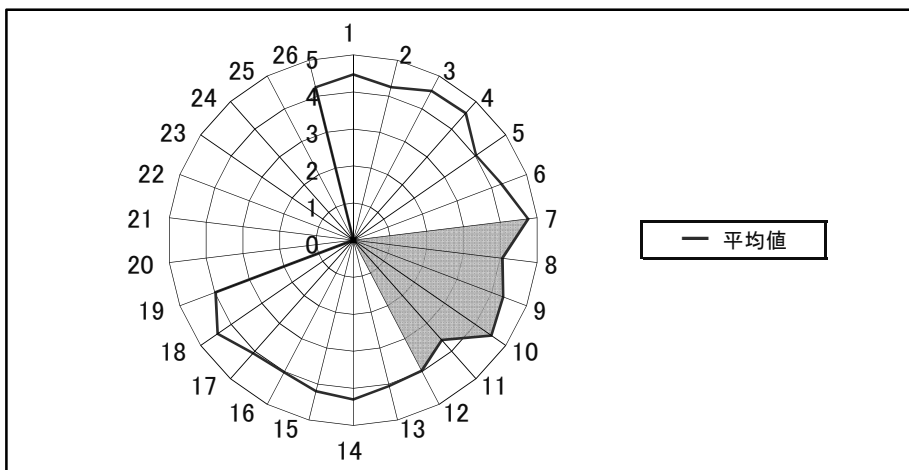


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 図画工作 I B
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 40 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	22	15	3	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	19	14	6	0	1	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	25	12	3	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	23	17	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	13	18	6	3	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	24	8	4	3	1	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	32	6	2	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	17	14	5	2	2	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	25	7	4	4	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	27	8	4	1	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	13	9	8	9	1	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	17	11	7	4	1	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	15	15	8	1	1	4.1
	(14)熱心に指導した。	24	8	5	2	1	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	19	13	5	3	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	17	10	10	3	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	20	8	8	3	1	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	25	8	7	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	18	10	6	5	1	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	21	13	2	3	1	4.3

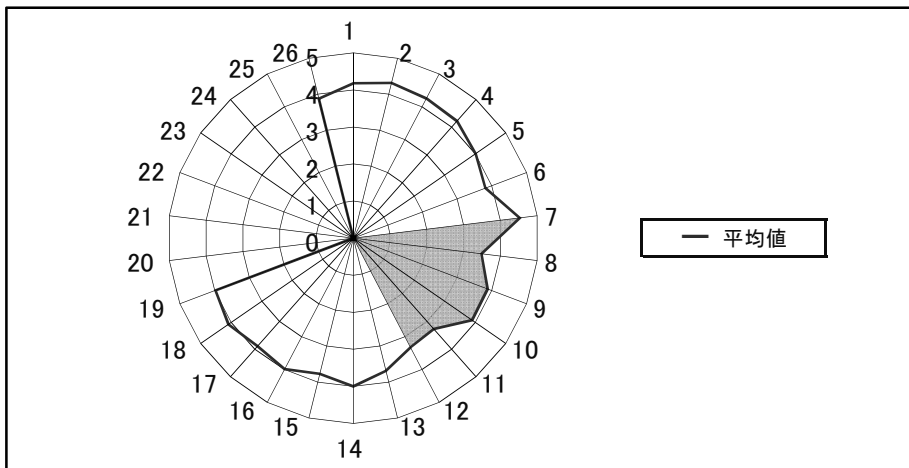


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 初等家庭
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 前田 英雄, 福井 典代, 黒川 衣代, 金 貞均

回答者数 95 名

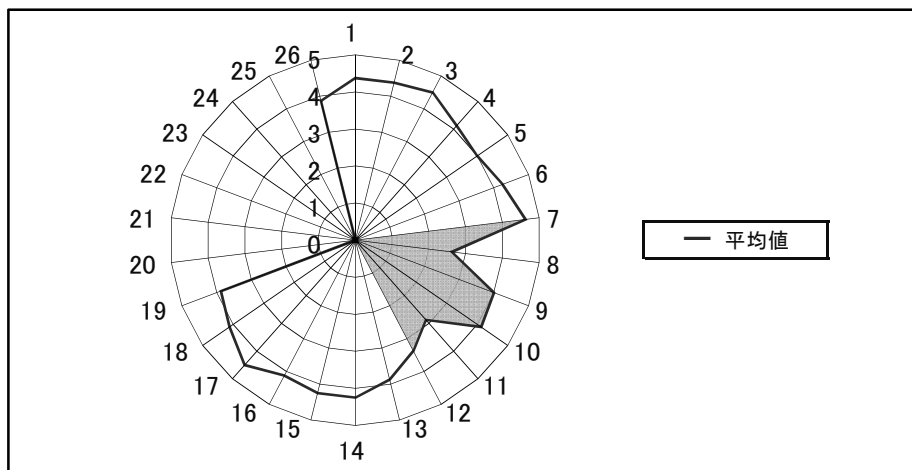
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.7
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.9



総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 初等音楽Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 15 日
 担当教員名 木村 正邦, 草下 實, 村澤 由利子, 頃安 利秀, 森 正, 山田 啓明, 山根 秀憲 回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						2.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						2.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.9

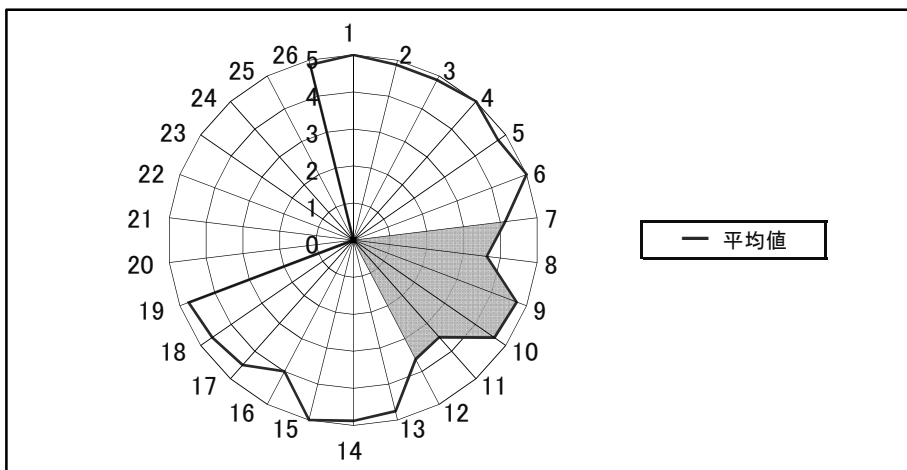


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 図画工作Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 野崎 窮, 内藤 隆

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	4	0	1	0	0	4.1
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	0	4	1	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	1	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	1	4	1	0	0	3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	3	2	0	1	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	0	0	0	0	1	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	0	2	0	0	4	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9

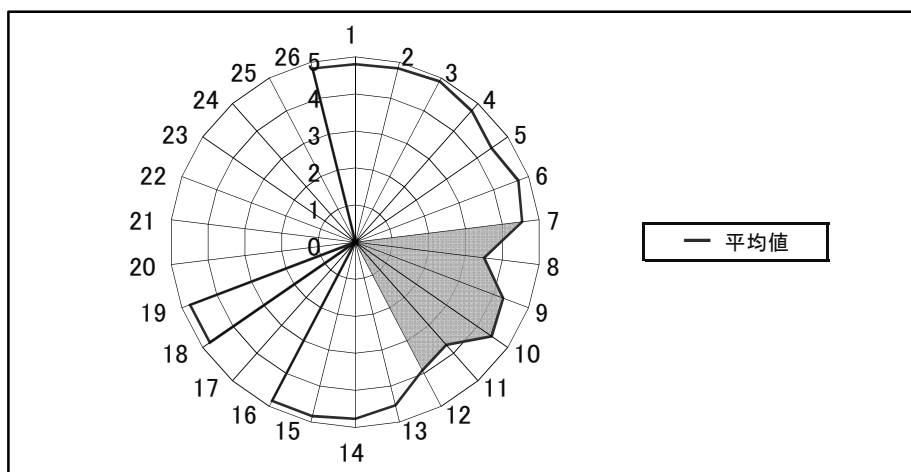


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 国語学概論（音声言語・文章表現を含む。）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 30 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	25	4	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	25	5	0	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	27	3	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	23	6	1	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	17	10	3	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	21	9	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	20	7	2	1	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	12	13	1	1	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	13	12	5	0	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	18	9	2	1	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	14	11	1	0	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	8	12	9	1	0	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	19	8	3	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	23	7	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	26	3	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	26	3	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	30	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	23	7	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	23	7	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	25	3	1	0	0	1	4.8

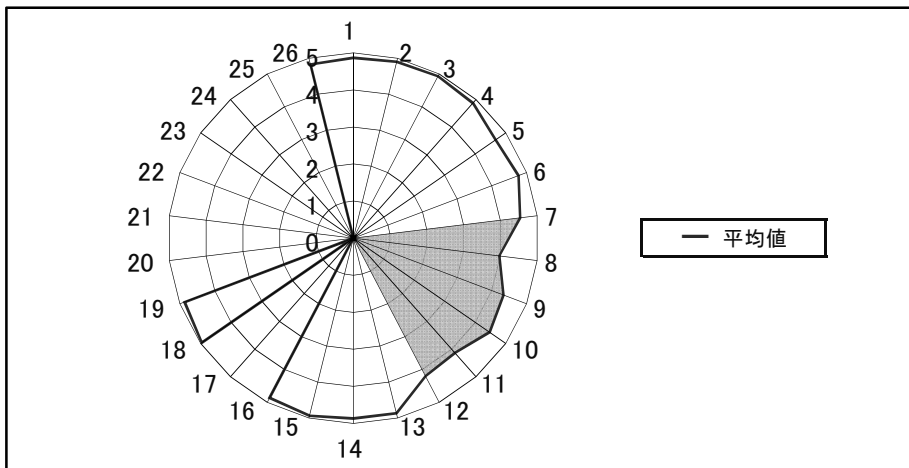


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 国語学 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 30 名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (科目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	26	4	0	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	27	3	0	0	0	0	4.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	28	2	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	26	4	0	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	21	8	1	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	24	5	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	20	6	4	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	10	9	11	0	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	12	16	2	0	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	18	9	2	1	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	9	16	5	0	0	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	14	9	6	1	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	26	4	0	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	26	4	0	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	28	2	0	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	26	4	0	0	0	0	4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	30	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	29	1	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	26	4	0	0	0	0	4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	24	5	0	0	0	1	4.8

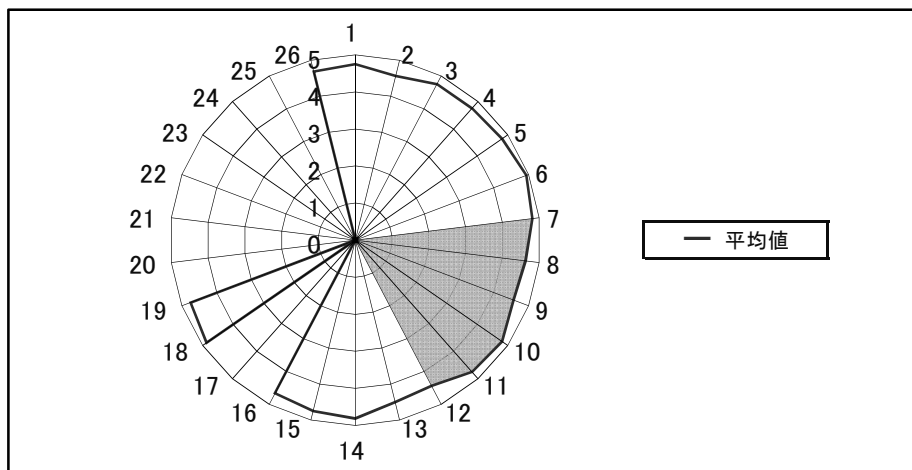


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 国語学Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 08 月 04 日
 担当教員名 原 卓志

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	12	4	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	11	3	2	0	0	4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	12	4	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	12	4	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	13	3	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	15	1	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	14	1	1	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	10	6	0	0	0	4.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	9	7	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	13	3	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	12	4	0	0	0	4.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	10	4	1	1	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	9	6	1	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	13	3	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	13	2	1	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	10	5	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	16
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	15	0	1	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	12	4	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	12	3	1	0	0	4.7

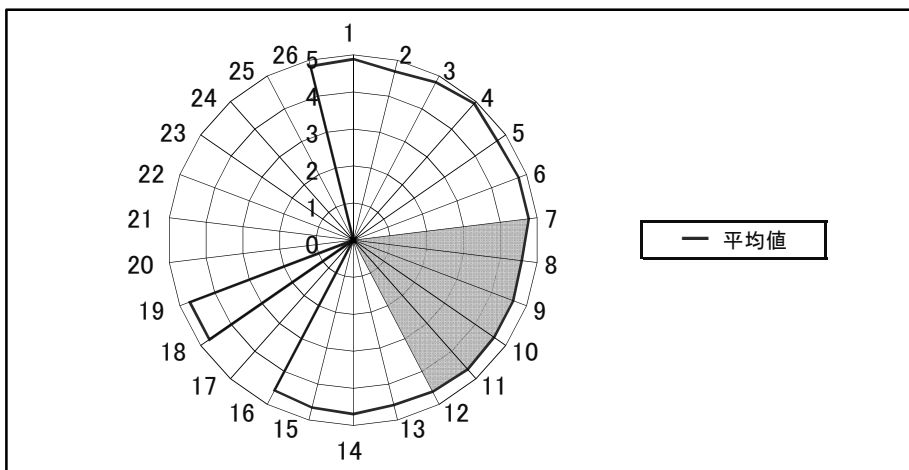


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 国語学特論 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 原 卓志, 茂木 俊伸

回答者数 26 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	23	3	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	18	8	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	22	3	1	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	24	2	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	19	5	1	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	21	4	1	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	21	4	1	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	17	7	2	0	0	4.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	17	8	1	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	17	8	1	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	18	7	1	0	0	4.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	17	8	1	0	0	4.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	16	9	1	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	19	6	1	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	19	5	2	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	17	7	2	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	26
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	19	5	1	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	19	5	1	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	20	4	0	0	0	4.8

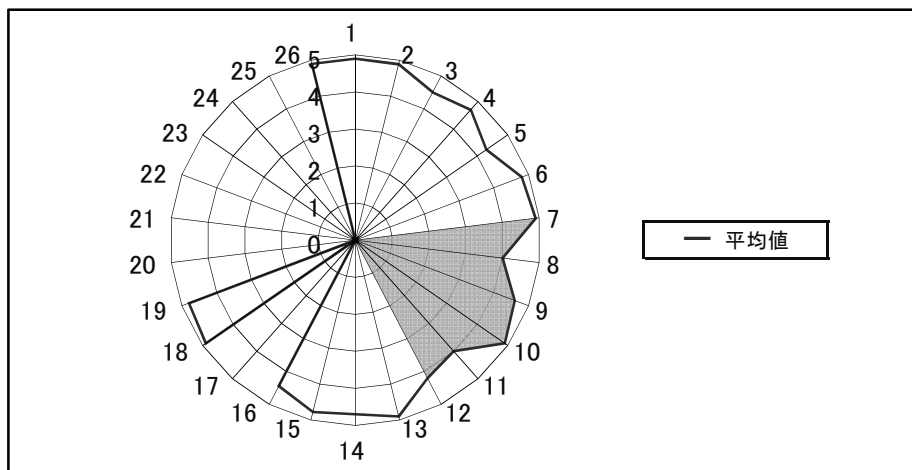


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 国語学特論ⅡA
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	1	0	0	0	1	4.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	2	4	0	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	6	2	0	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	2	3	0	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	0	1	0	0	1	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	1	2	0	0	1	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	10	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	9	1	0	0	0	0	4.9

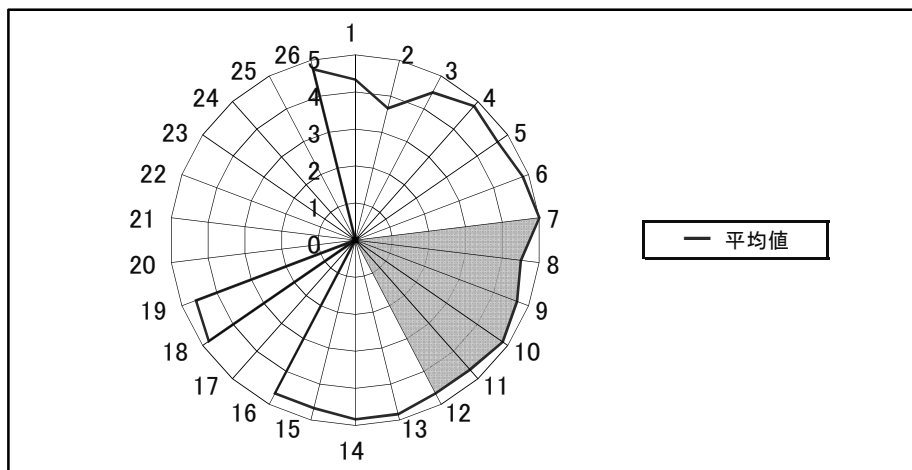


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 国語学特論ⅡB
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 原 卓志

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	2	1	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	0	1	2	0	3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	1	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	0	1	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	3	0	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	0	1	0	0	4.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	0	1	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	5	1	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	2	0	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	0	1	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	0	1	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	1	0	0	0	4.8

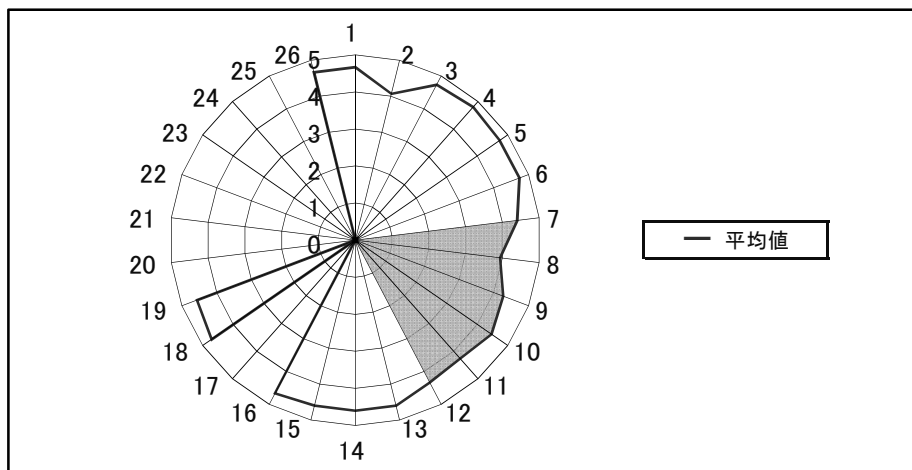


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 原 卓志, 茂木 俊伸

回答者数 15 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						15
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

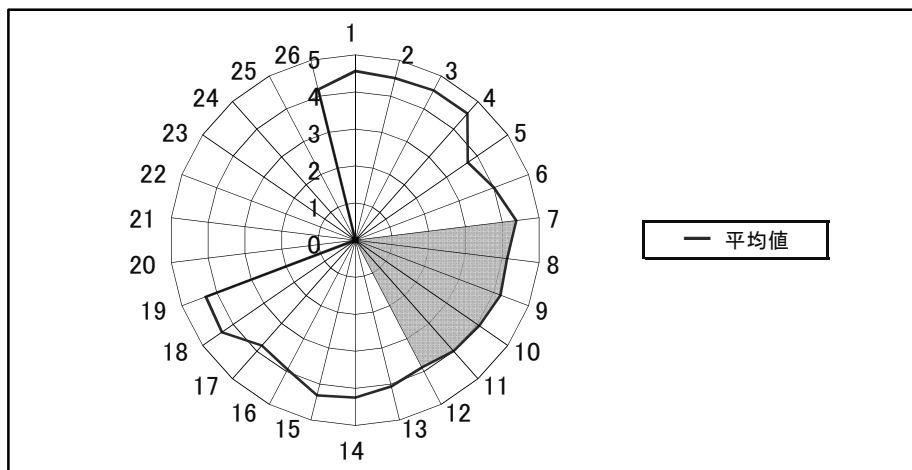


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 国文学概論（国文学史を含む。）
 評価実施日 平成 22 年 02 月 17 日
 担当教員名 野口 哲也

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.2	

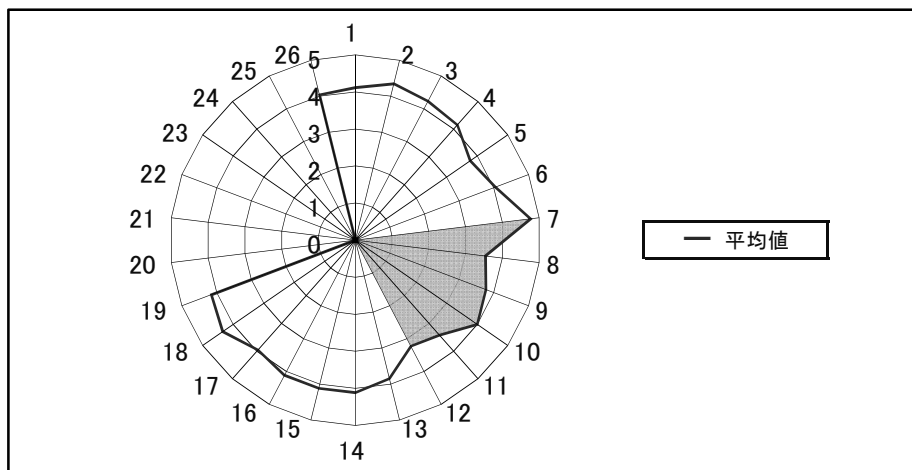


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 国文学 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 16 日
 担当教員名 野口 哲也

回答者数 26 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	13	7	3	2	1	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	14	9	1	2	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	15	5	4	1	1	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	14	6	3	2	1	0	4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	5	8	1	2	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	11	10	2	1	2	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	21	4	1	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	10	5	2	3	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	9	8	4	4	1	0	3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	12	6	4	4	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	6	7	7	4	2	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	7	10	1	4	0	3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	8	5	0	3	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	13	8	1	3	1	0	4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	12	8	3	3	0	0	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	13	5	6	2	0	0	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	11	6	7	1	1	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	15	6	4	1	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	14	6	3	2	1	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	11	10	2	1	2	0	4.0

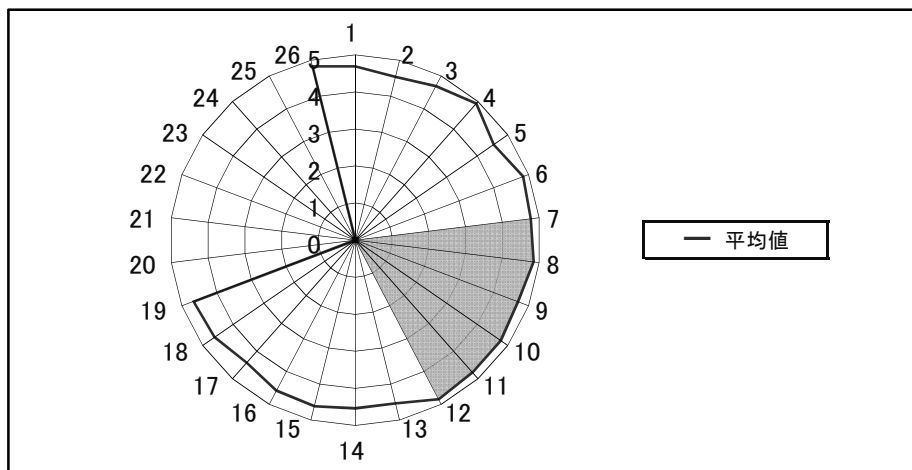


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 国文学Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 赤松 万里

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	4	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	9	2	2	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	10	2	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	12	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	9	2	2	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	11	2	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	10	3	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	11	2	0	0	0	4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	10	2	1	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	10	3	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	11	1	1	0	0	4.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	11	2	0	0	0	4.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	9	2	2	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	9	2	2	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	3	1	0	0	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	8	3	1	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	3	2	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	9	3	1	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	4	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	10	2	0	0	0	4.8

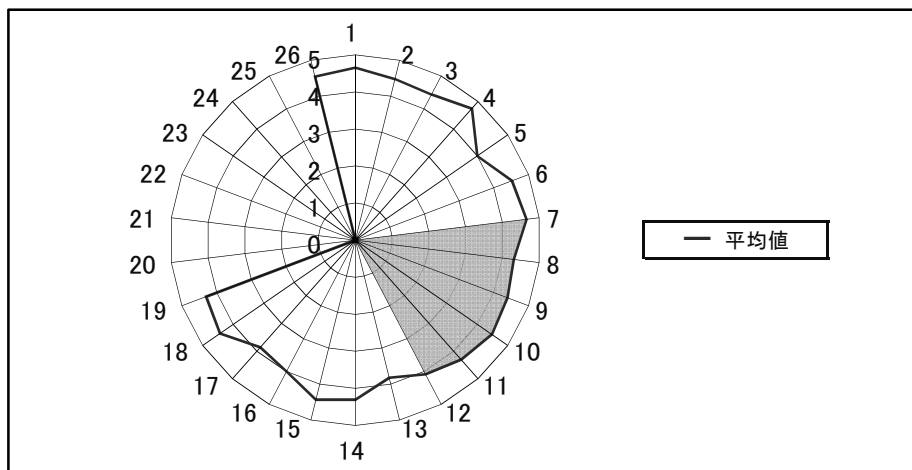


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 国文学特論 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 16 日
 担当教員名 野口 哲也

回答者数 23 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	15	8	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	13	8	2	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	14	6	2	1	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	17	6	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	4	8	1	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	15	5	3	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	15	8	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	9	12	2	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	11	10	2	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	13	8	2	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	13	5	4	1	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	8	10	4	1	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	7	10	0	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	11	8	4	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	13	7	3	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	12	4	1	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	8	7	1	0	3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	13	7	3	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	10	10	3	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	14	6	2	0	0	4.5

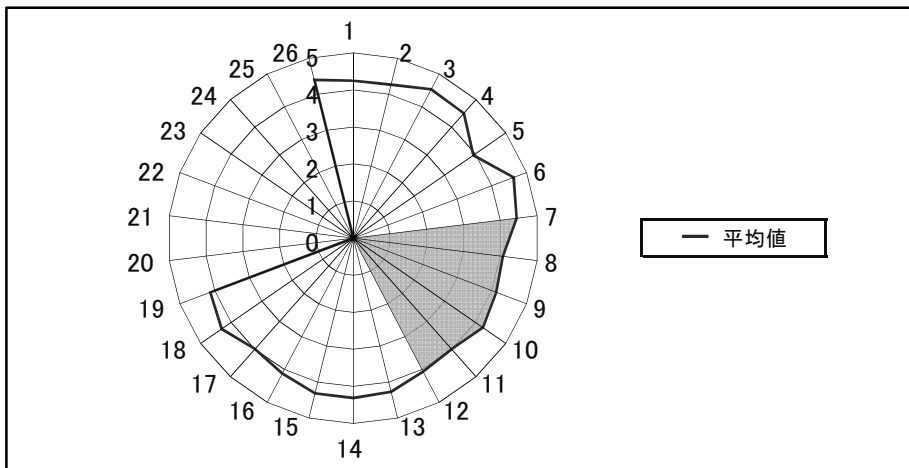


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 原 卓志, 赤松 万里, 野口 哲也

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	6	3	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	4	2	1	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	7	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	10	4	2	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	3	5	0	1	3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	11	4	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	5	2	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	7	4	4	1	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	4	5	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	7	1	1	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	6	5	4	1	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	7	5	3	0	1	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	5	3	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	9	3	4	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	3	4	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	5	3	1	0	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	4	4	0	1	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	6	1	1	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	5	3	1	0	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	7	1	0	0	4.4

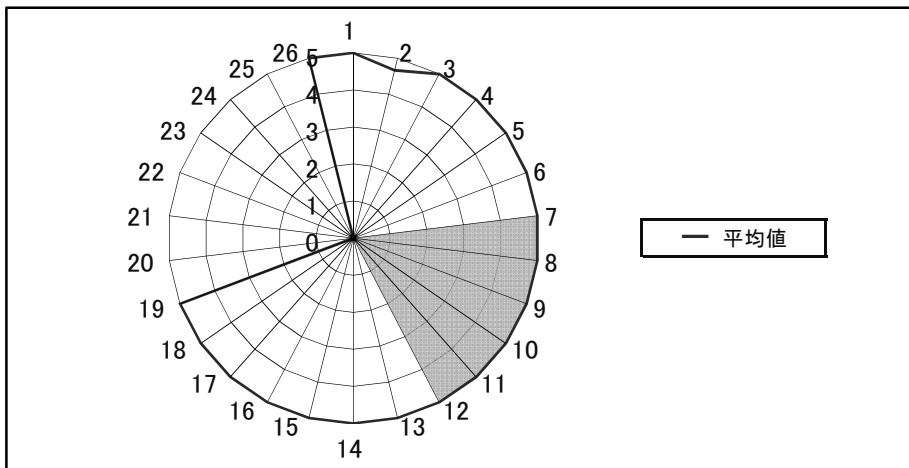


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 国文学演習B
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 野口 哲也

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	0	0	0	0	5.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	0	0	0	0	5.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	3	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

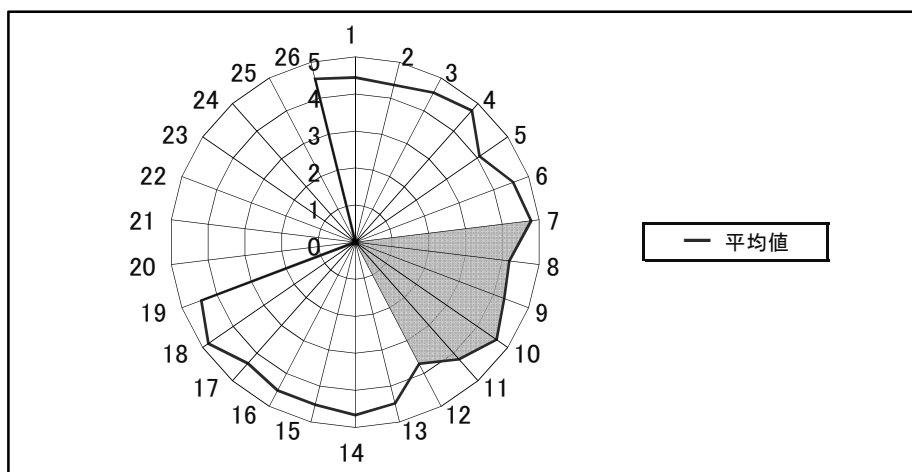


総合評価	5.0
------	-----

授業科目名 英語基礎研究
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 藪下 克彦, 杉浦 裕子

回答者数 29 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	14	11	2	0	0	2	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	13	12	1	1	0	2	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	15	12	0	0	0	2	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	20	7	0	0	0	2	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	9	8	0	0	2	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	17	9	0	1	0	2	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	21	6	0	0	0	2	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	12	10	4	0	1	2	4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	12	11	4	0	0	2	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	18	8	1	0	0	2	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	13	8	5	1	0	2	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	8	9	5	4	1	2	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	14	12	1	0	0	2	4.5
	(14)熱心に指導した。	18	9	0	0	0	2	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	14	13	0	0	0	2	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	14	13	0	0	0	2	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	13	11	3	0	0	2	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	22	5	0	0	0	2	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	15	10	1	1	0	2	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	15	10	1	0	0	3	4.5

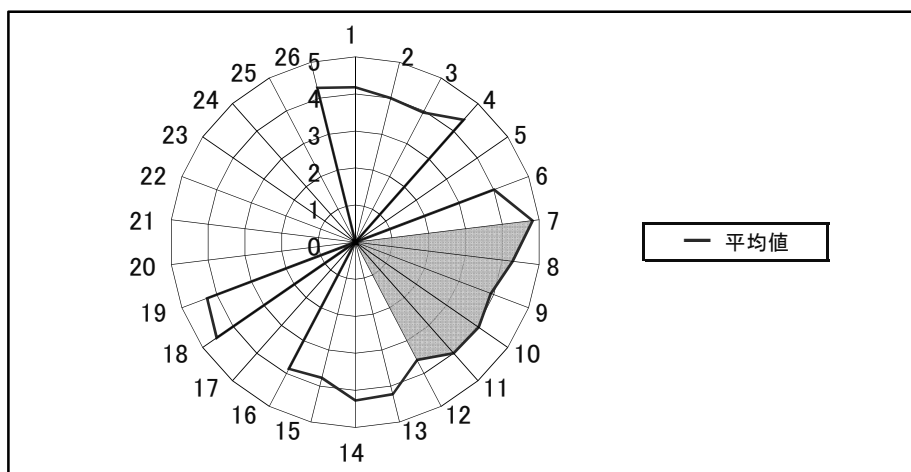


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 英語学概論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 22 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	10	8	2	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	9	2	3	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	10	3	1	1	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	9	2	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	0	0	0	0	22	
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	10	3	2	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	19	2	1	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	11	7	3	1	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	8	8	0	0	0	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	9	6	0	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	7	9	5	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	9	6	2	1	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	9	9	4	0	0	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	9	10	3	0	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	8	5	3	0	0	3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	5	8	1	0	1	3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	22	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	14	6	2	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	10	8	4	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	10	8	2	1	0	1	4.3

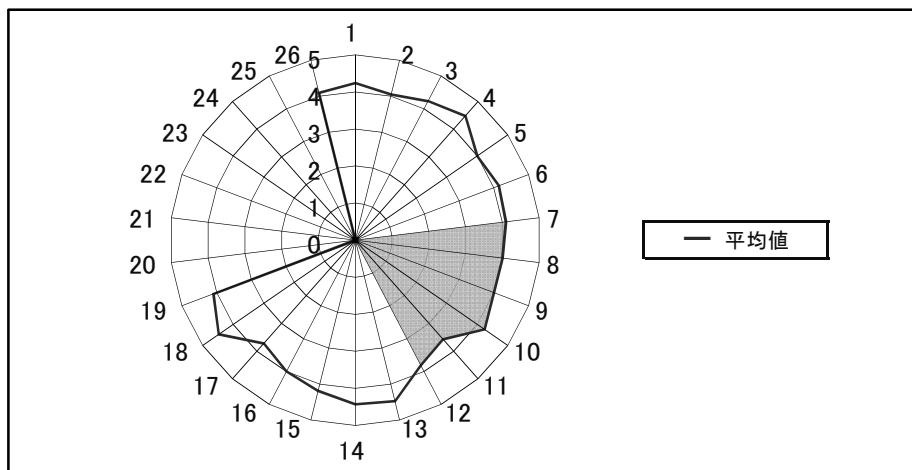


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 学習英文法
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 21 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.1
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.5
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

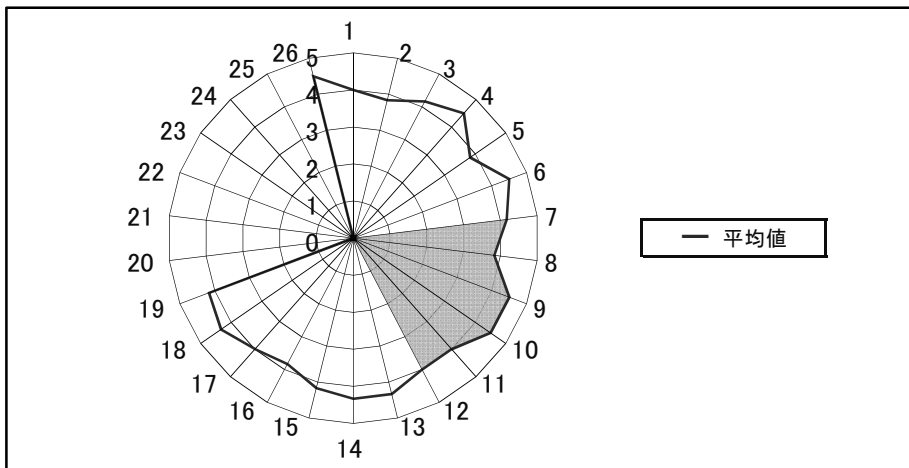


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 英語学研究 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	4	1	0	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	3	2	0	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	1	3	0	0	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	1	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	2	0	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	2	2	0	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	2	4	0	0	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	5	0	0	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	3	2	0	0	0	3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	4	1	0	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	3	0	0	0	0	4.5

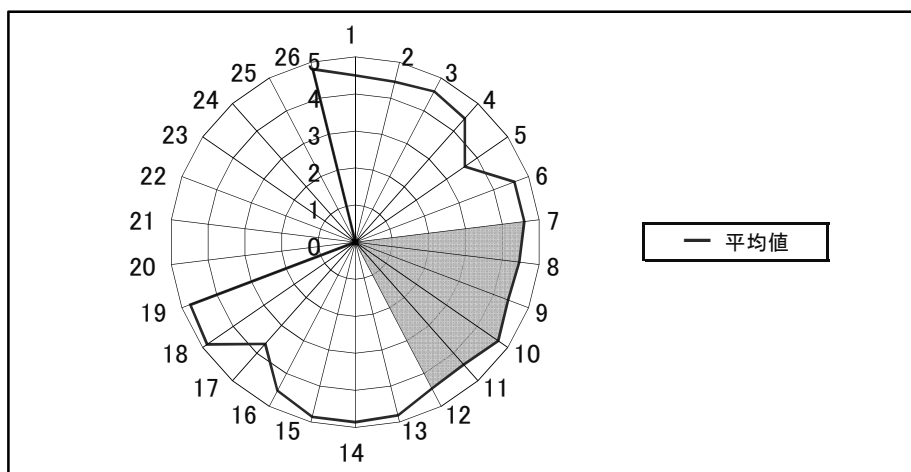


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 英文講読
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 22 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	13	7	2	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	13	6	3	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	15	5	2	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	12	8	2	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	4	7	3	1	3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	15	6	0	1	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	17	1	4	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	12	9	0	1	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	12	7	3	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	16	5	1	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	11	9	2	0	0	4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	12	8	2	0	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	18	2	1	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	19	1	1	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	18	3	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	13	6	2	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	1	0	1	0	3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	18	3	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	17	3	1	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	17	4	0	0	0	4.8

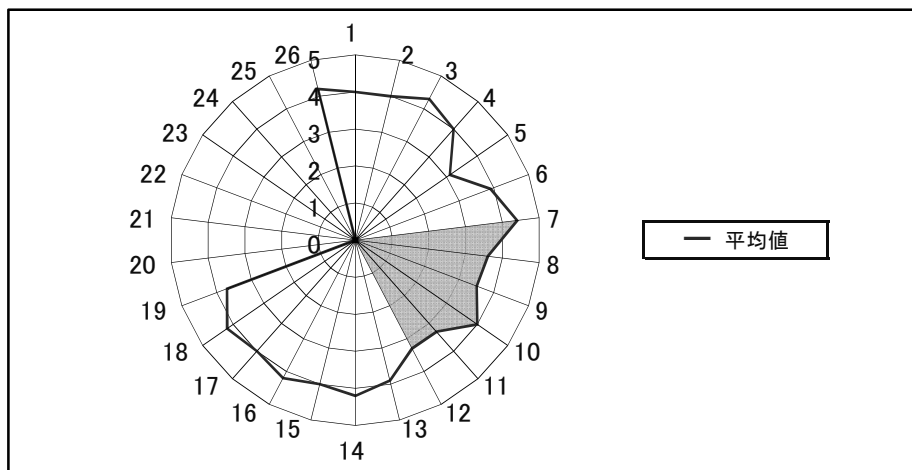


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 英文学史
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.2

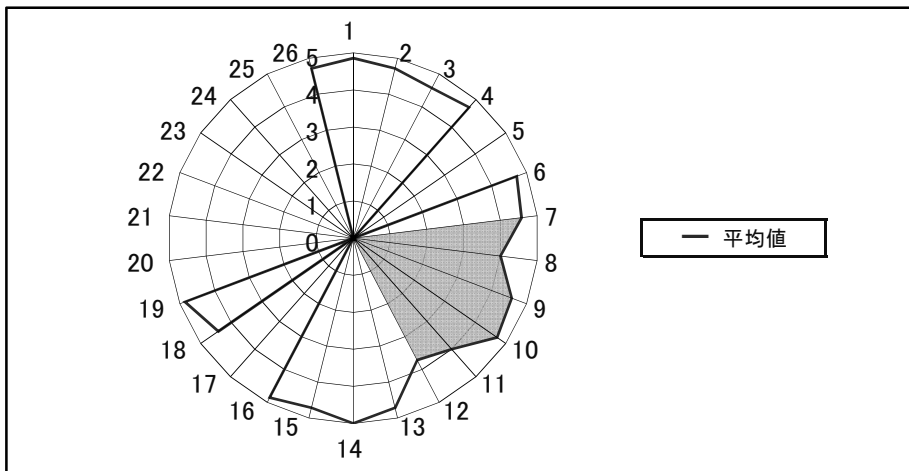


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 米文学史
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 前田 一平

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.7
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

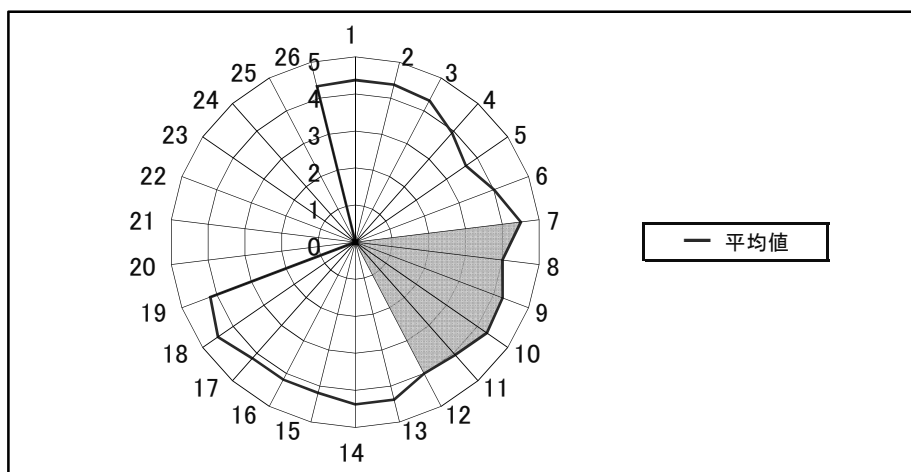


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 英米文学研究 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	6	2	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	7	8	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	5	3	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	5	6	0	0	3.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	4	7	0	1	3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	5	4	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	6	1	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	5	6	5	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	6	3	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	5	3	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	7	4	0	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	7	4	3	2	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	8	6	2	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	9	4	3	0	0	4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	5	4	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	5	4	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	5	4	0	0	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	4	2	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	7	3	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	6	2	0	0	4.3

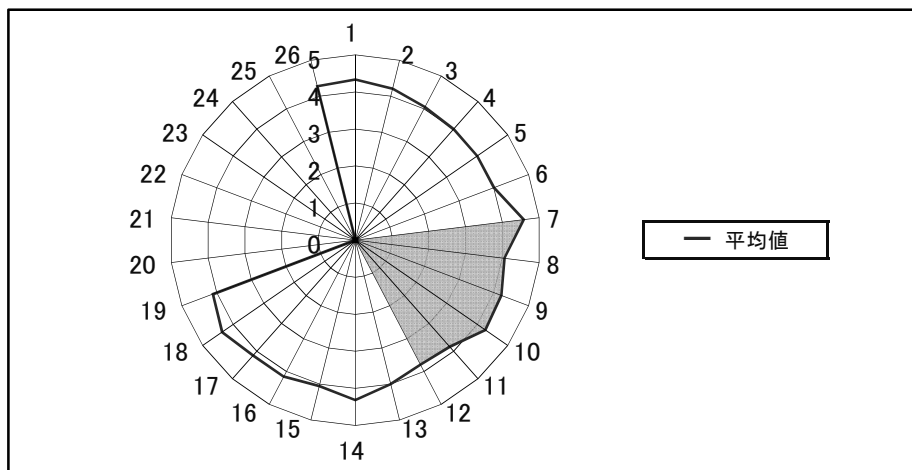


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 英語オーラルコミュニケーションⅠ
 評価実施日 平成 22 年 03 月 03 日
 担当教員名 山森 直人

回答者数 19 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	11	3	3	1	0	1	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	11	2	5	1	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	9	4	5	0	1	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	7	6	0	0	0	4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	8	5	5	0	1	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	6	5	1	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	12	6	1	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	9	3	1	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	9	3	0	0	0	4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。	9	6	4	0	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	7	6	1	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	6	4	3	0	0	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	9	4	4	1	1	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	10	5	4	0	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	4	5	0	1	0	4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	10	4	4	0	1	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	10	3	5	1	0	0	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	11	4	4	0	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	9	5	4	0	1	0	4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	10	6	0	1	1	1	4.3

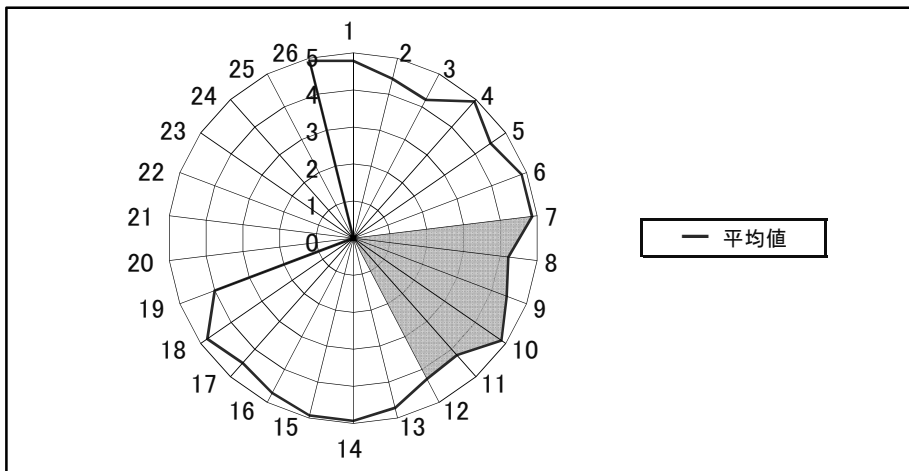


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 比較文化研究Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 前田 一平

回答者数 14 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	11	3	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	7	6	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	5	3	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	13	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	8	5	1	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	12	2	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	12	2	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	5	3	0	0	4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	6	1	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	12	2	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	7	4	2	1	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	7	5	1	1	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	4	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	13	1	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	13	1	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	11	2	1	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	10	1	3	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	12	1	1	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	5	4	0	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	13	1	0	0	0	4.9

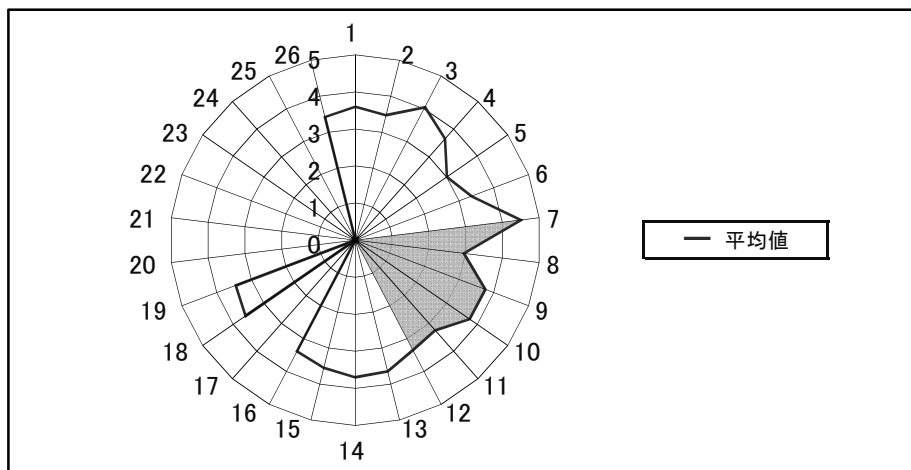


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 日本史学概論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 大石 雅章

回答者数 20 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.7
	(14)熱心に指導した。						3.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						20
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.4

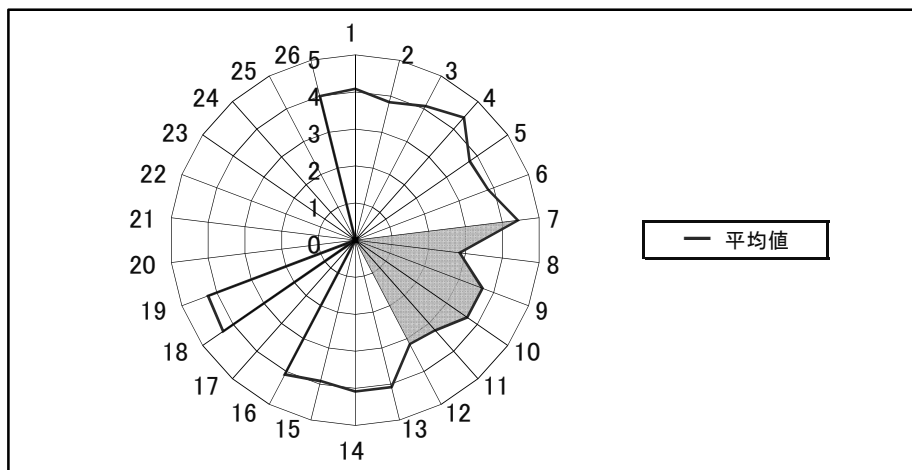


総合評価	3.5
------	-----

授業科目名 日本史学特論 I (古代・中世)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 大石 雅章

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	9	1	0	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	0	10	2	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	9	1	0	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	7	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	3	6	0	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	6	4	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	5	7	0	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	0	10	2	0	2.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	6	5	0	0	3.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	8	4	0	0	3.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	6	2	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	3	8	1	0	3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	8	0	1	0	4.1
	(14)熱心に指導した。	3	7	2	0	0	4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	9	2	0	0	3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	8	1	0	0	4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	12
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	6	1	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	9	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	0	12	0	0	0	4.0

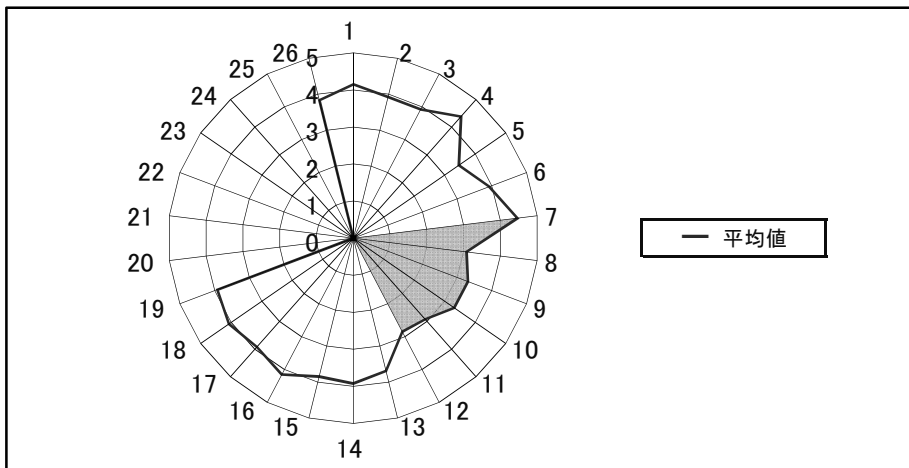


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 日本史学特論Ⅱ (近世・近代)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 町田 哲

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	7	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	4	5	0	0	3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	6	4	0	0	3.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	6	1	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	4	8	0	0	3.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	4	5	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	5	1	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	3	8	2	0	3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	5	7	1	0	3.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	4	9	0	0	3.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	10	2	0	2.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	2	8	2	1	2.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	0	9	4	0	0	3.7
	(14)熱心に指導した。	2	8	3	0	0	3.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	5	5	0	0	3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	7	2	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	4	5	0	0	3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	8	2	0	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	6	4	0	0	3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	7	2	1	0	3.8

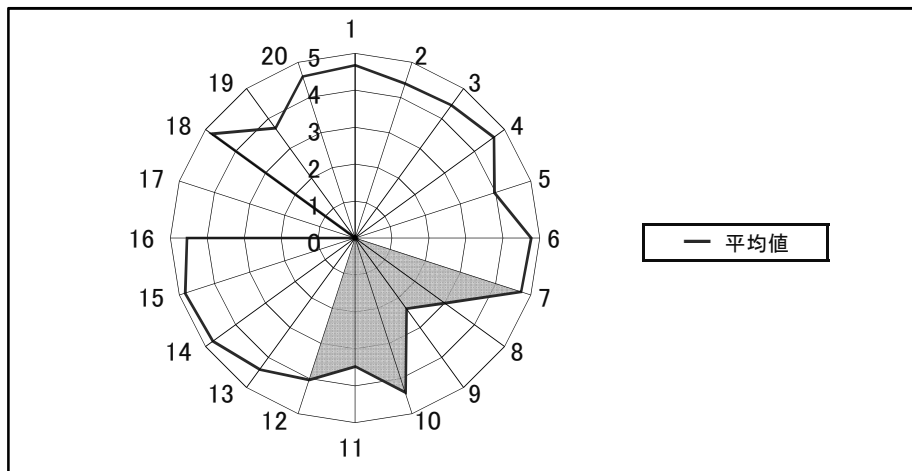


総合評価	3.9
------	-----

授業科目名 外国史概論
 評価実施日 平成 20 年 06 月 04 日
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 25 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習をした。						3.0
	(9)授業中に積極的に発言や質問をした。						2.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(12)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(13)学生が参加しやすい授業だった。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)視聴覚機器及び教育用機器の利用は、適切だった。						25
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。						3.7
5 授業に対する満足度	(20)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6

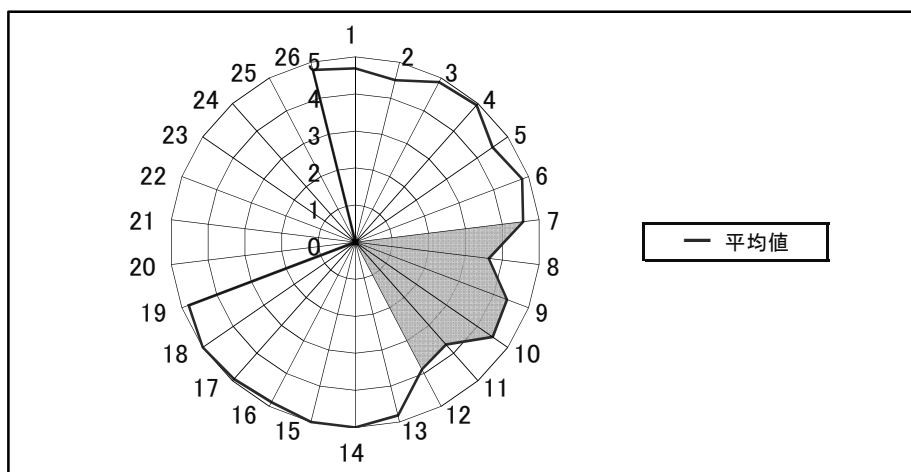


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 外国史特論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 17 日
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	12	3	1	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	10	4	2	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	15	1	0	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	4	2	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	13	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	3	2	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	5	2	7	2	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	10	2	4	0	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	11	2	3	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	2	8	1	0	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	5	5	1	0	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	13	3	0	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	16	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	16	0	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	15	1	0	0	0	0	4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	16	0	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	13	3	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	12	1	1	0	0	2	4.8

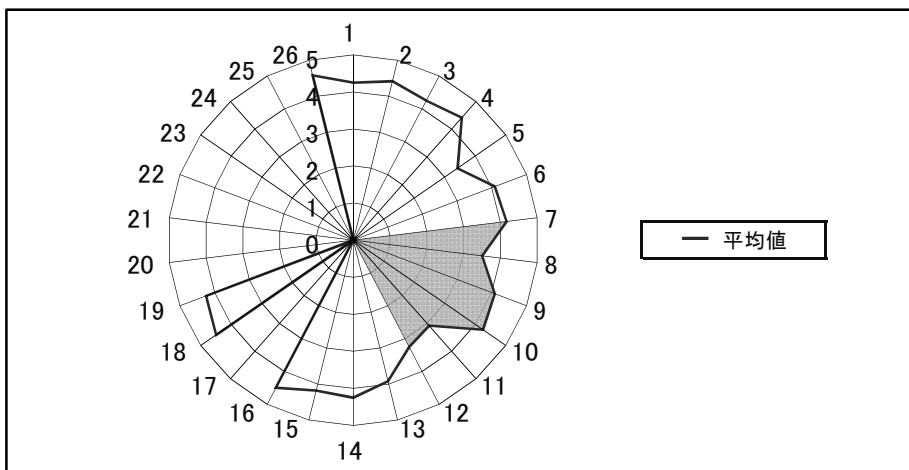


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 考古学
 評価実施日 平成 22 年 03 月 04 日
 担当教員名 木原 克司

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	9	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	7	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	5	2	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	3	2	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	4	6	1	0	3.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	3	4	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	5	4	3	0	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	5	5	1	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	4	2	1	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	5	2	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	6	3	0	3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	0	6	3	0	3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	7	3	0	0	3.9
	(14)熱心に指導した。	4	7	1	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	3	3	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	4	1	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	12
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	7	4	1	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	7	1	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	5	0	0	0	4.6

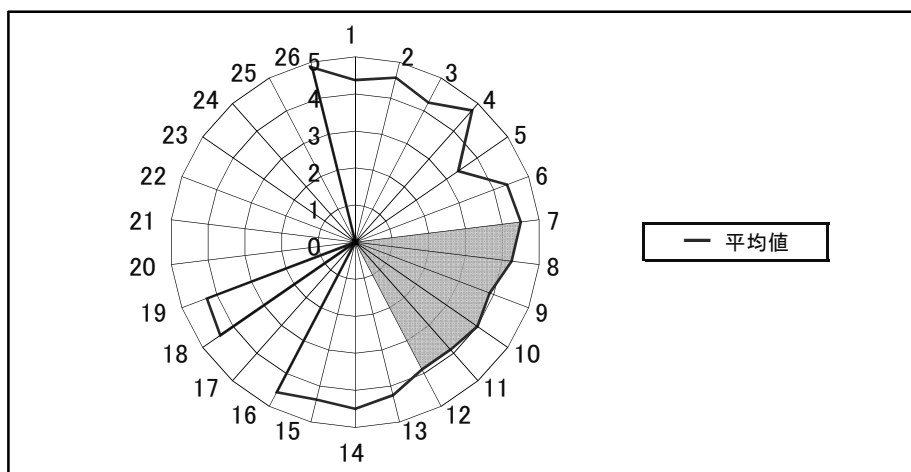


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 史学演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 大石 雅章, 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	3	1	0	0	1	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	3	0	0	0	2	4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	4	1	0	0	1	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	2	0	0	0	1	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	1	3	2	0	1	3.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	5	0	0	0	1	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	0	2	0	0	1	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	4	1	0	0	1	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	4	1	1	0	1	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	4	2	0	0	1	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	3	3	0	0	1	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	1	4	0	0	1	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	4	1	0	0	1	4.3
	(14)熱心に指導した。	4	4	0	0	0	1	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	5	0	0	0	1	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	3	0	0	0	2	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	9	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	4	0	0	0	2	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	5	0	0	0	2	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	1	0	0	0	2	4.9

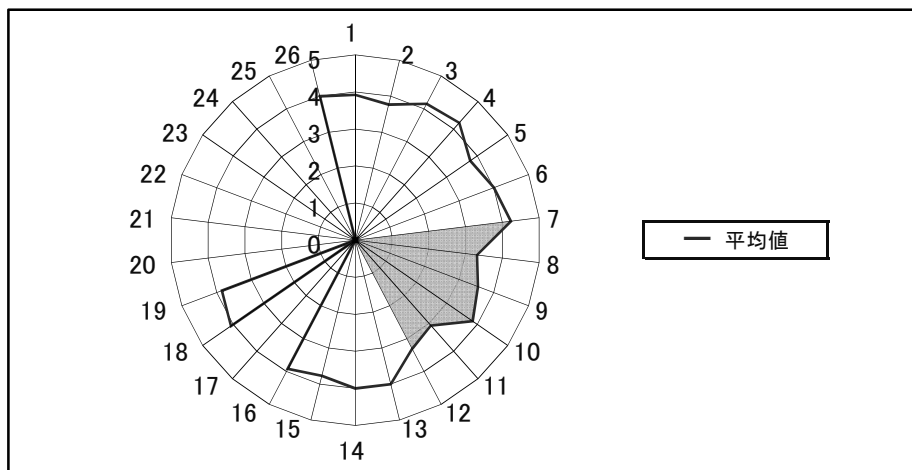


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 人文地理学特論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 木原 克司

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	6	4	0	0	0	3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	6	5	0	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	7	2	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	6	2	0	0	0	4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	5	4	1	0	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	7	3	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	4	3	0	0	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	4	6	2	0	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	4	6	1	0	0	3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	6	3	1	0	0	3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	2	4	5	0	0	3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	4	6	2	0	0	3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	7	3	0	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	4	5	4	0	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	6	5	0	0	0	3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	4	5	0	0	0	3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	13	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	6	3	0	0	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	7	4	0	0	0	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	6	3	0	0	1	4.0

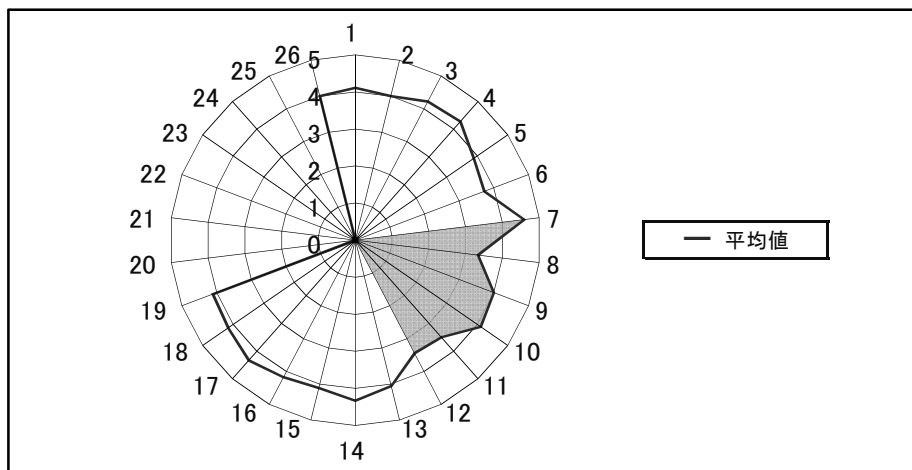


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 地理学概論
 評価実施日 平成 21 年 11 月 25 日
 担当教員名 木原 克司

回答者数 18 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.0

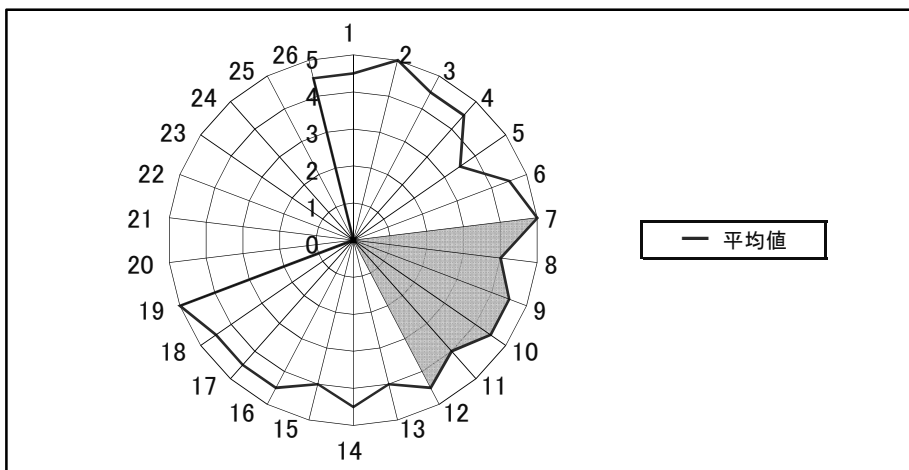


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 地理学演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 21 日
 担当教員名 木原 克司, 立岡 裕士

回答者数 2 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5

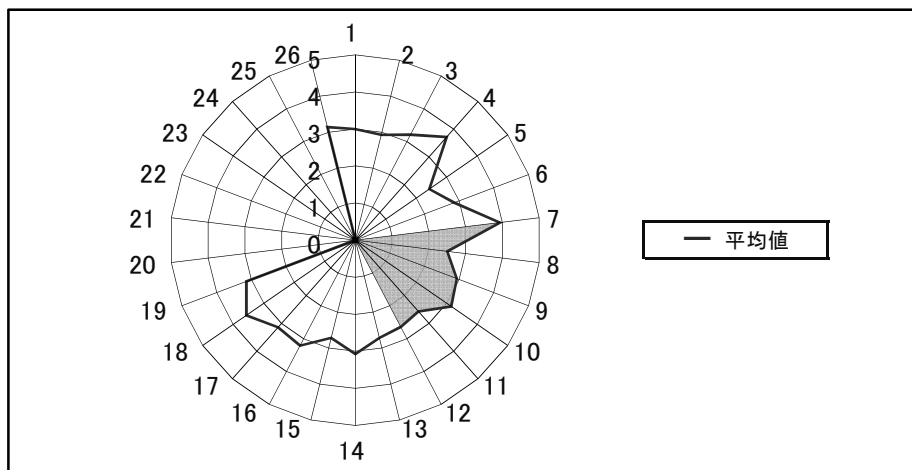


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 地誌学概論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 24 日
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 14 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						2.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						2.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						2.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						3.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						2.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						2.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						2.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						2.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						2.7
	(14)熱心に指導した。						3.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						2.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.1

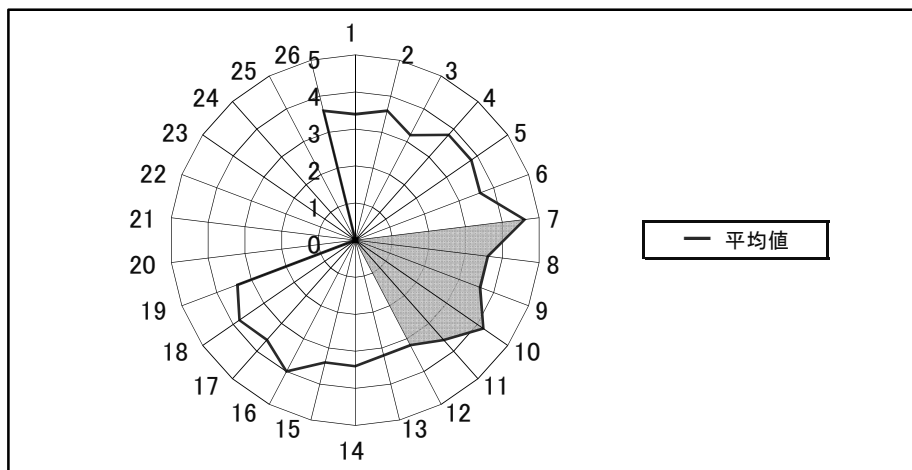


総合評価	3.1
------	-----

授業科目名 地誌学特論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.2
	(14)熱心に指導した。						3.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.6

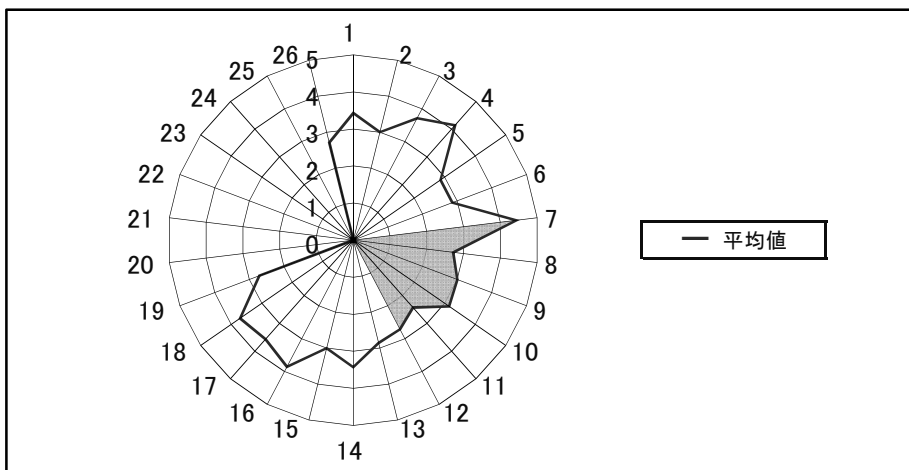


総合評価	3.6
------	-----

授業科目名 地図学概論
 評価実施日 平成 22 年 03 月 02 日
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	3	2	0	1	0	3.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	1	3	1	1	0	3.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	2	2	1	0	0	3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	2	2	0	0	0	4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	2	2	3	0	0	2.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	0	2	3	1	1	0	2.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	1	4	1	1	0	2.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	2	4	0	1	0	3.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	2	4	1	0	0	3.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	2	3	1	0	2.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	1	3	3	0	0	2.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	2	1	1	2	0	2.9
	(14)熱心に指導した。	1	3	1	2	0	0	3.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	3	2	1	1	0	3.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	3	2	1	0	0	3.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	2	2	1	0	0	3.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	2	2	2	1	0	2.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	0	2	2	2	1	0	2.7

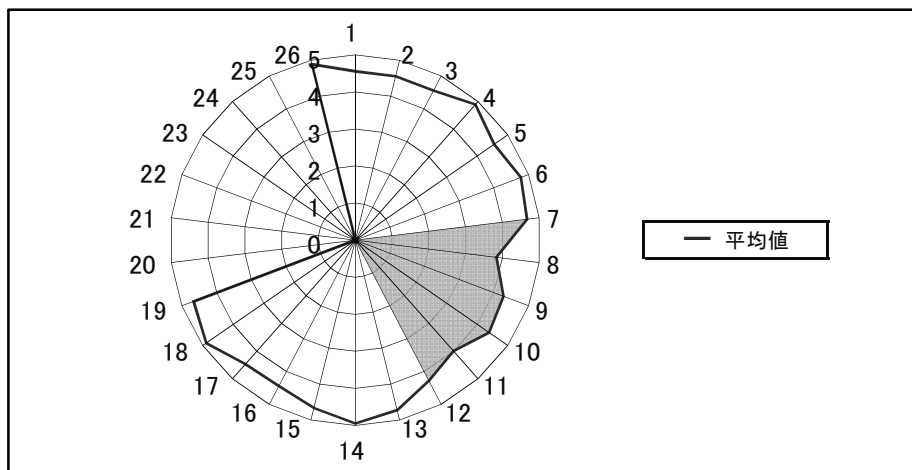


総合評価	3.3
------	-----

授業科目名 法律学特論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 18 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.7
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.9	

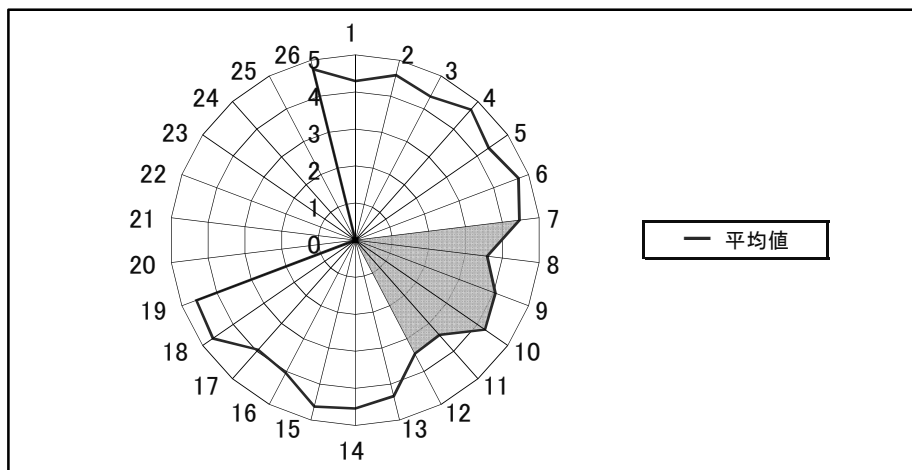


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 社会学概論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 山本 準

回答者数 24 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8

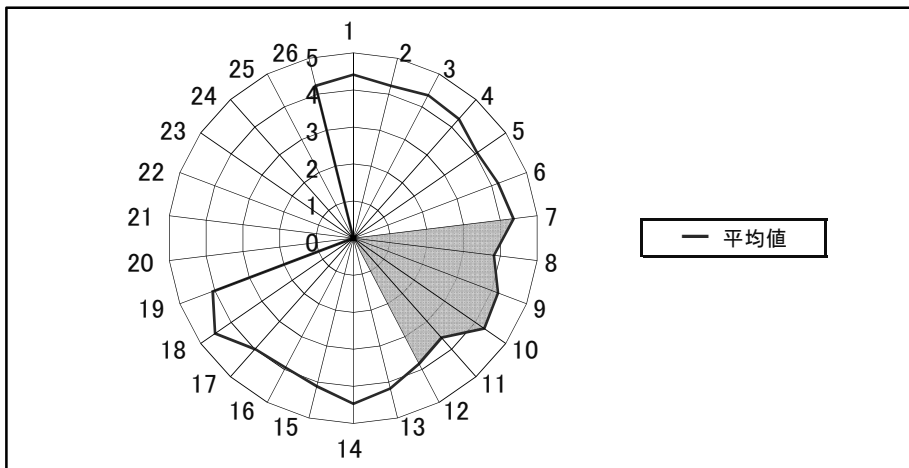


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 経済学概論
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 17 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.2

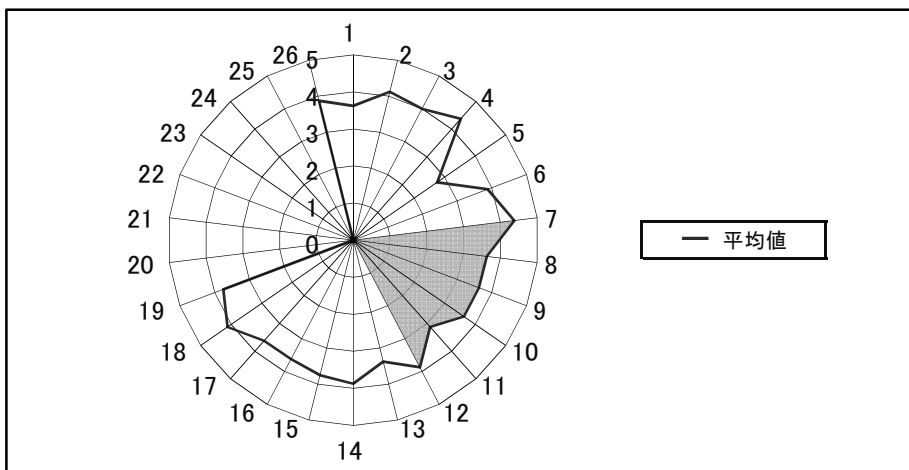


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 経済学特論
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						2.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.4
	(14)熱心に指導した。						3.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.9

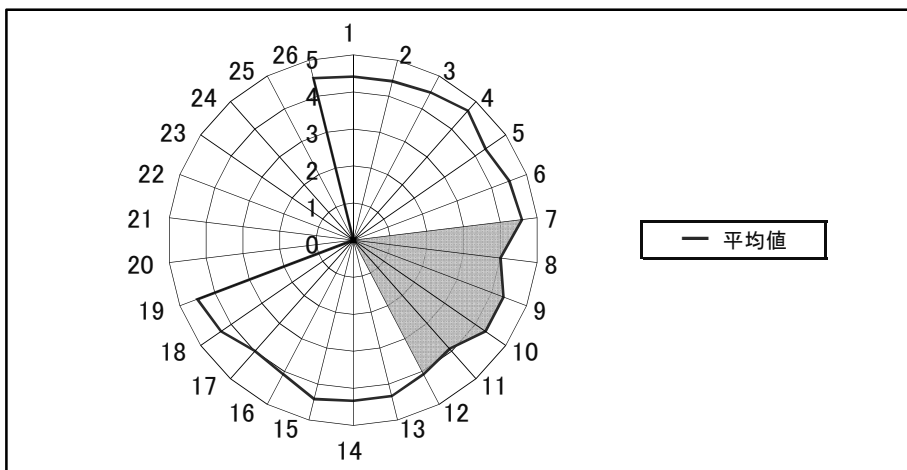


総合評価 3.8

授業科目名 経済学演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

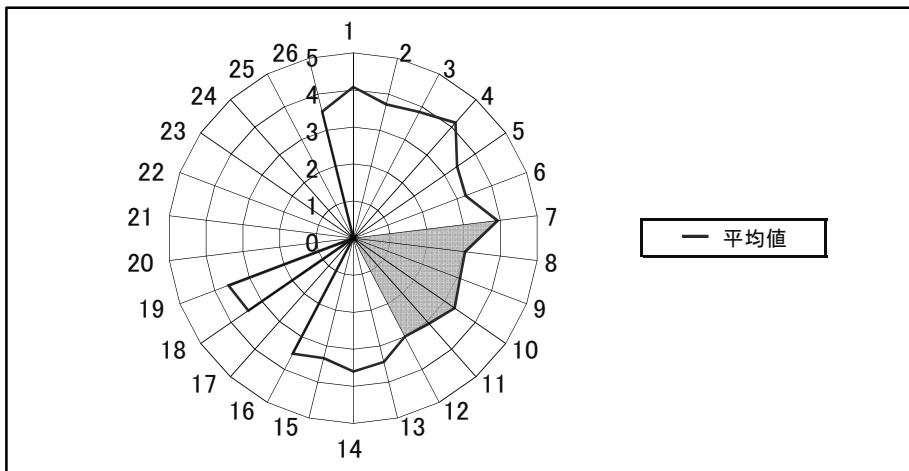


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 哲学・倫理学概論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 齋木 哲郎

回答者数 25 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						3.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.4
	(14)熱心に指導した。						3.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						25
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.5

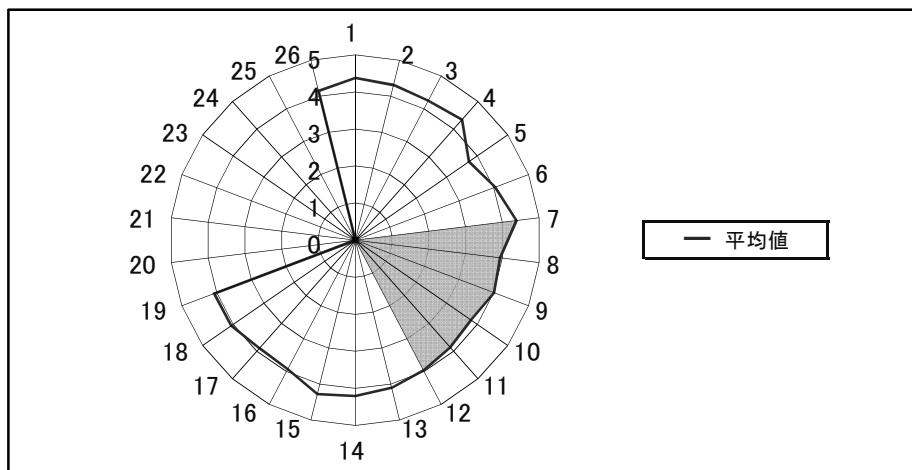


総合評価	3.6
------	-----

授業科目名 代数学 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 29 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

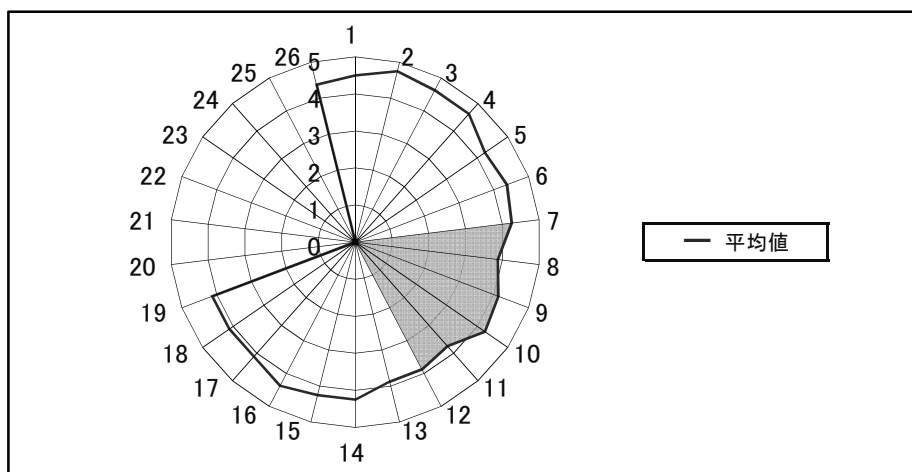


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 代数学Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4

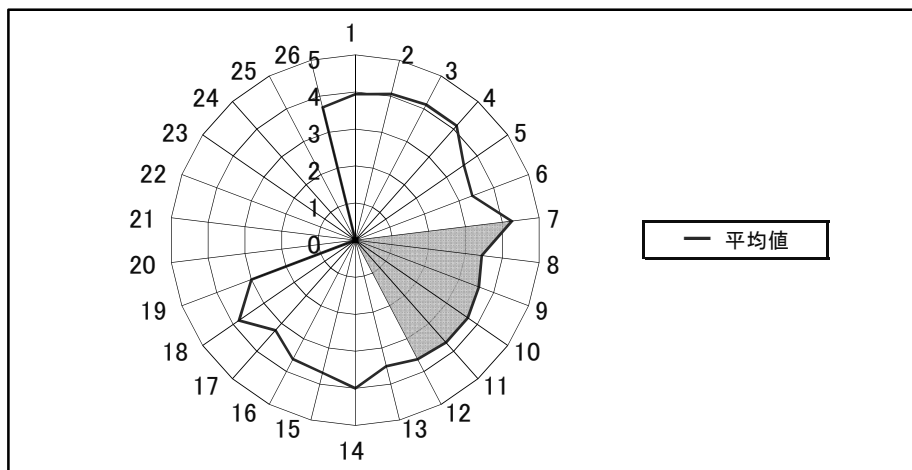


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 代数学Ⅲ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.7

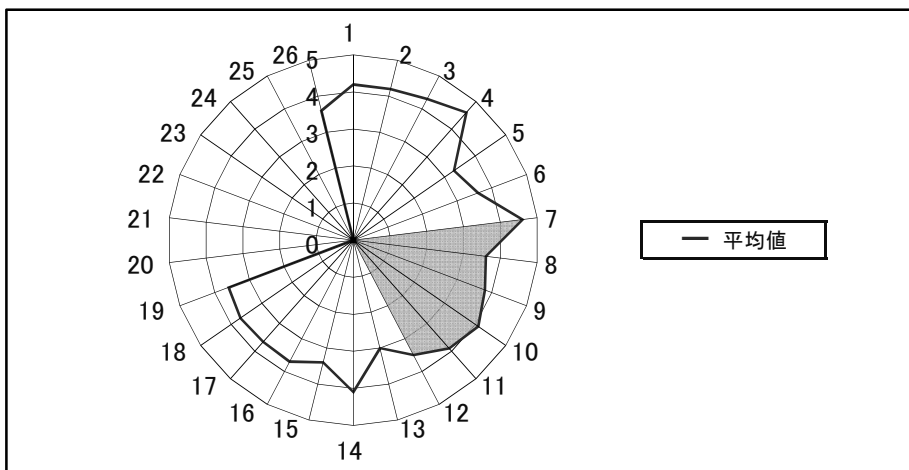


総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 代数学特論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	4	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	6	1	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	7	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	4	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	5	2	0	2	3.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	6	2	0	1	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	2	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	2	4	0	1	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	4	4	0	0	3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	5	2	0	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	5	3	0	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	5	3	0	1	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	2	4	2	1	3.0
	(14)熱心に指導した。	3	5	2	0	0	4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	4	3	2	0	3.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	3	5	0	0	3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	5	2	1	0	3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	4	3	1	0	3.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	4	3	0	1	3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	6	2	0	1	3.6

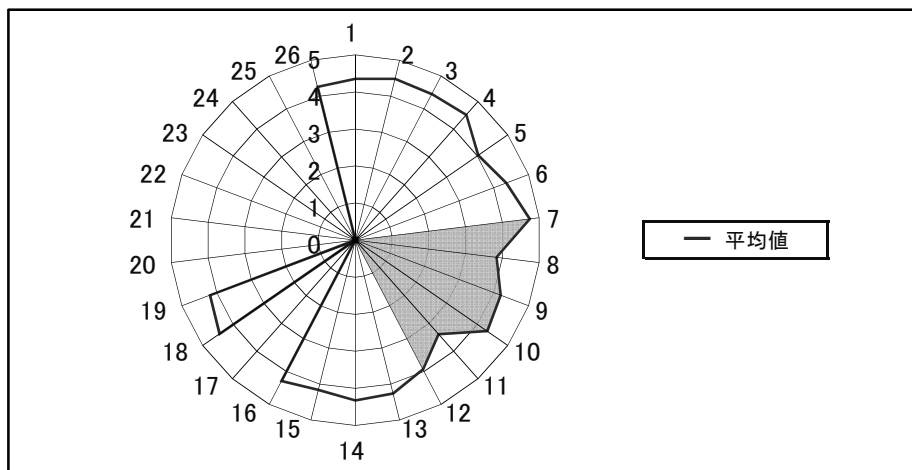


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 幾何学 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 31 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	11	20	0	0	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	17	12	2	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	15	15	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	17	13	1	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	13	7	1	0	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	14	14	3	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	25	4	2	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	9	11	9	1	1	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	11	15	5	0	0	0	4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。	12	17	2	0	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	12	7	8	0	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	9	13	7	2	0	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	19	2	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	12	17	2	0	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	18	4	0	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	12	16	3	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	31	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	16	13	2	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	13	11	7	0	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	11	17	3	0	0	0	4.3

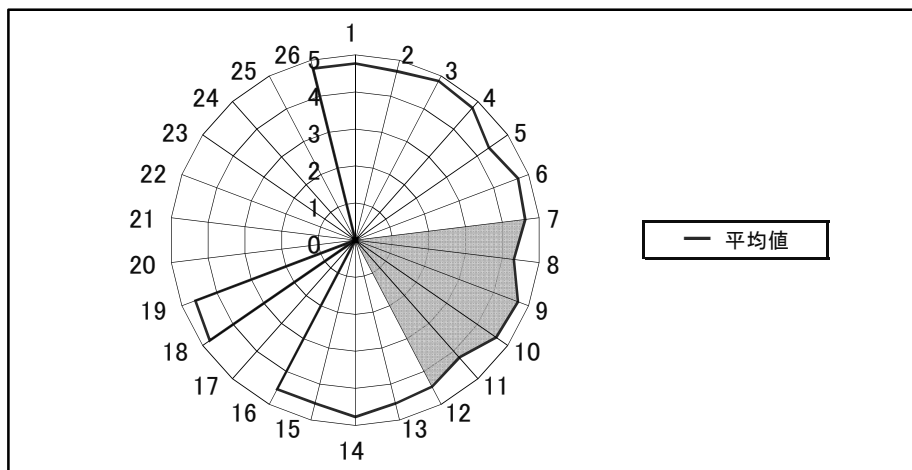


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 幾何学Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 24 日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	9	4	0	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	4	2	0	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	3	1	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	5	7	1	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	5	0	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	7	0	1	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	7	0	0	0	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	6	0	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	6	0	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	6	0	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	13	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	9	3	1	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	10	3	0	0	0	0	4.8

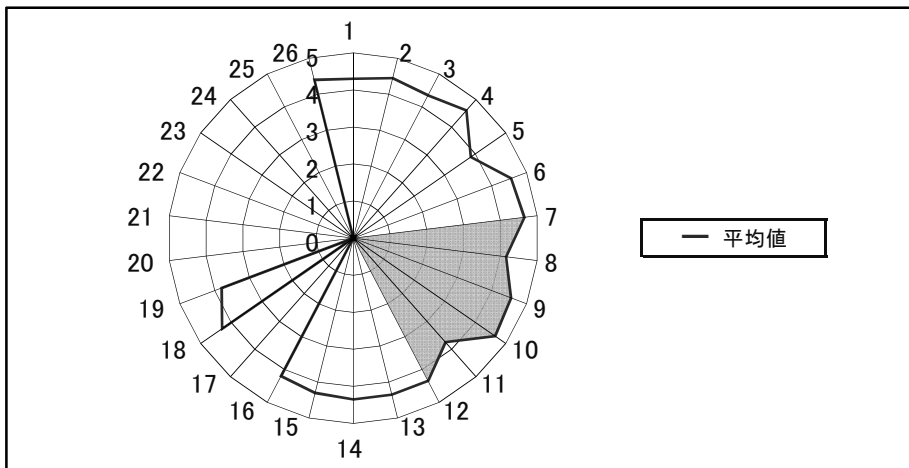


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 幾何学Ⅲ
 評価実施日 平成 21 年 08 月 03 日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 20 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						20
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4

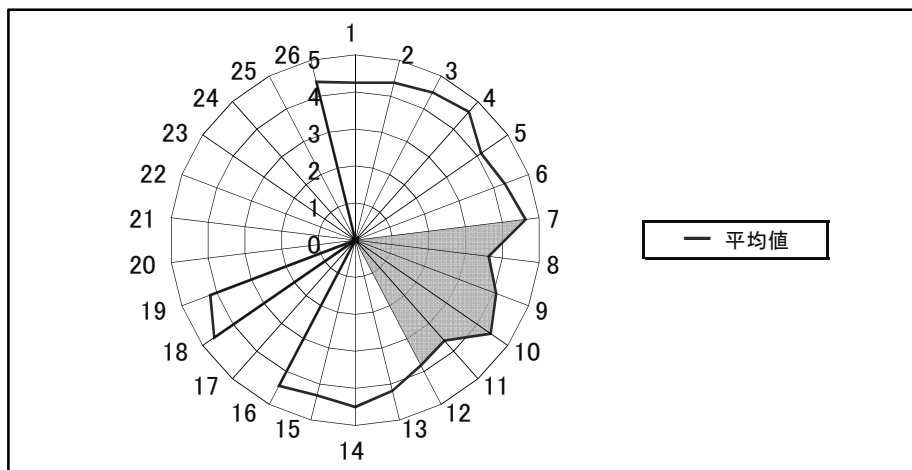


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 幾何学特論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						16
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4

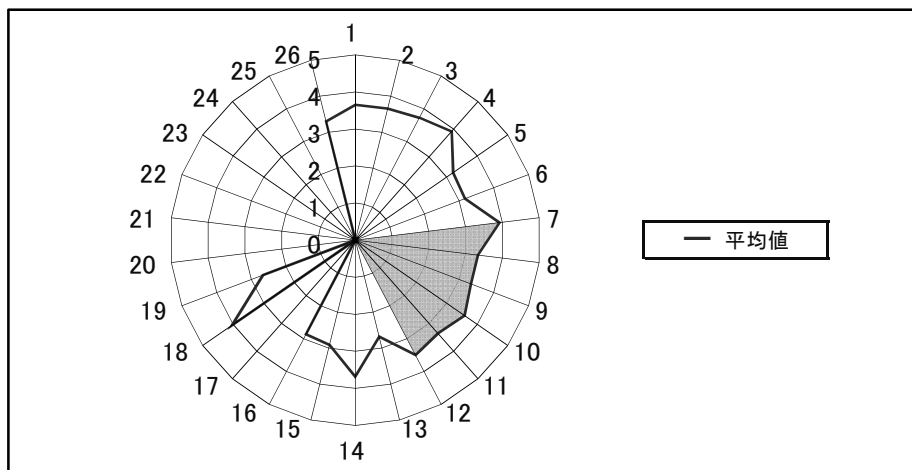


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 解析学 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 24 日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 26 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						3.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						2.7
	(14)熱心に指導した。						3.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						2.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						2.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						26
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						2.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.3

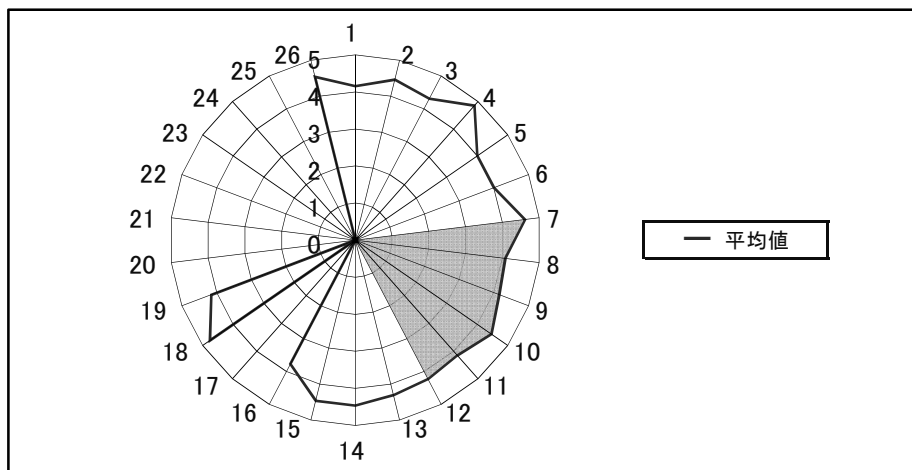


総合評価	3.3
------	-----

授業科目名 解析学Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 08 月 04 日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	7	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	3	2	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	5	2	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	2	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	4	3	1	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	3	5	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	3	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	5	4	4	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	7	2	0	0	4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	5	1	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	5	3	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	4	3	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	3	3	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	8	3	2	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	3	2	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	4	3	2	0	3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	13
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	3	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	3	4	0	0	4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	4	1	0	0	4.5

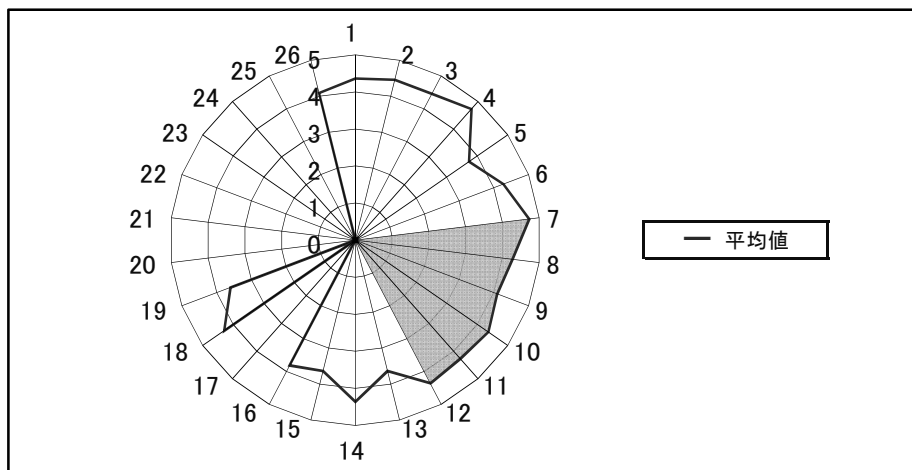


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 解析学Ⅲ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.6
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						11
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

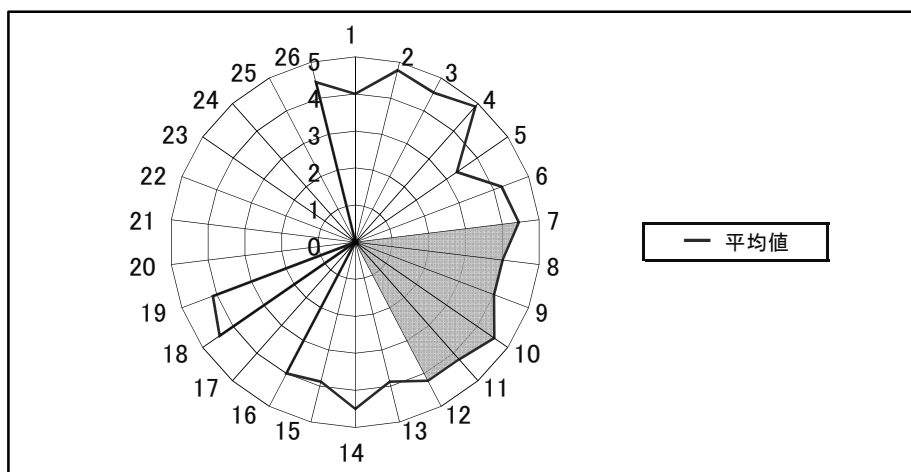


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 解析学特論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 16 日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.9
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4

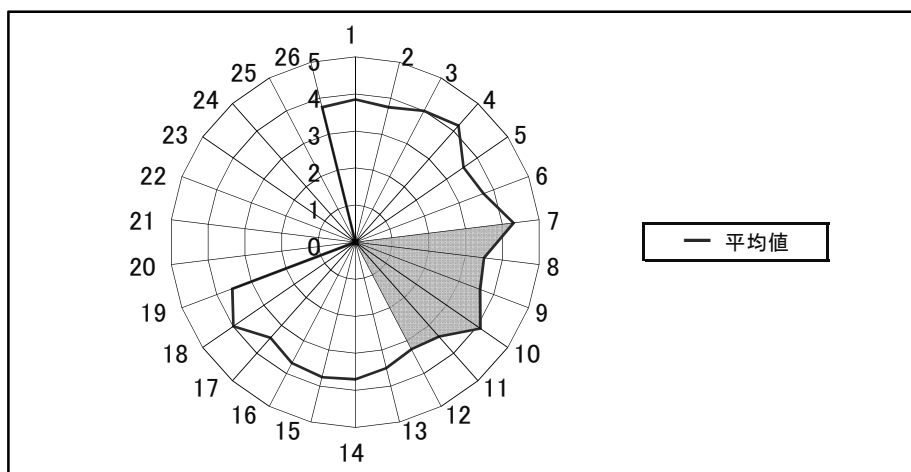


総合評価 4.2

授業科目名 確率・統計学
 評価実施日 平成 22 年 01 月 27 日
 担当教員名 樋上 和弘

回答者数 20 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						3.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.8

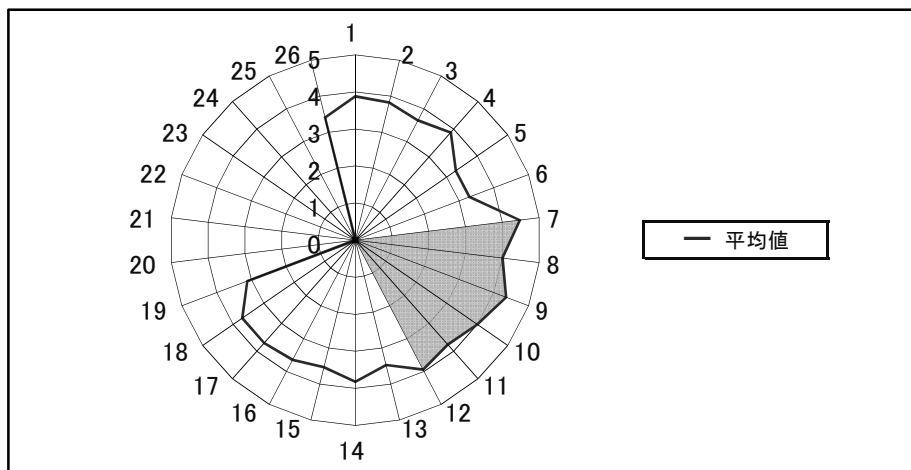


総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 計算数学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 15 日
 担当教員名 樋上 和弘

回答者数 17 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						3.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.4

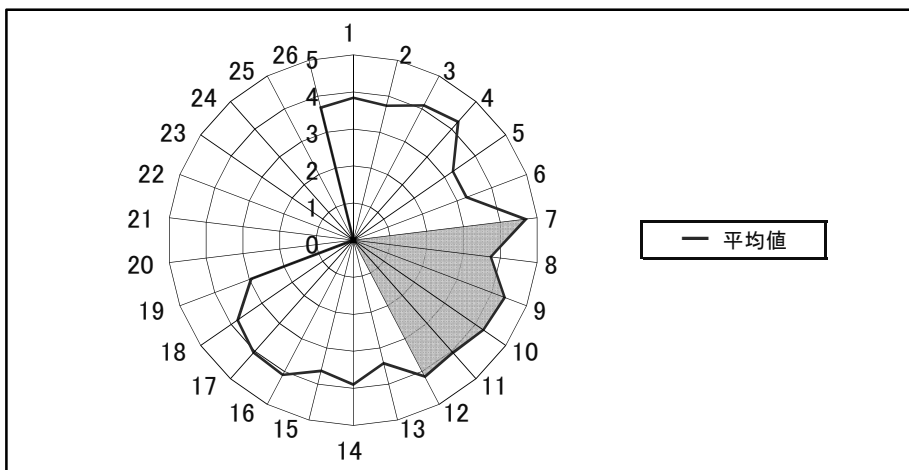


総合評価	3.6
------	-----

授業科目名 計算数学特論
 評価実施日 平成 年 07 月 13 日
 担当教員名 樋上 和弘

回答者数 19 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.4
	(14)熱心に指導した。						3.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						2.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.7

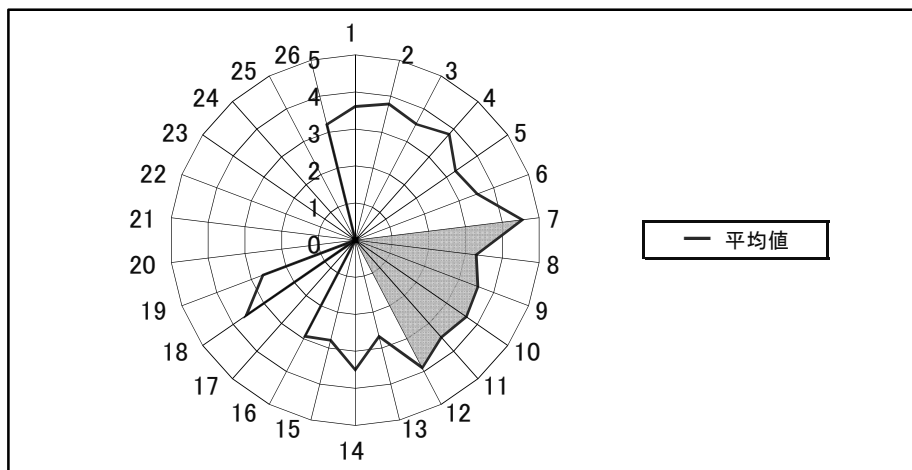


総合評価	3.7
------	-----

授業科目名 基礎数学 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 28 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						2.7
	(14)熱心に指導した。						3.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						2.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						2.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						28
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						2.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.2

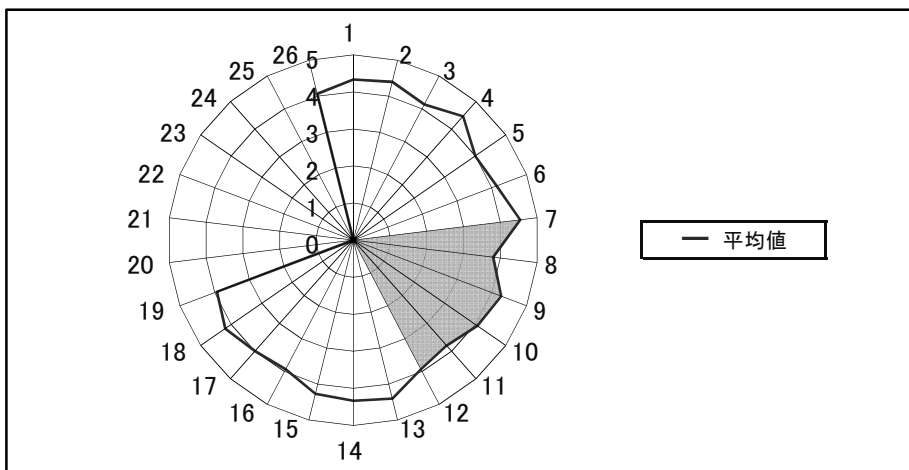


総合評価	3.3
------	-----

授業科目名 基礎数学Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 15 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

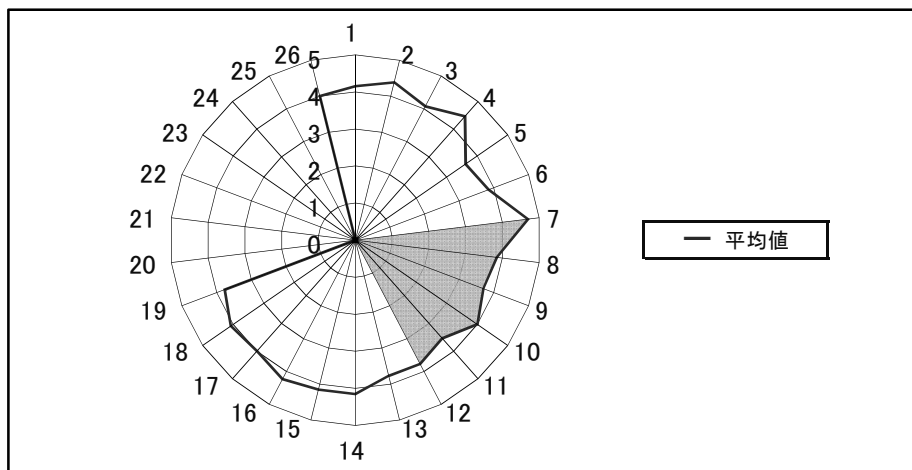


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 物理学 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 栗田 高明

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	7	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	6	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	7	1	1	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	5	1	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	4	7	0	0	3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	5	5	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	1	0	1	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	7	4	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	9	4	0	0	3.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	7	3	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	4	6	1	0	3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	5	4	1	0	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	6	5	0	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	4	7	2	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	6	1	1	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	6	2	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	7	3	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	6	3	0	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	6	5	0	0	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	8	2	0	0	4.0

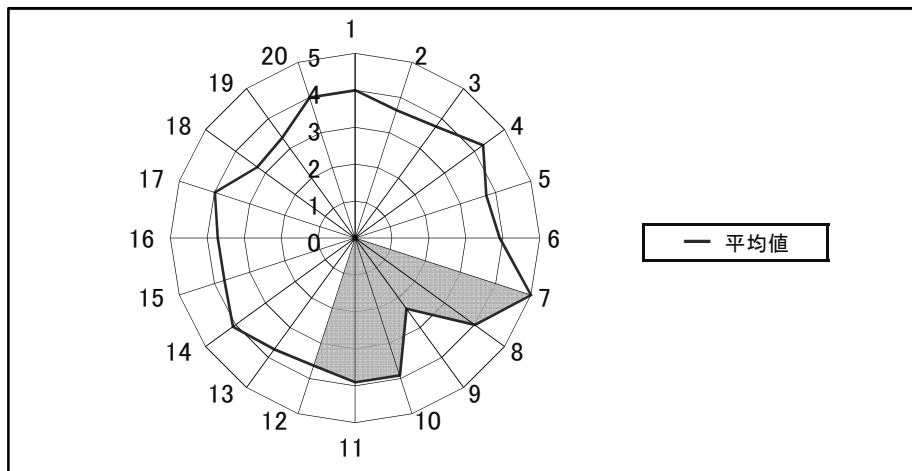


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 化学の基礎
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 今倉 康宏

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	5	3	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	2	5	1	0	3.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	7	2	1	0	3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	6	1	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	6	1	2	0	3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	4	4	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習をした。	2	7	2	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に発言や質問をした。	1	1	3	2	4	2.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	6	3	0	0	3.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	3	3	1	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(12)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	5	2	2	0	3.6
	(13)学生が参加しやすい授業だった。	1	7	2	1	0	3.7
	(14)熱心に指導した。	4	4	3	0	0	4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	5	3	1	0	3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	3	4	1	0	3.7
	(17)視聴覚機器及び教育用機器の利用は、適切だった。	3	5	3	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	4	3	3	0	3.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。	2	3	3	3	0	3.4
5 授業に対する満足度	(20)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	2	3	1	0	4.0

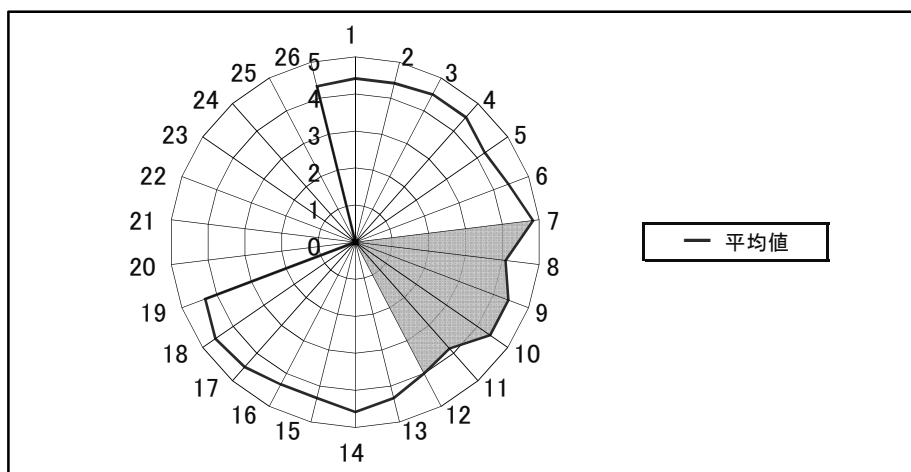


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 中等理科（化学分野）
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 武田 清

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

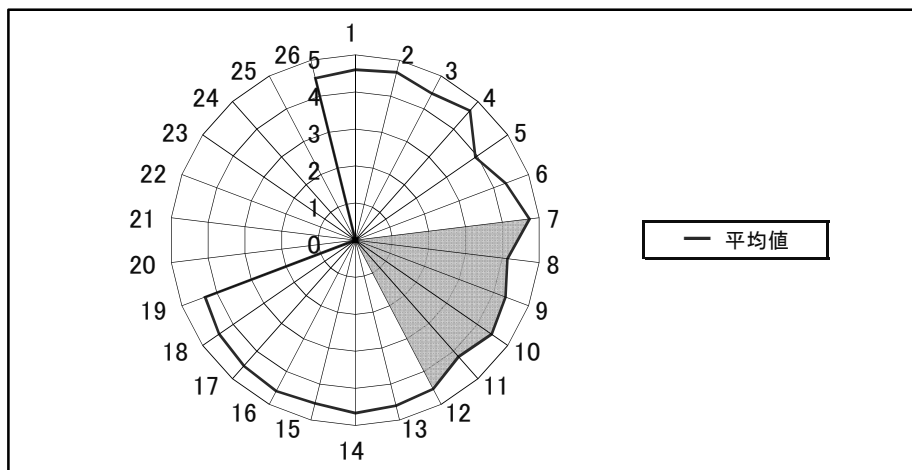


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 化学 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 早藤 幸隆, 今倉 康宏

回答者数 15 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

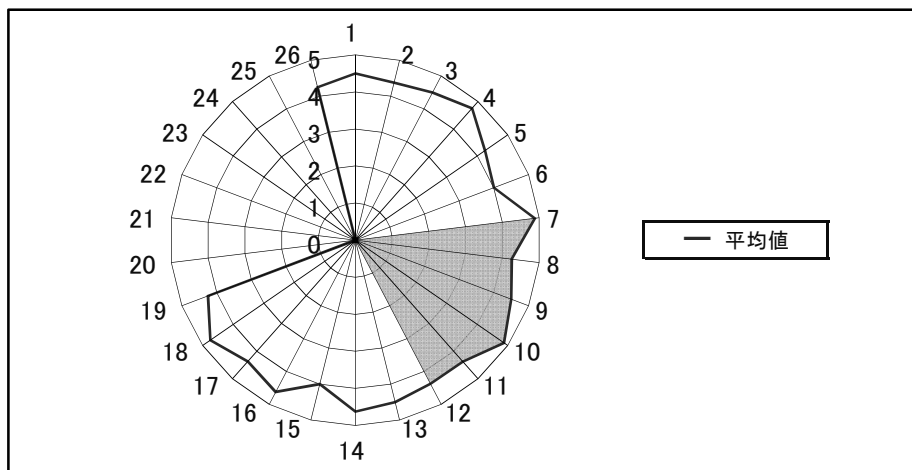


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 化学Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 今倉 康宏, 早藤 幸隆

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	5	0	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	3	0	1	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	2	1	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	5	0	0	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	3	0	1	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	4	1	0	0	0	4.3

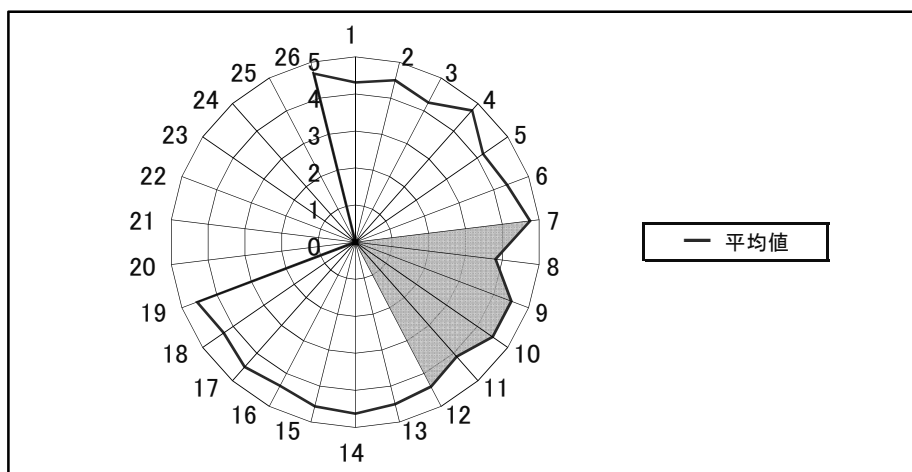


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 化学実験Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 今倉 康宏, 武田 清, 早藤 幸隆

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.5
	(14)熱心に指導した。						4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7	

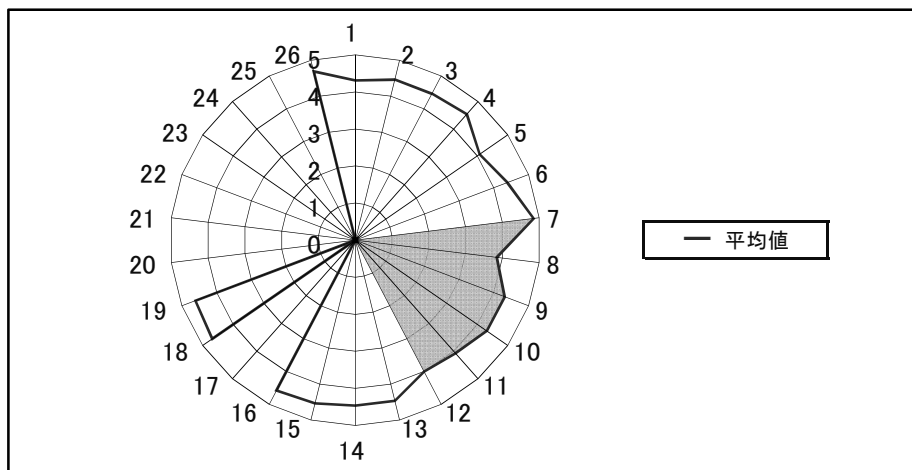


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 中等理科（生物学分野）
 評価実施日 平成 21 年 12 月 07 日
 担当教員名 小 汐 千春

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	3	3	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	3	2	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	4	1	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	5	2	1	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	4	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	6	1	1	1	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	8	3	1	0	1	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	3	1	0	1	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	5	2	1	0	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	7	0	2	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	6	0	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	8	3	1	0	0	1	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	13	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	9	3	1	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	9	4	0	0	0	0	4.7

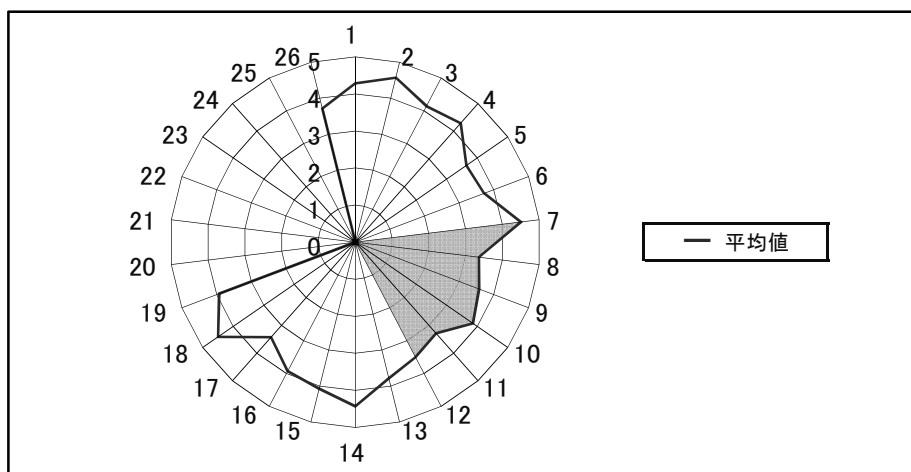


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 生物学 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 米澤 義彦

回答者数 14 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.8
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.1
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.9
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.7

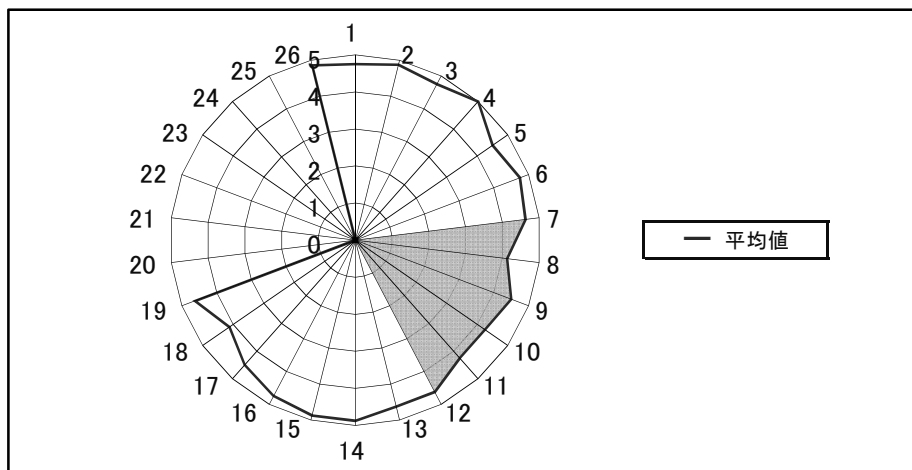


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 生物学Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 工藤 慎一

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.9

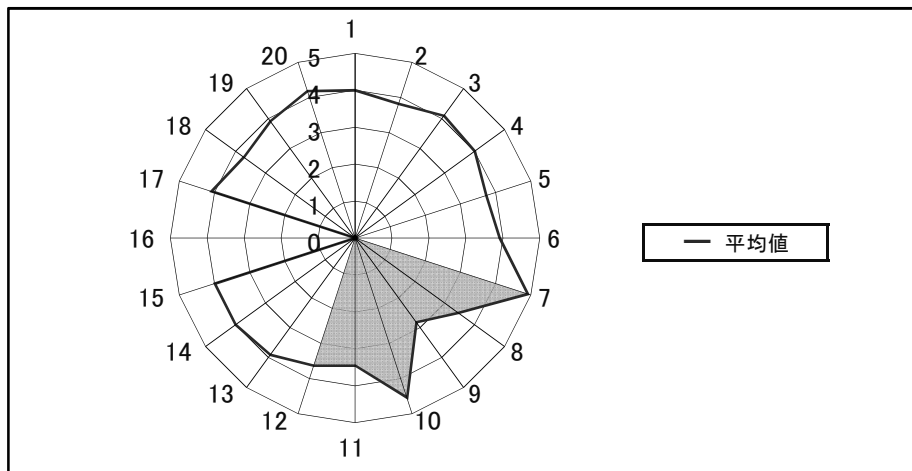


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 地学の基礎
 評価実施日 平成 21 年 06 月 11 日
 担当教員名 村田 守, 西村 宏

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	5	3	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	5	4	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	6	2	0	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	7	2	0	0	4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	7	2	1	0	3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	4	4	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	10	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習をした。	3	1	6	0	1	3.5
	(9)授業中に積極的に発言や質問をした。	2	1	4	1	3	2.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	3	1	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	5	2	0	2	3.5
4 教員の授業の進め方について	(12)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	1	7	0	0	3.6
	(13)学生が参加しやすい授業だった。	3	6	0	2	0	3.9
	(14)熱心に指導した。	3	5	3	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	5	3	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	11
	(17)視聴覚機器及び教育用機器の利用は、適切だった。	3	6	2	0	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	5	3	1	0	3.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。	1	8	2	0	0	3.9
5 授業に対する満足度	(20)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	7	1	0	0	4.2

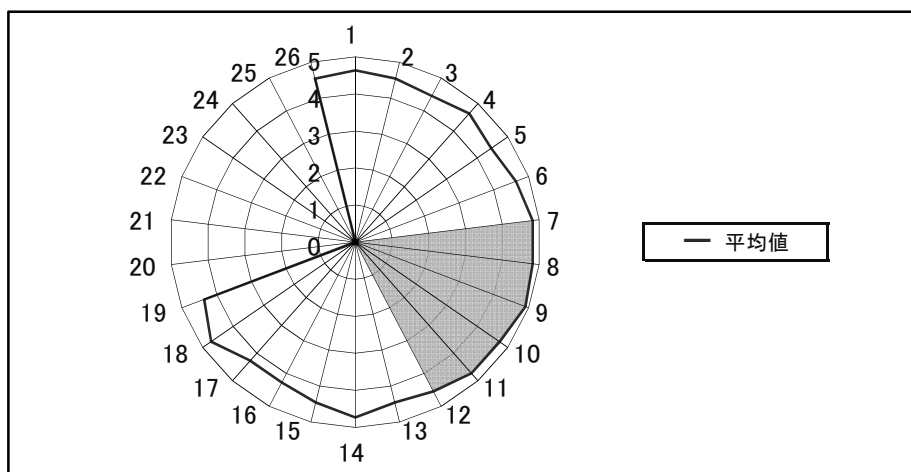


総合評価	3.9
------	-----

授業科目名 中等理科（地学分野）
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 西村 宏, 村田 守

回答者数 11 名

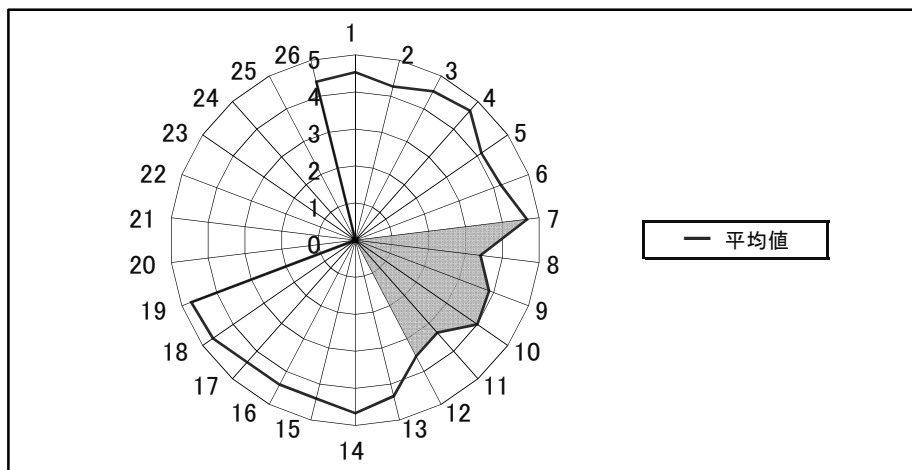
質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	4	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	5	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	6	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	4	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	6	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	4	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	2	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	9	2	0	0	0	4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	9	1	1	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	8	3	0	0	0	4.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	8	2	0	1	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	4	1	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	8	3	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	4	1	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	4	2	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	4	2	0	0	4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	3	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	4	0	1	0	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	5	0	0	0	4.5



総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 地学 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 香西 武, 村田 守, 西村 宏, 森 繁, 吉川 武憲
 回答者数 15 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	7	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	11	0	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	9	5	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	3	1	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	7	3	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	10	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	10	5	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	7	7	1	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	10	3	0	0	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	11	2	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	7	6	2	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	8	7	0	0	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	8	1	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	10	5	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	9	0	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	7	1	0	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	9	0	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	11	3	1	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	11	4	0	0	0	4.7
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	9	0	0	0	4.4

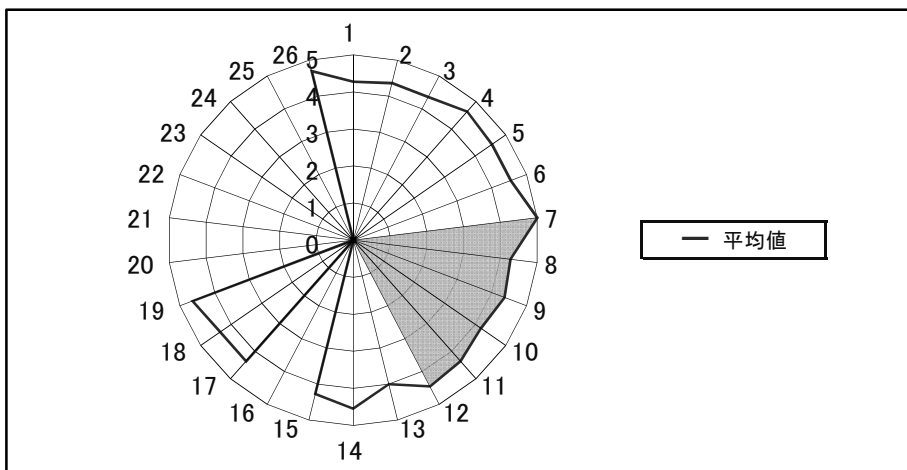


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 地学Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 村田 守, 香西 武, 西村 宏

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	5	1	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	3	2	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	3	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	2	3	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	3	2	0	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	5	2	0	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	4	1	0	0	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	5	3	0	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	4	2	0	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	11	
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	7	0	0	0	0	4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	3	0	0	0	1	4.7

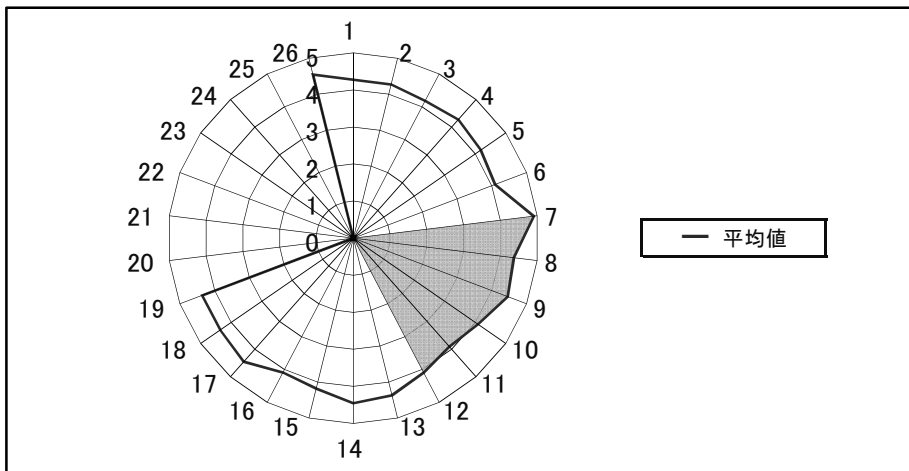


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 地学実験Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 04 日
 担当教員名 村田 守, 香西 武, 小澤 大成

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

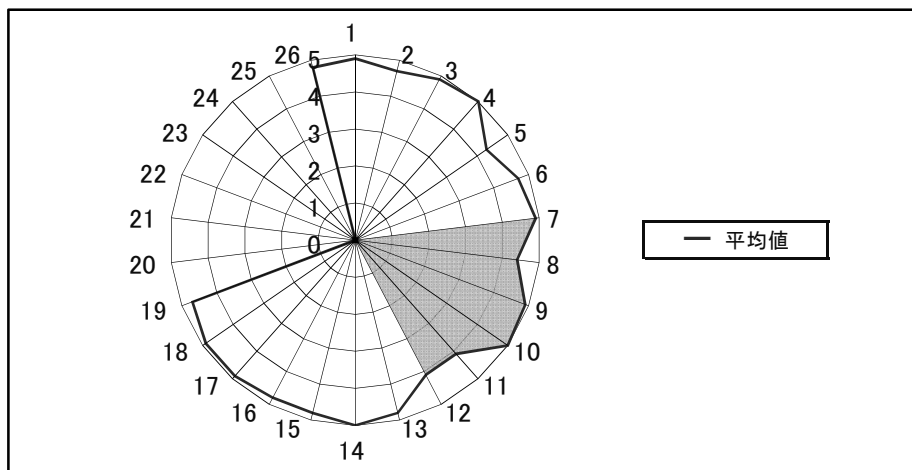


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 ソルフェージュ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	7	3	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	10	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	3	2	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	3	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	6	0	0	0	4.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	10	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	5	0	0	1	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	5	2	0	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	8	2	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	10	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	2	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	8	2	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	9	1	0	0	0	4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	9	1	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	3	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	2	0	0	0	4.8

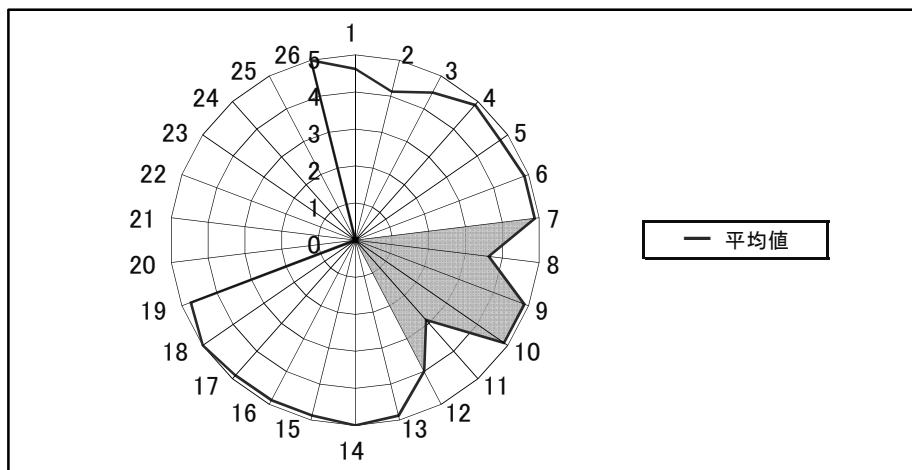


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 声楽(合唱を含む。)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 草下 實, 頃安 利秀

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	5	3	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	5	1	0	0	4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	2	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	1	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	4	0	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	1	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	4	1	1	2.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	4	2	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	1	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	8	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	1	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	2	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	0	0	0	1	5.0

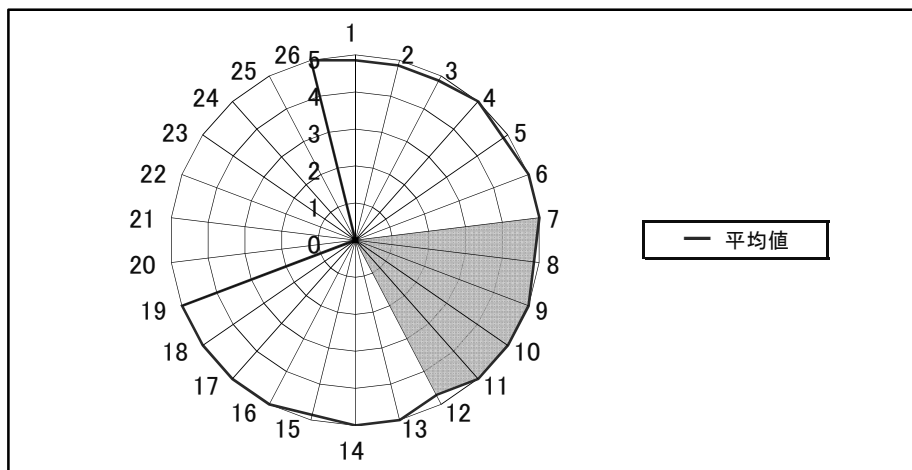


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 声楽基礎 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 15 日
 担当教員名 草下 實, 頃安 利秀

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	0	1	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0

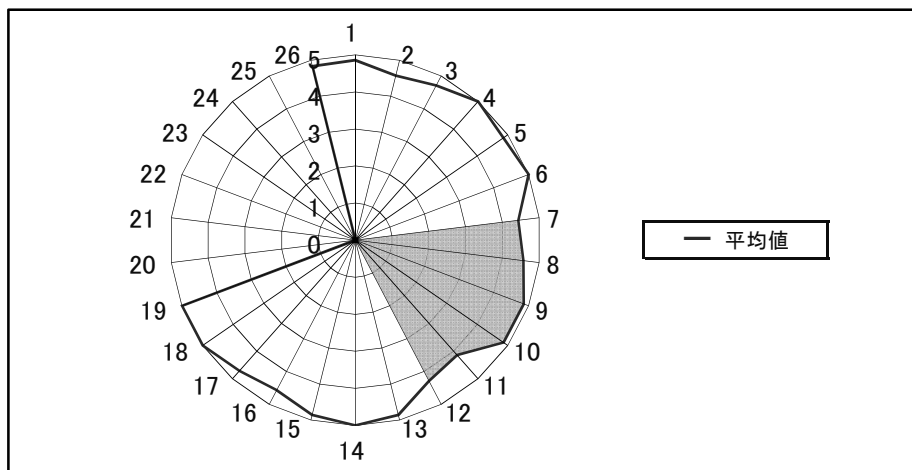


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 声楽基礎Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 草下 實, 頃安 利秀

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.9
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8

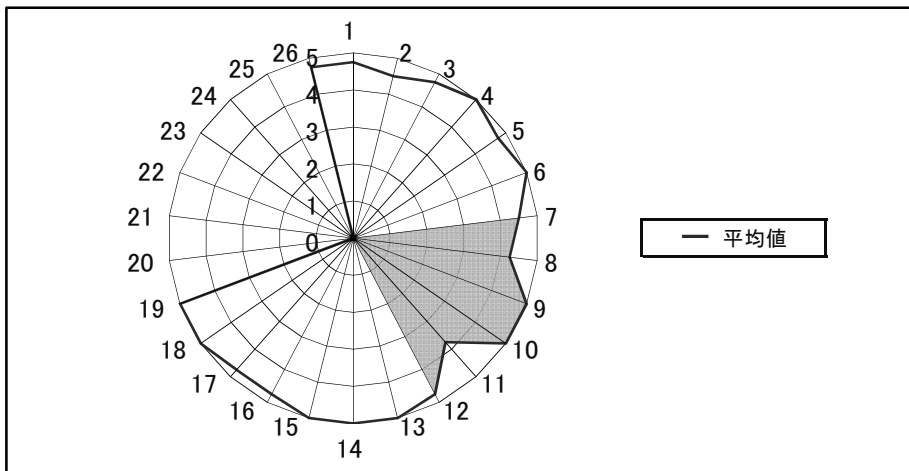


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 歌唱法 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 草下 實, 頃安 利秀

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8

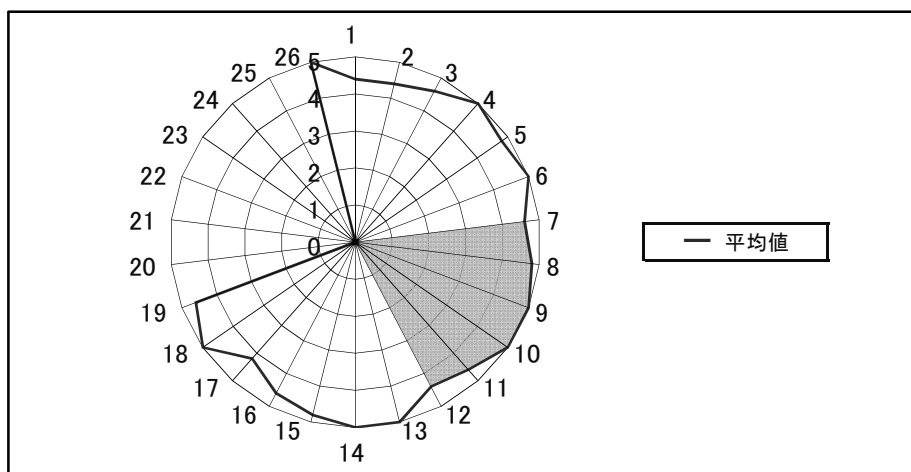


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 歌唱法Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 24 日
 担当教員名 草下 實, 頃安 利秀

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	3	0	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	1	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	2	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	1	0	0	0	4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	2	0	0	0	4.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	1	1	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	5	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	0	1	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	2	1	0	0	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	0	1	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

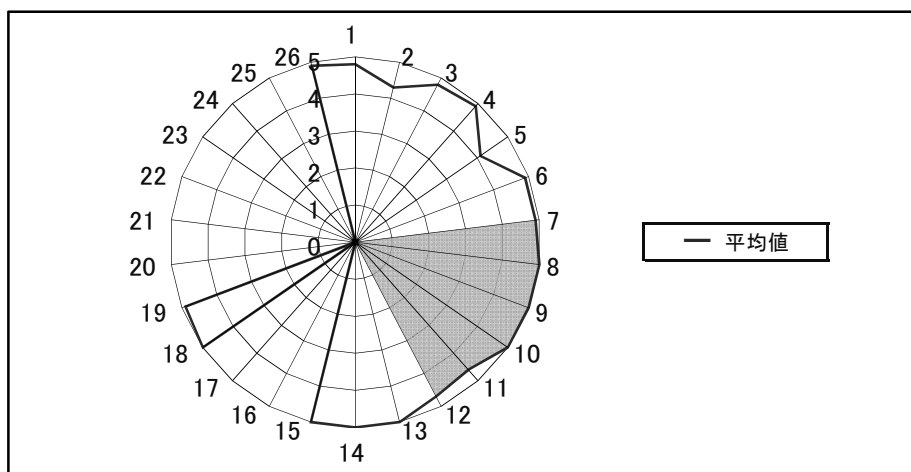


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 器楽（合奏及び伴奏を含む。）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 村澤 由利子, 森 正, 山根 秀憲

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	3	2	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	3	3	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	9	1	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	9	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	10	0	0	0	0	5.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	10	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	7	2	1	0	0	4.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	7	3	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	10	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	0	0	0	1	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	10	
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	10	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	9	1	0	0	0	4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	9	1	0	0	0	4.9

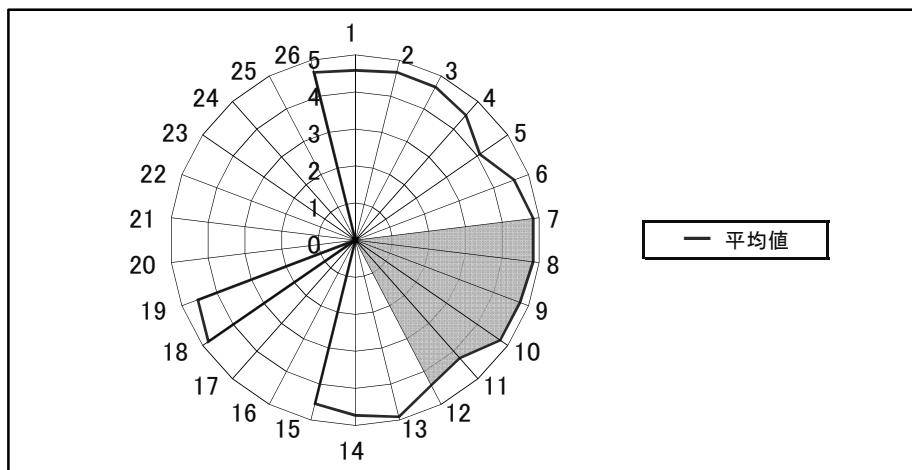


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 ピアノ基礎 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 村澤 由利子, 森 正, 木村 正邦

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.9
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						13
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						13
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

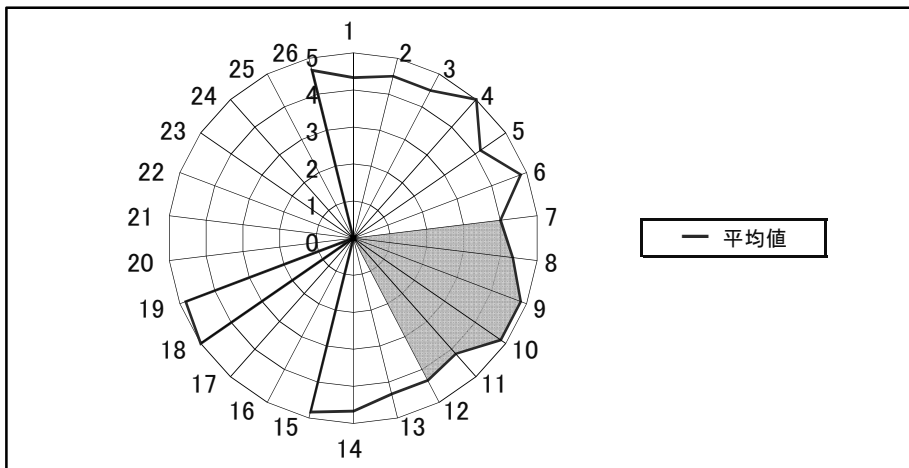


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 ピアノ基礎Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 村澤 由利子, 森 正

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

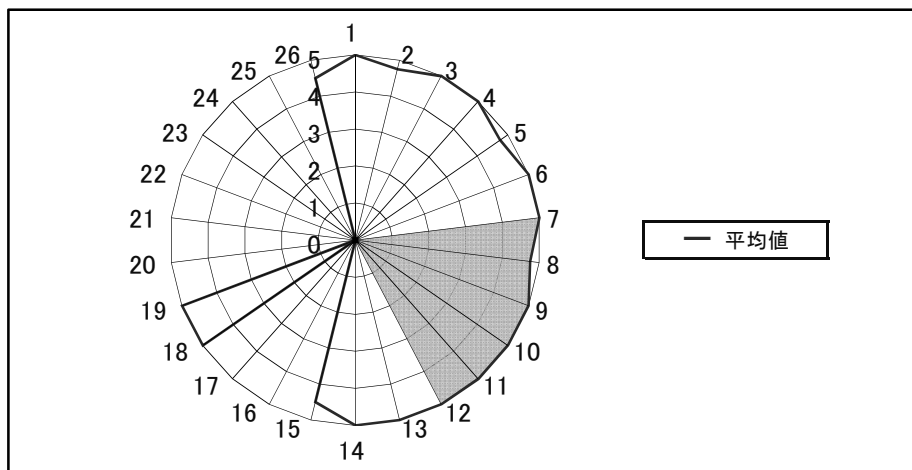


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 ピアノ I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 村澤 由利子, 森 正

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	4	
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	4	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	0	1	0	0	0	4.5

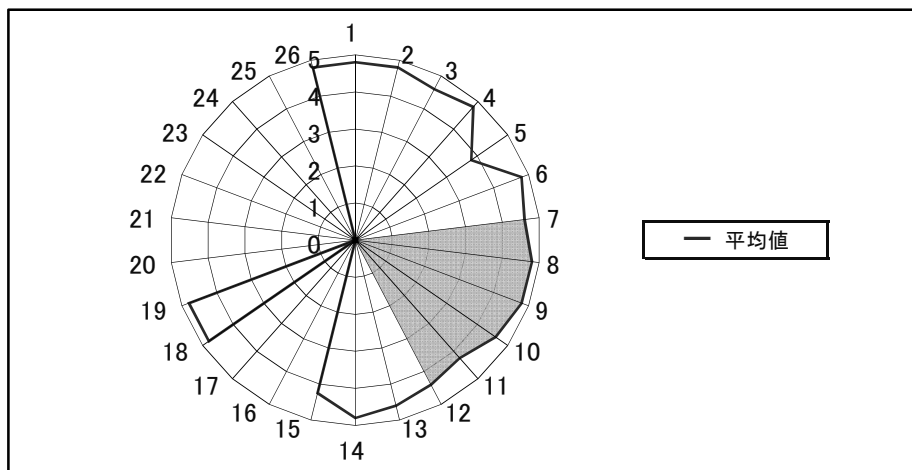


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 ピアノⅡ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 24 日
 担当教員名 村澤 由利子, 森 正

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	4	1	0	0	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	1	1	0	0	1	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	1	1	0	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	3	0	0	0	1	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	5	
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	5	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8

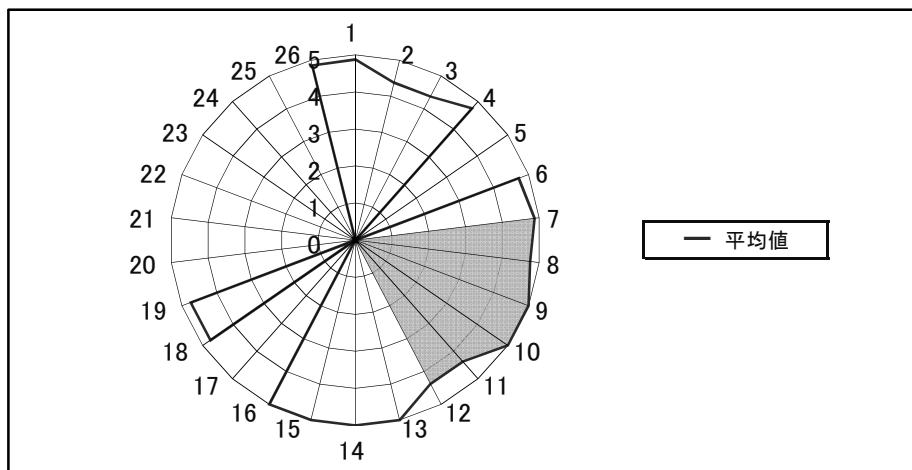


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 管弦打楽器基礎 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	5	0	0	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	0	0	0	0	8	
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	0	1	0	0	1	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	1	2	0	0	0	4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	1	2	0	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	8	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	1	0	0	0	1	4.9

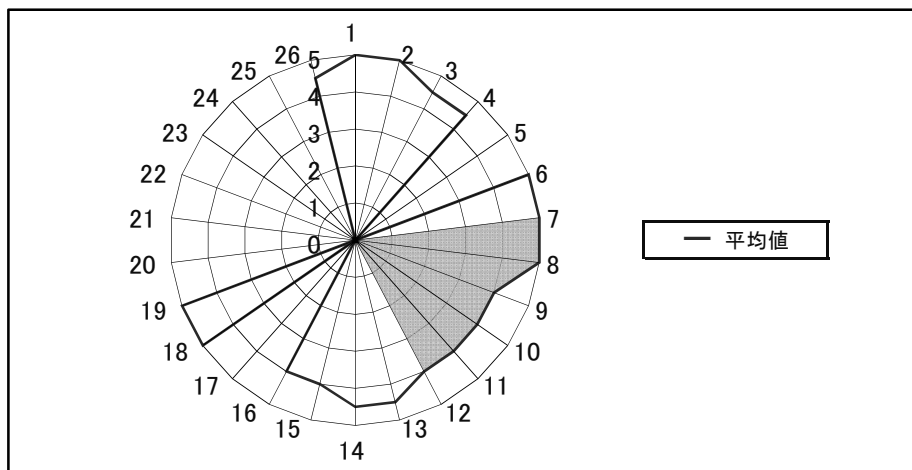


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 管弦打楽器基礎Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 山根 秀憲, 小林 荃子

回答者数 2 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	0	0	0	0	2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	0	0	0	0	1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	2	0	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	0	1	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	0	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	2	0	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	1	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	1	1	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	2	0	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	2	0	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5

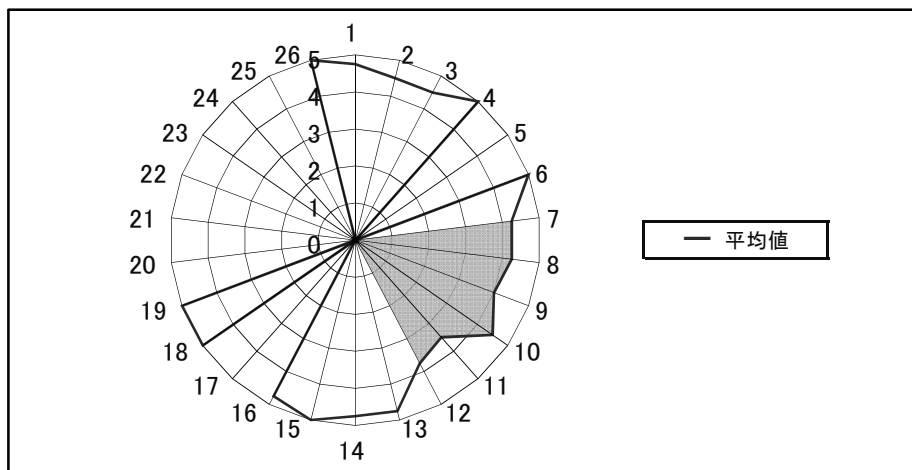


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 管弦打楽器 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 15 日
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	0	1	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	0	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	0	0	0	0	4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	1	1	0	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	2	1	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	2	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	2	0	0	3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	3	1	0	0	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	3	1	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

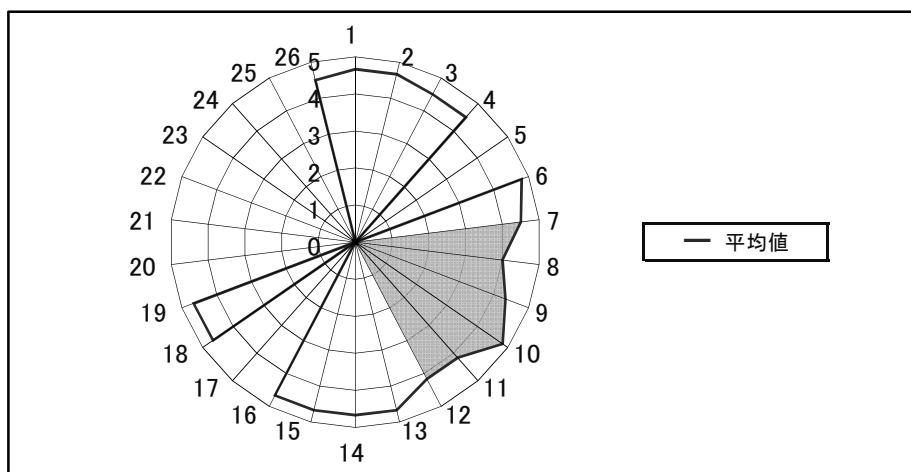


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 管弦打楽器Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.7
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

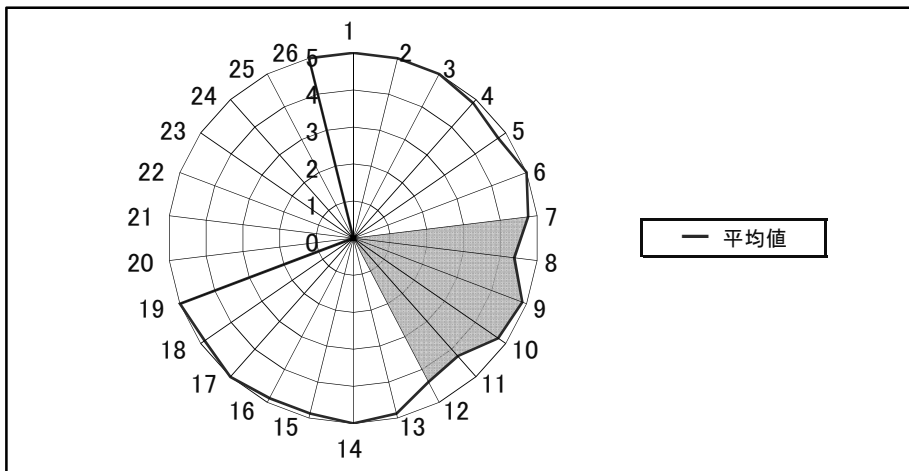


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 指揮法
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	2	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	3	1	0	0	4.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	2	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	4	1	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	1	2	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	1	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	8	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	1	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	7	1	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	0	0	0	0	5.0

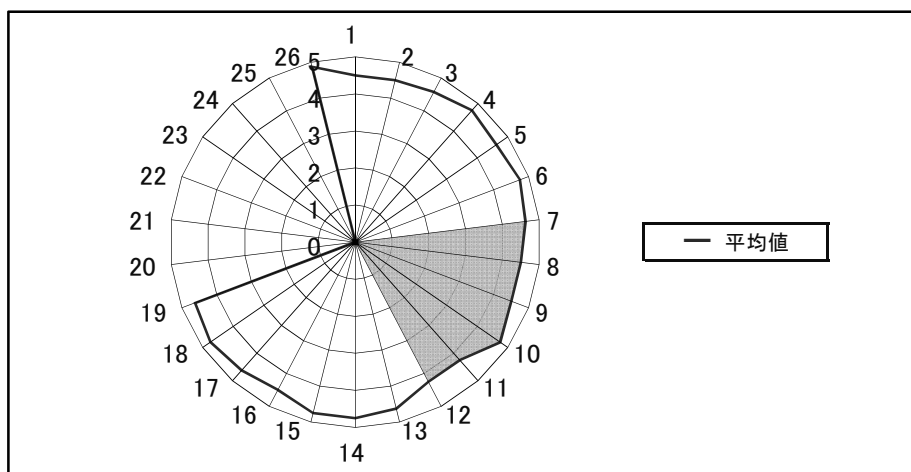


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 指揮 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	4	0	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	3	0	0	0	1	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	1	1	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	2	2	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	1	1	0	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9

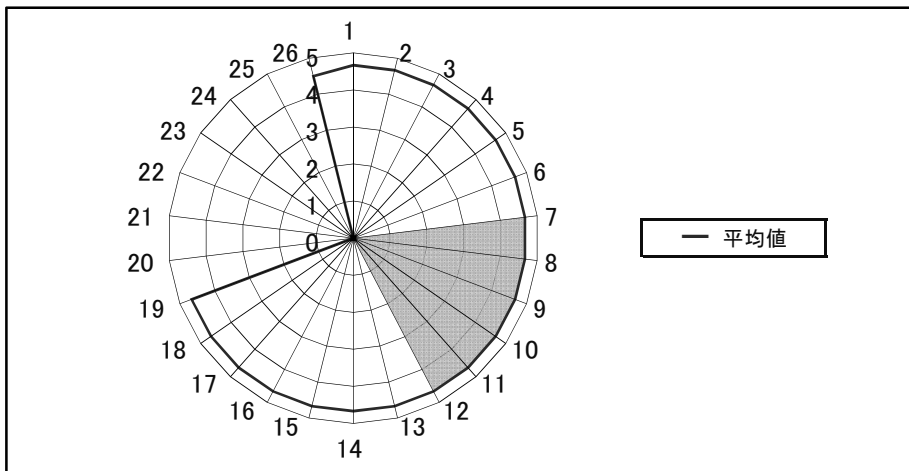


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 指揮Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 16 日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	1	0	0	0	1	4.5

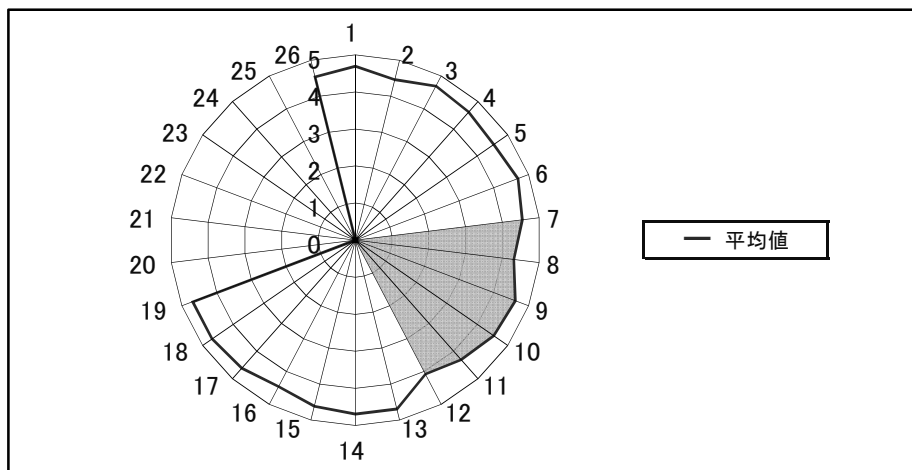


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 合唱
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 13 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.7
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5

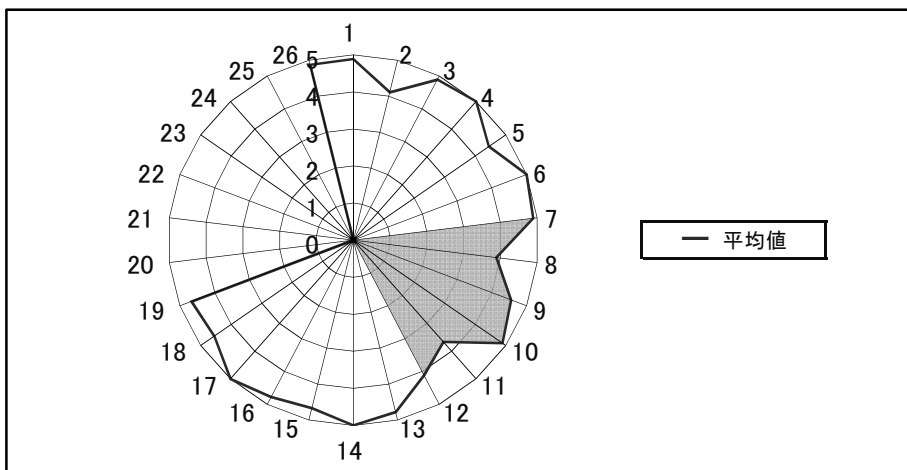


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 音楽の理論と歴史
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 松岡 貴史, 片桐 功

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.1
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.8
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.9

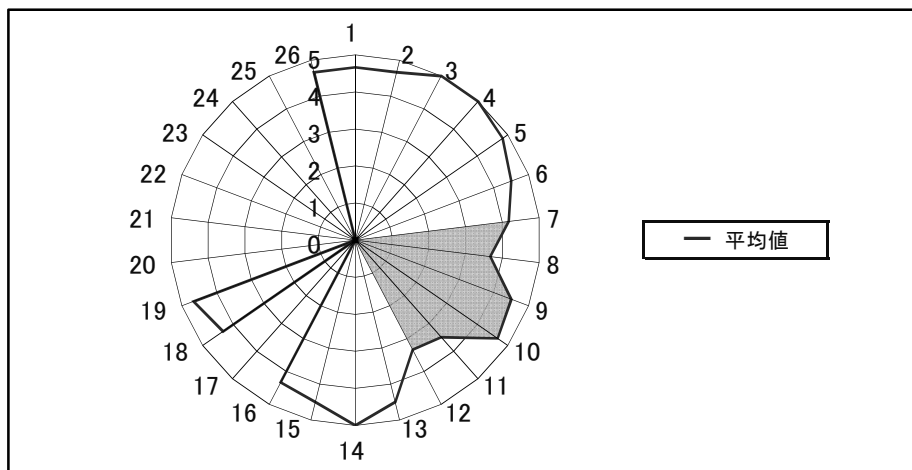


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 音楽通論Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 長島 真人

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.5
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

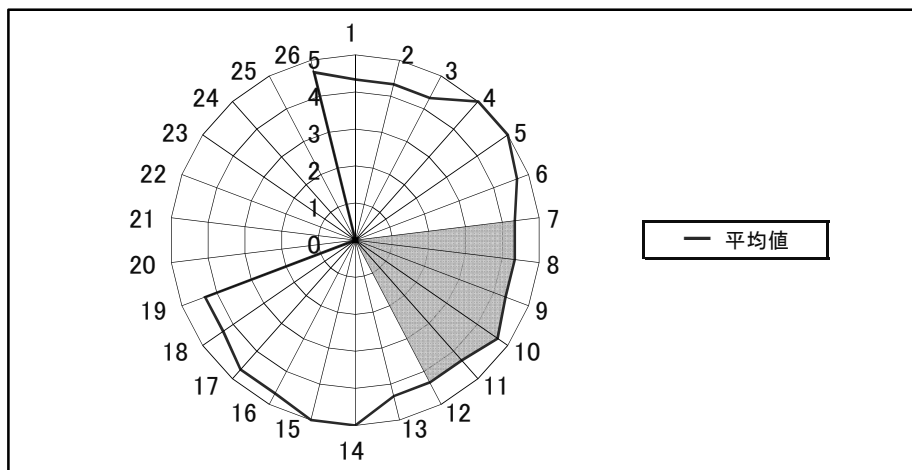


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 作曲法 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	2	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	0	1	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	2	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	2	0	0	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	0	1	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	0	1	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	0	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	2	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	2	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	3	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	2	0	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	0	1	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	1	0	0	0	4.7

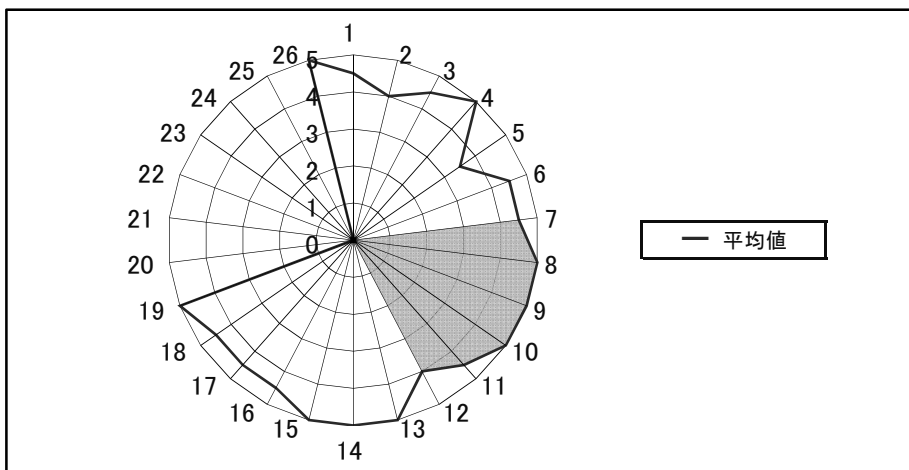


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 作曲法Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 19 日
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 2 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0

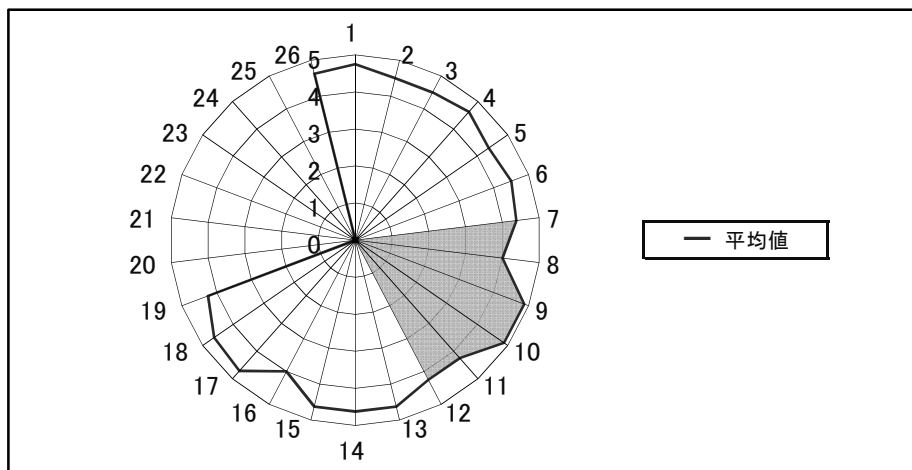


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 絵画 I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 鈴木 久人, 西田 威汎

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	0	0	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	4	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	2	3	0	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	2	2	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	1	1	0	0	0	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	4	0	1	0	1	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	2	0	0	0	1	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	3	0	0	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	3	0	0	0	0	4.6

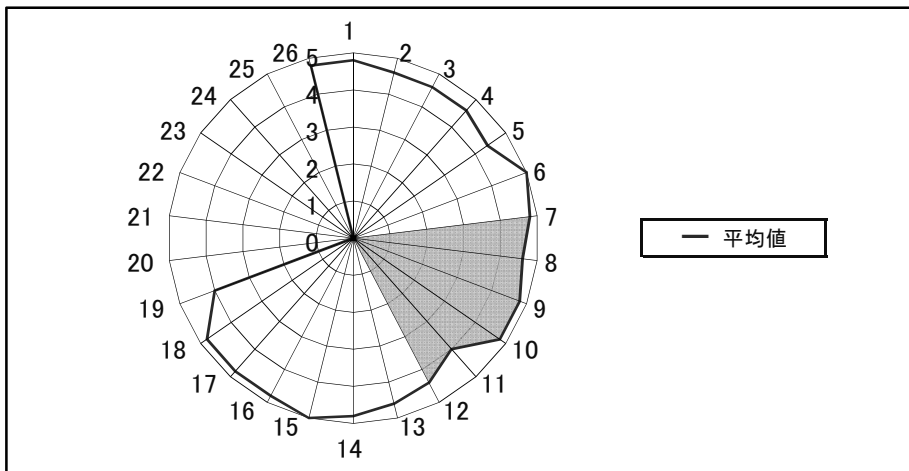


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 絵画Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 鈴木 久人, 西田 威汎

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8

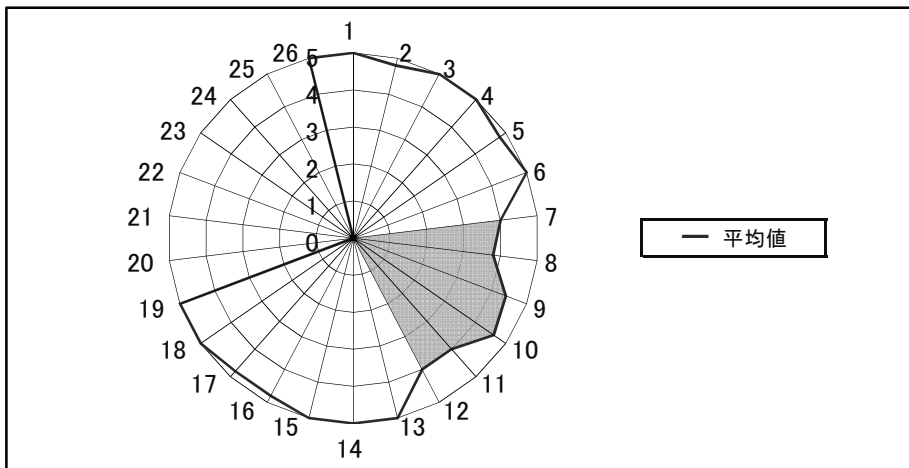


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 絵画材料研究
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	1	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	3	1	0	0	4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	2	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	3	0	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	2	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	1	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	3	1	0	0	4.0
	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	5	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

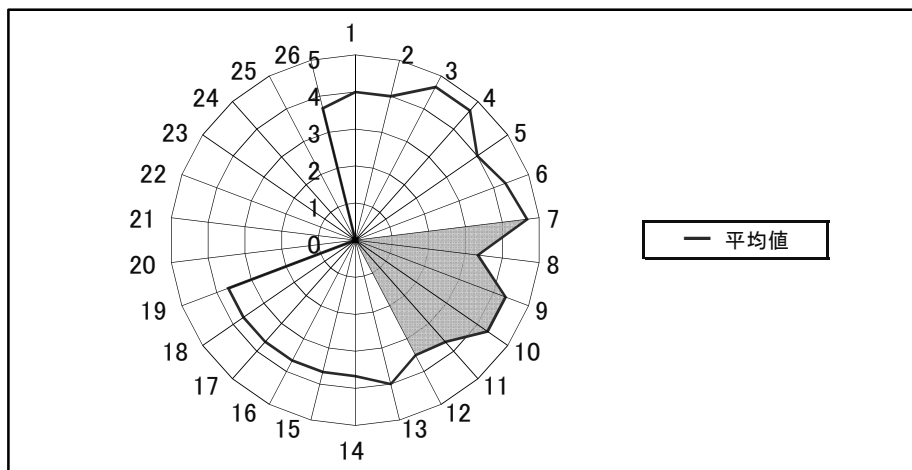


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 絵画特別演習 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 09 日
 担当教員名 西田 威汎

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	1	1	0	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	2	0	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	1	2	0	0	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	1	1	0	0	1	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	0	2	1	0	0	0	3.7

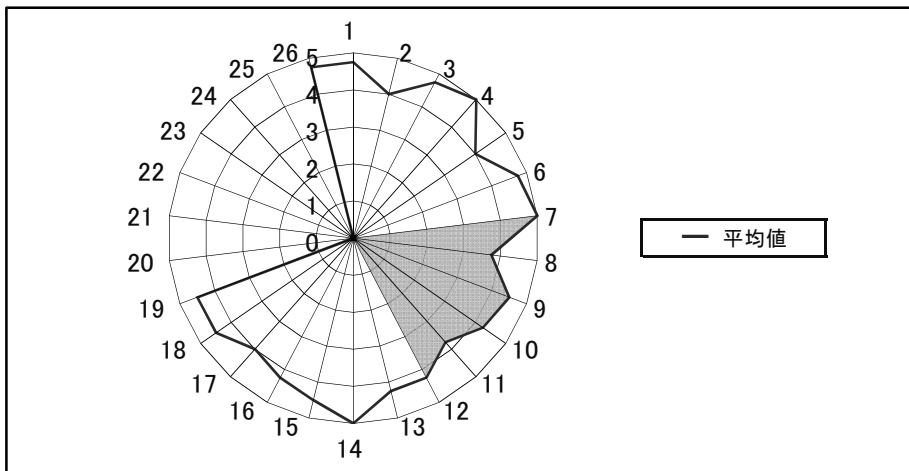


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 絵画特別演習Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 武市 勝

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	1	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	2	1	0	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	1	2	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	3	0	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	3	1	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	3	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	1	1	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	2	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	3	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	4	0	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	0	1	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	2	0	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	1	0	0	0	4.8

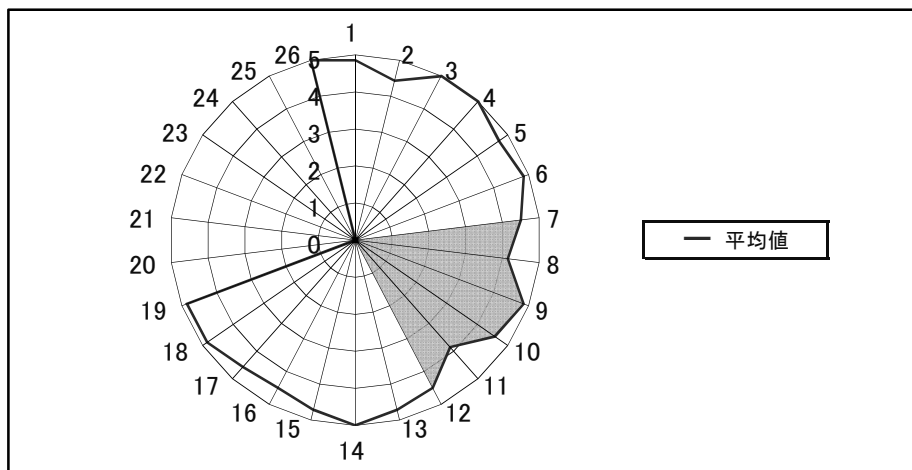


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 素描
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.7
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						5.0

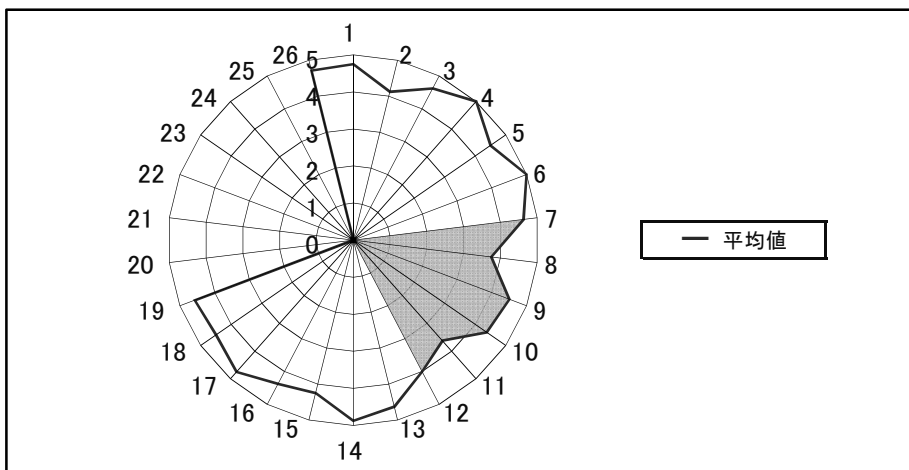


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 彫刻 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 長岡 強

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

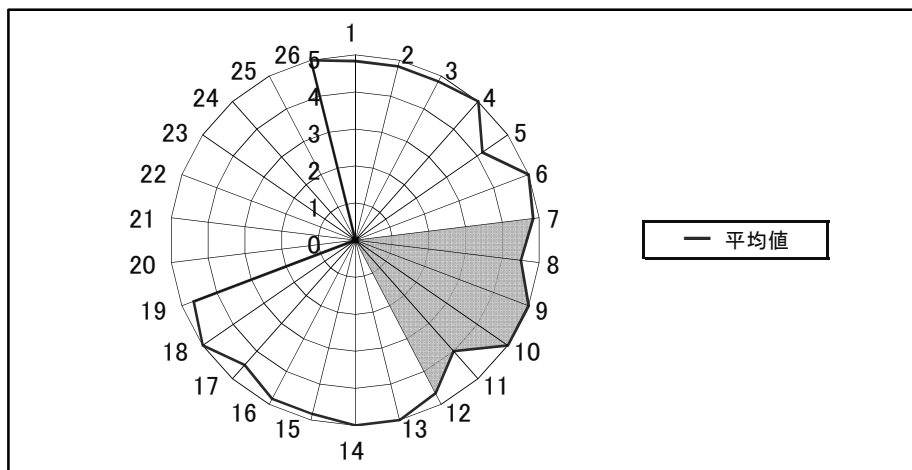


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 彫刻Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 08 月 05 日
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						5.0
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						5.0

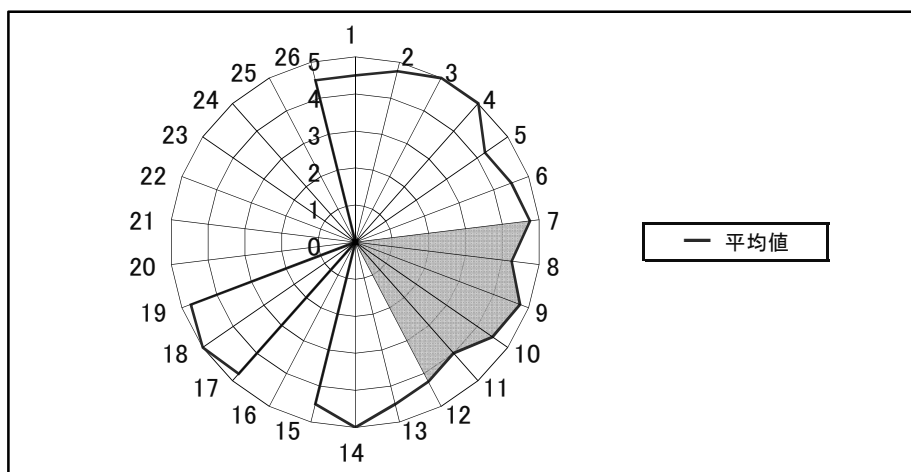


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 彫刻材料研究
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	2	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	3	0	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	1	1	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	2	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	3	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	2	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	2	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	2	0	0	0	4.5

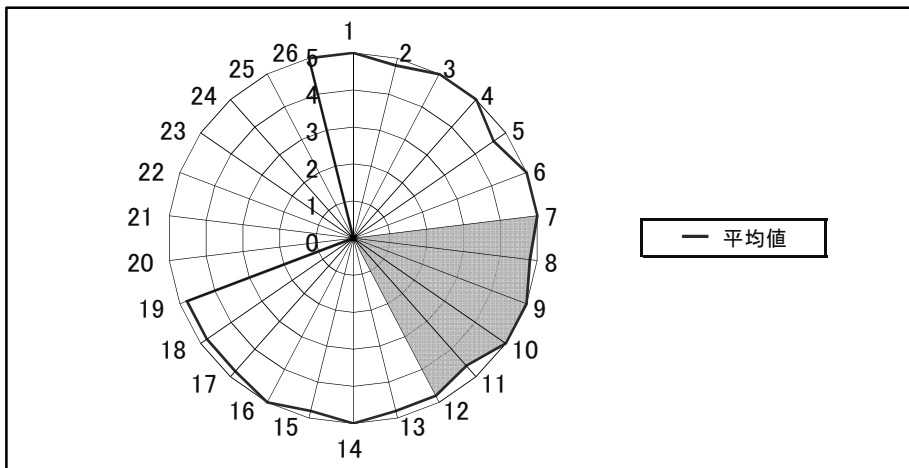


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 彫刻特別演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 長岡 強

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.8
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						5.0

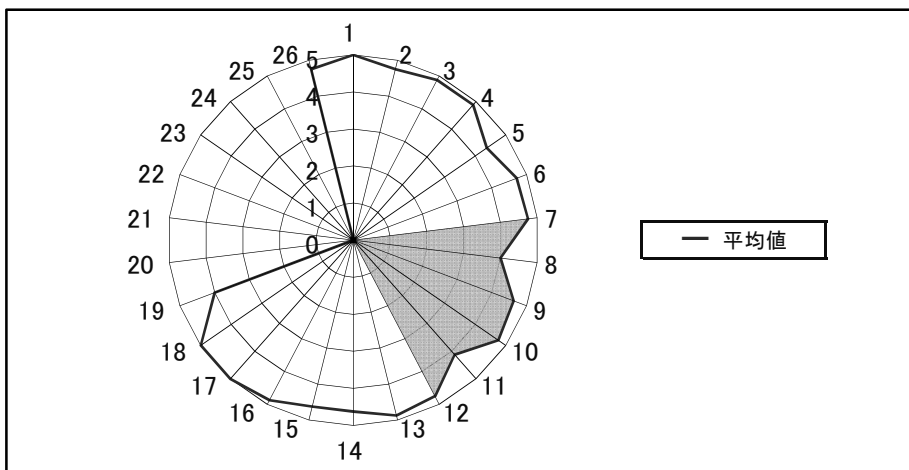


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 構成・デザイン I
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	2	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	3	1	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	0	1	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	4	2	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	2	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	5	1	0	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	2	0	0	0	4.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	1	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	6	1	1	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	1	1	0	0	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	4	2	0	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	2	0	0	0	4.8

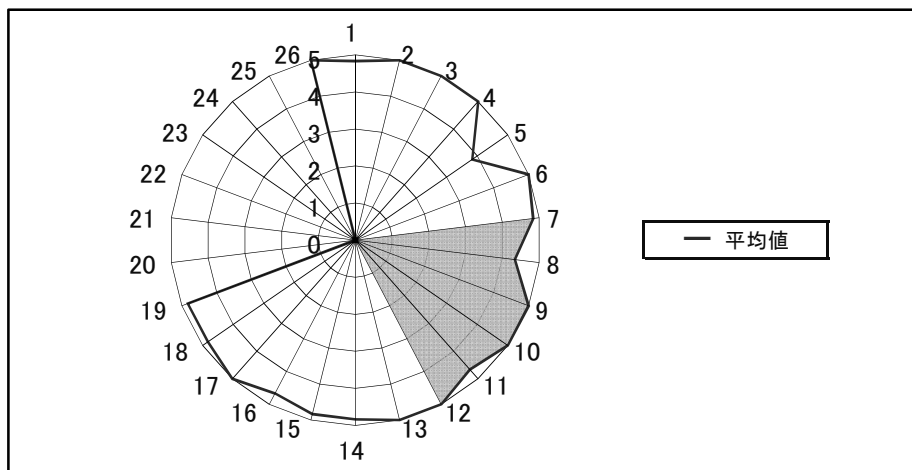


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 構成・デザインⅡ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 04 日
 担当教員名 松島 正矩

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						5.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						5.0
	(14)熱心に指導した。						4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						5.0

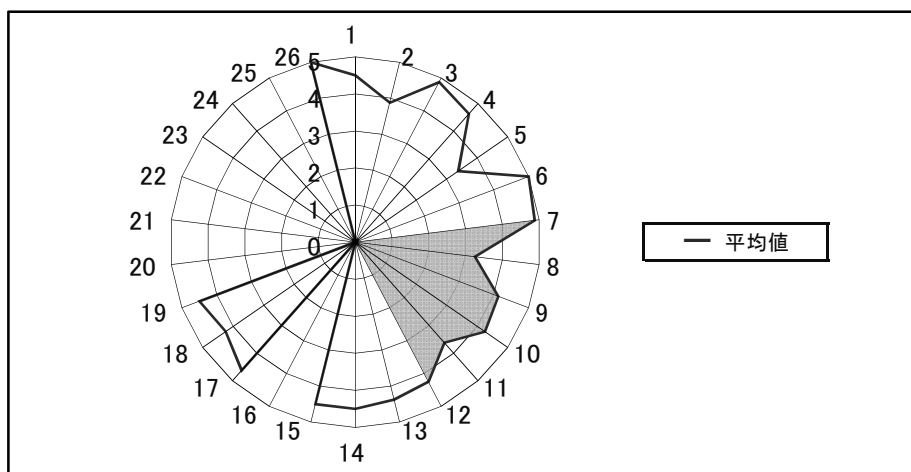


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 構成・デザイン材料研究
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 松島 正矩

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	4	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	3	3	0	0	3.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	3	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	2	4	1	0	3.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	8	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	2	1	1	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	3	2	0	0	4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	2	2	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	4	0	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	2	2	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	3	1	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	4	4	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	4	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	3	0	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	6	0	0	0	4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	4	0	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	0	0	0	0	5.0

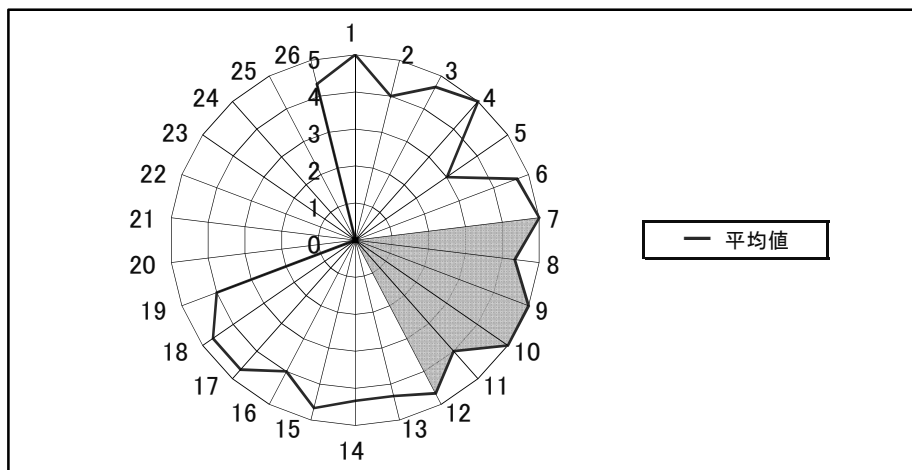


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 構成・デザイン特別演習
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	1	1	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	1	1	1	0	3.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	1	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	1	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	2	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	2	0	1	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	1	1	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	1	1	0	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	0	1	0	0	4.3

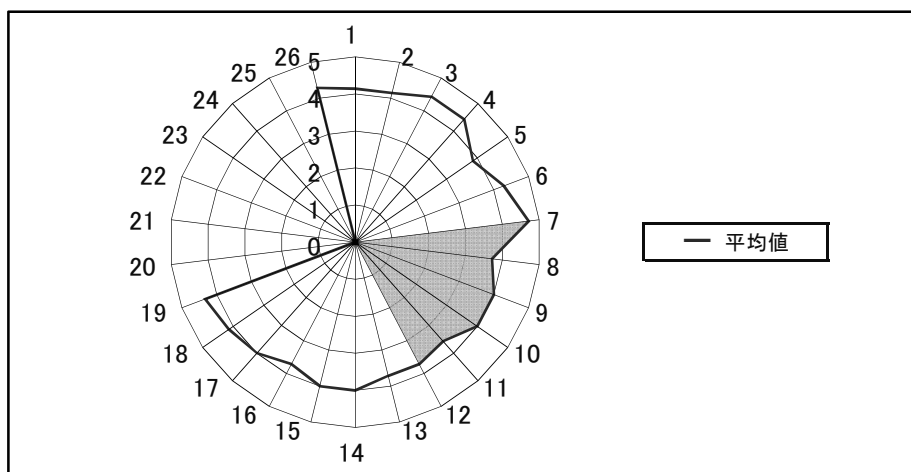


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 美術理論・美術史 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 小川 勝

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.7
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

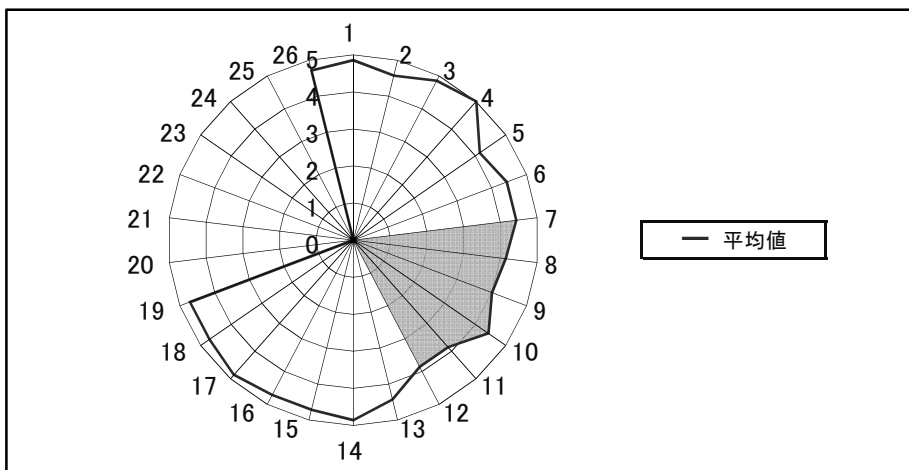


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 美術理論・美術史Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 小川 勝

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.7
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

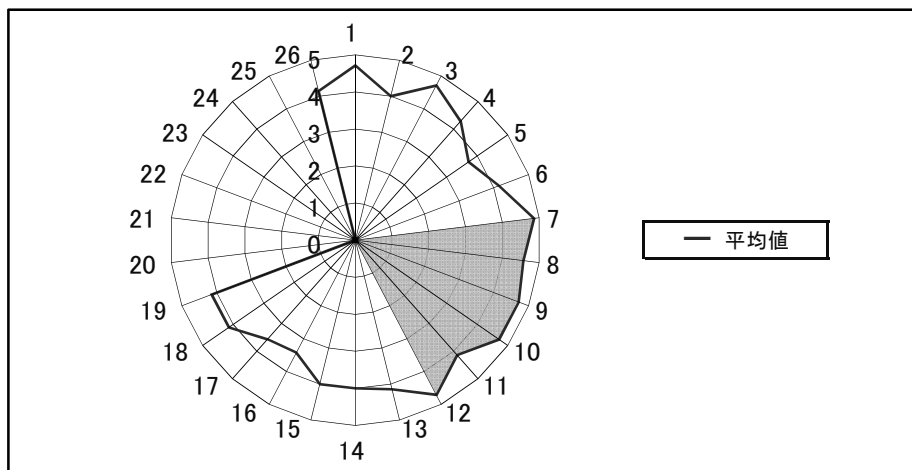


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 美術史演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 13 日
 担当教員名 小川 勝

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

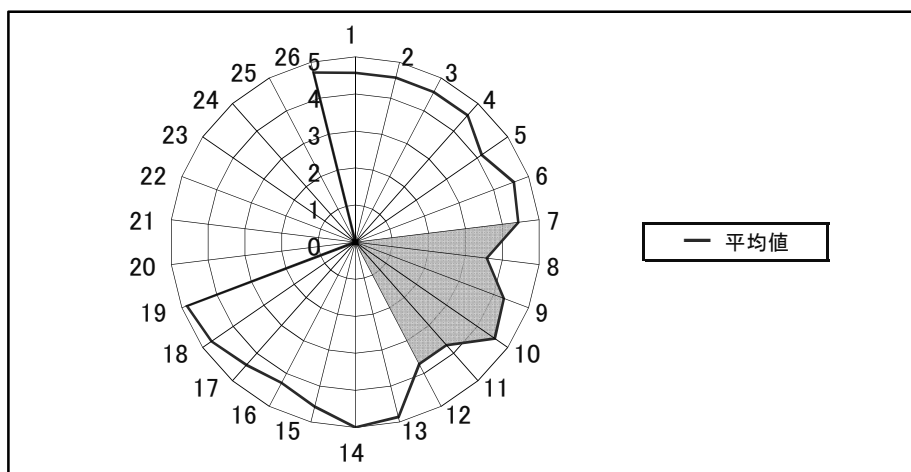


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 運動方法実習Ⅳ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 松井 敦典, 南 隆尚

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	3	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	3	0	0	0	4.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	1	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	1	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	2	2	0	0	4.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	1	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	2	1	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	1	3	1	0	3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	1	2	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	1	1	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	1	2	0	1	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	1	2	0	1	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	1	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	7	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	3	0	0	0	4.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	1	2	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	2	1	0	0	4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	2	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	1	0	0	0	4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	0	1	0	0	4.7

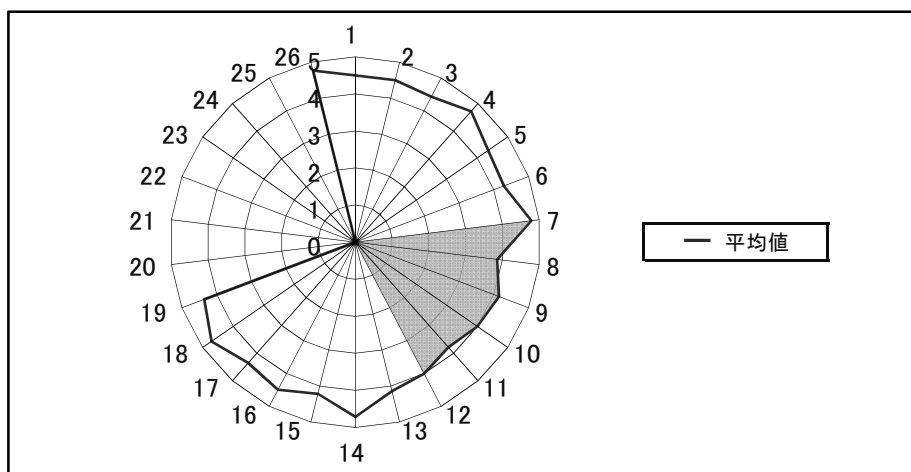


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 体育哲学Ⅰ・Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 綿引 勝美

回答者数 14 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.1
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.8	

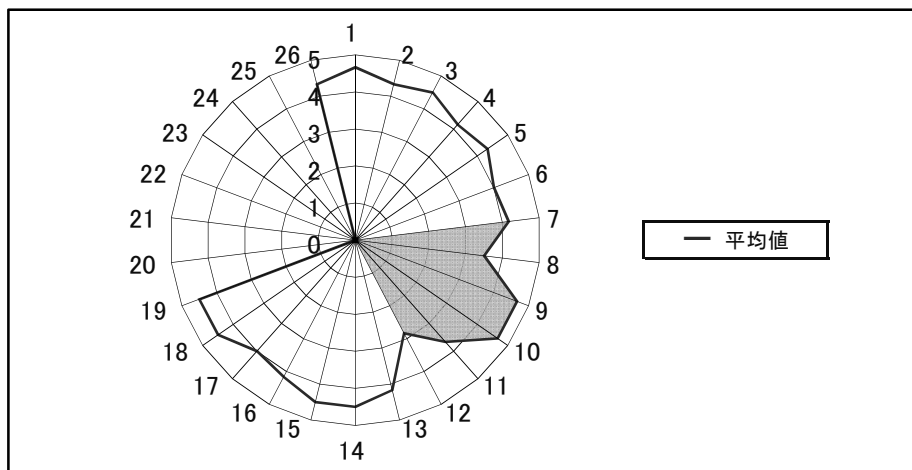


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 体育経営管理学Ⅰ・Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 藤田 雅文

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	2	1	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	3	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	2	0	1	0	4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	4	0	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	3	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	2	0	1	0	4.2
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	3	3	0	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	2	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	1	1	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	2	2	1	1	2.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	3	1	0	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	4	1	1	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	3	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	3	1	0	0	4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	4	1	0	0	4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	3	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	3	0	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	2	1	0	0	4.3

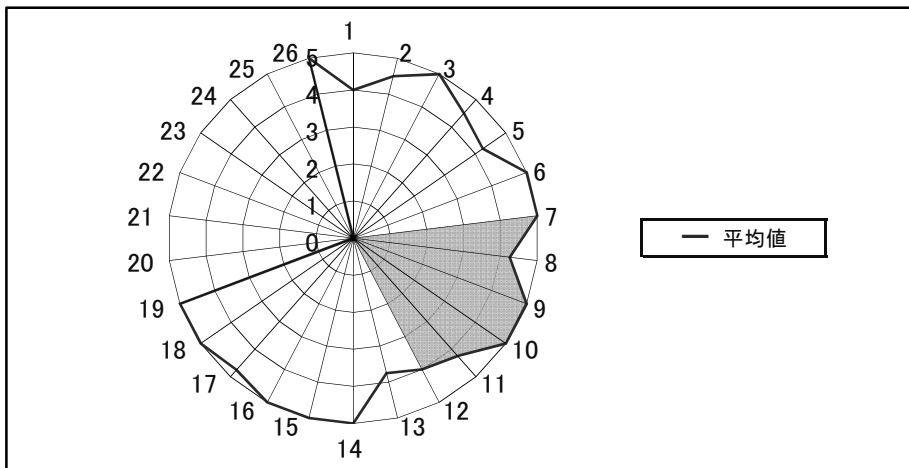


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 体育社会学Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 木原 資裕

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	2	1	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	2	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	0	1	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	1	1	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	1	1	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	1	1	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	0	2	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	1	2	0	0	3.8
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	0	0	0	1	5.0

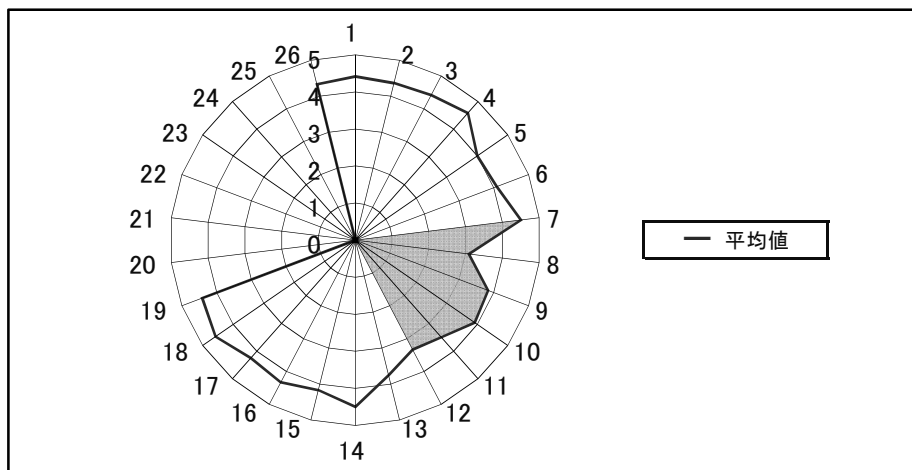


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 バイオメカニクス
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.8
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

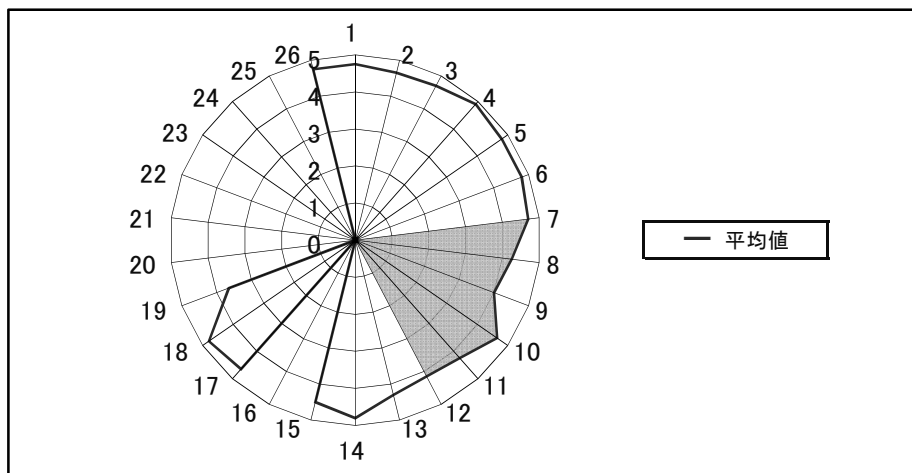


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 生理学 I・II
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 田中 弘之

回答者数 20 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	16	3	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	13	7	0	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	15	4	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	19	0	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	16	4	0	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	16	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	15	4	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	9	7	4	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	7	5	1	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	16	1	3	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	11	5	2	2	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	9	7	3	0	1	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	9	8	3	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	16	4	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	11	8	1	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	20	
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	14	5	1	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	16	4	0	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	9	5	0	2	0	3.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	15	5	0	0	0	0	4.8

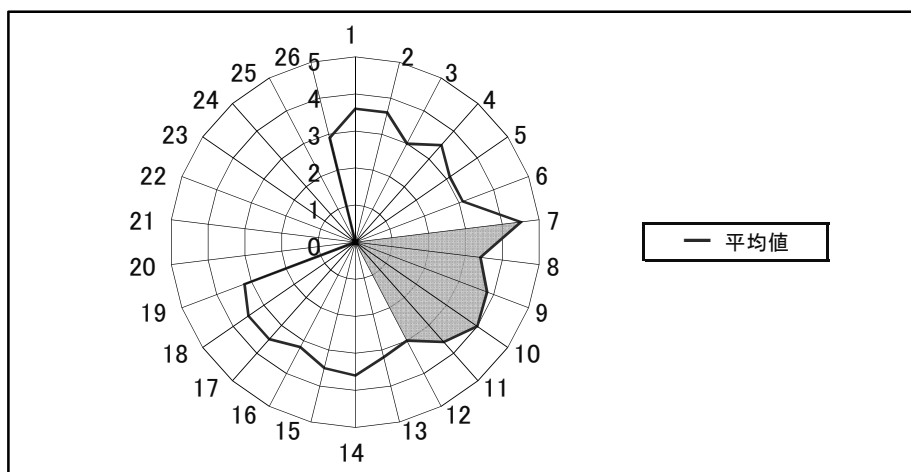


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 16 日
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.6
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.2
	(14)熱心に指導した。						3.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.2
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						2.9

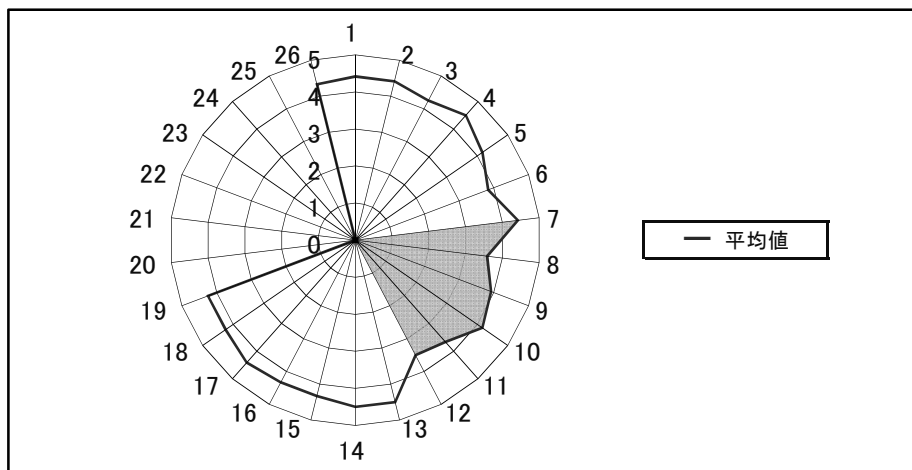


総合評価	3.3
------	-----

授業科目名 学校保健Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 吉本 佐雅子

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.6
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.5
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

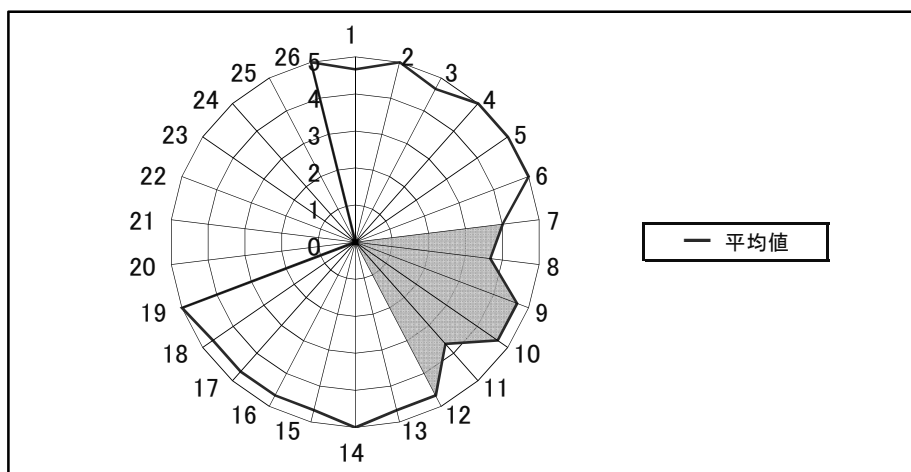


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 生物材料機械学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 尾崎 士郎

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	1	1	0	0	4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	2	1	0	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	1	0	0	3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	1	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	1	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	3	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

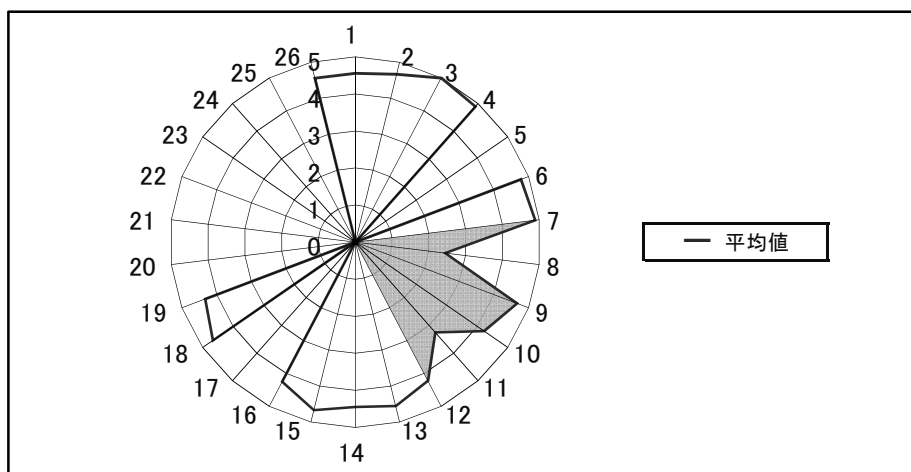


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 材料加工学Ⅱ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						2.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6

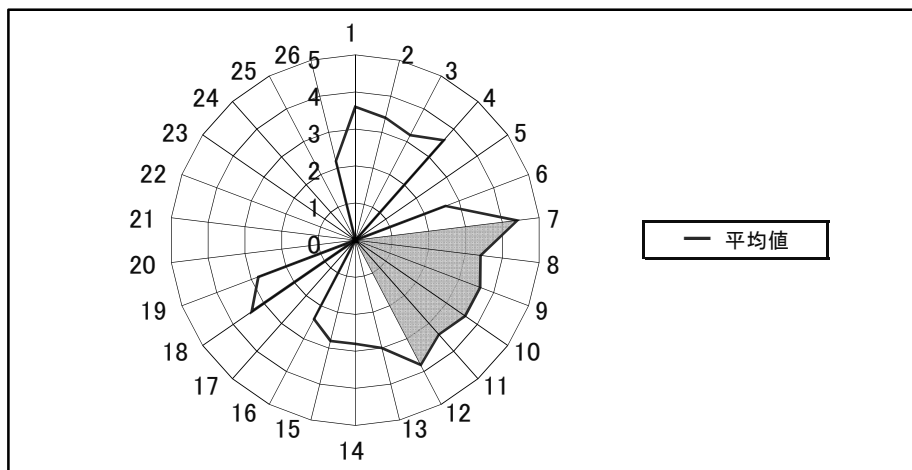


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 材料力学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	1	3	0	0	3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	1	2	1	0	3.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	0	3	1	0	3.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	1	2	1	1	0	3.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	0	0	0	0	5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	0	1	2	1	2.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	1	1	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	0	4	0	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	2	1	1	0	3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	1	3	0	0	3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	3	0	0	3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	4	1	0	0	3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	0	2	2	0	1	3.0
	(14)熱心に指導した。	0	1	2	2	0	2.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	0	2	1	1	1	2.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	3	1	1	2.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	2	1	0	1	3.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	1	3	0	1	2.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	0	0	2	2	1	2.2

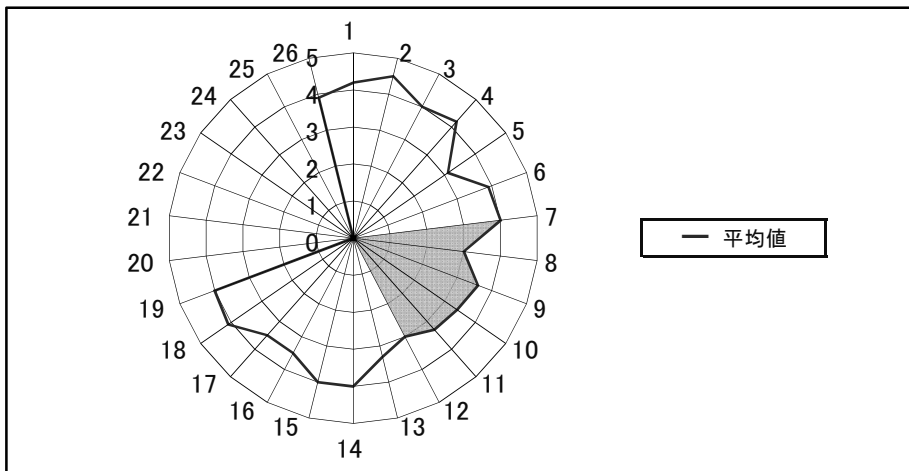


総合評価	3.0
------	-----

授業科目名 機械基礎（実習を含む。）
 評価実施日 平成 22 年 01 月 21 日
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 10 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	6	1	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	5	0	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	6	2	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	6	1	0	0	4.2
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	1	6	2	0	3.1
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	6	1	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	3	2	1	0	4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	1	5	3	0	3.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	6	4	0	0	3.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	6	2	2	0	3.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	5	3	2	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	3	5	1	1	3.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	0	4	5	1	0	3.3
	(14)熱心に指導した。	3	4	3	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	3	2	1	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	4	4	1	0	3.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	5	5	0	0	3.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	1	4	0	0	4.1
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	1	3	1	0	4.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	7	2	0	0	3.9

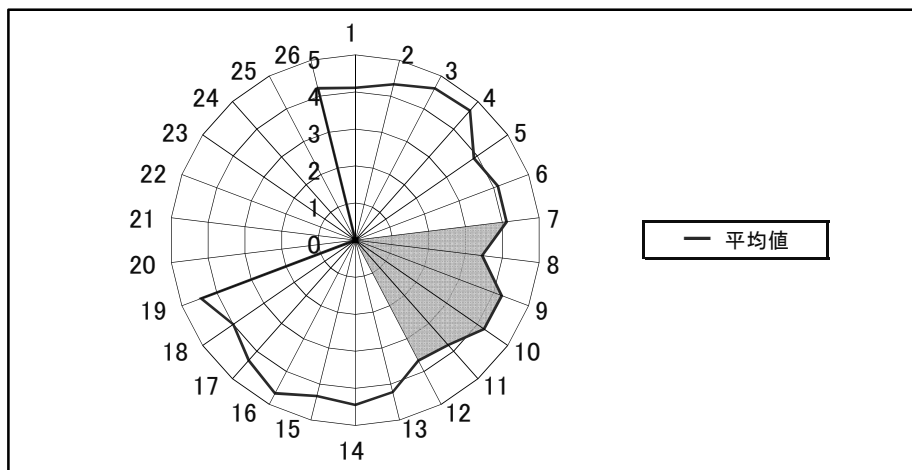


総合評価	3.9
------	-----

授業科目名 電気基礎 (実習を含む。)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	6	1	0	0	0	4.1
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	4	1	0	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	3	0	0	0	1	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	3	2	1	0	0	3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	3	1	1	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	6	1	0	0	0	4.1
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	1	5	1	0	0	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	3	2	0	0	0	4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	5	1	0	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	2	4	2	1	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	3	3	1	0	0	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	3	2	0	0	0	4.2
	(14)熱心に指導した。	4	5	0	0	0	0	4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	4	1	0	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	2	2	0	0	0	4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	2	2	1	0	0	4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	3	1	0	0	0	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	5	1	0	0	0	4.2

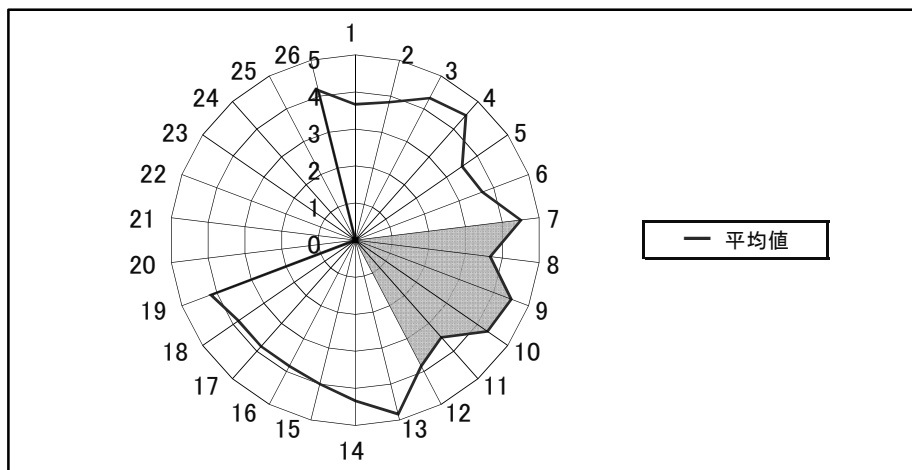


総合評価	4.3
------	-----

授業科目名 電気工学
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.8
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.2

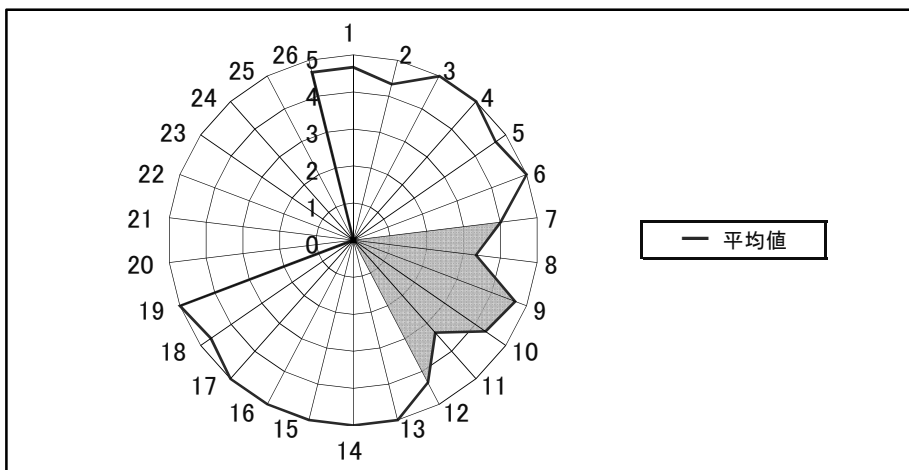


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 電子工学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	0	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	1	1	0	0	4.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	1	2	0	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	2	0	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	2	0	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	2	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	3	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	1	0	0	0	4.7

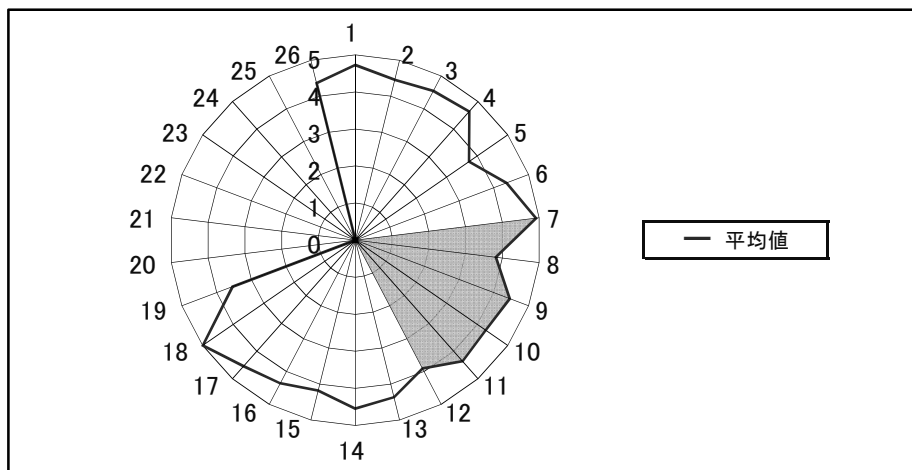


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 情報技術基礎（実習を含む。）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 伊藤 陽介, 菊地 章

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	3	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	7	2	2	0	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	5	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	2	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	4	5	0	0	3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	3	2	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	10	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	3	3	0	1	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	2	2	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	6	1	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	5	1	0	0	4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	4	1	2	0	3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	3	2	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	7	3	1	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	3	3	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	4	0	1	0	4.4
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	2	0	1	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	11	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	2	2	2	1	3.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	5	1	0	0	4.4

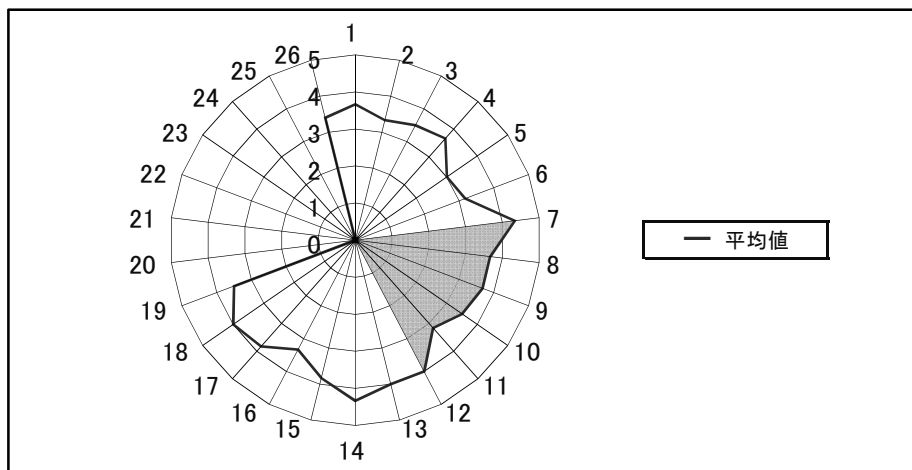


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 情報処理
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(14)熱心に指導した。						4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.4

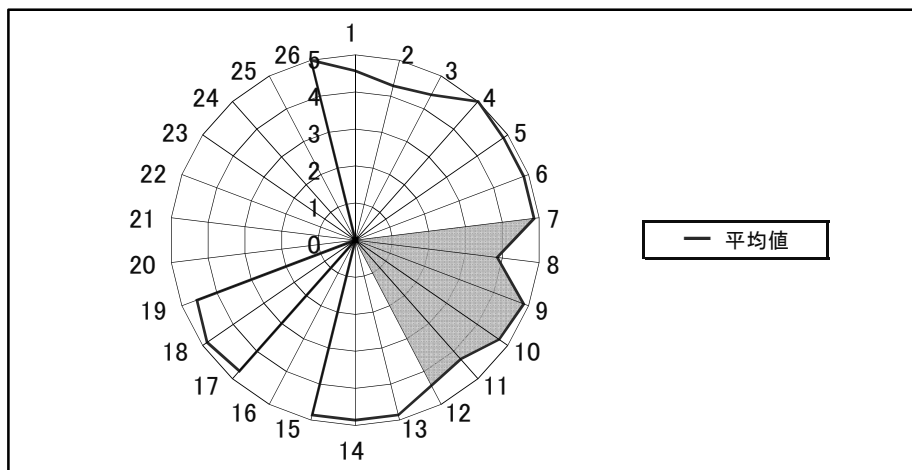


総合評価	3.6
------	-----

授業科目名 情報社会と情報倫理
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 藤村 裕一

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	1	2	0	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	4	0	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	1	2	0	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	4	0	0	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	0	0	0	0	0	7	
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	0	0	0	0	1	5.0

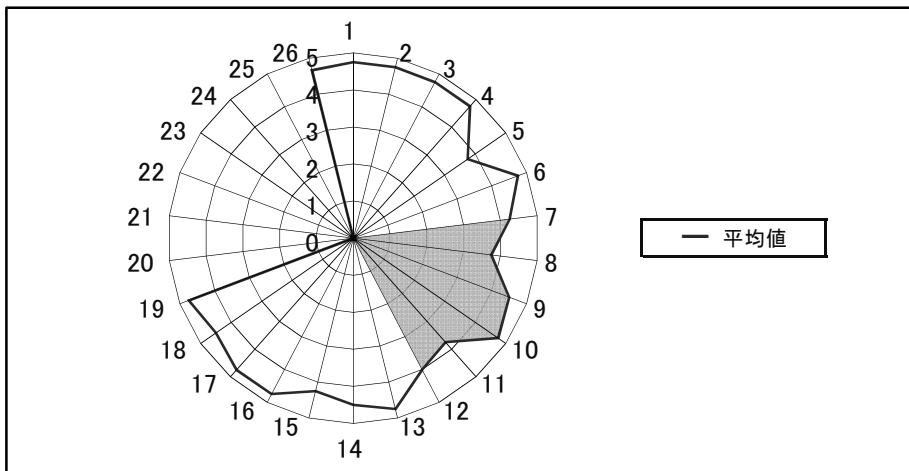


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 情報エレクトロニクスとコンピュータ
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 宮本 賢治, 伊藤 陽介

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	0	1	1	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	1	1	0	0	4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	1	2	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	1	2	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	0	2	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	2	2	0	0	0	4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	1	1	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	1	0	0	1	4.7

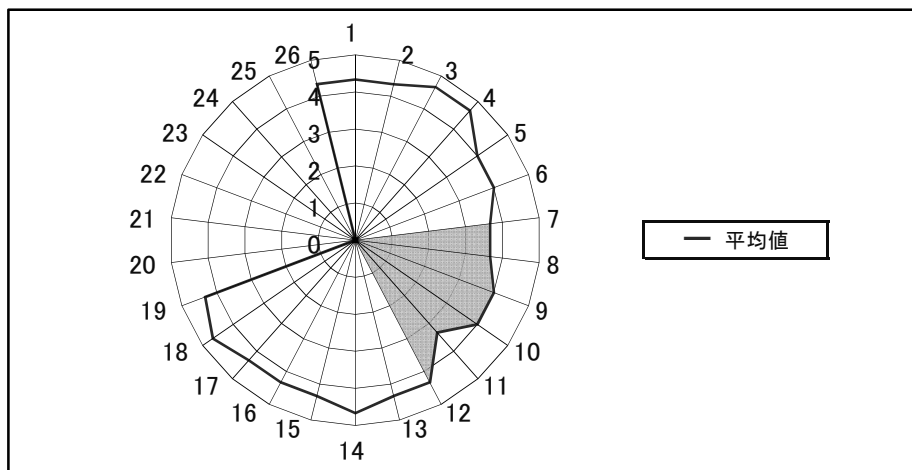


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 制御情報処理(実習を含む。)
 評価実施日 平成 22 年 02 月 23 日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	0	0	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	1	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	0	2	0	0	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	2	0	0	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	2	0	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	0	1	0	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	0	1	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	2	0	0	0	0	4.3

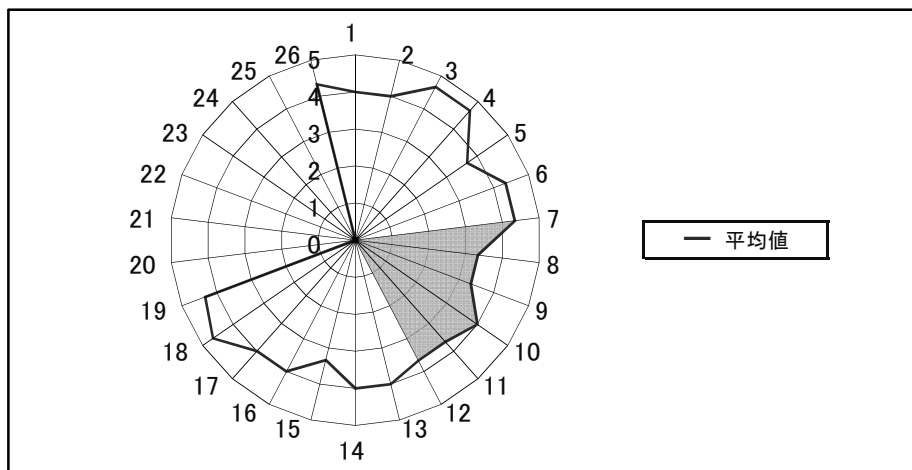


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 情報回路 (実習を含む。)
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.3
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.0
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

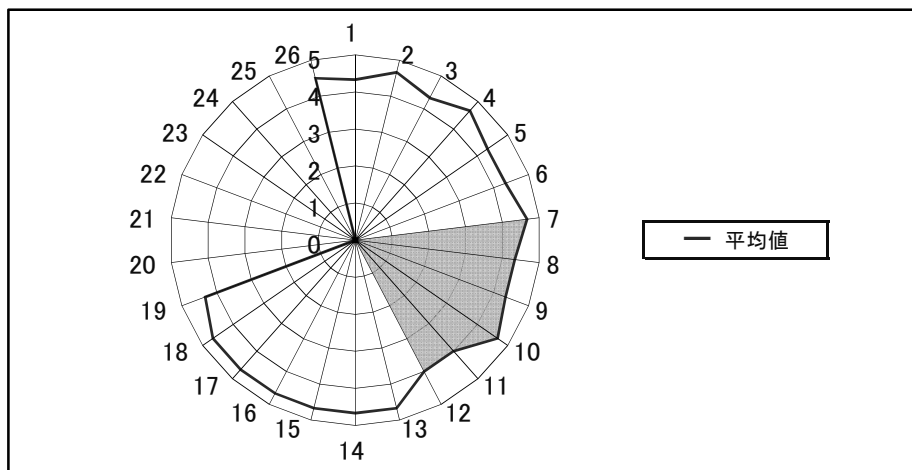


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 情報システム（実習を含む。）
 評価実施日 平成 22 年 02 月 17 日
 担当教員名 伊藤 陽介, 宮本 賢治

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	2	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	2	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	2	0	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	1	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	3	0	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	3	0	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	1	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	2	1	0	0	0	4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	2	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5

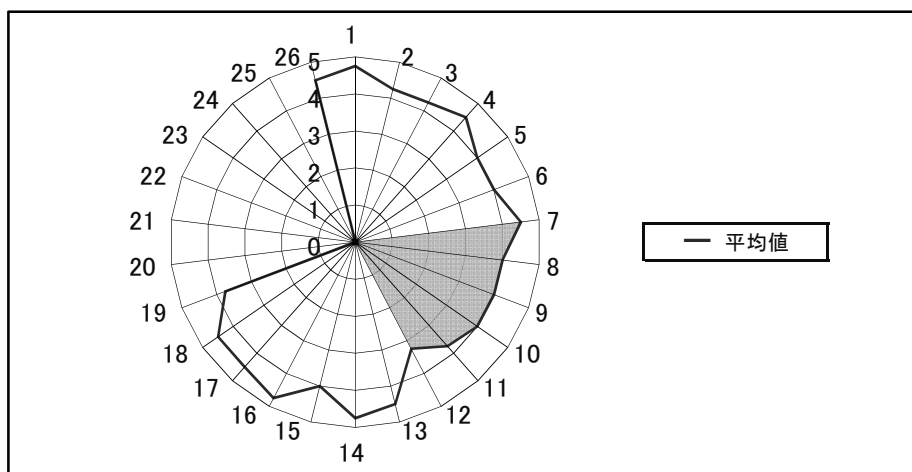


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 情報技術（実習を含む。）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	3	0	0	0	0	4.3
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	2	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	1	3	0	0	0	3.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5

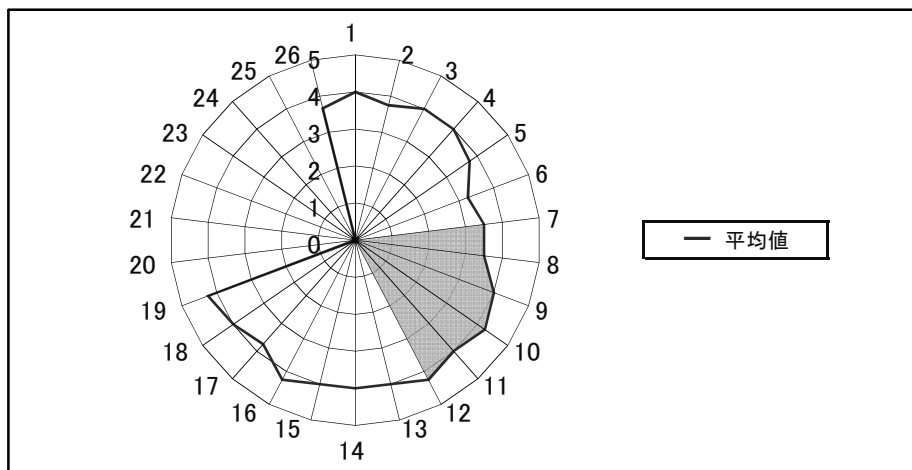


総合評価	4.4
------	-----

授業科目名 マルチメディアと教育技術（実習を含む。）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 28 日
 担当教員名 林 秀彦

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	2	0	1	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	1	0	0	1	0	3.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	1	1	0	1	0	3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	0	3	0	1	0	0	3.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	0	3	0	0	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	1	1	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	0	1	1	0	0	3.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	0	0	0	1	1	3.7

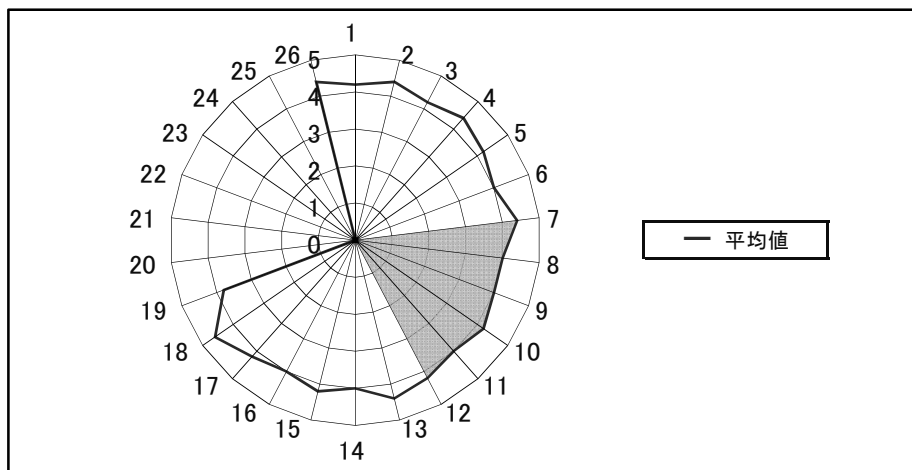


総合評価	3.9
------	-----

授業科目名 マルチメディアとシミュレーション
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	2	1	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	1	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	2	1	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	1	1	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	2	1	0	0	4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	2	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	1	1	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	1	0	0	4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	3	1	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	2	1	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	3	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	4	0	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	1	1	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	1	3	1	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	2	1	0	0	4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	3	1	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	2	1	0	0	4.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	2	2	0	0	3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	1	1	0	0	4.4

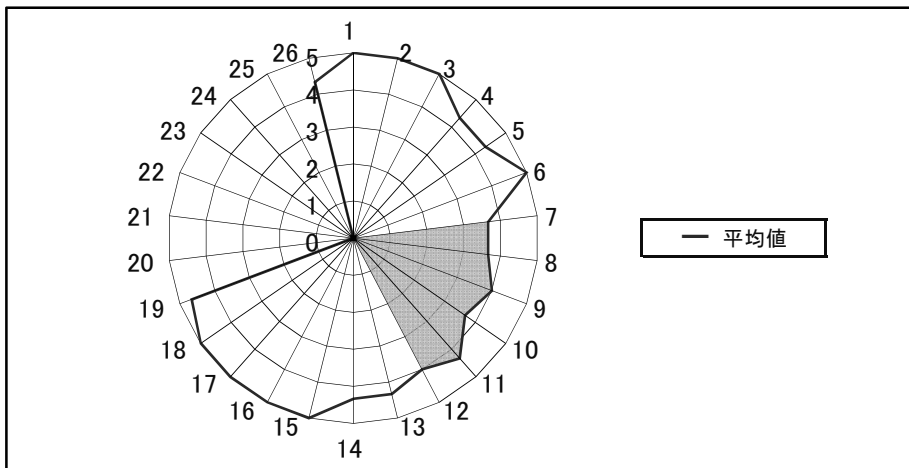


総合評価	4.2
------	-----

授業科目名 ソフトウェア演習（実習を含む。）
 評価実施日 平成 22 年 01 月 22 日
 担当教員名 伊藤 陽介, 菊地 章

回答者数 3 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	0	1	0	0	4.3
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	0	1	0	0	4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	1	0	2	0	0	3.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	2	1	0	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	1	1	1	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	0	2	0	0	3.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	0	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	1	1	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	0	1	0	0	4.3
	(14)熱心に指導した。	2	0	1	0	0	4.3
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	0	1	0	0	4.3

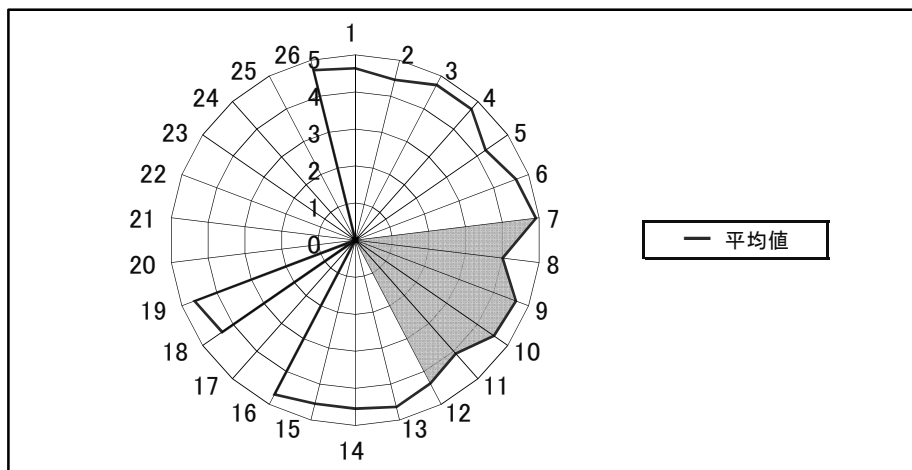


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 家庭経営学概論
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 黒川 衣代, 渡邊 廣二

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						11
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.4
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

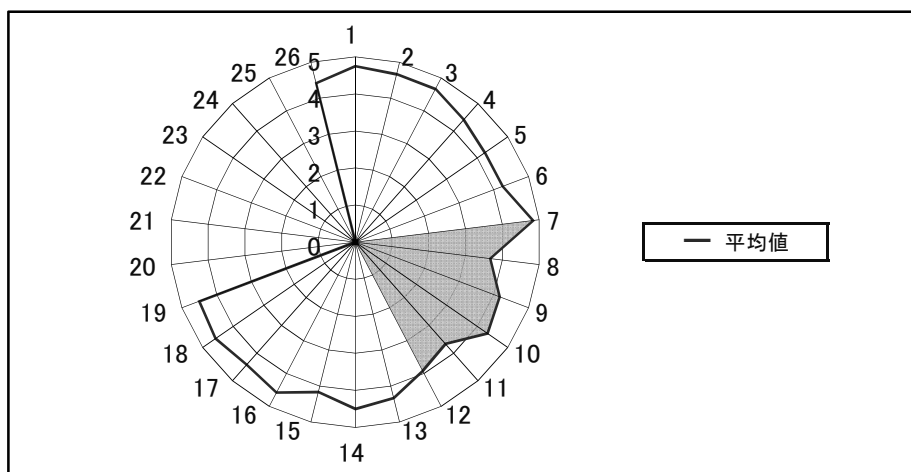


総合評価	4.6
------	-----

授業科目名 家族論
 評価実施日 平成 21 年 08 月 03 日
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 12 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.3
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.3
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.4
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.4	

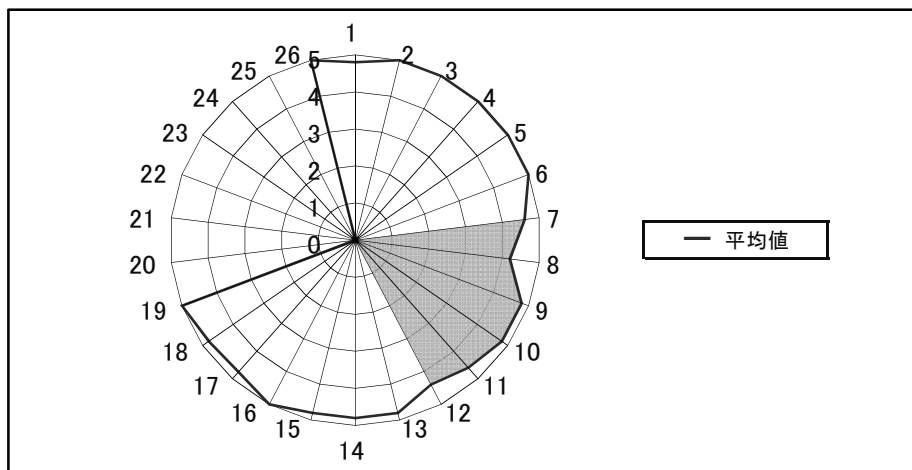


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 消費者経済学
 評価実施日 平成 21 年 08 月 06 日
 担当教員名 渡邊 廣二

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	5	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	3	2	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	2	1	0	0	4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	2	0	0	0	4.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	3	0	0	0	4.4
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	4	1	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	1	0	0	1	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

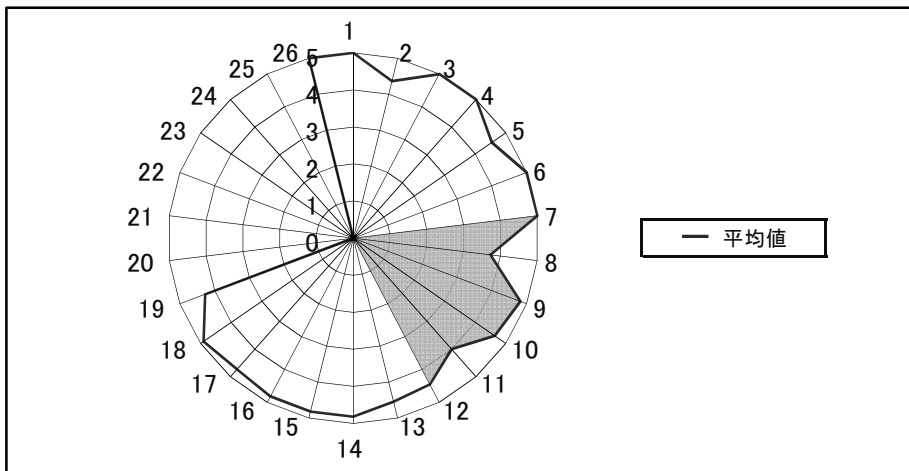


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 被服学概論（被服製作実習を含む。）
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	5	1	0	0	4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	11	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	5	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	11	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	5	3	1	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	4	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	5	3	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	4	1	0	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	3	1	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	9	2	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	9	2	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	9	2	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	3	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	10	1	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	4	2	0	0	4.3
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	11	0	0	0	0	5.0

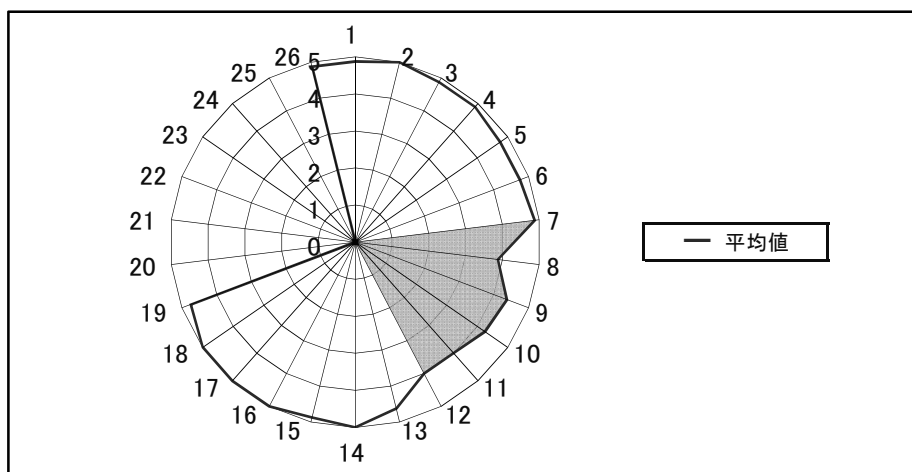


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 衣生活学
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	1	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	2	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	1	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	0	3	1	0	3.9
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	4	3	1	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	4	1	0	0	4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	1	2	1	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	0	2	0	1	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	3	0	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	8	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	1	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	8	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	2	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	1	0	0	0	4.9

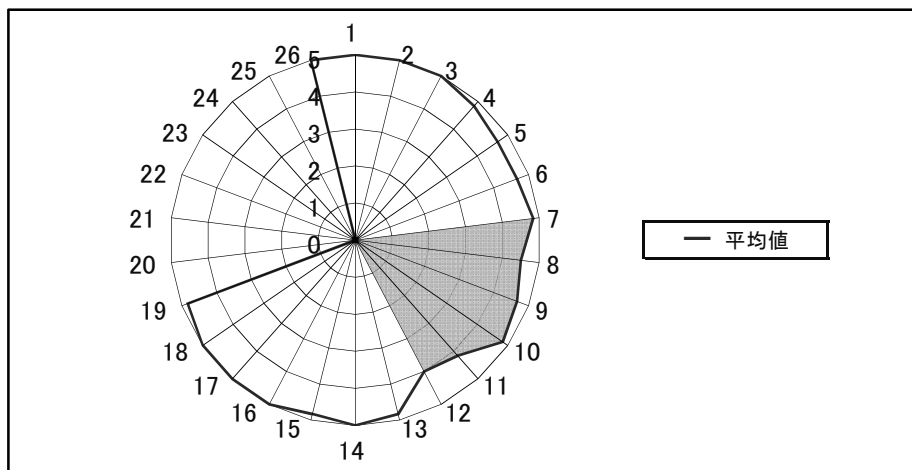


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 被服学実験
 評価実施日 平成 21 年 12 月 03 日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	5	1	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	4	1	1	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	0	1	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	5	0	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	4	1	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	1	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	6	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	1	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	0	0	0	2	5.0

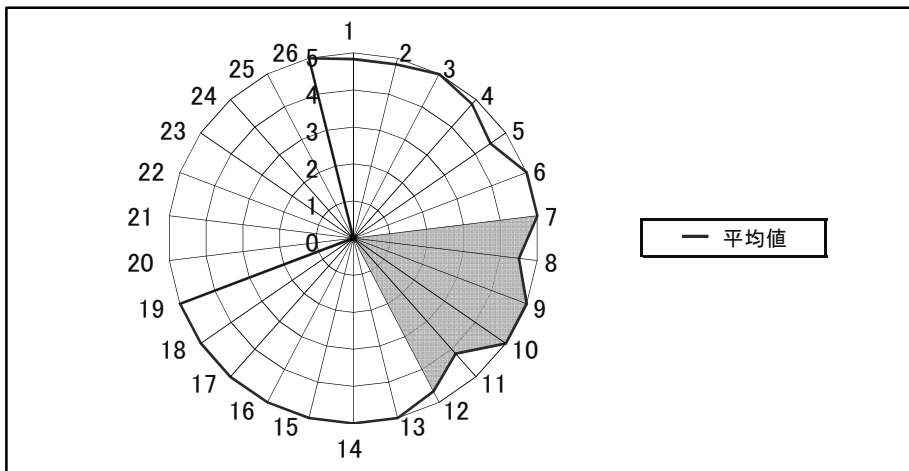


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 被服構成実習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 16 日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	2	0	1	0	0	4.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0

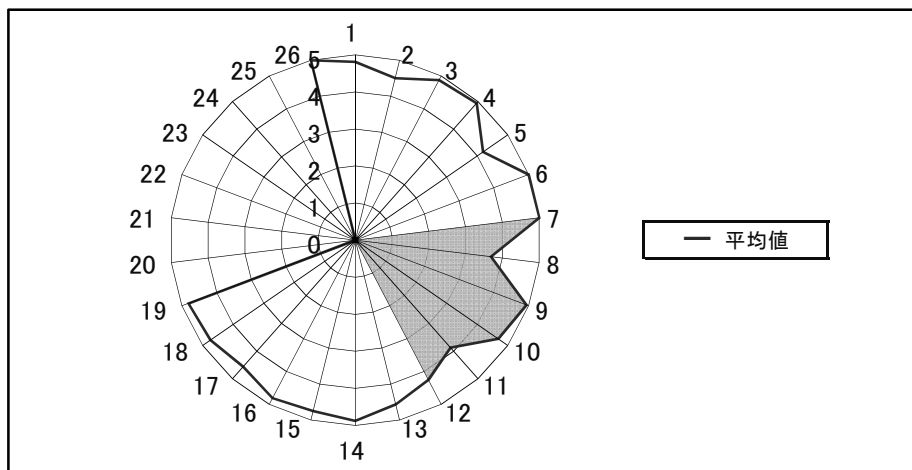


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 食物学概論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 30 日
 担当教員名 西川 和孝, 前田 英雄

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	13	3	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	10	5	0	1	0	4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	14	2	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	15	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	6	2	1	0	4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	16	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	16	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	9	3	2	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	15	1	0	0	0	4.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	11	5	0	0	0	4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	8	2	2	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	7	7	1	1	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	5	1	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	14	2	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	12	4	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	13	3	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	10	5	1	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	12	4	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	13	3	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	16	0	0	0	0	5.0

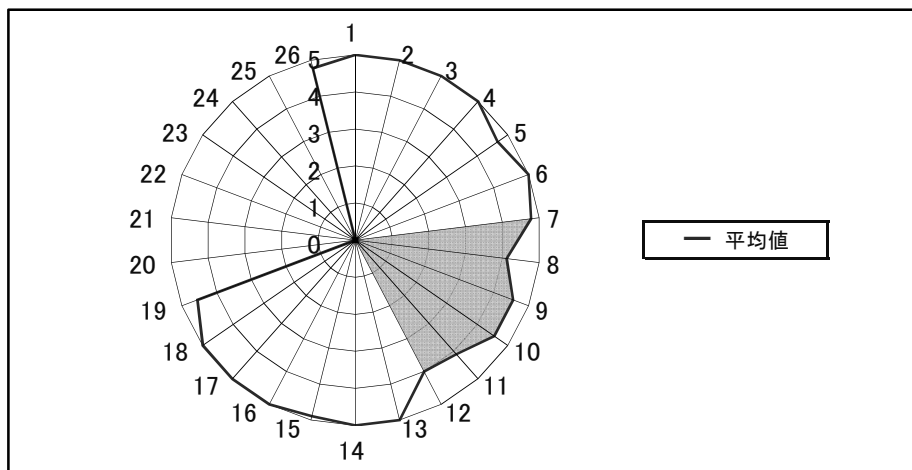


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 栄養学（小児栄養学を含む。）
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	5	0	1	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	2	3	0	0	0	4.1
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	3	1	0	1	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8

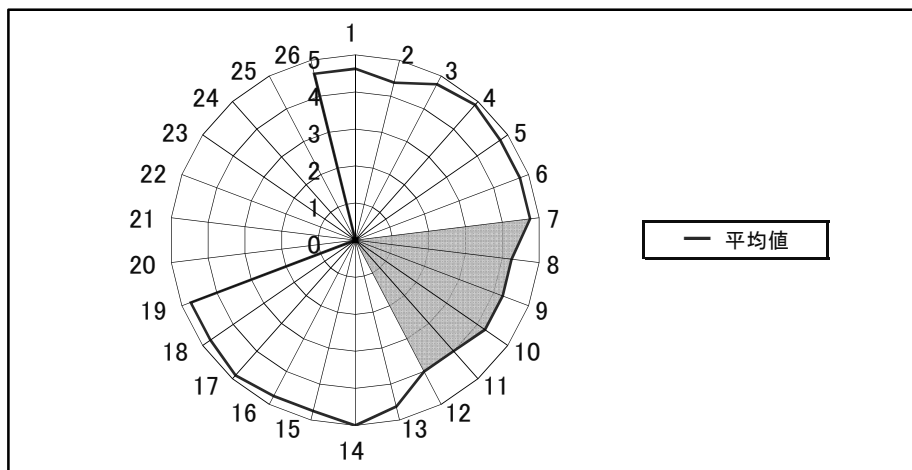


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 食品学
 評価実施日 平成 21 年 08 月 03 日
 担当教員名 前田 英雄

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.4
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.3
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.6

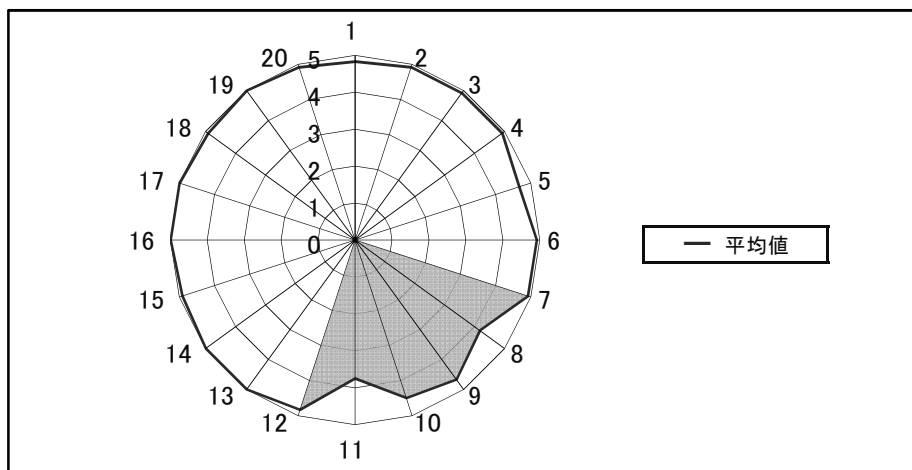


総合評価 4.7

授業科目名 調理実習
 評価実施日 平成 21 年 06 月 01 日
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 12 名

質問項目		評価選択人数						平均値 (科目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	11	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	0	2	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	11	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習をした。	7	2	1	2	0	0	4.2
	(9)積極的に実験、実習、実技等に取り組んだ。	10	0	2	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	2	2	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	5	1	0	2	0	3.8
4 教員の授業の進め方について	(12)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(13)熱心に指導した。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(14)授業内容を分かりやすく説明した。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(15)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(16)設備、器材、用具等の利用は、適切だった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(17)教員の声は、聞き取りやすかった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(18)与えられた課題のレベルや分量は、適切だった。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(19)安全に対する指導と配慮は、適切だった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(20)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	11	1	0	0	0	0	4.9

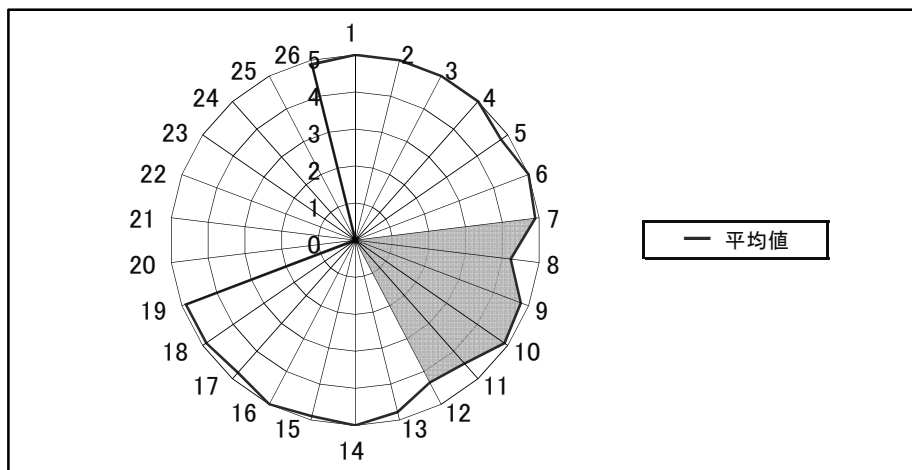


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 食物学実験
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 西川 和孝, 前田 英雄

回答者数 9 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	5	1	0	0	0	4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	4	5	0	0	0	0	4.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	4	4	1	0	0	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(14)熱心に指導した。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	8	1	0	0	0	0	4.9

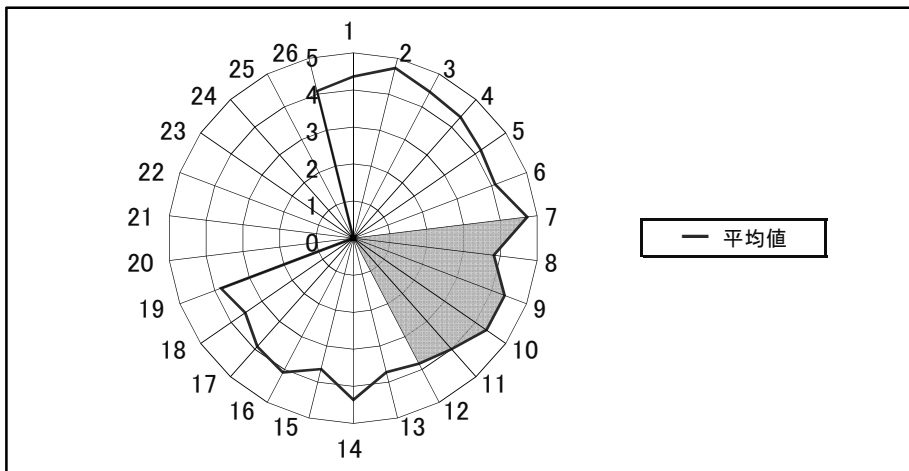


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 住居学概論（製図を含む。）
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 金 貞均

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.2
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.7
	(14)熱心に指導した。						4.4
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.6
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.1

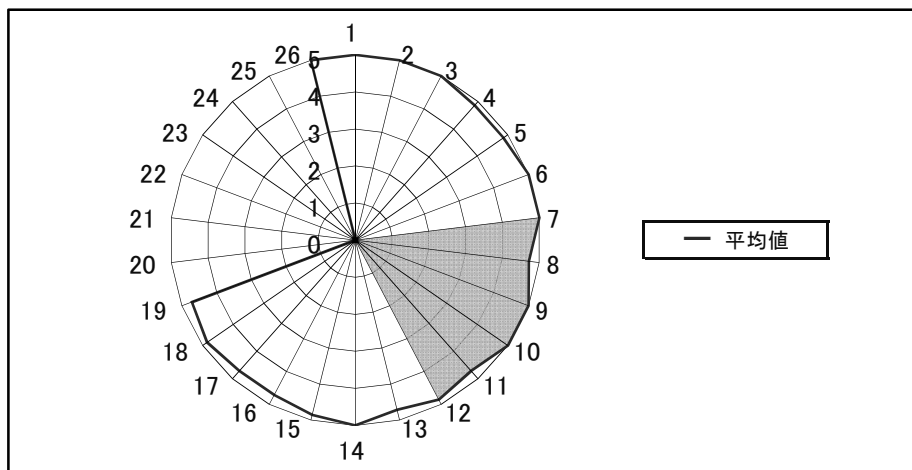


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 住生活学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 金 貞均

回答者数 7 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	7	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	7	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	7	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	5	2	0	0	0	4.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	7	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	2	0	0	0	4.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	1	0	0	0	4.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	2	0	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	7	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	5	2	0	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	5	2	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	1	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	5	2	0	0	0	4.7
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

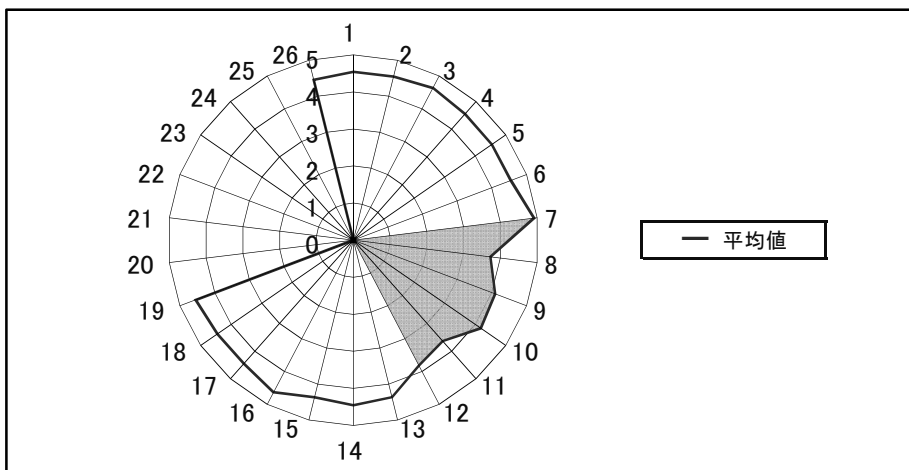


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 保育学（実習及び家庭看護を含む。）
 評価実施日 平成 22 年 03 月 01 日
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 11 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.5
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.9
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.1
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.5
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.5	

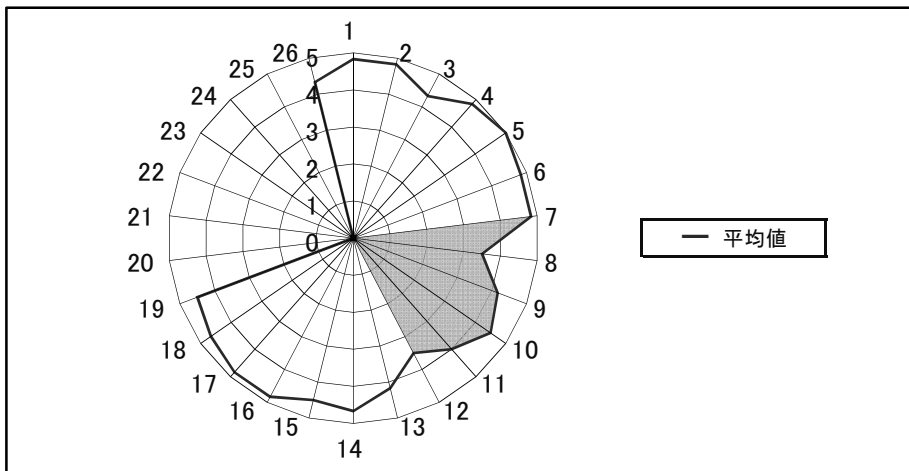


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 保育原論
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 橋川 喜美代

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.2
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.8
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.3

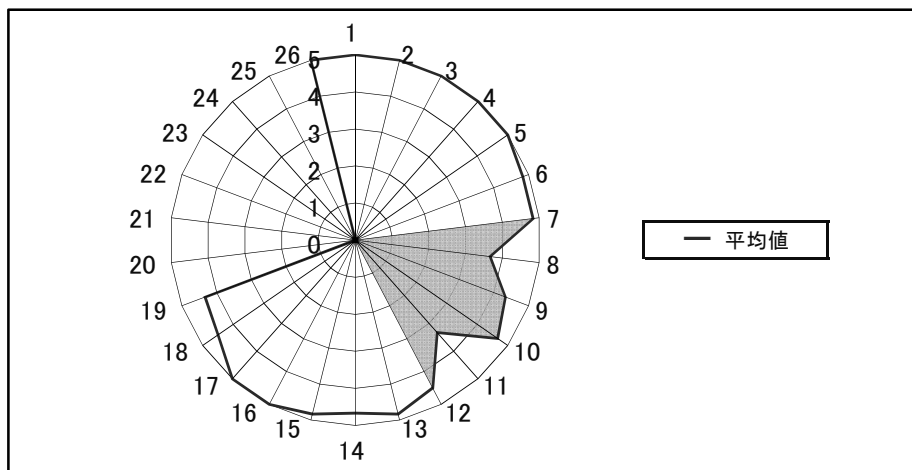


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 養護原理
 評価実施日 平成 22 年 01 月 13 日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						5.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.7
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.8
	(14)熱心に指導した。						4.7
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						5.0

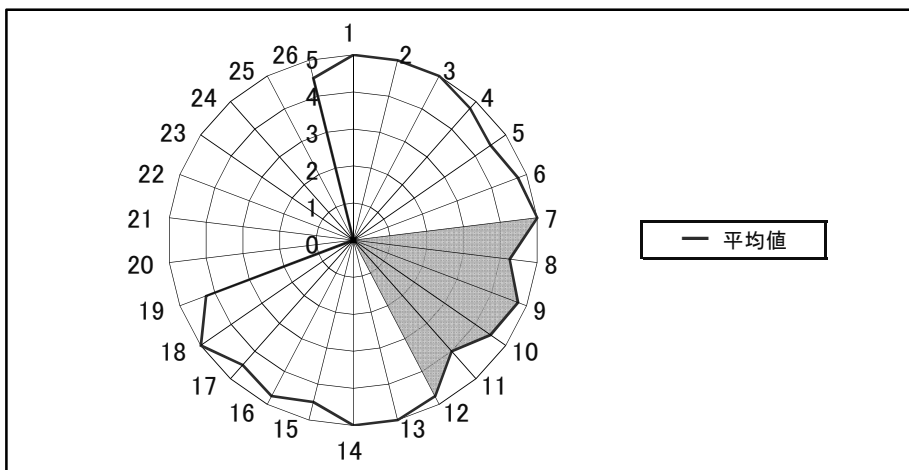


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 社会福祉論 I
 評価実施日 平成 21 年 08 月 07 日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	4	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	2	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	3	0	0	0	4.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。	2	2	0	0	0	4.5
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	3	1	0	0	0	4.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	4	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	2	0	0	0	4.5
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	0	1	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	1	1	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	2	0	0	0	4.5

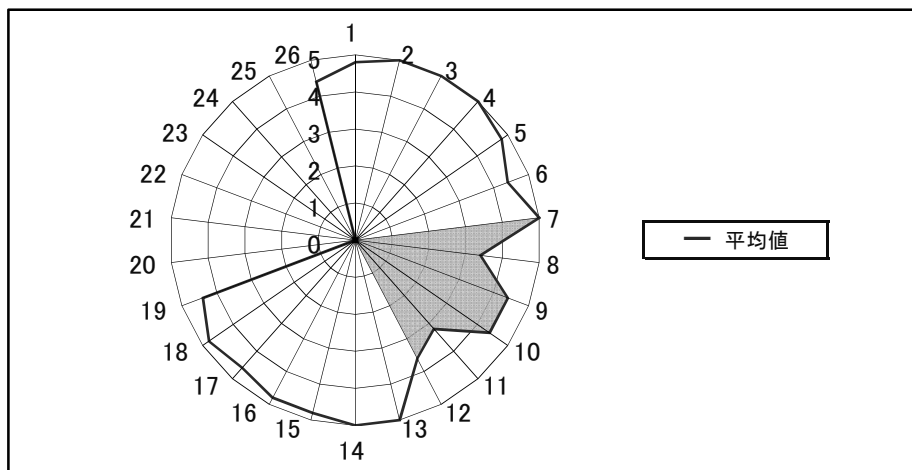


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 社会福祉論Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 01 月 13 日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	5	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	2	3	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	1	0	1	3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	1	1	0	0	4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	1	1	0	0	4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	2	2	1	0	3.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	3	0	0	1	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	0	0	0	0	5.0
	(14)熱心に指導した。	5	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	0	1	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	3	0	0	0	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	3	1	1	0	0	4.4

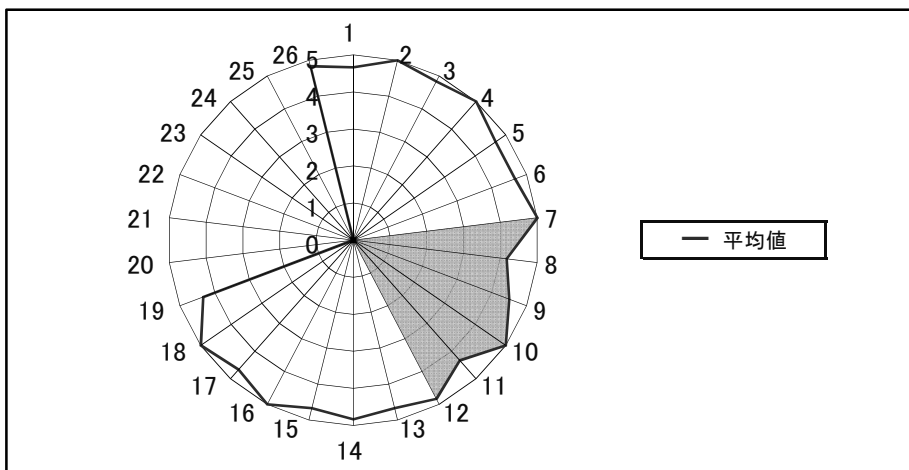


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 児童福祉論
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	6	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	3	1	2	0	0	4.2
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	3	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	3	2	1	0	0	4.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	5	1	0	0	0	4.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	5	0	1	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	5	1	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	4	2	0	0	0	4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	2	0	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	4	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

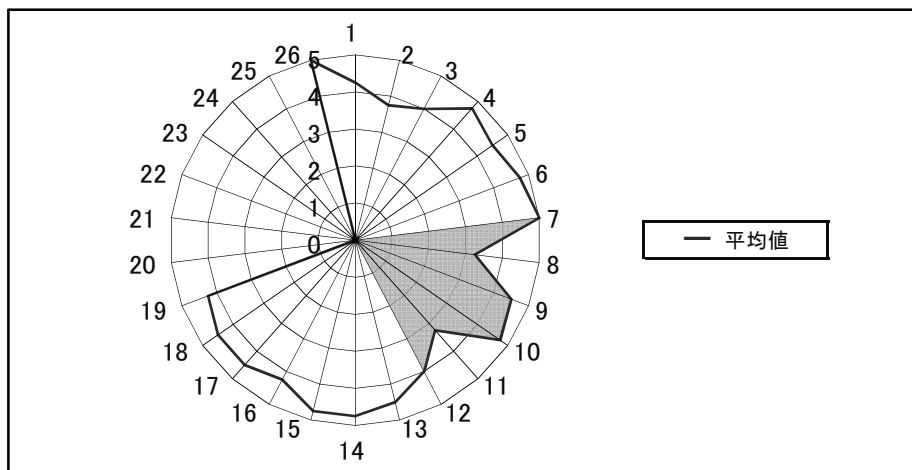


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 小児保健
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	1	3	0	0	0	4.3
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	1	2	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	1	2	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	2	0	0	0	4.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	1	3	0	0	3.3
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	0	2	1	0	3.3
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	2	1	0	0	4.0
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	2	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	3	1	0	0	0	4.8
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	1	3	0	0	0	4.3
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	2	2	0	0	0	4.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	1	3	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

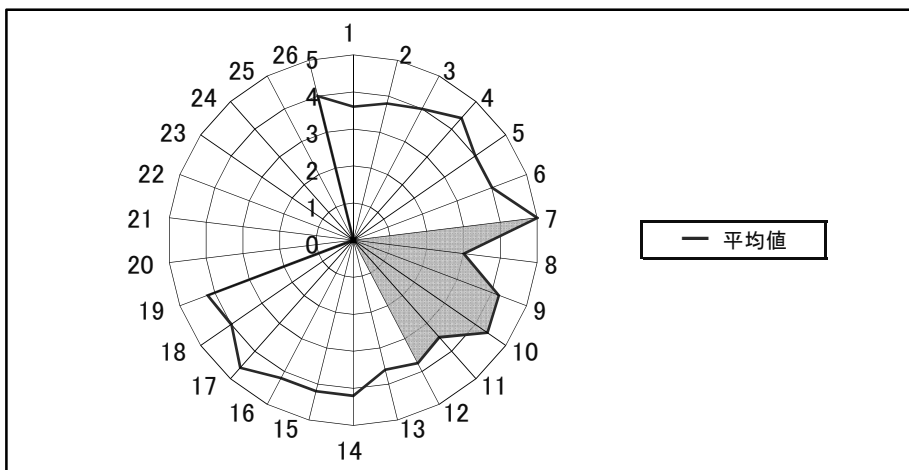


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 小児地域保健
 評価実施日 平成 22 年 02 月 15 日
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.5
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.6
	(14)熱心に指導した。						4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.2
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.2
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.0

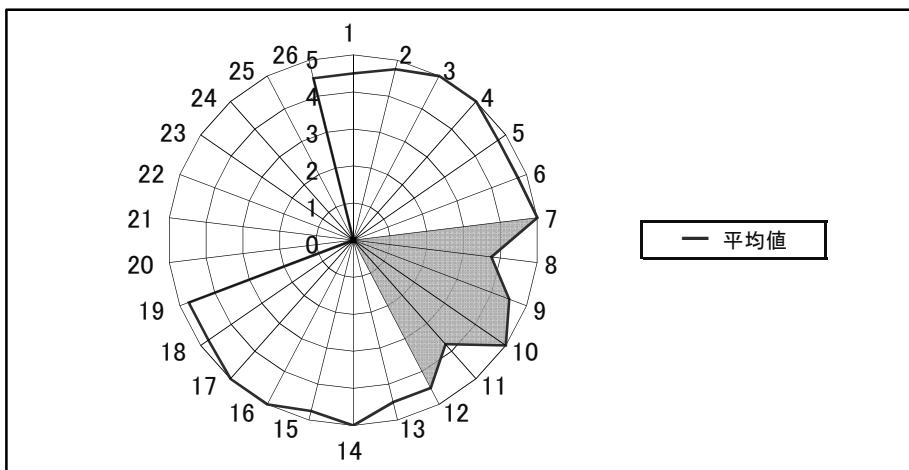


総合評価	4.1
------	-----

授業科目名 乳児保育
 評価実施日 平成 21 年 07 月 29 日
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 4 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	2	2	0	0	0	4.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	1	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	3	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	3	1	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	0	1	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	0	0	0	0	5.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	3	1	0	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	2	0	0	0	4.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	2	2	0	0	0	4.5
	(14)熱心に指導した。	4	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	3	1	0	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	1	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	2	2	0	0	0	4.5

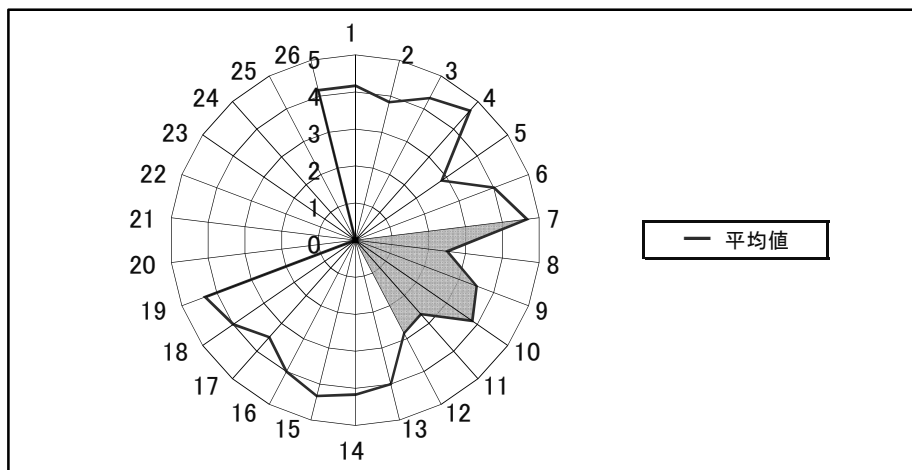


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 学校精神保健学
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 井上 和臣

回答者数 6 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	1	2	0	0	4.2
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	1	3	2	0	0	3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	3	2	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	0	1	3	2	0	2.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	1	4	1	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	4	2	0	0	0	4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	0	4	1	1	2.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	0	3	3	0	0	3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	1	3	2	0	0	3.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	0	1	2	3	0	2.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	0	1	3	2	0	2.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	1	4	1	0	0	4.0
	(14)熱心に指導した。	1	5	0	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	4	0	0	0	4.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	2	2	2	0	0	4.0
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	4	1	1	0	3.5
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	1	4	1	0	0	4.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	2	4	0	0	0	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	1	5	0	0	0	4.2

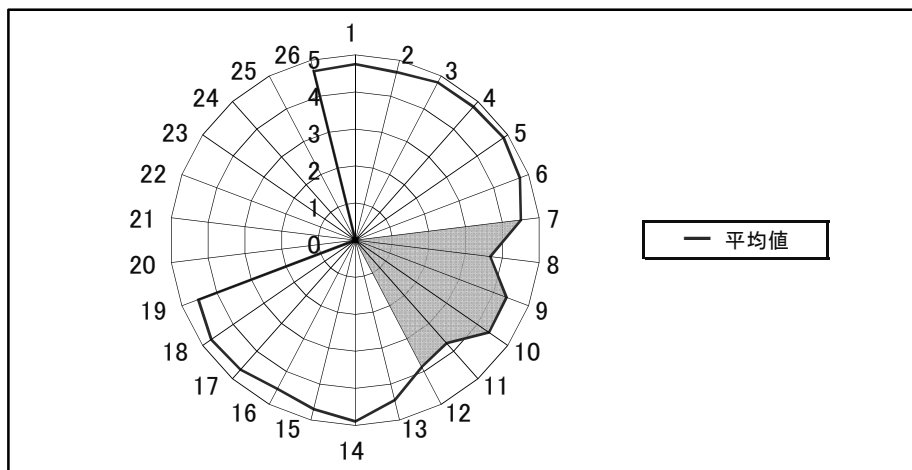


総合評価	4.0
------	-----

授業科目名 障害児教育概説 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 八幡 ゆかり

回答者数 36 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.8
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.4
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.9
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.4
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.5
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.7
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.5
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7	

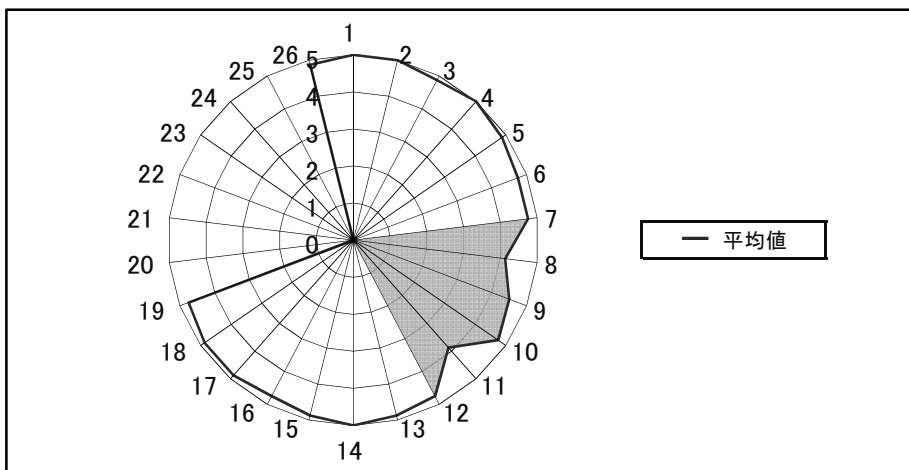


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 障害児教育概説Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 8 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	2	5	1	0	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	5	2	0	0	0	3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9

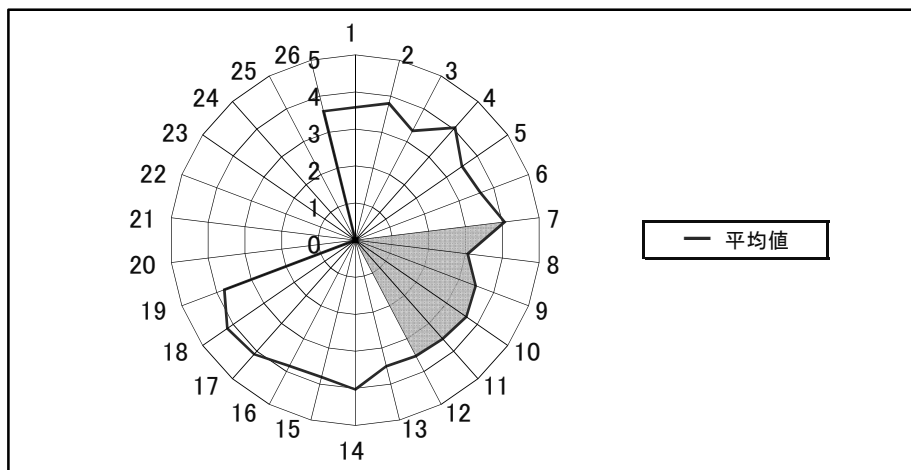


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 知的障害者の生理・病理
 評価実施日 平成 21 年 07 月 24 日
 担当教員名 田中 淳一

回答者数 36 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.3
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.1
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.5
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.1
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.5
	(14)熱心に指導した。						4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.2
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.8
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.6

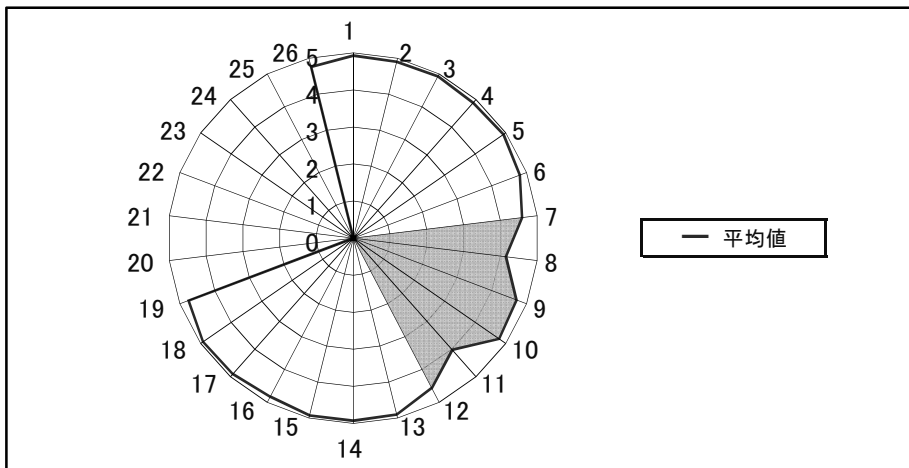


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 知的障害教育 I
 評価実施日 平成 22 年 02 月 19 日
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 41 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	38	3	0	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	37	4	0	0	0	0	4.9
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	38	3	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	36	5	0	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	38	3	0	0	0	0	4.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	34	6	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	27	12	1	1	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	14	21	4	2	0	0	4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	30	10	1	0	0	0	4.7
	(10)教員の説明をよく聞いた。	33	7	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	11	21	8	1	0	0	4.0
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	27	11	2	1	0	0	4.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	37	4	0	0	0	0	4.9
	(14)熱心に指導した。	38	3	0	0	0	0	4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	38	3	0	0	0	0	4.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	35	5	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	37	4	0	0	0	0	4.9
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	38	3	0	0	0	0	4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	31	10	0	0	0	0	4.8
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	29	7	1	0	0	4	4.8

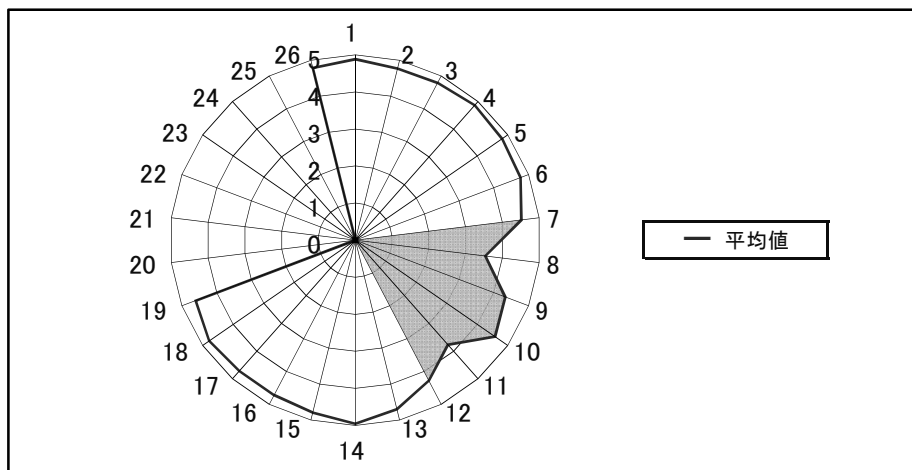


総合評価	4.9
------	-----

授業科目名 知的障害教育Ⅱ
 評価実施日 平成 22 年 02 月 18 日
 担当教員名 八幡 ゆかり

回答者数 43 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	38	5	0	0	0	4.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	33	10	0	0	0	4.8
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	36	5	2	0	0	4.8
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	37	6	0	0	0	4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	36	6	1	0	0	4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	34	8	1	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	27	12	3	1	0	4.5
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	7	14	17	5	0	3.5
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	19	19	5	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	28	12	3	0	0	4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	9	19	11	4	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	19	19	3	2	0	4.3
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	32	9	2	0	0	4.7
	(14)熱心に指導した。	41	2	0	0	0	5.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	35	7	1	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	32	10	1	0	0	4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	32	10	1	0	0	4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	35	7	1	0	0	4.8
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	29	11	3	0	0	4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	34	7	1	0	0	4.8

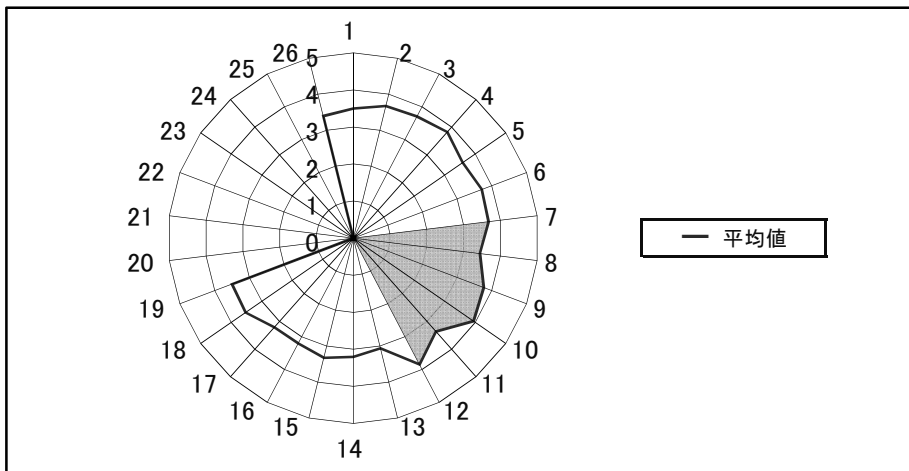


総合評価	4.8
------	-----

授業科目名 肢体不自由者の心理・生理・病理
 評価実施日 平成 22 年 01 月 12 日
 担当教員名 津田 芳見, 高原 光恵

回答者数 34 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						3.5
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						3.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						3.7
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						3.8
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						3.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						3.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						3.4
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						3.8
	(10)教員の説明をよく聞いた。						3.9
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.4
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						3.8
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						3.1
	(14)熱心に指導した。						3.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						3.3
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						3.2
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						3.2
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						3.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						3.5
	5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。					
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						3.4

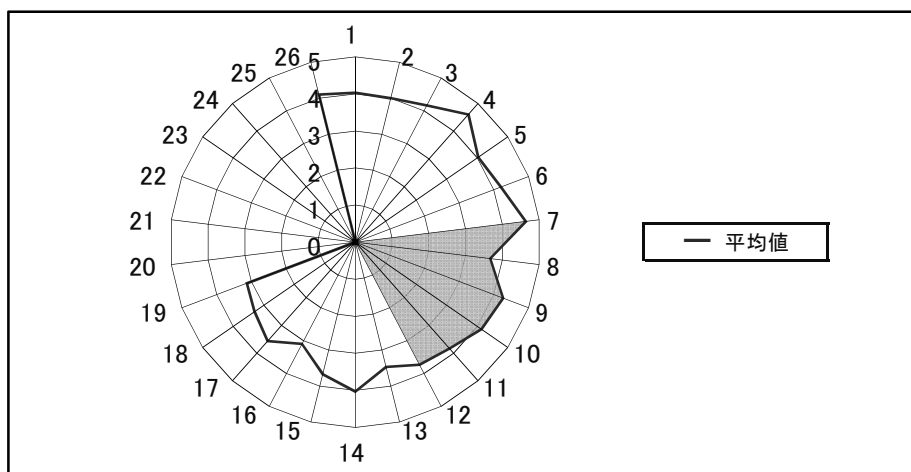


総合評価	3.5
------	-----

授業科目名 病弱者の心理・生理・病理
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 津田 芳見

回答者数 30 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	10	12	7	1	0	0	4.0
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	11	9	9	1	0	0	4.0
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	13	9	8	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	19	10	1	0	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	13	6	0	1	0	4.0
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	12	13	4	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	21	7	2	0	0	0	4.6
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	8	8	11	2	1	0	3.7
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	15	8	7	0	0	0	4.3
	(10)教員の説明をよく聞いた。	14	9	5	1	1	0	4.1
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	12	6	8	3	1	0	3.8
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	11	4	12	2	1	0	3.7
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	6	10	7	6	1	0	3.5
	(14)熱心に指導した。	9	15	4	2	0	0	4.0
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	7	13	4	5	1	0	3.7
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	6	11	7	2	0	3.1
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	8	7	10	4	1	0	3.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	6	7	9	6	2	0	3.3
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	7	3	9	9	2	0	3.1
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。								
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。								
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。								
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。								
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。								
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	10	13	5	1	0	1	4.1

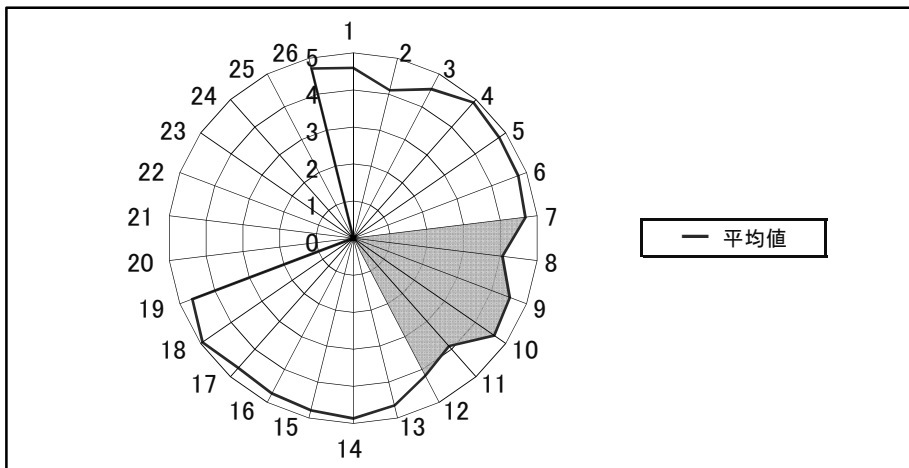


総合評価	3.8
------	-----

授業科目名 重複・LD等教育総論
 評価実施日 平成 21 年 07 月 27 日
 担当教員名 井上 とも子

回答者数 37 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。						4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。						4.1
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。						4.5
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。						4.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。						4.8
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。						4.7
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。						4.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)教員の説明をよく聞いた。						4.6
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。						3.9
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。						4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。						4.6
	(14)熱心に指導した。						4.9
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。						4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。						4.7
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。						4.7
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。						4.9
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。						4.6
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。						
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。						
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。						
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。						
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。						
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。						4.7

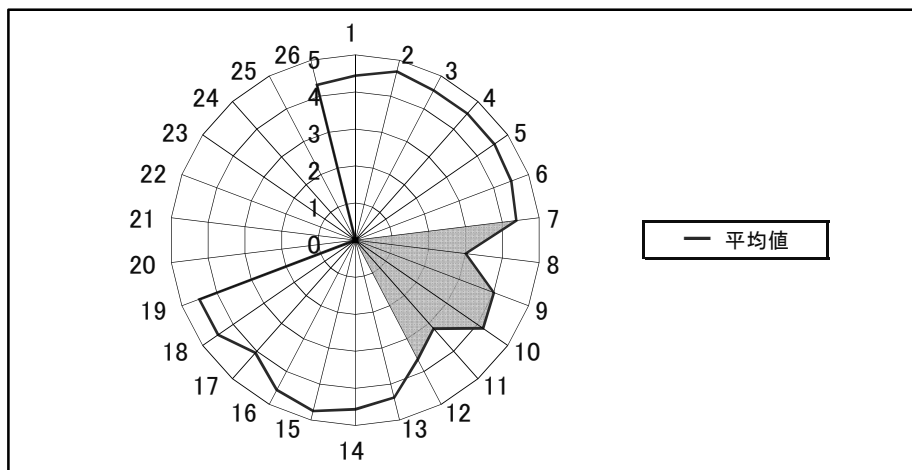


総合評価	4.7
------	-----

授業科目名 視覚障害者の心理・生理・病理
 評価実施日 平成 21 年 07 月 23 日
 担当教員名 高原 光恵

回答者数 16 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	9	5	2	0	0	4.4
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	12	3	1	0	0	4.7
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	10	5	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	10	5	1	0	0	4.6
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	10	5	1	0	0	4.6
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	10	4	2	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	8	7	0	1	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	0	5	7	3	1	3.0
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	2	12	2	0	0	4.0
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	11	1	0	0	4.2
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	4	8	3	0	3.2
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	1	9	5	1	0	3.6
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	8	6	2	0	0	4.4
	(14)熱心に指導した。	10	5	1	0	0	4.6
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	12	4	0	0	0	4.8
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	9	7	0	0	0	4.6
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	6	5	3	1	0	4.1
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	11	4	0	0	1	4.5
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	8	8	0	0	0	4.5
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	7	7	2	0	0	4.3

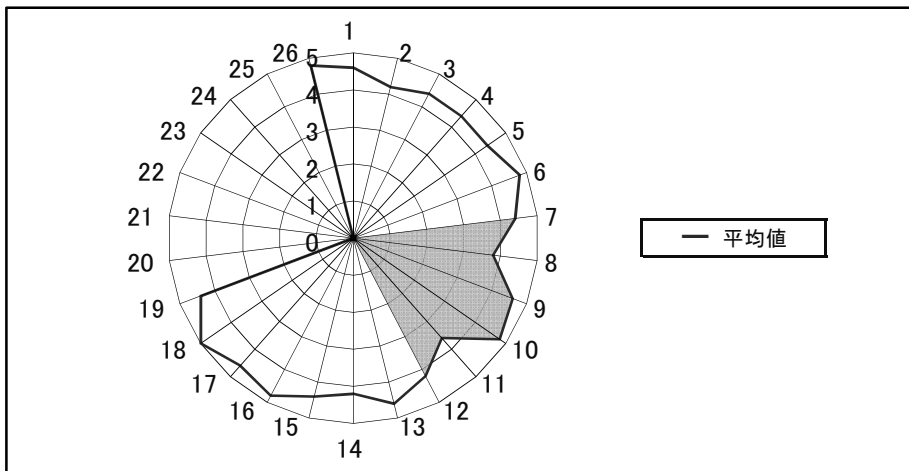


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 障害児心理学演習
 評価実施日 平成 21 年 07 月 31 日
 担当教員名 島田 恭仁, 高原 光恵

回答者数 5 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	3	0	2	0	0	4.2
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	2	3	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	2	3	0	0	0	4.4
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	2	3	0	0	0	4.4
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	4	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	2	3	0	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	1	2	2	0	0	3.8
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	4.6
	(10)教員の説明をよく聞いた。	4	1	0	0	0	4.8
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	1	2	1	1	0	3.6
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	2	2	1	0	0	4.2
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	3	2	0	0	0	4.6
	(14)熱心に指導した。	1	4	0	0	0	4.2
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	2	3	0	0	0	4.4
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	3	2	0	0	0	4.6
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	3	1	1	0	0	4.4
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。						
(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	4	1	0	0	0	4.8

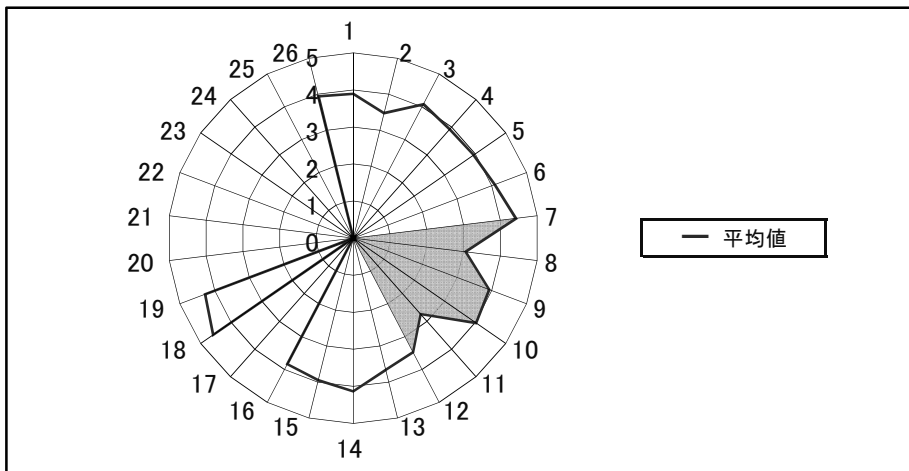


総合評価	4.5
------	-----

授業科目名 読書と豊かな人間性
 評価実施日 平成 22 年 02 月 22 日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 38 名

質問項目	評価選択人数						平均値 (科目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業概要について	(1)目標・授業計画・内容は、明確に示されていた。	14	11	8	5	0	0	3.9
	(2)成績評価の方法は、明確に示されていた。	11	7	12	5	3	0	3.5
2 授業の内容等について	(3)授業内容は、授業概要に沿っていた。	14	14	9	1	0	0	4.1
	(4)授業内容は、教養や専門性を高めるものだった。	13	14	7	3	1	0	3.9
	(5)授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった。	14	10	11	1	1	1	3.9
	(6)授業内容は、興味・関心を引くものだった。	16	12	5	4	0	1	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(7)授業によく出席した。	21	12	5	0	0	0	4.4
	(8)授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした。	9	3	12	7	6	1	3.1
	(9)授業中に積極的に取り組んだ。	13	14	6	5	0	0	3.9
	(10)教員の説明をよく聞いた。	14	15	6	2	1	0	4.0
	(11)分からないことや疑問に思ったことは調べた。	5	5	11	9	8	0	2.7
	(12)授業に関連した内容について友人や教員と話し合った。	8	12	11	4	3	0	3.5
4 教員の授業の進め方について	(13)学生の理解状況を確認しながら授業を行った。	11	11	10	4	2	0	3.7
	(14)熱心に指導した。	20	8	6	3	1	0	4.1
	(15)授業内容を分かりやすく説明した。	15	10	9	4	0	0	3.9
	(16)教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった。	13	7	15	2	0	1	3.8
	(17)教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった。	0	0	0	0	0	38	
	(18)教員の声は、聞き取りやすかった。	23	6	2	1	0	6	4.6
	(19)授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった。	17	10	4	2	0	5	4.3
	(20)教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった。							
5 教育実践コア科目について (コア科目以外の授業では関係ありません。)	(21)関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった。							
	(22)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった。							
	(23)授業実践を観察する視点が示された授業内容であった。							
	(24)授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった。							
	(25)教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった。							
6 授業に対する満足度	(26)この授業は、自分自身にとって満足できるものであった。	15	10	8	3	1	1	3.9



総合評価	4.0
------	-----

あとがき

学生による授業評価の意義で述べたように、平成 12 年度の調査開始以来、対象授業科目を「講義のみ」から平成 16 年度、「講義、演習、実験等」へ拡大し、平成 18 年度、教育実践コア科目への実施を正式に行った。アンケート用紙の質問項目も試行錯誤を重ねて、平成 20 年度までには授業の種類・形態ごとの 8 種類の様式となっていた。その結果、細やかな分析を可能にしていたといえよう。平成 21 年度は、本学の全科目を対象として行うこととなったことに対応して、質問項目を精選し、一つの様式に統一した。そのことによって、従来行われていた、授業形態ごとの集計・分析ができなくなった。

一方、アンケート用紙が多様であったため、他の様式のアンケート用紙を間違えて使用してしまい集計できなかったという事例が、平成 20 年度は、多くみられた。平成 21 年度は、平成 20 年度の様式のアンケート用紙をそのまま使ってしまったため集計できなかったという事例が、4 件（授業数）あっただけに留まった。学生がせっかくアンケートに応じてくれたにも関わらず、集計結果に表れることなく、改善への道筋に生かせなかったということを極力減らすことができたのは、一つの様式に統一できたおかげともいえよう。

平成 21 年度の調査では、有効回答数は、平成 20 年度の約 1.4 倍、実施授業科目数は、約 1.6 倍となった。質問項目の見直しと、調査対象の拡大のため、単純な比較はできないが、評点の動きをみてみると、次のことがいえる。

平成 20 年度の総評価平均は、教養基礎科目(4.1)、教育実践コア科目(4.3)、教職共通科目(4.1)、専修専門科目(4.3)であり、すべて 4 点を越えていた。平成 20 年度と同様に、平成 21 年度の総評価平均を算出すると、教養基礎科目(4.1)、教育実践コア科目(4.3)、教職共通科目(4.0)、専修専門科目(4.3)であり、同様にすべて 4 点を越えている。この数値をみる限り、平成 20 年度に比べ大きな変化は認められない。

「授業によく出席した」の質問項目は、教養基礎科目、教育実践コア科目、教職共通科目、専修専門科目すべてで 4.5～4.6 点であり、「教員の説明をよく聞いた」の質問項目は、教養基礎科目、教育実践コア科目、教職共通科目、専修専門科目すべてで 4.0～4.4 点であることが示すように、「授業によく出席し、教員の説明をよく聞いた」という点については、比較的高く評価している。しかしながら、学生の「授業への取り組み」を問う項目の中に 3 点代の評点が目立つことから、授業にはよく出席し、教員の説明をよく聞くが、自主性・主体性にやや欠ける、という学生像が、平成 21 年度の調査でも浮かび上がる。自学自習を促す方向への授業改善に向けて、予習や復習が必要な授業内容の検討、予習復習の仕方の指導や課題の明確化、課題の与え方、TA の活用等の工夫が必要なのではないだろうか。

「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った」は、平成 20 年度までは、教育実践コア科目でのみの質問項目であったが、平成 21 年度は、全ての科目に共通する質問項目とした。その評点は、教養基礎科目(3.7)、教育実践コア科目(4.0)、教職共通科目(3.6)、専修専門科目(3.9)であり、教養基礎科目と教職共通科目の評点がやや低めであった。「学生・教員相互の信頼関係に基づく豊かなコミュニケーション」という観点から、よりいっそうの工夫を望みたいところである。

平成 22 年度の「学生による授業評価」は、平成 21 年度とほぼ同じ方法で実施することとなった。平成 22 年度は新たに嘱託講師が担当する授業でも実施され、文字通り本学の全科目が評価対象となり、「学生自身の授業への取り組みに対する自省、かつ評価を受ける教員の授業内容・方法に対する自省」を深めるための歩みをさらに前進させることになるであろう。

最後に、本報告書の作成にご尽力、ご協力いただいた学部教務委員会、学生による授業評価専門部会、学部授業担当教員ならびに学生、事務職員の方々に心より感謝の意を表したい。

平成 21 年度学校教育学部教務委員会
学生による授業評価専門部会主査
山根 秀憲

鳴門教育大学学校教育学部教務委員会 委員名簿

(平成 21 年度)

委員長	田中雄三	理事	
副委員長	藪下克彦	言語系コース (英語)	(教授) (学生による授業評価専門部会委員)
委員	皆川直凡	人間形成コース	(准教授)
〃	井上とも子	特別支援教育専攻	(准教授) (学生による授業評価専門部会委員)
〃	幾田伸司	言語系コース (国語)	(准教授)
〃	橋川喜美代	幼年発達支援コース	(教授)
〃	木原克司	社会系コース	(教授)
〃	秋田美代	自然系コース (数学)	(准教授)
〃	佐藤勝幸	自然系コース (理科)	(教授)
〃	菊地章	生活・健康系コース (技・工・情)	(教授)
〃	前田英雄	生活・健康系コース (家庭)	(教授) (学生による授業評価専門部会委員)
〃	山根秀憲	芸術系コース (音楽)	(准教授) (学生による授業評価専門部会委員)
〃	野崎 窮	芸術系コース (美術)	(教授)
〃	吉本佐雅子	生活・健康系コース (保健体育)	(教授)
〃	大石雅章		(地域連携センター所長)
〃	清水 茂	地域連携センター	(准教授)
〃	大堀耕嗣		(教務課長)
〃	此枝 昇		(教務課長) (21.9～)
〃	近森 憲助	現代教育課題総合コース	(教授)

平成 21 年度 学生による授業評価実施報告書

平成 22 年 1 月 発行

編集 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会
発行 鳴門教育大学
〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島 748
電話 088-687-6093
FAX 088-687-6107



国立大学法人
鳴門教育大学

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748番地
<http://www.naruto-u.ac.jp/>